沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第84集

中城御殿跡

― 県営首里城公園　中城御殿跡発掘調査報告書（5）―

平成28（2016）年3月
沖縄県立埋蔵文化財センター

沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第84集

中 城 御 殿 跡

― 県営首里城公園　中城御殿跡発掘調査報告書（5）―

平成28（2016）年3月

沖縄県立埋蔵文化財センター

序

本報告書は、首里城公園整備に伴い、沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課より予算の分任を受け、沖縄県立埋蔵文化財センターが平成 24（2012）年度に行った中城御殿跡の発掘調査の成果をまとめたものです。

中城御殿は、次期琉球国王となる世子の邸宅として、当初は首里真和志町、現在の首里高等学校敷地内に創建されました。明治３（1870）年、首里大中町に新たに造営が開始され、明治８（1875）年に移転します。そして、明治 12（1879）年の王国の崩壊を経て、昭和 20（1945）年の沖縄戦により破壊されるまでの間、当地に存在していました。

発掘調査によって、屋敷を囲う石牆や屋敷内を区画する石積み、造成層などの遺構が良好な状態で遺されていることがわかりました。また、これに伴い、中国や日本各地で焼かれた陶磁器が多数出土しているほか、戦後に使用されたガラス瓶なども出土しています。

この成果をまとめた本報告が、本県における琉球王府時代末期から戦後の歴史・文化を理解する資料として、多くの方々に活用されるとともに、埋蔵文化財の保護・活用について関心を持っていただければ幸いです。

最後に、発掘調査ならびに資料整理作業にあたり、ご指導・ご協力を賜った関係者各位に厚く御礼申し上げます。

平成 28（2016）年３月

沖縄県立埋蔵文化財センター
所長　　下地　英輝

巻頭写真１　トレンチ５　石牆の根石検出状況（東から）

巻頭写真２　出土遺物

例　言

1　本報告書は、県営首里城公園の整備に伴い、平成24（2012）年度に実施した中城御殿跡の埋蔵文化財発掘調査について、平成26･27（2014･2015）年度に資料整理作業を行い、まとめたものである。

2　発掘調査、資料整理作業ともに、沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課より予算の分任を受けて実施した。

3　本書に掲載した緯度、経度、平面直角座標は、すべて世界測地系に基づくものである。

4　本書に掲載した地図は、国土地理院発行の１／25,000地形図を使用した。

5　本報告書に掲載した航空写真は、沖縄県教育庁文化財課史料編集班が所蔵する、1945年に米軍により撮影されたCV20-103-63を用いた。

6　本書に掲載した中城御殿屋根伏図や、板図撮影写真（現資料：海洋博記念公園管理財団所蔵）を起こした翻刻図は、中城御殿跡地整備検討委員会資料〔沖縄県都市計画・モノレール課提供〕を用いた。

7　本書に掲載した古写真や古地図は､沖縄県立芸術大学付属図書･芸術資料館(鎌倉芳太郎資料)、沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立図書館、那覇市の許可を得て掲載した。これらについては出典を明記し、文献は巻末にまとめた。

8　本書に掲載した調査時の写真撮影は羽方誠が行い、出土遺物の写真撮影は領家範夫、知花香織が行った。

9　本書に掲載した遺構図は、羽方誠の指示のもと、伊禮頼子、宮里知恵のほか、平成24年度発掘作業員により作成した。

10　本報告書の編集は、調査体制の項で記した多くの方々の協力のもと羽方誠が行い、各章の執筆は次のとおり行った。

　　羽方誠　　第１～４章、第６章
　　株式会社パリノ･サーヴェイ　　第５章

11　自然科学分析は株式会社パリノ･サーヴェイに委託した。

12　各章で参考・引用した文献の一覧は、242頁にまとめて掲載した。

13　発掘調査で得られた出土品、図面、写真等の記録は、沖縄県立埋蔵文化財センターに保管している。

目　　次

序
巻頭写真
例 言

第１章　調査に至る経緯 …… 1
　第１節　調査に至る経緯 …… 1
　第２節　調査体制 …… 1

第２章　位置と環境 …… 3
　第１節　地理的環境 …… 3
　第２節　歴史的環境 …… 6

第３章　調査経過 …… 15
　第１節　発掘調査 …… 15
　第２節　資料整理 …… 15

第４章　層序・遺構・遺物 …… 23
　第１節　層序 …… 23
　第２節　トレンチ１の遺構と遺物 …… 26
　第３節　トレンチ２の遺構と遺物 …… 30
　第４節　トレンチ３の遺構と遺物 …… 64
　第５節　トレンチ４の遺構と遺物 …… 71
　第６節　トレンチ５の遺構と遺物 …… 74
　第７節　トレンチ６の遺構と遺物 …… 128
　第８節　トレンチ７の遺構と遺物 …… 144
　第９節　遺構外から出土した遺物 …… 162
　第10節　遺物の概観 …… 177

第５章　自然科学分析 …… 231

第６章　結　語 …… 240

引用・参考文献 …… 242
報告書抄録

図 目 次

図 1　沖縄本島の位置 …… 4
図 2　中城御殿跡の位置及び周辺の遺跡 …… 5
図 3　18世紀前半に作成された「首里古地図」 …… 7
図 4　「首里古地図」の部分拡大図 …… 7
図 5　中城御殿屋根伏図 …… 9
図 6　中城御殿御普請板図翻刻図 …… 9
図 7　グリッド・トレンチ設定図 …… 16
図 8　トレンチ1、2配置図と建物配置図 …… 17
図 9　①トレンチ3～7配置図と
　　②中城御殿普請板図翻刻図 …… 18
図 10　トレンチ1　平面図 …… 27
図 11　トレンチ2　平面図 …… 31
図 12　トレンチ2　北壁土層図 …… 33
図 13　石組み1　立面図 …… 34
図 14　石組み2　南壁立面図 …… 34
図 15　石積み4　南壁立面図 …… 34
図 16　石積み5　立面図 …… 34
図 17　石組み2、石積み4　断面図 …… 34
図 18　石積み3～5、溝1　断面図 …… 34
図 19　トレンチ2　東壁土層図 …… 34
図 20　トレンチ2　溝1Ⅲ層、石組み1Ⅲ層 出土遺物 50
図 21　トレンチ2　石組み2Ⅲ層　出土遺物1 …… 52
図 22　トレンチ2　石組み2Ⅲ層　出土遺物2 …… 54
図 23　トレンチ2　石組み2Ⅲ層　出土遺物3 …… 56
図 24　トレンチ2　Ⅲ層　出土遺物1 …… 58
図 25　トレンチ2　Ⅲ層　出土遺物2 …… 60
図 26　トレンチ2　Ⅲ層　出土遺物3 …… 62
図 27　土坑2　立面図 …… 64
図 28　トレンチ3　平面図 …… 64
図 29　トレンチ3　土坑2Ⅰ層　出土遺物 …… 69
図 30　トレンチ4　平面図 …… 71
図 31　トレンチ4　西壁土層図 …… 71
図 32　トレンチ5　石積み8　部分名称見取図 …… 76
図 33　トレンチ5　平面図 …… 77
図 34　石積み8－7　立面図 …… 78
図 35　石積み8－2　立面図 …… 79
図 36　石積み8－3　立面図 …… 79
図 37　石積み8－4　立面図 …… 79
図 38　石積み8－5　立面図 …… 79
図 39　石積み8－6　立面図 …… 79
図 40　石積み8　断面図① …… 80
図 41　石積み8　断面図② …… 80
図 42　サブトレンチ1　西壁　土層図 …… 80
図 43　サブトレンチ2　南壁　土層図 …… 80
図 44　サブトレンチ3　西壁　土層図 …… 80
図 45　サブトレンチ3　東壁　土層図 …… 80
図 46　サブトレンチ4　北壁　土層図 …… 80
図 47　トレンチ5　Ⅲ層　出土遺物1 …… 124
図 48　トレンチ5　Ⅲ層　出土遺物2 …… 126
図 49　トレンチ6　平面図 …… 131
図 50　北壁（東側）　土層図 …… 131
図 51　サブトレンチ2　土層図 …… 131
図 52　サブトレンチ3　土層図 …… 131
図 53　トレンチ6　土坑1Ⅰ層　出土遺物1 …… 140
図 54　トレンチ6　土坑1Ⅰ層　出土遺物2 …… 142
図 55　トレンチ7　平面図 …… 145
図 56　南壁　石積み1　立面図 …… 145
図 57　北壁　土層図 …… 146
図 58　東壁　土層図 …… 146
図 59　西側アゼ　土層図 …… 146
図 60　石積み7東壁　立面図 …… 146
図 61　石積み7西壁　立面図 …… 146
図 62　石積み7南壁　立面図 …… 146
図 63　石積み7　断面図 …… 146
図 64　ピット1　断面図 …… 146
図 65　トレンチ7　瓦溜まり、
　　Ⅲ層黄褐色土、Ⅲ層褐色土　出土遺物 …… 158
図 66　トレンチ7　Ⅲ層暗褐色土　出土遺物 …… 160
図 67　遺構外から出土した遺物1 …… 166
図 68　遺構外から出土した遺物2 …… 168
図 69　遺構外から出土した遺物3 …… 170
図 70　遺構外から出土した遺物4 …… 172
図 71　遺構外から出土した遺物5 …… 174
図 72　遺構外から出土した遺物6 …… 176
図 73　出土遺物の総点数グラフ …… 178
図 74　出土遺物の総重量グラフ …… 178
図 75　円盤状製品の出土点数グラフ …… 179
図 76　円盤状製品の出土点数グラフ（最大径別）… 179
図 77　円盤状製品の出土点数グラフ（重量別） …… 180
図 78　円盤状製品の最大径と重量の相関関係グラフ 180

図 79　中国産白磁 …… 181
図 80　中国産染付 …… 181
図 81　中国産色絵 …… 182
図 82　中国産瑠璃釉 …… 182
図 83　中国産無釉陶器 …… 182
図 84　中国産褐釉陶器 …… 182
図 85　中国産陶器 …… 182
図 86　ミャンマー産褐釉陶器 …… 182
図 87　本土産青磁 …… 182
図 88　本土産色絵 …… 182
図 89　本土産磁器 …… 182
図 90　本土産染付 …… 183
図 91　本土産陶器 …… 183
図 92　沖縄産施釉陶器１ …… 184
図 93　沖縄産施釉陶器２ …… 185
図 94　沖縄産無釉陶器１ …… 185
図 95　沖縄産無釉陶器２ …… 186
図 96　陶質土器 …… 187
図 97　瓦質土器 …… 187
図 98　土製品 …… 187
図 99　坩堝 …… 187
図 100　石製品 …… 187
図 101　円盤状製品 …… 188
図 102　煙管 …… 188
図 103　玉 …… 188
図 104　銭貨 …… 189
図 105　青銅製品 …… 189
図 106　ガラス製品 …… 189
図 107　鉄製品 …… 189
図 108　瓦1 …… 190
図 109　瓦2 …… 191
図 110　瓦3 …… 192
図 111　瓦4 …… 193
図 112　戦前の航空写真と「首里古地図」の重ね図 … 241

写 真 目 次

巻頭写真１　トレンチ５　石牆の根石検出状況（東から）
巻頭写真２　出土遺物
写真 1　1945（昭和20）年に撮影された航空写真 … 8
写真 2　中城御殿の航空写真 …… 8
写真 3　正門 …… 10
写真 4　正門 …… 10
写真 5　南東隅石牆と望楼 …… 11
写真 6　瓦塀 …… 11
写真 7　首里市役所と首里バス …… 12
写真 8　新館開館式直前の風景 …… 12
写真 9　石牆の様子 …… 13
写真 10　2006（平成18）年３月に閉館した
　沖縄県立博物館 …… 13
写真 11　トレンチ1・2周辺の除草作業 …… 19
写真 12　トレンチ７　表土の除去作業 …… 19
写真 13　トレンチ４　磁気探査作業 …… 20
写真 14　トレンチ２　発掘作業風景 …… 20
写真 15　現場事務所内での遺物洗浄作業 …… 21
写真 16　高校生の職場体験 …… 21
写真 17　トレンチ１　埋め戻し作業 …… 22
写真 18　トレンチ５　埋め戻し後の状況 …… 22
写真 19　トレンチ１　作業風景（南から） …… 28
写真 20　トレンチ１　検出状況（北東から） …… 28
写真 21　トレンチ１　検出状況（東から） …… 29
写真 22　トレンチ1、2（北東から） …… 29
写真 23　トレンチ２　作業風景（北西から） …… 35
写真 24　トレンチ２　作業風景（南東から） …… 35
写真 25　トレンチ２　作業風景（西から） …… 36
写真 26　トレンチ２　作業風景（西から） …… 36
写真 27　トレンチ２　作業風景（南東から） …… 37
写真 28　トレンチ２　検出状況（南から） …… 37
写真 29　トレンチ２　検出状況（西から） …… 38
写真 30　石積み３～５、溝１（南から） …… 38
写真 31　溝1作業状況（東から） …… 39
写真 32　溝１（南西から） …… 39
写真 33　石積み３～５、溝１（西から） …… 40
写真 34　トレンチ２　石組み1　作業風景（北から） 41
写真 35　トレンチ２　石組み1　検出状況（南から） 41
写真 36　トレンチ２　石組み1　検出状況（東から） 42
写真 37　トレンチ２　石組み２　検出状況（東から） 42
写真 38　トレンチ２　石組み２内　土層（東から） 43
写真 39　トレンチ２　石組み２南東隅　検出状況 43

写真 40　トレンチ２　石組み２、石積み４検出状況 …… 44
写真 41　トレンチ２　石敷き１　検出状況（南から） …… 45
写真 42　サブトレンチ１　掘り下げ状況（南から） … 45
写真 43　サブトレンチ２　掘り下げ状況（南西から）　46
写真 44　トレンチ２溝１Ⅲ層、石組み１Ⅲ層出土遺物 51
写真 45　トレンチ２　石組み２Ⅲ層　出土遺物１ …… 53
写真 46　トレンチ２　石組み２Ⅲ層　出土遺物２ …… 55
写真 47　トレンチ２　石組み２Ⅲ層　出土遺物３ …… 57
写真 48　トレンチ２　Ⅲ層　出土遺物１ …… 59
写真 49　トレンチ２　Ⅲ層　出土遺物２ …… 61
写真 50　トレンチ２　Ⅲ層　出土遺物３ …… 63
写真 51　重機掘削終了直後の様子（南西から） …… 65
写真 52　トレンチ３　検出状況（北東から） …… 65
写真 53　トレンチ３　検出状況（南西から） …… 66
写真 54　ピット２（南から） …… 66
写真 55　土坑３　土層堆積状況（北東から） …… 67
写真 56　土坑３　作業風景（南西から） …… 67
写真 57　土坑２　検出状況（南から） …… 68
写真 58　土坑２　検出状況（上が南） …… 68
写真 59　トレンチ３　土坑２Ⅰ層出土遺物 …… 70
写真 60　トレンチ４　検出状況（南東から） …… 72
写真 61　トレンチ４　検出状況（南から） …… 72
写真 62　トレンチ４　検出状況（東から） …… 73
写真 63　トレンチ４　検出状況（北西から） …… 73
写真 64　門柱の撤去作業（南西から） …… 82
写真 65　門柱の撤去作業（南西から） …… 82
写真 66　歩道の撤去作業（西から） …… 83
写真 67　撹乱層の掘り下げ状況（北東から） …… 83
写真 68　撹乱層の掘り下げ状況（西から） …… 84
写真 69　歩道、排水溝、撹乱層の撤去状況 …… 85
写真 70　排水溝の断面（西から） …… 85
写真 71　トレンチ５　全景（東から） …… 86
写真 72　石積み６（上が北） …… 86
写真 73　石積み６（東から） …… 87
写真 74　石積み８（北西から） …… 87
写真 75　石積み８（西から） …… 88
写真 76　石積み８　連続写真１（北から） …… 89
写真 77　石積み８　連続写真２（北から） …… 89
写真 78　石積み８　連続写真３（北から） …… 90
写真 79　石積み８　連続写真４（北から） …… 90
写真 80　石積み８－１連続写真１（北から） …… 91
写真 81　石積み８－１連続写真２（北から） …… 91
写真 82　石積み８－１連続写真３（北から） …… 92
写真 83　石積み８－１連続写真４（北から） …… 92
写真 84　石積み８－１連続写真５（北から） …… 93
写真 85　石積み８－１連続写真６（北から） …… 93
写真 86　石積み８－２（東から） …… 94
写真 87　石積み８－３（北から） …… 94
写真 88　石積み８－４（西から） …… 95
写真 89　石積み８－５（南から） …… 96
写真 90　石積み８－６（西から） …… 97
写真 91　石積み８－７連続写真１（南から） …… 98
写真 92　石積み８－７連続写真２（南から） …… 98
写真 93　石積み８－７連続写真３（南から） …… 99
写真 94　石積み８－７連続写真４（南から） …… 99
写真 95　石積み８－７（南西から） …… 100
写真 96　石積み８－７根石付近連続写真１ …… 101
写真 97　石積み８－７根石付近連続写真２ …… 101
写真 98　石積み８－７根石付近連続写真３ …… 102
写真 99　石積み８－７根石付近連続写真４ …… 102
写真 100　石積み８－７根石付近連続写真５ …… 103
写真 101　石積み８－７根石付近連続写真６ …… 103
写真 102　石積み８－７根石付近連続写真７ …… 104
写真 103　石積み８－７根石付近連続写真８ …… 104
写真 104　石積み８－７根石付近連続写真９ …… 105
写真 105　石積み８－７根石付近連続写真10 …… 105
写真 106　石積み８－７根石付近連続写真11 …… 106
写真 107　石積み８－７根石付近連続写真12 …… 106
写真 108　石積み８－７根石付近連続写真13 …… 107
写真 109　石積み８－７根石付近連続写真14 …… 107
写真 110　石積み８－７根石付近連続写真15 …… 108
写真 111　石積み８－７根石付近連続写真16 …… 108
写真 112　石積み８－７根石付近連続写真17 …… 109
写真 113　石積み８（南西から） …… 109
写真 114　石積み８（南東から） …… 110
写真 115　石積み８　柱石上端から真下を見た様子 ‥ 111
写真 116　石列１　検出状況（西から） …… 111
写真 117　石列１（南東から） …… 112
写真 118　石列１（東から） …… 112
写真 119　石積み８正門付近（上が北） …… 113
写真 120　石積み８正門付近（西から） …… 113
写真 121　サブトレンチ１（北東から） …… 114
写真 122　サブトレンチ１、２遺構検出状況（北西から） 114
写真 123　サブトレンチ２（上が南） …… 115
写真 124　サブトレンチ２南壁（北から） …… 115
写真 125　サブトレンチ３（上が北） …… 116

写真 126　サブトレンチ４ 遺物出土状況（上が東） 116
写真 127　サブトレンチ４遺物出土状況（南東から）117
写真 128　サブトレンチ４ 検出状況（上が東） …… 117
写真 129　サブトレンチ４（南東から） …… 118
写真 130　サブトレンチ４遺構検出状況（上が東） 119
写真 131　サブトレンチ５（南から） …… 119
写真 132　サブトレンチ７（南から） …… 120
写真 133　サブトレンチ７（東から） …… 120
写真 134　サブトレンチ８、９（南から） …… 121
写真 135　サブトレンチ８、９（上が南） …… 121
写真 136　サブトレンチ10（南から） …… 122
写真 137　サブトレンチ11（南東から） …… 122
写真 138　サブトレンチ12（上が北） …… 123
写真 139　トレンチ５　Ⅲ層　出土遺物１ …… 125
写真 140　トレンチ５　Ⅲ層　出土遺物２ …… 127
写真 141　トレンチ６　完掘状況（東から） …… 129
写真 142　作業風景（南から） …… 132
写真 143　作業風景（南から） …… 132
写真 144　トレンチ７　作業風景（西から） …… 133
写真 145　トレンチ６　完掘状況（西から） …… 134
写真 146　石積み２（上が東） …… 135
写真 147　石積み２（南東から） …… 135
写真 148　土坑１内の土層（北から） …… 136
写真 149　溝２　土層（東から） …… 136
写真 150　石積み２東側　土層（南西から） …… 137
写真 151　溝２　作業風景（北東から） …… 137
写真 152　サブトレンチ１（南東から） …… 138
写真 153　トレンチ６北壁　土層（南西から） …… 138
写真 154　トレンチ６北壁　土層（南東から） …… 139
写真 155　トレンチ６北壁　土層（南西から） …… 139
写真 156　トレンチ６　土坑１Ⅰ層出土遺物１ …… 141
写真 157　トレンチ６　土坑１Ⅰ層出土遺物２ …… 143
写真 158　トレンチ７作業風景 …… 148
写真 159　トレンチ７作業風景 …… 148
写真 160　トレンチ７　作業風景（西から） …… 149
写真 161　トレンチ７　遺構検出状況（東から）‥ 150
写真 162　トレンチ７　遺構検出状況（北から）‥ 151
写真 163　石積み7（北から） …… 151
写真 164　石積み7（西から） …… 152
写真 165　瓦溜まり（南東から） …… 152
写真 166　瓦溜まり（北から） …… 153
写真 167　ピット1（南から） …… 153
写真 168　サブトレンチ1（上が西） …… 154
写真 169　サブトレンチ1（南西から） …… 154
写真 170　サブトレンチ２（西から） …… 155
写真 171　サブトレンチ２東壁銭貨出土状況（西から） 155
写真 172　サブトレンチ３東壁と石積み１（北西から） 156
写真 173　サブトレンチ７北壁　土層（南東から）…… 156
写真 174　トレンチ７　瓦溜まり、
Ⅲ層黄褐色土、Ⅲ層褐色土　出土遺物 ‥ 159
写真 175　トレンチ７　Ⅲ層暗褐色土　出土遺物 ‥ 161
写真 176　遺構外から出土した遺物１ …… 167
写真 177　遺構外から出土した遺物２ …… 169
写真 178　遺構外から出土した遺物３ …… 171
写真 179　遺構外から出土した遺物４ …… 173
写真 180　遺構外から出土した遺物５ …… 175
写真 181　遺構外から出土した遺物６ …… 176
写真 182　貝類遺体１（巻貝１） …… 194
写真 183　貝類遺体２（巻貝２） …… 195
写真 184　貝類遺体３（二枚貝） …… 196
写真 185　脊椎動物遺体１ …… 197
写真 186　脊椎動物遺体２ …… 198
写真 187　脊椎動物遺体３ …… 199
写真 188　脊椎動物遺体４ …… 200
写真 189　脊椎動物遺体５ …… 201
写真 190　花粉化石、炭化種実 …… 238
写真 191　植物珪酸体 …… 239

表 目 次

表 1　中城御殿跡関連年表 …… 14
表 2　遺構一覧 …… 24
表 3　トレンチ２　層序一覧 …… 33
表 4　トレンチ２出土遺物観察表１ …… 47
表 5　トレンチ２出土遺物観察表２ …… 48
表 6　トレンチ２出土遺物観察表３ …… 49
表 7　トレンチ４　土層一覧 …… 71
表 8　トレンチ５　土層一覧 …… 81
表 9　トレンチ５出土遺物観察表 …… 123
表 10　トレンチ６　土層一覧 …… 130
表 11　トレンチ６　出土遺物観察表 …… 140
表 12　トレンチ７　土層一覧 …… 147

表 13　トレンチ7出土遺物観察表 …… 157
表 14　出土遺物観察表 …… 162
表 15　遺物出土状況 …… 202
表 16　青磁出土状況 …… 204
表 17　白磁出土状況 …… 204
表 18　染付出土状況 …… 205
表 19　中国産褐釉出土状況 …… 206
表 20　中国産色絵出土状況 …… 206
表 21　その他中国産陶磁器出土状況 …… 207
表 22　その他陶磁器出土状況 …… 207
表 23　本土産陶磁器出土状況 …… 208
表 24　本土産近代陶磁器出土状況 …… 210
表 25　沖縄産無釉陶器出土状況 …… 211
表 26　沖縄産施釉陶器出土状況１ …… 212
表 27　沖縄産施釉陶器出土状況２ …… 214
表 28　土器・陶質土器・瓦質土器・類須恵器出土状況 …… 216
表 29　土製品・坩堝・銭貨・煙管・円盤状製品・石製品・玉・木製品出土状況 …… 218
表 30　青銅製品・鉄製品・アルミ製品・ガラス製品出土状況 …… 219
表 31　その他遺物出土状況 …… 220
表 32　瓦・塼・煉瓦・漆喰出土状況 …… 221
表 33　貝類(巻貝等)出土状況一覧 …… 222
表 34　貝類（二枚貝等）出土状況一覧 …… 224
表 35　魚類出土状況 …… 226
表 36　トリ出土状況 …… 227
表 37　ヤギ出土状況 …… 227
表 38　イノシシ出土状況 …… 228
表 39　ウシ出土状況 …… 229
表 40　イヌ出土状況 …… 229
表 41　ネコ出土状況 …… 229
表 42　ウマ出土状況 …… 229
表 43　ウマかウシ出土状況 …… 229
表 44　イヌ？出土状況 …… 229
表 45　ネズミ出土状況 …… 229
表 46　ウミガメ？出土状況 …… 229
表 47　種不明出土状況 …… 230
表 48　分析試料一覧 …… 231
表 49　放射性炭素年代測定結果 …… 233
表 50　暦年較正結果 …… 233
表 51　花粉分析結果 …… 234
表 52　植物珪酸体含量 …… 234
表 53　微細物分析結果 …… 236

第１章　調査に至る経緯

第１節　調査に至る経緯

かつての首里には、国宝を含む多くの文化財が残されていたが、先の沖縄戦によりその殆どが灰燼に帰すことになる。終戦後発足した琉球政府文化財保護委員会は、戦災により破壊された文化財の復元整備として、昭和31（1956）年に園比屋武御嶽を嚆矢として整備を開始する。その後、同委員会は昭和45（1970）年に首里城跡及び周辺の戦災文化財復元計画を策定し、同年、日本政府は第一次沖縄復帰対策要綱を閣議決定した。その中で戦災文化財の復元修理を推進する旨を明らかにし、翌年にはその調査費が計上されている。

そして沖縄は、昭和47（1972）年に本土復帰を果たす。その一環で同年策定された第一次沖縄振興計画に盛り込まれた要項に基づき、総理府外局沖縄開発庁の予算で、沖縄県教育庁文化課による首里城跡の復元整備を目的とした発掘調査が開始されることになる。その調査成果により、今日まで多くの建造物が復元を見ることができ、一般に公開されている。

今回報告する中城御殿跡の遺構確認調査は、昭和63（1988）年度に沖縄県土木建築部が策定した、首里城公園基本設計に基づく公園整備を目的とした調査で、平成19（2007）年度から沖縄県土木建築部より予算の分任を受け、沖縄県立埋蔵文化財センターが実施している。

調査にあたっては、予算分任元である沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課に対して予算要求を行い、調査開始後には文化財保護法第99条の規定により、沖縄県教育庁文化財課へ着手報告を行った（平成24年９月７日付 埋文第359号）。

また、調査終了後には終了報告を行うとともに（平成25年３月５日付 埋文第595-1号）、発見された埋蔵文化財（出土品）について内訳・数量の報告を行った（平成25年３月５日付 埋文第595-2号）。

第２節　調査体制

本報告書に係る発掘調査業務は、平成24（2012）年度に実施し、調査報告書作成に係る資料整理業務は、平成26・27（2014･2015）年度に実施した。その体制は次のとおりである（職名は当時のもの）。

平成24（2012）年度（発掘調査）

事業主体　沖縄県教育委員会
　　教育長　大城浩

事業所管　沖縄県教育庁文化財課
　　課長　長堂嘉一郎、副参事　島袋洋
　　記念物班　班長 盛本勲、主任専門員　長嶺均

事業総括・実施　沖縄県立埋蔵文化財センター
　　所長　崎濱文秀
　　総務班　班長 荻堂治邦、 主査 恩河朝子
　　調査班　班長 金城亀信、 主任専門員 羽方誠

発掘調査作業　沖縄県立埋蔵文化財センター
　　調査班　主任専門員　羽方誠
　　文化財調査嘱託員　伊禮頼子、宮里知恵

発掘調査作業員　上江洲由昇、浦崎京子、大嶺愛子、川上益子、知花智子、
當眞哲、中村フサ子、比嘉賀商、比嘉洋子、樋口光子、
平田香、福地佐枝子、安村重保、與那嶺勢津子

平成26（2014）年度（資料整理）

事業主体　沖縄県教育委員会
教育長　諸見里明

事業所管　沖縄県教育庁文化財課
課長　嘉数卓
記念物班　班長 金城亀信、主任専門員 長嶺均

事業総括・実施　沖縄県立埋蔵文化財センター
所長　下地英輝
総務班　班長 新垣勝弘、主査 新里靖
調査班　班長 盛本勲、主任専門員　羽方誠、山本正昭

資料整理作業　沖縄県立埋蔵文化財センター
調査班　主任専門員　羽方誠
埋蔵文化財資料整理嘱託員　新垣裕子、石橋英子、喜屋武彩美、高安那津季、
手嶋永子、照屋麻美、比嘉登美子、屋我尚子

協力者　幸地千明、杉山千曜、玉城美香、保久盛陽（以上文化財調査嘱託員）
與儀みなみ（以上埋蔵文化財資料整理嘱託員）
翁長洋子、比屋根紗耶香、平安百合子（以上埋蔵文化財資料整理作業員）

平成27（2015）年度（資料整理）

事業主体　沖縄県教育委員会
教育長　諸見里明

事業所管　沖縄県教育庁文化財課
課長　萩尾俊章
記念物班　副参事兼班長 金城亀信、主任専門員 長嶺均

事業総括・実施　沖縄県立埋蔵文化財センター
所長　下地英輝
副参事　盛本勲
総務班　班長 新垣勝弘、主査　新里靖、主事　當山彬
調査班　班長 上地博、主任専門員　羽方誠、山本正昭

資料整理作業　沖縄県立埋蔵文化財センター
調査班　主任専門員　羽方誠
埋蔵文化財資料整理嘱託員　酒井若葉、後田多昌代、島千香子、下地麻利恵、
高安那津季、根岸敦子、比嘉美智子、屋我尚子
協力者　渡邊愛依（埋蔵文化財資料整理嘱託員）

第２章 位置と環境

第１節　地理的環境

１　はじめに

中城御殿は、次の琉球国王となる世子が暮らした屋敷である。名称の由来は、王子が王世子（王位継承者）になると、領地として中城間切及び知行を与えられ、中城王子あるいは中城御殿と呼ばれたことによる。当初その建物は、17世紀前半に現在の首里高等学校敷地内（首里真和志町）に創建された。その後、中城御殿は明治１（1868）年に現在の首里大中町に移転することが決まる。

ここでは必要に応じて、移転前の中城御殿を「旧中城御殿」、移転後を「新中城御殿」と仮称し、新中城御殿を中心に説明する。

２　地質

中城御殿があるのは那覇市東部、標高100ｍ前後の台地（通称首里台地）である。この首里台地は島尻層群（砂岩・泥岩）を基盤に、その上を所々覆う琉球層群（琉球石灰岩）から成る。また琉球石灰岩の上には、島尻マージ（赤土）が堆積している場所もある。地質時代の区分では、島尻層群が後期中新世（1,040万年前～500万年前）末～更新世（258万年前～１万年前）初め、琉球層群が更新世初め～末となる。

琉球石灰岩は透水性が高く、そこに浸透した雨水は、不透水層である泥岩（クチャ）の面でとめられ、境界から湧き出すことになる。この湧水を利用した井泉・樋川は、現在も首里の各地に点在していて、住民に利用されている。また砂岩（ニービ）は、簡単に掘れるくらい軟らかいが、部分的に硬くなることがある。この硬い部分は「ニービの骨」と呼ばれ、石碑や礎石などに利用された。

新中城御殿の敷地においては、北西側の上之御殿が建っている周辺で琉球石灰岩の露頭がある。また平成４～６年度の発掘調査によると、敷地北辺では赤土と琉球石灰岩、東辺では赤土、南辺の正門西側ではニービ、正門東側ではクチャが確認されている。

３　地形・立地

中城御殿がある台地は、最高所の弁ケ岳（標高165.7ｍ）付近から西に延びている。台地の西側～北側には真嘉比川が流れており、その北には虎瀬山や末吉宮がある丘陵が北西に延びている。台地の南側～南西側には金城川（安里川の上流）が流れていて急斜面となっている。

この南西側急斜面のへりに近い標高120ｍ前後の場所に、首里城がある。また首里城から西に向かって狭まっていく台地上には、全長約500ｍの綾門大道が延びている。綾門大道の東端は守礼門で、西端は中山門（標高約90ｍ）となり、中山門の北東に旧中城御殿がある。

旧中城御殿が建てられた場所は、綾門大道に面する南側が高く、北に向かって緩やかに傾斜した地形であったので、造成によって平坦地を造ってから建物が建てられた。この旧中城御殿から北東に約500ｍの場所に、新中城御殿がある。

新中城御殿は首里城から約300ｍ北にあり、周りには屋敷が立ち並び、南には龍潭がある場所であった。新中城御殿内の地形について、発掘調査の成果を参考にみる。正門の地面の高さは約97.4ｍで、正門を入った先にある御番所付近でも約97.4ｍである。また敷地中央の大御庭で約97.4ｍ、敷地北側の女中部屋周辺では約97.8ｍである。このように建物が集まる中心部分はほぼ平坦であることがわかる。敷地の北西部は一段高く、上之御殿の周辺では101ｍ前後であるが、庭園部分ではさらに高くなる。

120°
130°
140°
40°
30°
20°
10°
モンゴル
MONGOLIA
ロシア連邦
RUSSIAN FEDERATION
ウラジオストク Vladivostok
朝鮮民主主義人民共和国
NORTH KOREA
北京 Beijing
平壌 Pyongyang
ソウル Seoul
大韓民国
SOUTH KOREA
東京 Tokyo
博多 Hakata
中華人民共和国
CHINA
日本
JAPAN
上海 Shang hai
東中国海
EAST CHINA SEA
那覇 Naha
台北 Taipei
沖縄
OKINAWA
太平洋
PACIFIC OCEAN
台湾
TAIWAN
香港 Hong Kong
南中国海
SOUTH CHINA SEA
フィリピン諸島
PHILIPPINES
マニラ Manila
0
500
1000km

図１　沖縄本島の位置

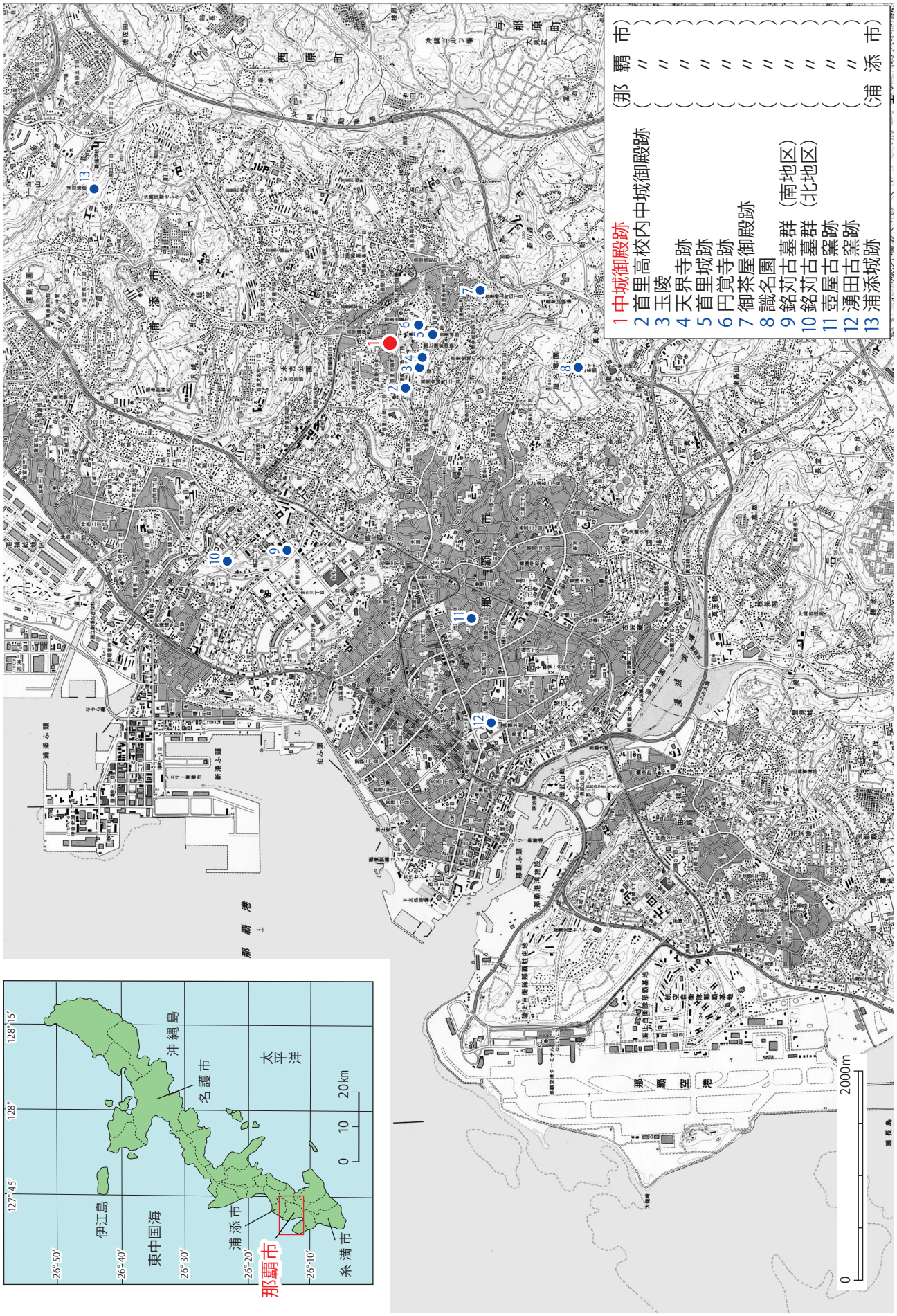


図2　中城御殿跡の位置及び周辺の遺跡

第２節　歴史的環境

１　「旧中城御殿」の時代

旧中城御殿は、尚豊王代（在位1621～1640年）に綾門大道北側、現在の首里高等学校敷地内に造られた。18世紀前半の様子を描いた「首里古地図」を見ると、綾門大道が大きく描かれていることからも、この道が重要視されていたことがわかる。綾門大道沿いには、旧中城御殿の他にも大美御殿、玉陵、安国寺、天界寺など重要な施設があった。

この頃、「新中城御殿」の場所には北谷御殿、本部按司、福地親雲上、阿嘉嶺筑登之の屋敷があった。「新中城御殿」と龍潭の間には、東西に走る大きな道がある。この道沿いには御殿や按司の屋敷が多いことから、城下町を構成する主要な道であったといえる。

創建から200年以上の時が過ぎた明治１（1868）年、尚泰王の王子である尚典の立太子に伴い、龍潭北側に位置する大村按司、摩文仁按司、川平親方、小禄親雲上らの宅地を合わせた敷地に移転することが取り決められた。この移転に際しては、久米村の風水見である与儀通事親雲上鄭良佐ら３人を中国福州に派遣して風水を学ばせ、移転地の選定が行われたとされる（『球陽』2206号　球陽研究会1974年）。移転工事は明治３（1870）年に着工、明治７（1874）年３月に竣工し、尚典は明治８（1875）年に移転した。

２　「新中城御殿」の時代

明治７年に竣工した新中城御殿の敷地は3,408坪（11,246㎡）で、建物の配置や高低差によって東西に分けることができる。東側は20棟以上の建物が立ち並ぶ約2,400坪の区域で、そのうち北半分は王族や女性のみが立ち入ることができた「御内原」、南半分は男性が執務を行う場所であった。これら東側区域は、高さ２ｍを超える石牆で囲われ、南側に正門、東側に副門、西側に脇門があった。

東側に対し、一段高い西側は約1,000坪の区域で、巨木が鬱蒼と茂る中心に上之御殿が建ち、周辺には自然の岩盤を利用した庭園や、大岩を取り囲むように石造の螺旋階段を設置した拝所のほか、御射場と称される弓場が存在した。東側との間には土留めの石積みが南北に走り、その一部に造られた石畳の階段を使って行き来した。

明治12（1879）年の廃藩置県により琉球王国が終わりを迎えると、首里城は熊本鎮台沖縄分遣隊により占拠される。これにより国王をはじめとする王族は退去を余儀なくされ、一時的に中城御殿に移り住むことになる。

３　戦中・戦後の時代

昭和14（1939）年に第二次世界大戦が始まり、昭和16（1941）年の太平洋戦争の段階となると、中城御殿の一部は陸軍少佐の宿舎として使用される。昭和20（1945）年４月、米軍の砲撃により建物は破壊されることになる。

終戦直後の跡地には、一時引揚者のバラックが建つが、その後、首里市役所、首里バス会社として使用され、のちに龍潭東側にあった博物館を移転するため、琉球政府により買い上げられる。そして昭和40（1965）年から翌年にかけ、米国民政府の援助により琉球政府立博物館新館が建設され、昭和47（1972）年の本土復帰に伴い沖縄県立博物館に改称される。

この本土復帰から20年を記念し、首里城正殿を含む周辺一帯が首里城公園として開園するにあたり、その一環として中城御殿の石牆を復元する計画が浮上した。復元に先立ち平成３（1991）年度、平成４（1992）年度、平成６（1994）年度の３次にわたり石牆部分の発掘調査が実施された。また平成４（1992）年に正面及び東側石牆の復元整備が行われた（沖縄県立博物館1993、1994、1995）。

その後、博物館は開館から40年が過ぎ、施設の老朽化と収蔵機能の低下に伴い新館への移転が計画され、平成18（2006）年３月に休館し、平成19（2007）年11月３日、那覇市おもろまちに沖縄県立博物館・美術館が開館する。博物館移転後は、平成19（2007）年度より発掘調査が行われている。

図３　18世紀前半に作成された「首里古地図」（沖縄県立図書館　所蔵）

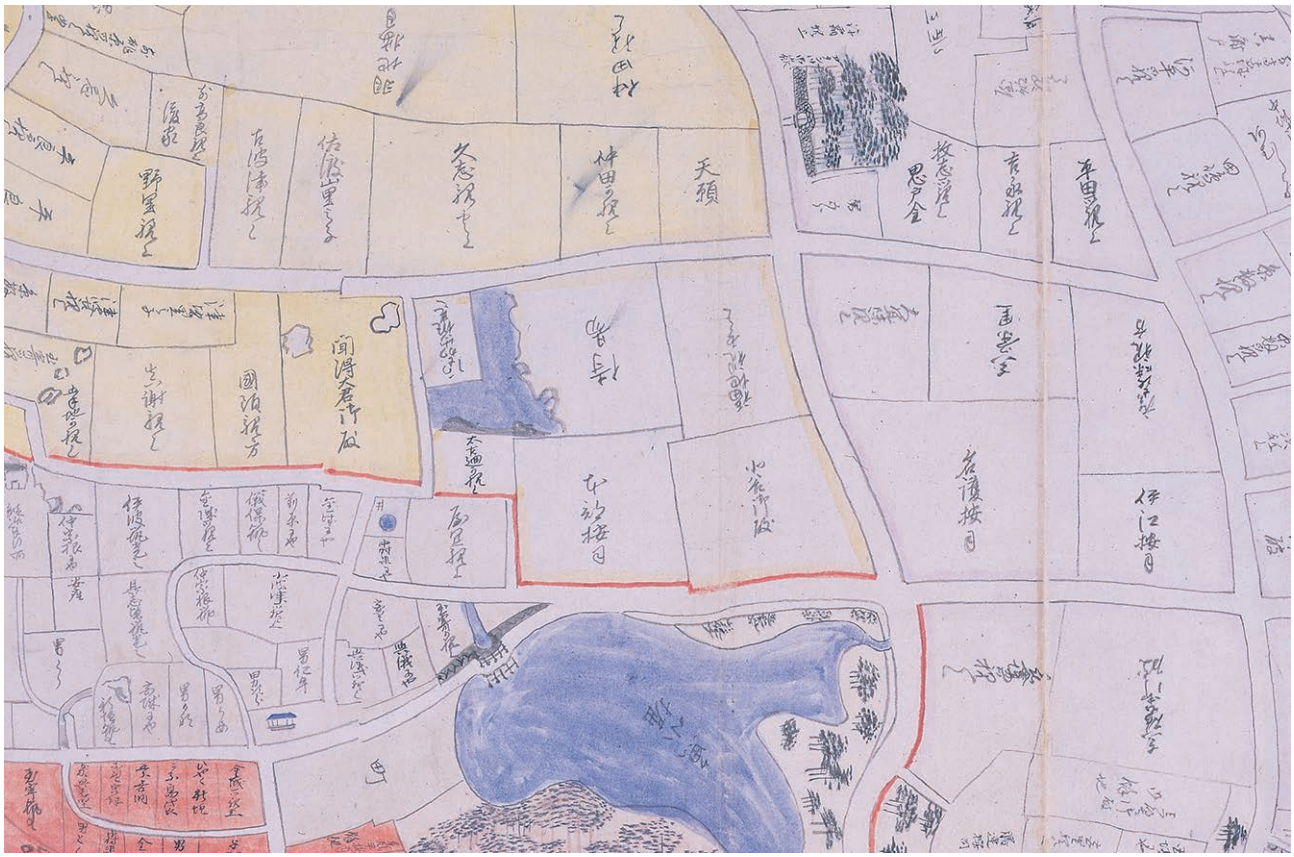


図４　「首里古地図」の部分拡大図（沖縄県立図書館　所蔵）

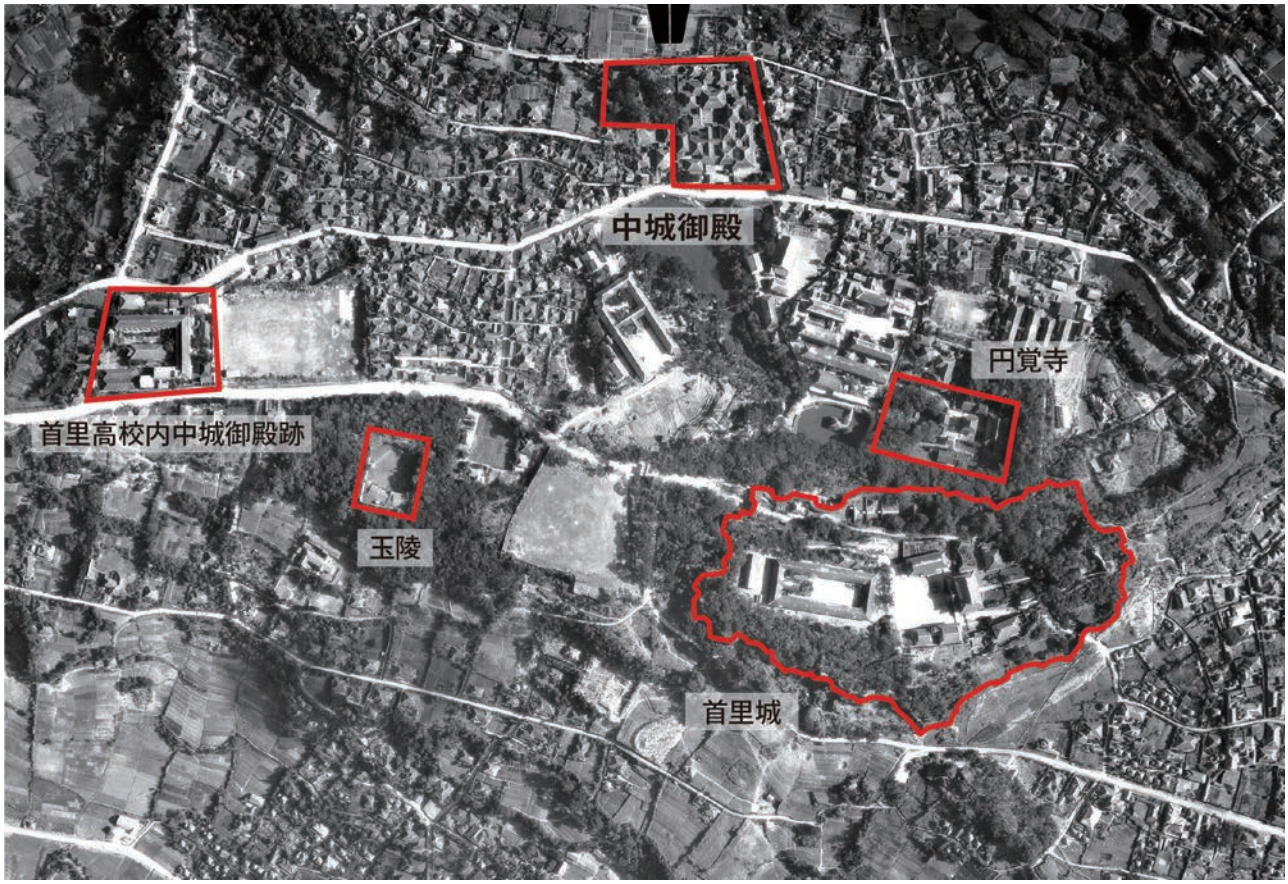


写真１　1945（昭和 20）年に撮影された航空写真（沖縄県教育庁文化財課資料編集班　所蔵）

写真２　中城御殿の航空写真（沖縄県教育庁文化財課資料編集班　所蔵）

図５　中城御殿屋根伏図（沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課　提供）

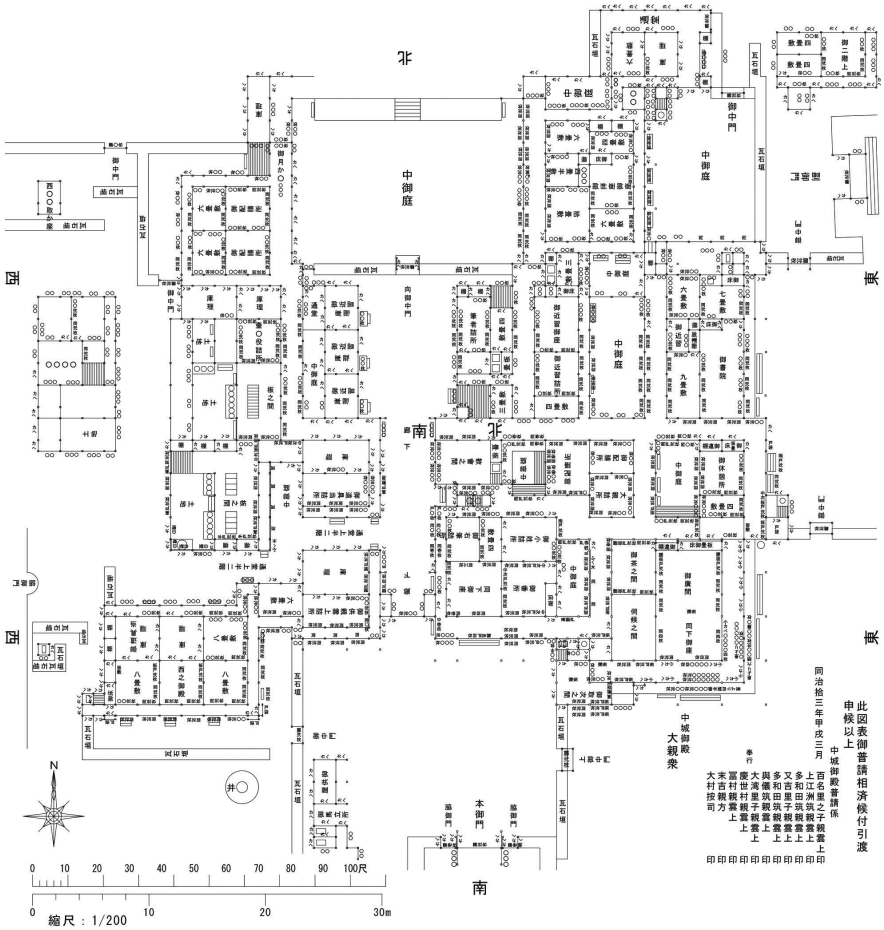


図６　中城御殿御普請板図翻刻図（沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課　提供）

写真３　正門（沖縄県立博物館・美術館　所蔵）

写真４　正門（沖縄県立芸術大学付属図書・芸術資料館　所蔵）

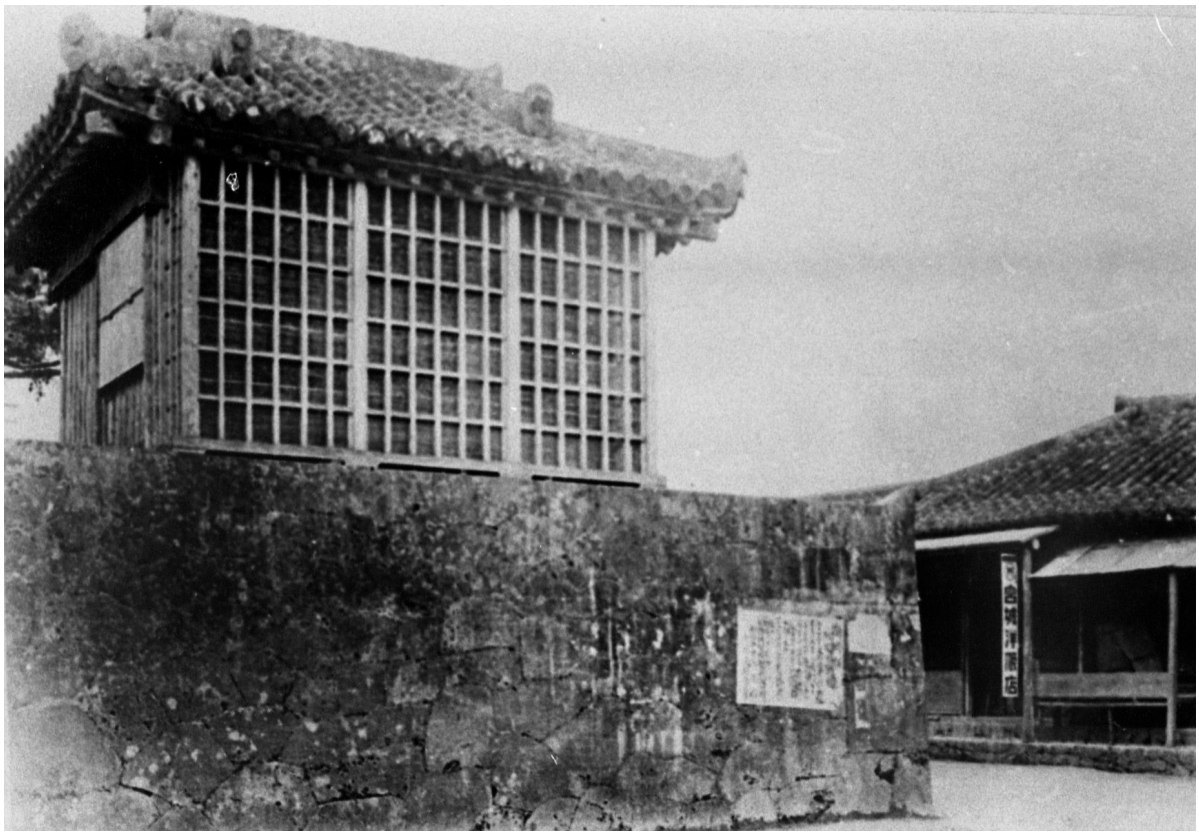


写真５　南東隅石牆と望楼（那覇市歴史博物館　所蔵）

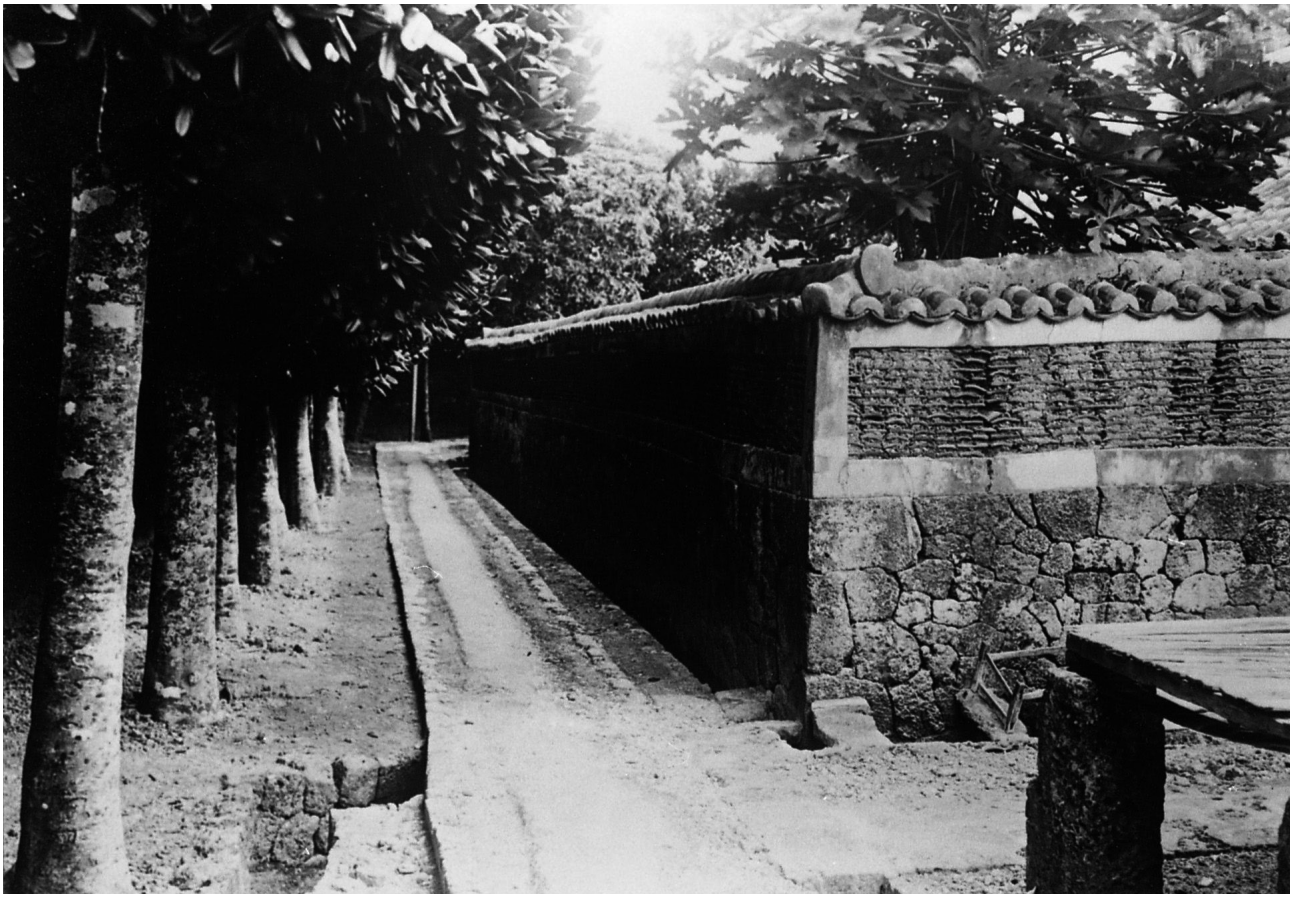


写真６　瓦塀（沖縄県立博物館・美術館　所蔵）

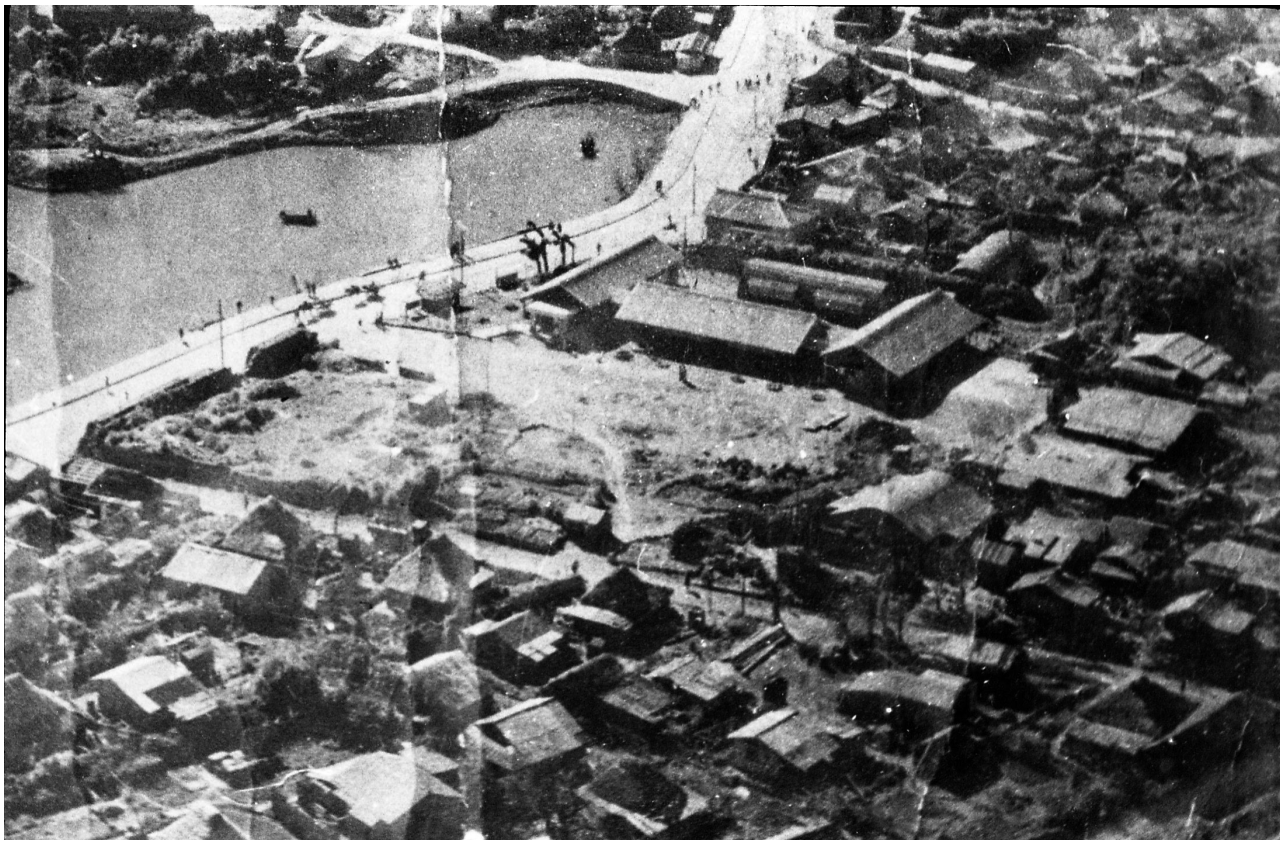


写真７　首里市役所と首里バス（沖縄県立博物館・美術館　所蔵）

写真８　新館開館式直前の風景（1966 年 11 月 3 日）（沖縄県立博物館・美術館　所蔵）

写真９　石牆の様子（沖縄県立博物館・美術館　所蔵）

写真 10　2006（平成 18）年３月に閉館した沖縄県立博物館

表１　中城御殿跡関連年表

西　暦	元　号	事　項
1621～40	尚豊王代	尚豊王代　中城御殿が現県立首里高校の地に建設される
1864年	尚泰17/元治1	尚典（のちの中城王子）が生まれる
1866年	尚泰19/慶応2	尚泰王が冊封をうける
1868年	尚泰21/明治1	尚典が尚泰王の世子となる
		久米村の与儀親雲上を福州に派遣して風水を学ばせ中城御殿の風水見を行う
1870年	尚泰23/明治3年	中城御殿が龍潭北側に新しく造営されることが決まる
1872年	尚泰25/明治5年	琉球藩設置
1874年	尚泰27/明治7年	中城御殿竣工
1875年	尚泰28/明治8年	中城王子が新築された屋敷に移る
1879年	尚泰32/明治12年	3月　廃藩置県　首里城を明け渡し尚泰王以下中城御殿に移る
		5月　尚泰・尚典ともに上京し東京麹町に屋敷を賜り華族となる
1880年頃	―	尚泰子女の安室御殿が離縁のため中城御殿へ移り住み最後の聞得大君として御殿の神事に奉仕する
1884年	明治17年	中城御殿ほか21ヶ所の敷地・建物など尚泰の私有財産と確定される
1901年	明治34年	尚泰逝去し玉陵に葬られる
1906年	明治39年	尚典帰郷し中城御殿で暮らす
1917年	大正6年	尚昌の長女　文子が生誕する
1920年	大正9年	尚典57 歳で没し玉陵に葬られる
		尚泰子息の尚時が妻静子とともに上之御殿に移り住む
		このころ尚文子が中城御殿を訪れる
1921年	大正10年	東宮殿下（のちの昭和天皇）来訪にあたり事前に大広間が洋間に改装される
		3月4日　東宮殿下が来県し中城御殿を訪問する
1922年	大正11年	尚泰夫人の松川御殿が中城御殿で逝去する
1923年	大正12年	鎌倉芳太郎が中城御殿にあった多くの美術品を調査する
1932年	昭和7年	尚典子女の今帰仁御殿が安室御殿（聞得大君）を継ぐため北之御殿に移る
1933年	昭和8年	尚文子が来訪し新御殿に滞在する
1934年	昭和9年	田邊泰が来訪する
		尚典夫人の野嵩御殿が逝去する
1936年	昭和11年	尚昌義姉の津軽照子が来訪する
1937年	昭和12年	尚文子が井伊家に嫁ぐ
1939年	昭和14年	日本民芸協会の柳宗悦・坂元万七らが来訪する
1944年	昭和19年	第32軍司令部参謀の長野英夫少佐が御殿の一室を宿泊所として使用する
		10月10日　米軍による空襲により旧那覇市の9割が焼失する（十・十空襲）
1945年	昭和20年	3月下旬　宝物を3つの大金庫へ移す
		4月6日頃　中城御殿が米軍の砲撃をあびて炎上する
		4月8日頃　火災をのがれた御後絵（肖像画）を御嶽岩のうしろに移す
		4月10日頃　日本軍が上之御殿や防空壕などを機関銃陣地にする
		戦後　一時引き揚げ者のバラックが建つ
1950年	昭和25年	1月　首里市役所が中城御殿跡に移転する
		7月　首里市営バスが営業所を同敷地内に設置する（1966年まで）
1954年	昭和29年	首里市が那覇市に合併され首里市役所が首里支所となる
1959年	昭和34年	井伊文子が中城御殿跡を訪れる
1965年	昭和40年	琉球政府が敷地を購入する
1966年	昭和41年	首里支所が当蔵に移転　首里バス（1951年に民営化）が当蔵へ移転する
		10月　米国の援助により新敷地に鉄筋コンクリート建の博物館新館を建設する
		龍潭池畔にあった「琉球政府立博物館」が移転し11月に開館する
1972年	昭和47年	5月　日本復帰にともない「沖縄県立博物館」と改称する
1991年	平成3年	沖縄県立博物館による石牆部分の第1次発掘調査が実施される
1992年	平成4年	沖縄県立博物館による石牆部分の第2次発掘調査が実施される
1994年	平成6年	沖縄県立博物館による石牆部分の第3次発掘調査が実施される
2004年	平成16年	井伊文子逝去し伊是名玉陵に葬られる
2006年	平成18年	3月　沖縄県立博物館が那覇市おもろまちの新館へ移転するため休館する
2007年	平成19年	沖縄県立埋蔵文化財センターによる遺構確認調査が開始される

第３章　調査経過

第１節　発掘調査（平成24年度）

平成24（2012）年度の発掘調査は、①敷地北側の遺構の確認（トレンチ１・２）、②石牆の根石確認（トレンチ５）、③石牆移設先での遺構確認（トレンチ３・４・６・７）を目的として開始した。

まず、８月下旬に現場事務所（ユニットハウス）の設置を行い、道具類を搬入して現場作業開始の準備を整えた。

９月３日からは発掘作業員を14人雇用し、敷地内の除草作業を開始しつつ（写真11）、トレンチ設定のための測量を行った。

９月18日からは重機による表土剥ぎを開始した（写真12）。表土除去後に不発弾探査目的の磁気探査業務を委託し、探査を実施した（写真13）。この結果、鉄筋や釘類のほか砲弾片が確認されたが、不発弾は確認されなかった。引き続き発掘作業員によって表土の清掃を行い、徐々に遺構や層の状況が明らかになってきた（写真14）。

遺構の記録作業は随時写真、実測により行い、雨天時には遺物洗浄作業を行った（写真15）。さらに調査期間中は高校生の職場体験の受け入れをおこなった（写真16）。また調査終盤の１月には高所作業車による空撮を行った。

調査後はブルーシートでトレンチを覆い、トレンチ１・２については2月26～28日に埋め戻しを行った（写真17）。トレンチ３・４・６・７については、石牆移設工事が予定されていたため埋め戻しは行わなかった。トレンチ５の大部分については、歩道として使用するために復旧する必要があったため、沖縄県南部土木事務所によって埋め戻しとアスファルト舗装が行われた（写真18）。

第２節　資料整理（平成26･27年度）

調査報告書の刊行に向け、平成26･27（2014･2015）年度に資料整理作業を実施した。出土遺物の洗浄は現場の雨天時にほぼ終了していたことから、遺物の整理作業は層序や遺構の関係を確認後、注記作業から開始した。その後、順次分類、接合、図化対象遺物の抜き出しを行い、実測図の作成、トレース、写真撮影を行った。さらに、遺構の土砂について、土壌分析ならびに放射性炭素年代測定分析を委託した。

これらの作業と並行して、遺構図・土層図等のトレース後、発掘現場で撮影した写真と併せてレイアウトを行い、原稿執筆ののち編集を行った。そして指名競争入札により落札した印刷業者と契約を行い、本調査報告書を刊行する手順をとった。

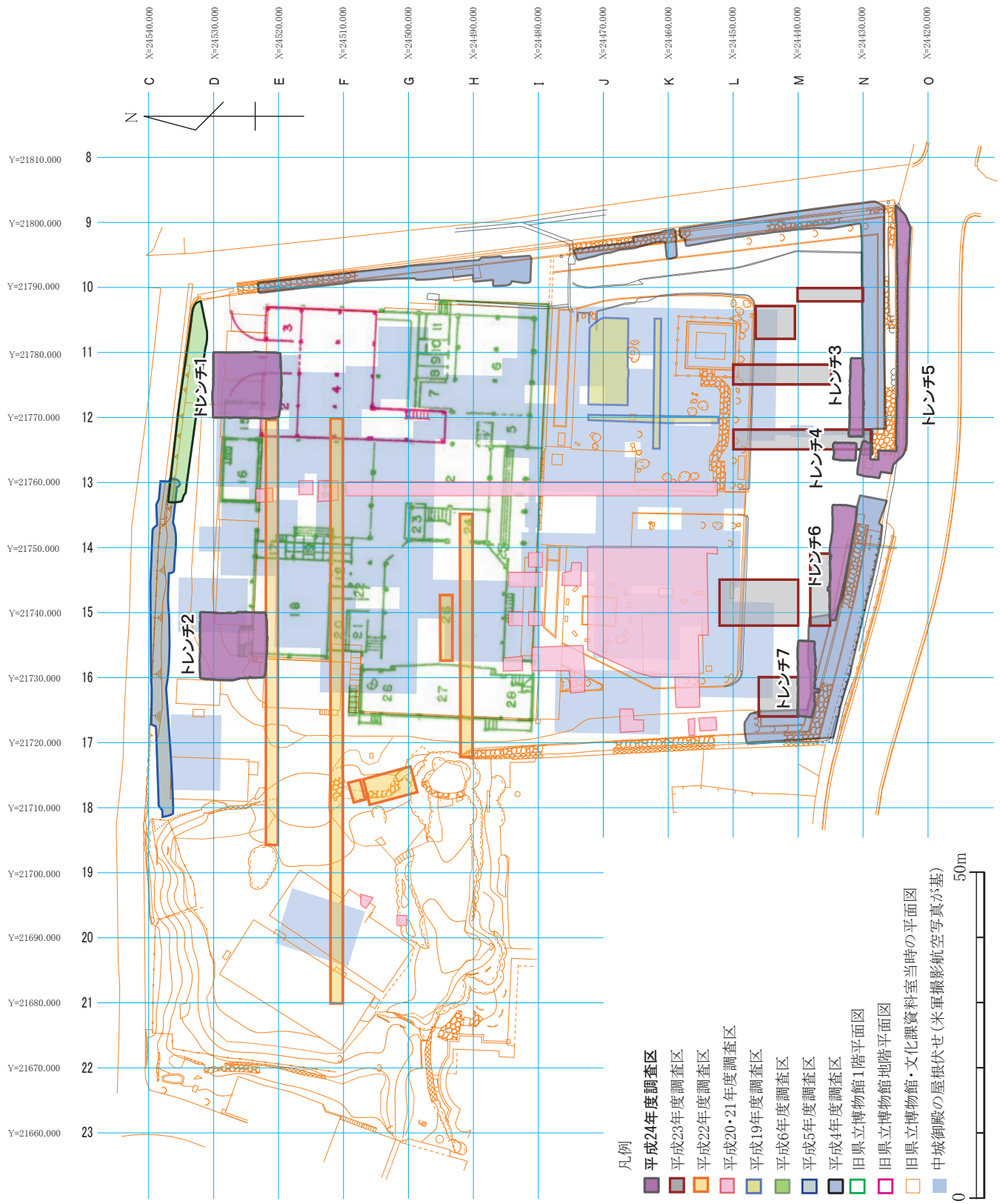


図７　グリッド・トレンチ設定図

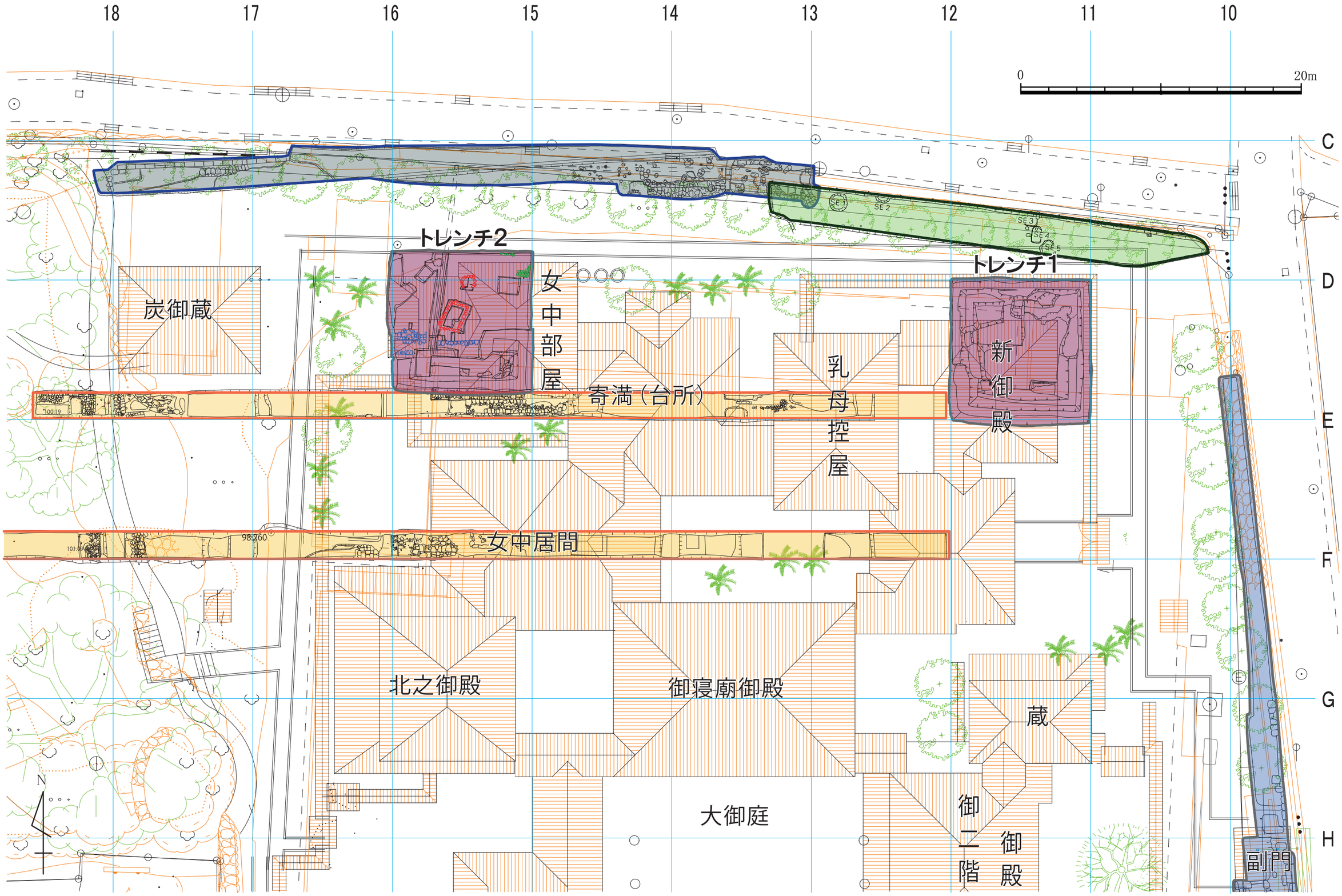


図８　トレンチ１、２配置図と建物配置図（縮尺 1/250）

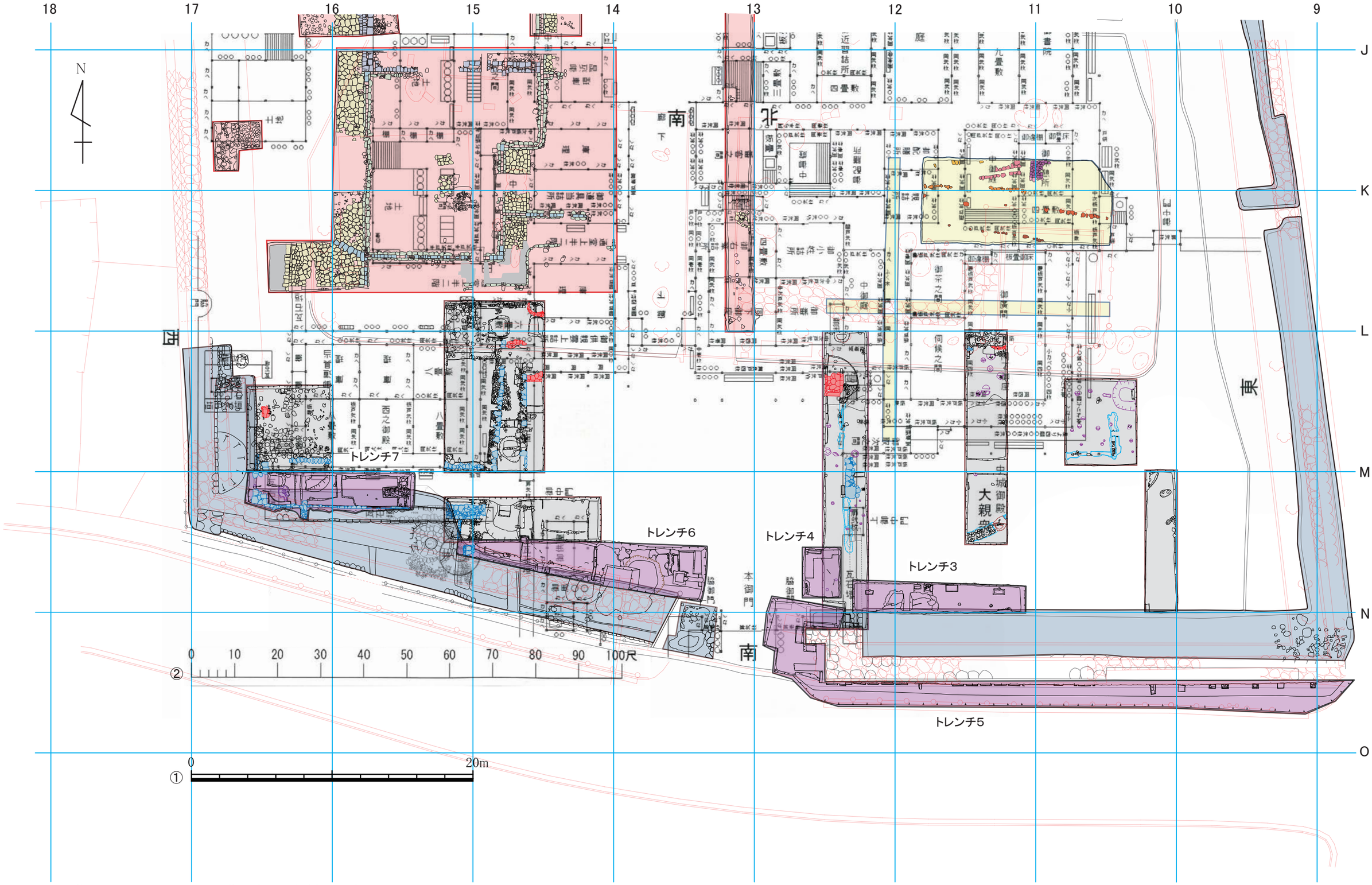


図９　①トレンチ３～７配置図と②中城御殿普請板図翻刻図

写真11　トレンチ１・２周辺の除草作業

写真12　トレンチ７　表土の除去作業

写真13　トレンチ４　磁気探査作業

写真14　トレンチ２　発掘作業風景

写真15　現場事務所内での遺物洗浄作業

写真16　高校生の職場体験

写真17　トレンチ１　埋め戻し作業

写真18　トレンチ５　埋め戻し後の状況

第４章　層序・遺構・遺物

第１節　層序

平成24年度の層序は、基本的に平成22年度の層序を踏襲している。

Ⅰ層

1945年の沖縄戦後から現代までの層で、調査区全体に広がっている。主に旧沖縄県立博物館に伴う造成層で、駐車場に敷かれたアスファルトやコーラル、庭の造成土、博物館解体時の客土から成る。コンクリート片や鉄筋、ガラス片、屋根瓦を多く含み、これらに陶磁器など近代以前の遺物が混じっている。

Ⅱ層

1945年の沖縄戦時の層で、Ⅲ層の直上に堆積する。平成24年度の調査ではⅠ層とまとめて取り上げを行った。

Ⅲ層

中城御殿の造成土や旧表土である。中城御殿の移転工事に着工した1870（明治３）年から、沖縄戦直前の1945（昭和20）年までの層である。トレンチ２、５～７で確認した。

発掘調査時にはⅢ層とⅣ層との区別は行わず、資料整理時に遺物を検討しながら区別を行った。

Ⅳ層

中城御殿造成より前の遺物包含層である。トレンチ２、５～７で確認した。Ⅲ層との区別は、主に資料整理時の遺物分析により行った。

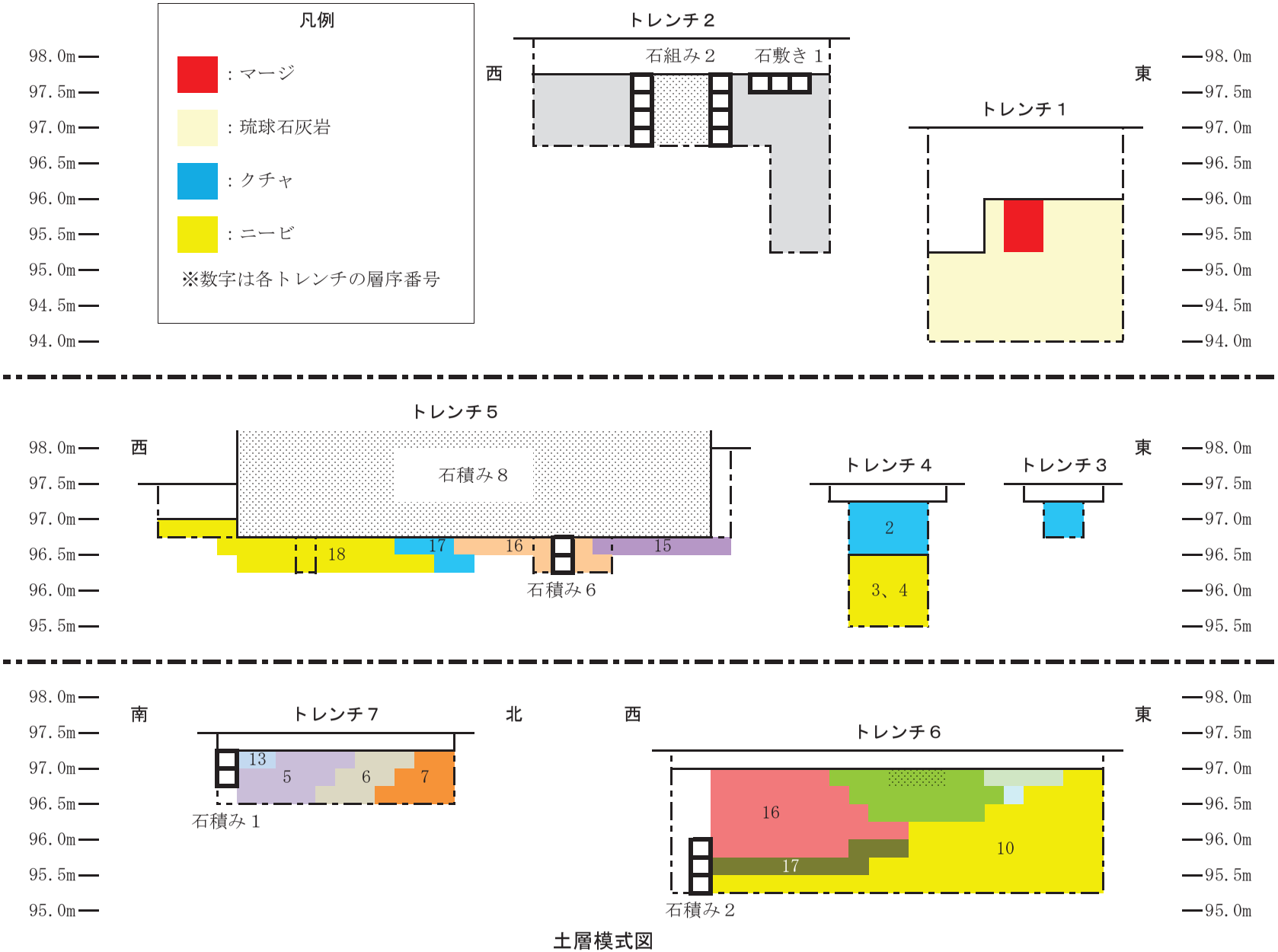
Ⅴ層

遺物を含まない基盤層である。各トレンチで確認できた基盤層は次のとおりである。

トレンチ１：赤土（マージ）、琉球石灰岩
トレンチ２：確認できなかった。
トレンチ３：泥岩（クチャ）
トレンチ４：泥岩（クチャ）、砂岩（ニービ）
トレンチ５：砂岩（ニービ）、泥岩（クチャ）
トレンチ６：砂岩（ニービ）
トレンチ７：確認できなかった。

表2　遺構一覧

	遺構名	トレンチ	構造、用途など	層序・時期
1	石敷き1	2	拳大の石を敷き詰めている。	Ⅲ層
2	石組み1	2	平面形はCの字形。本来は円形か。最下段のみ残る。	Ⅳ層
3	石組み2	2	平面形は平行四辺形。	Ⅳ層
4	石積み3	2	石積み4と対。	Ⅲ層
5	石積み4	2	石積み3と対。石積み5と対で、溝1を形成する。	Ⅲ層
6	石積み5	2	石積み4と対で、溝2を形成する。	Ⅲ層
7	溝1	2	石積み4、5に挟まれ、底面に石を敷いている。	Ⅲ層
8	土坑2	3	全形は不明。	Ⅰ層
9	土坑3	3	大形。出土遺物なし。	Ⅰ層か
10	ピット2	3	角材らしきものが残る。	不明
11	石積み6	5	石積み8に切られる。野面積み。土留めか。	Ⅳ層
12	石積み8	5	中城御殿を取り囲む石牆。布積み、あいかた積み。	Ⅲ、Ⅳ層
13	石列1	5	石3個からなる。	Ⅳ層
14	階段1	5	正門の両側に設けられた階段の最上段。	Ⅲ層
15	石敷き1	5	正門付近に敷かれた石。	Ⅲ層
16	石積み2	6	土留めの石積み。	Ⅳ層
17	土坑1	6	大形。遺物が多い。	Ⅰ層
18	溝2	6	石牆を復元した際に掘り込まれた溝。	Ⅰ層
19	石積み1	7	屋敷内を区画する石積み。平成3年度調査の「4号石垣」。平成23年度調査の「石積み1」。	Ⅲ層
20	石積み7	7	屋敷内を区画する石積み。平成3年度調査の「6号石垣」。平成23年度調査の「石積み9」。	Ⅲ層
21	瓦溜まり	7	赤瓦、石灰岩礫を集積している。土留めか。	Ⅲ層
22	ピット1	7	赤褐色粘土で形成される。	Ⅰ層か


凡例
：マージ
：琉球石灰岩
：クチャ
：ニービ
※数字は各トレンチの層序番号
98.0m
97.5m
97.0m
96.5m
96.0m
95.5m
95.0m
94.5m
94.0m
トレンチ２
西
東
石組み２
石敷き１
トレンチ１
トレンチ５
石積み８
18
17
16
15
石積み６
トレンチ４
2
3、4
トレンチ３
南
北
トレンチ７
13
5
6
7
石積み１
トレンチ６
16
17
10
石積み２

土層模式図

第２節　トレンチ１の遺構と遺物

１　はじめに

トレンチ１は新御殿があった場所である。写真６は、トレンチ１の北辺付近を西から撮影した写真で、新御殿を取り囲む瓦塀や道、福木並木などが写っている。

トレンチ１は撹乱が深く及んでいたので、段や法面をつけながら掘り下げていった。その過程で遺物が大量に出土した。

調査の結果、旧博物館の地下収蔵庫建設工事によって、中城御殿の遺構は残っていないことがわかった。

２　基盤層

トレンチ中央では石灰岩の岩盤を確認し、トレンチ北側の一部では赤褐色粘土のマージを確認した。

３　その他

トレンチ南側では、旧県立博物館地下収蔵庫の基礎とみられるコンクリートブロックを検出した。

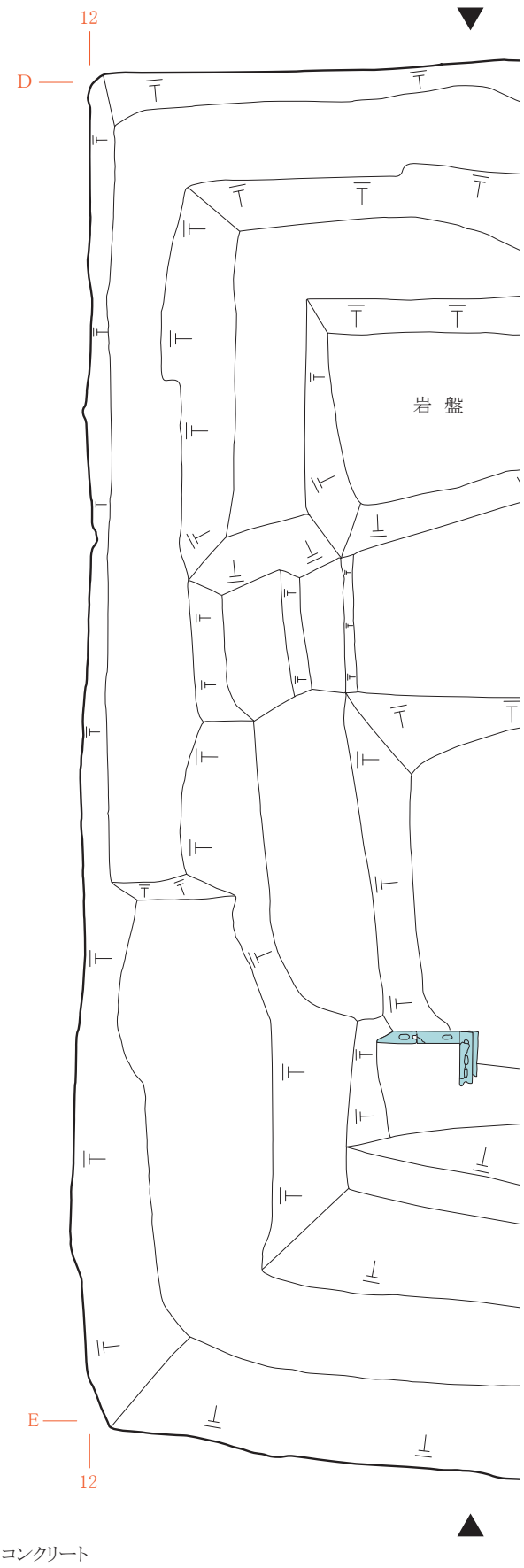


図 10 トレンチ 1　平面図

写真19　トレンチ１　作業風景（南から）

写真20　トレンチ１　検出状況（北東から）

写真21　トレンチ１　検出状況（東から）

写真22　トレンチ１、２（北東から）

第３節　トレンチ２の遺構と遺物

１　はじめに

トレンチ２は、かつて女中部屋があった場所である。南側は撹乱が深く及んでいたが、北側は比較的良く遺構が残っていた。

２　石敷き１

トレンチの北東隅で検出した。拳大の石を敷き詰めていて、トレンチ外にも続いている。

写真６にあるような道が石敷き１付近にもあったと考えられるが、道と石敷きの関係は不明である。

３　石組み１

平面形はCの字形で、本来は円形だった可能性もある。天端は残っておらず、最下段のみ検出した。

４　石組み２

平面形は平行四辺形で、天端は残っていない。20㎝前後の石を５段以上野面積みしていて、底の部分には石は敷かれていない。

石組み内からは大量の遺物が出土していて、大型の破片が目立った。

５　石積み３

石積み４と対を成す。天端は残っていない。東側は現代の工事で破壊されており、西側はトレンチ外に延びている。

６　石積み４

石積み３と対を成している。また石積み５とともに溝１を構成する。天端は残っていない。現代のパイプより東側の部分は、西側部分と少し軸がずれているので、別々の石積みの可能性もある。

７　石積み５

石積み４とともに溝１を構成する。東側は現代のパイプによって破壊されていて、西側はトレンチ外に延びている。パイプより東側には伸びていない。

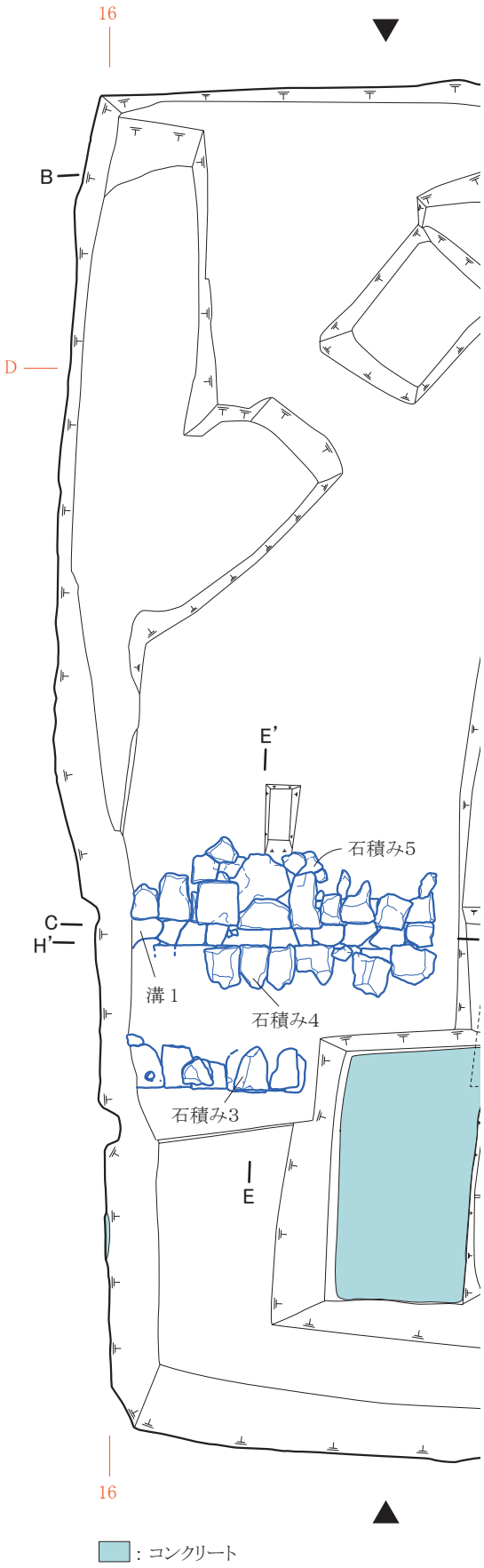


図 11 トレンチ2 平面図

８　溝１

側面は石積み４、５で構成されていて、底面には石を敷いている。東側は現代のパイプによって破壊されていて、西側はトレンチ外に延びている。パイプより東側には伸びていない。

９　その他

トレンチ２の南側については現代の撹乱を受けていたので、トレンチ２南東隅を利用して、下層確認のために掘り下げを行った。その結果、16層の下には20㎝前後の石灰岩礫を大量に含む灰褐色土層があり、さらに下は石灰岩礫だけの層となることがわかった。

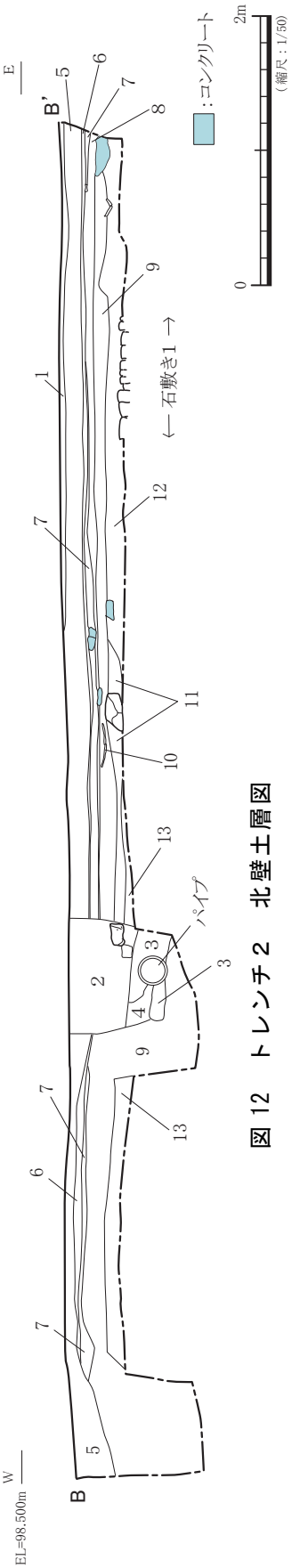


図 12　トレンチ２　北壁土層図

表３　トレンチ２　層序一覧

層序	色調		特徴
1	－		アスファルト。Ⅰ層。
2	褐色	10YR4/4	砂質。しまりはない。レンガ・赤瓦・コンクリートを含む。所々に褐灰色砂質土を層状に含む。下水パイプ埋設時の埋め土。Ⅰ層。
3	灰白色	2.5Y8/1	砂（海砂）。下水パイプ埋設時の埋め土。Ⅰ層。
4	にぶい黄褐色	10YR4/3	砂質。しまりは弱い。石灰岩礫を多く含む。下水パイプ埋設時の埋め土。Ⅰ層。
5	淡黄色	2.5Y8/4	石灰岩礫。砂利層を含む。Ⅰ層。
6	褐灰色	10YR4/1	砂質。しまりは強い。砂利を多く含む。Ⅰ層。
7	淡黄色	2.5Y8/4	石灰岩礫。Ⅰ層。
8	褐灰色	10YR4/1	砂質。しまりは強い。砂利を少し含む。Ⅰ層。
9	褐色	7.5YR4/3	やや砂質。しまりはやや強い。コンクリート・赤瓦を含む。Ⅰ層。
10	橙色	2.5YR7/8	砂質。しまりはやや弱い。きめ細かい。Ⅰ層。
11	灰色	5Y4/1	やや砂質。木炭を多量に含む。しまりはやや弱い。Ⅰ層。
12	暗褐色	10YR3/3	やや粘質。赤瓦・木炭・石灰岩礫・陶磁器を含む。しまりはやや強い。Ⅰ層。
13	灰色	5Y4/1	やや粘質。木炭・赤瓦・陶磁器・石灰岩礫を含む。しまりは強い。Ⅲ層。
14	褐灰色	10YR4/1	砂質。しまりはやや強い。コンクリートを含む。Ⅰ層。
15	白色		漆喰。Ⅰ層。
16	暗オリーブ色	5Y4/4	やや砂質。しまりはやや強い。石灰岩礫・陶磁器を含む。Ⅲ層かⅣ層。
17	黄灰色	2.5Y4/1	やや砂質。しまりは弱い。赤瓦・石灰岩礫を含む。「溝1Ⅲ層」で遺物取り上げ。
18	黄灰色	2.5Y4/1	やや砂質。しまりは弱い。しっくい・石灰岩礫を多く含む。「溝1Ⅲ層」で遺物取り上げ。
19	黒褐色	2.5Y3/2	やや砂質。しまりは弱い。炭・獣骨・貝・陶磁器などを含む。「溝1Ⅲ層黒褐色土」で遺物取り上げ。
20	暗灰黄色	2.5Y4/2	やや粘質。しまりはやや強い。石灰岩礫・赤瓦・木炭を含む。Ⅲ層かⅣ層。
21	暗灰黄色	2.5Y4/2	やや粘質。しまりは弱い。20㎝前後の石灰岩礫・赤瓦・木炭・サンゴ片を多く含む。「石組み2内Ⅲ層」で遺物取り上げ。Ⅳ層。
22	灰オリーブ色	5Y4/2	やや粘質。しまりは弱い。石灰岩礫・大形の荒焼片・木炭を含む。「石組み2内Ⅲ層」で遺物取り上げ。Ⅳ層。

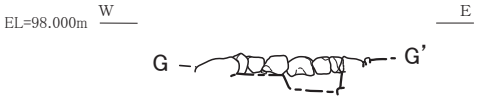


図 13　石組み１　立面図

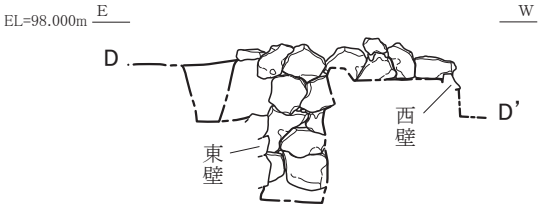


図 14　石組み２　南壁立面図

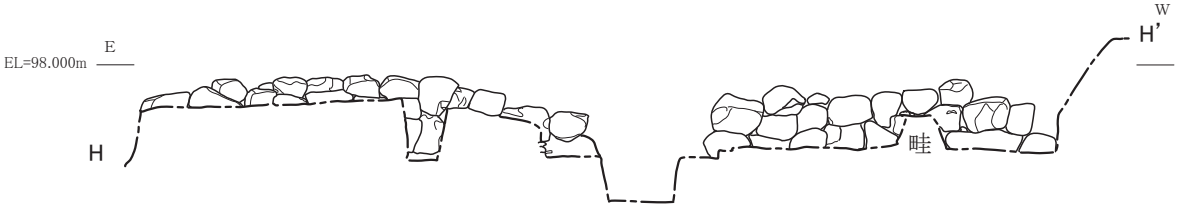


図 15　石積み４　南壁立面図

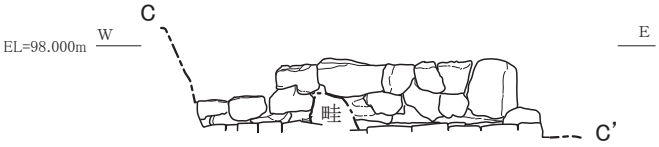


図 16　石積み５　立面図

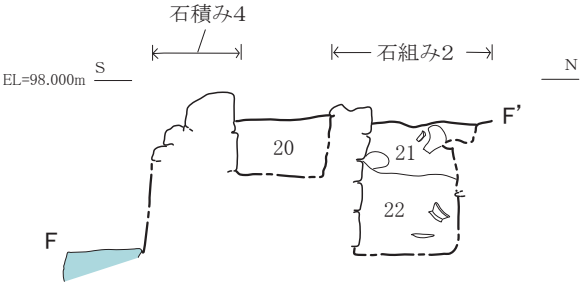


図 17　石組み２、石積み４　断面図

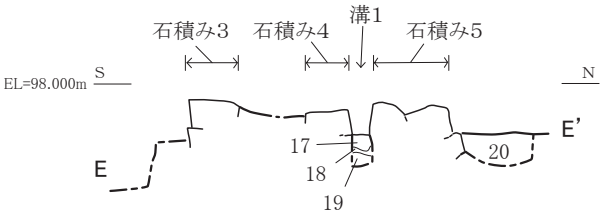


図 18　石積み３～５、溝１　断面図

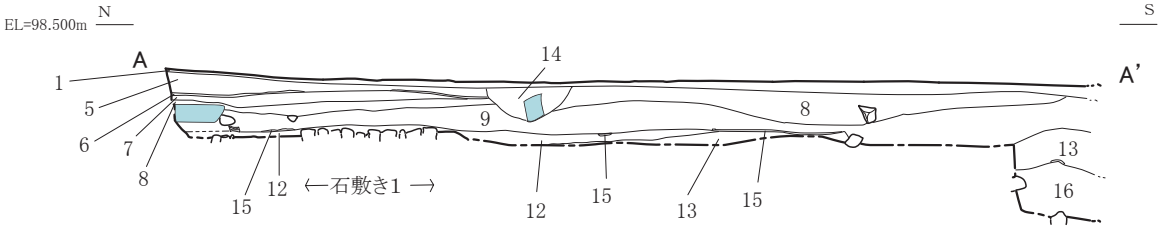


図 19　トレンチ２　東壁 土層図

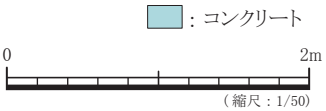


写真23　トレンチ２　作業風景（北西から）

写真24　トレンチ２　作業風景（南東から）

写真25　トレンチ２　作業風景（西から）

写真26　トレンチ２　作業風景（西から）

写真27　トレンチ２　作業風景（南東から）

写真28　トレンチ２　検出状況（南から）

写真29　トレンチ２　検出状況（西から）

写真30　石積み３～５、溝１（南から）

写真31　溝１作業状況（東から）

写真32　溝１(南西から)

写真33　石積み３～５、溝１（西から）

写真34　トレンチ２　石組み１　作業風景（北から）

写真35　トレンチ２　石組み１　検出状況（南から）

写真36　トレンチ２　石組み１　検出状況（東から）

写真37　トレンチ２　石組み２　検出状況（東から）

写真38　トレンチ２　石組み２内　土層（東から）

写真39　トレンチ２　石組み２南東隅　検出状況（北西から）

写真40　トレンチ２　石組み２、石積み４検出状況（北から）

写真41　トレンチ２　石敷き１　検出状況（南から）

写真42　サブトレンチ１　掘り下げ状況（南から）

写真43　サブトレンチ２　掘り下げ状況（南西から）

表４　トレンチ２出土遺物観察表１

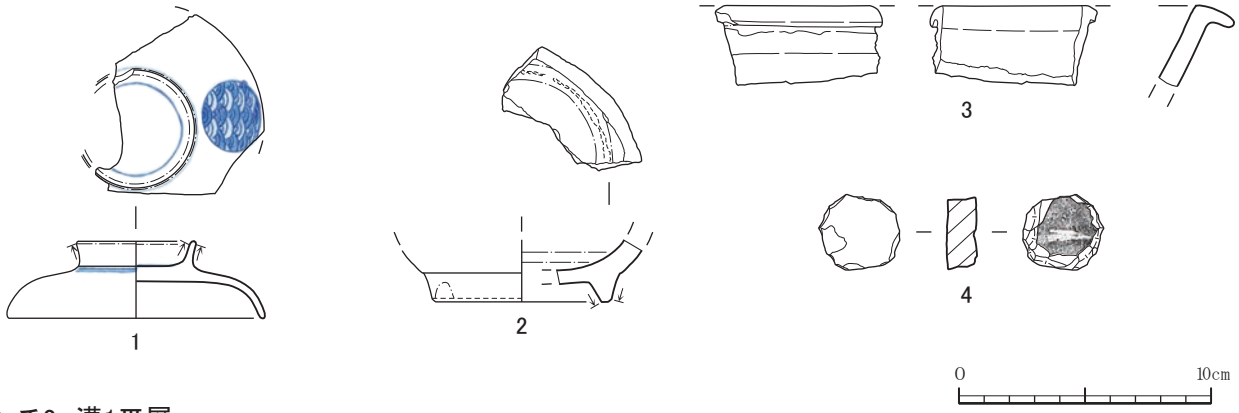
図番号 写真番号		種類	器種	部位	口径・長さ(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚さ(cm)	所　見	出土地
図 20 写真 44	1	本土産 染付	蓋	撮み～ 口縁部	10.3	－	3.05	撮みの上端は露胎。近代。撮み径 4.8cm。	トレンチ２ 溝１　Ⅲ層
	2	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	－	7.2	－	素地は浅黄色で砂質。畳付は露胎で、見込みは蛇の目釉剝ぎ。見込みに重ね焼きの跡。高台脇に指？の跡。	トレンチ２ 溝１　Ⅲ層
	3	沖縄産 施釉陶器	鉢	口縁部	－	－	－	素地は灰黄色で砂質。内面は白化粧。	トレンチ２ 溝１　Ⅲ層
	4	円盤状 製品	沖縄産 無釉陶器	－	－	－	－	壺か甕を転用。素地はにぶい赤褐色、黒色で、白色粒を少し含む。縦 3.0cm、横 3.2cm、厚さ 1.2cm。重量 17.56g。	トレンチ２ 溝１　Ⅲ層
	5	中国産 染付	皿	口縁部	－	－	－	外面に唐草文。内面に圏線。	トレンチ２ 石組み１　Ⅲ層
	6	中国産 色絵	碗	口縁部	－	－	－	貫入がある。	トレンチ２ 石組み１　Ⅲ層
	7	中国産 色絵	碗	口縁部	－	－	－		トレンチ２ 石組み１　Ⅲ層
	8	沖縄産 施釉陶器	急須	口縁部	5.3	－	－	素地は灰黄色で、黒色粒を少し含む。口縁部内面は露胎。貫入が多く、ピンホールが少しある。	トレンチ２ 石組み１　Ⅲ層
	9	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	－	6.1	－	素地は浅黄色と黄灰色。底部内外面は露胎。重ね焼きの跡がある。内面はロクロナデ。外面はロクロナデとロクロケズリ。	トレンチ２ 石組み１　Ⅲ層
	10	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	－	6.4	－	素地はにぶい黄橙色で砂質。高台内に墨書がある。	トレンチ２ 石組み１　Ⅲ層
	11	沖縄産 無釉陶器	擂り鉢	口縁部	－	－	－	素地は橙色で、黒色粒を少し含む。擂り目は５本／cmで、上端をナデ消している。	トレンチ２ 石組み１　Ⅲ層
	12	沖縄産 無釉陶器	擂り鉢	口縁部	－	－	－	素地はにぶい赤褐色で、赤色粒を少し含む。擂り目は５本／cmで、上端をナデ消している。	トレンチ２ 石組み１　Ⅲ層
	13	陶質土器	鍋	口縁部	19.8	－	－	素地は橙色で、雲母を多く、白色粒、赤色粒を少し含む。外面にススが付着。	トレンチ２　Ⅲ層＋ トレンチ２　石組１ Ⅲ層
図 21 写真 45	14	中国産 染付	皿	底部	－	3.6	－	畳付は露胎。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	15	中国産 染付	小碗	底部	－	4.0	－	畳付は露胎。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	16	中国産 色絵	碗	口縁部	8.0	－	－		トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	17	中国産 陶器	壺	口縁部	18.4	－	－	素地はオリーブ褐色、明赤褐色で全面露胎。外面に格子状のタタキ目。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	18	本土産 陶器	皿	口縁～ 底部	12.8	7.4	3.15	素地は赤褐色。内外面に明黄褐色の付着物。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	19	沖縄産 施釉陶器	碗	底部	－	7.0	－	素地は明黄褐色で砂質。内外面とも白化粧で、畳付は露胎。見込みは蛇の目釉剝ぎ。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	20	沖縄産 施釉陶器	小碗	口縁～ 底部	8.3	3.8	4.0	素地はにぶい黄橙色で、やや砂質。内面は蛇の目釉剝ぎで、重ね焼きの跡がある。畳付は露胎。外面は 16 面の面取り。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	21	沖縄産 施釉陶器	皿	底部	－	3.8	－	畳付は露胎。貫入が多い。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	22	沖縄産 施釉陶器	鉢	底部	－	10.9	－	素地は明黄褐色。高台外面は露胎で、見込みは蛇の目状に露胎。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	23	沖縄産 施釉陶器	鉢	口縁部	25.4	－	－	素地は橙色、黄灰色で、見込みは露胎。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	24	沖縄産 無釉陶器	鉢	口縁部	－	－	－	素地は暗赤褐色で、白色粒、橙色粒を少し含む。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	25	沖縄産 無釉陶器	鉢	口縁部	－	－	－	素地は赤褐色で、白色粒、赤色粒をわずかに含む。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層

表５　トレンチ２出土遺物観察表２

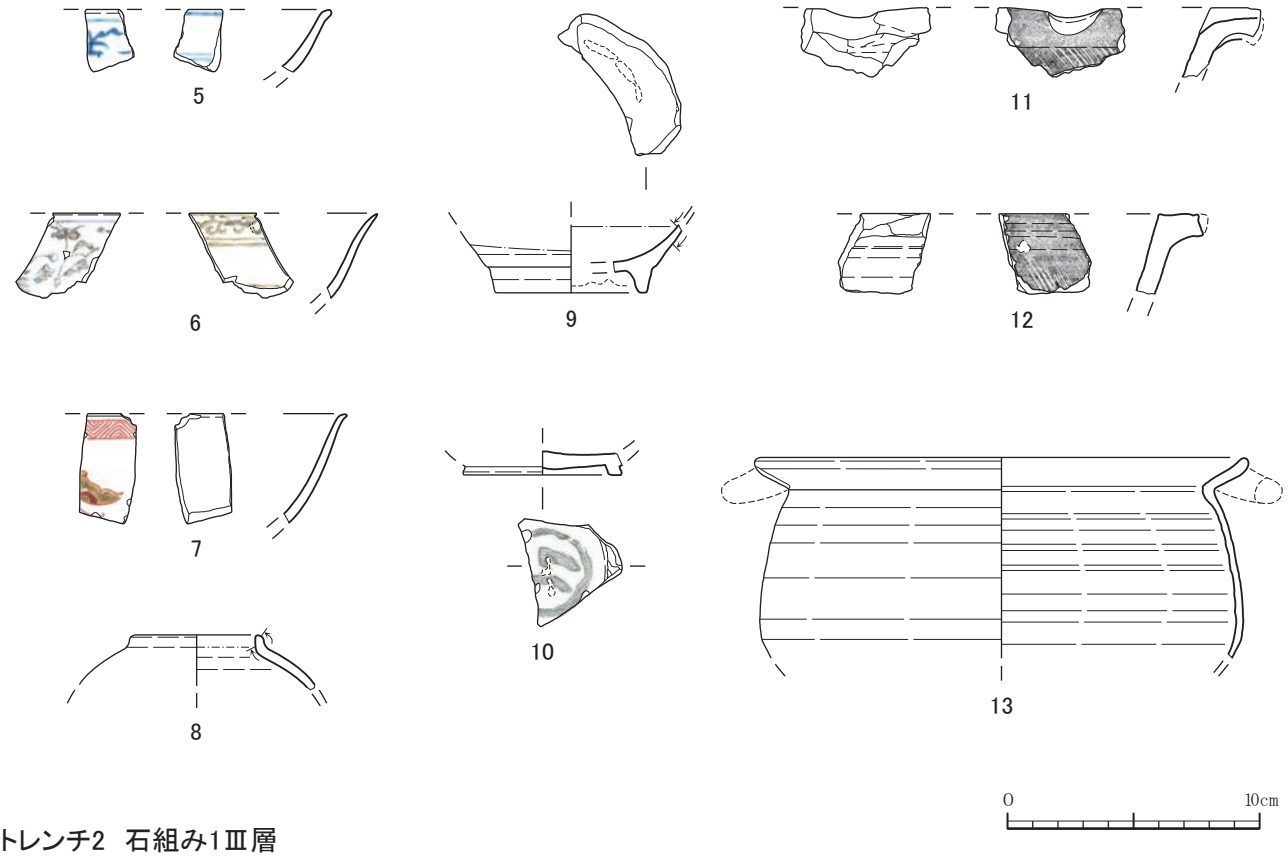
図番号 写真番号		種類	器種	部位	口径・長さ(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚さ(cm)	所　見	出土地
図 22 写真 46	26	沖縄産 無釉陶器	鉢	口縁部	33.6	－	－	素地は橙色で、黒色粒、赤色粒を少し含む。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	27	沖縄産 無釉陶器	擂り鉢	口縁部	34.2	－	－	素地は橙色で、白色粒、黒色粒を少し含む。擂り目は７本／cmで、上端はナデ消し。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	28	瓦質土器	火炉か	－	－	－	－	素地は橙色、灰黄色で、橙色粒を多く含む。内外面ともナデ、ケズリ。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	29	円盤状 製品	瓦	－	－	－	－	明朝系平瓦を転用。素地は橙色。凹面は布目、凸面はナデ。縦 7.2cm、横 6.9cm、厚さ 1.4cm。重量 72.6g。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
図 23 写真 47	30	瓦	明朝系 丸瓦 赤色	－	－	－	－	素地は橙色、灰黄色で、白色粒、赤色粒、橙色粒を少し含む。凸面はナデ、凹面は布目、ケズリ。凸面に漆喰が付着。玉縁部 4.45cm。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	31	瓦	明朝系 平瓦 赤色	－	－	－	－	素地は橙色で、赤色粒を少し含む。凹面は布目、凸面はナデ。漆喰が付着している。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	32	瓦	明朝系 平瓦 赤色	－	－	－	－	素地は橙色で、赤色粒を少し含む。凹面は布目、凸面はナデ。漆喰が付着している。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
	33	石製品	器種不明	－	－	－	－	深さ 5mm、幅 5mm の溝状工具痕あり。被熱のためか、断面の色は内側から浅黄色→黄灰色→明オリーブ灰色の三色に分かれている。重量 536.30g。	トレンチ２ 石組み２　Ⅲ層
図 24 写真 48	34	中国産 白磁	小碗	口縁部	8.4	－	－		トレンチ２ Ⅲ層
	35	中国産 白磁	小碗	底部	－	3.4	－	高台内は一部露胎。型成形。徳化窯系。	トレンチ２ Ⅲ層
	36	中国産 白磁	水滴	口縁部	－	－	－	内面は露胎。外面に雷文帯。	トレンチ２ Ⅲ層
	37	中国産 染付	碗	口縁部	－	－	－	貫入が多い。	トレンチ２ Ⅲ層
	38	中国産 染付	碗	口縁部	－	－	－		トレンチ２ Ⅲ層
	39	中国産 染付	小杯	口縁～ 底部	3.0	1.5	1.8	畳付は露胎。	トレンチ２ Ⅲ層
	40	中国産 染付	碗	底部	－	7.8	－	見込みは蛇の目状に釉を掛け分ける。畳付は露胎。見込みに重ね焼きの跡。貫入、ピンホールが少しある。	トレンチ２ Ⅲ層
	41	中国産 色絵	碗	口縁部	－	－	－	ピンホールが少しある。赤絵（上絵）。	トレンチ２ Ⅲ層
	42	中国産 色絵	小碗	口縁部	9.0	－	－	口唇部内面は露胎。	トレンチ２ Ⅲ層
	43	中国産 瑠璃釉	小杯	口縁部	－	－	－	外面の釉下に所々キズあり。	トレンチ２ Ⅲ層
	44	中国産 瑠璃釉	小碗	口縁部	－	－	－	ピンホールが少しある。	トレンチ２ Ⅲ層
	45	中国産 褐釉陶器	壺	口縁部	18.2	－	－	口縁部内面は露胎。縦耳が付く。外面に文様有り。素地は浅黄色。	トレンチ２ Ⅲ層
	46	中国産 無釉陶器	蓋	胴部	－	－	－	素地は暗赤灰色。外面に貼付文有り。胴径推定 6.4cm。宜興窯系。	トレンチ２ Ⅲ層
	47	本土産 染付	碗	底部	－	3.85	－	畳付は露胎。ピンホールが少しある。	トレンチ２ Ⅲ層
	48	本土産 染付	蓋	口縁部	－	－	－	底部内外面は露胎。貫入が多い。外面に文様。	トレンチ２ Ⅲ層
	49	本土産 色絵	筒物	口縁部	－	－	－	口縁部内面は露胎。外面に緑色、黄色の文様。素地は明黄褐色。貫入が多い。	トレンチ２ Ⅲ層
	50	本土産 陶器	壺	口縁部	－	－	－	素地は灰黄色で砂質。半透明粒を多く、黒色粒を少し含む。内外面ともタタキ（ハケメか）のちナデ。口縁部平坦面は露胎。薩摩産。	トレンチ２ Ⅲ層
	51	本土産 陶器	壺	底部	－	17.3	－	素地は赤褐色から橙色で、白色粒と黒色粒を少し含む。内外面ともタタキ（ハケメか）のちナデ。薩摩産。	トレンチ２ Ⅲ層

表６　トレンチ２出土遺物観察表３

図番号 写真番号		種類	器種	部位	口径・長さ(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚さ(cm)	所　見	出土地
図 25 写真 49	52	沖縄産 施釉陶器	碗	口縁～ 底部	12.4	5.8	6.0 ～ 6.3	素地は灰白色。底部外面は露胎。見込みは蛇の目状に掛け分ける。見込みに重ね焼きの跡。畳付にアルミナか。ピンホールが少しある。ロクロは左回り。	トレンチ２ Ⅲ層
	53	沖縄産 施釉陶器	碗	口縁～ 底部	13.05	6.3	6.4	素地は橙色。内外面とも白化粧で、透明釉は風化のためほとんど残っていない。畳付は露胎でアルミナが付着。	トレンチ２　Ⅰ層＋ トレンチ２　Ⅲ層
	54	沖縄産 施釉陶器	小碗	口縁～ 底部	8.3	4.0	4.50	見込みは蛇の目釉剝ぎ。畳付は露胎でアルミナ。見込みに重ね焼きの跡。内面は白化粧、外面は鉄釉。内面に貫入が多い。外面にピンホールが少しある。	トレンチ２ Ⅲ層
	55	沖縄産 施釉陶器	瓶	胴部	－	－	－	素地は灰黄色で砂質。内外面とも白化粧で、同部内面は露胎。貫入、ピンホールが少しある。	トレンチ２　Ⅰ層＋ トレンチ２　Ⅲ層
	56	沖縄産 施釉陶器	器種不明	胴部	－	－	－	素地は浅黄色で砂質。内外面とも白化粧で、筒部内面は露胎。中央に直径４㎜の孔。貫入が多い。	トレンチ２ Ⅲ層
	57	沖縄産 施釉陶器	大皿	口縁～ 底部	21.9	10.4	6.6 ～ 7.2	素地は橙色。見込みは蛇の目状に釉を掛ける。底部外面は露胎。畳付にはアルミナ。	トレンチ２　Ⅰ層＋ トレンチ２　Ⅲ層
	58	沖縄産 施釉陶器	急須	口縁～ 底部	12.8	11.3	16.8 ～ 16.9	素地は浅黄色で砂質。見込みと口縁部は露胎。畳付に圧痕。見込みに窯道具？の跡。底部外面には、釉が付着した手でつかんだ指の跡。	トレンチ２　Ⅰ層＋ トレンチ２　Ⅲ層
	59	沖縄産 施釉陶器	急須	底部	－	10.6	－	素地は灰白色で、黒色粒を少し含む。見込み、底部外面は露胎。	トレンチ２　Ⅰ層＋ トレンチ２　Ⅲ層
図 26 写真 50	60	沖縄産 無釉陶器	鉢	口縁部	38.0	－	－	素地はにぶい赤褐色で、赤色粒と橙色粒を少し含む。口縁部平坦面に圏線。内面に白い付着物有り。	トレンチ２ Ⅲ層
	61	沖縄産 無釉陶器	水鉢	口縁部	－	－	－	素地は橙色。外面に波文、圏線。	トレンチ２ Ⅲ層
	62	陶質土器	火炉	口縁～ 底部	16.0	8.7	10.7	内面はロクロナデ。外面はロクロナデとロクロケズリ。素地は橙色で、白色粒、赤色粒、雲母を少し含む。	トレンチ２ Ⅲ層
	63	円盤状 製品	染付	－	2.0	2.0	0.4	碗の胴部を転用か。重量 2.4g。	トレンチ２ Ⅲ層
	64	円盤状 製品	白磁	－	4.2	4.1	1.3	碗の底部を転用。畳付は平坦ではない。重量 19.27g。	トレンチ２ Ⅲ層
	65	円盤状 製品	陶質土器	－	4.5	4.8	1.3	底部を転用。素地は橙色で、白色粒と雲母を少し含む。畳付に糸切り痕か。重量 27.8g。	トレンチ２ Ⅲ層
	66	煙管	沖縄産 施釉陶器	雁首	－	－	－	素地はにぶい橙色で、黒色粒を少し含む。羅宇火皿径 1.6cm、羅宇接続部の口縁部は露胎。径 1.5cm、雁首長 2.9cm。重量 5.78g。	トレンチ２ Ⅲ層
	67	玉	－	－	－	－	－	水色。筋がある。最大径 0.4cm、孔径 0.1cm、高さ 0.38cm。重量 0.06g。	トレンチ２ Ⅲ層
	68	玉	－	－	－	－	－	黄色。気泡は少なく、筋はない。最大径 1.4cm、孔径 0.4cm、高さ 0.8cm。重量 2.08g。	トレンチ２ Ⅲ層
	69	瓦	明朝系 軒平瓦 (赤色)	－	－	－	－	素地は橙色。凹面は布目のちナデ。凸面はナデ。	トレンチ２ Ⅲ層
	70	瓦	明朝系 丸瓦 (灰色)	－	－	－	－	素地は灰白色と灰色で、赤色粒を少し含む。凸面はナデ。凹面は布目のちケズリ。玉縁にヘラ記号。	トレンチ２ Ⅲ層
	71	瓦	明朝系 丸瓦 (灰色)	－	－	－	－	素地はにぶい褐色と褐色。凸面はナデ。凹面は布目。筒部と玉縁の境にヘラ記号か。	トレンチ２ Ⅲ層

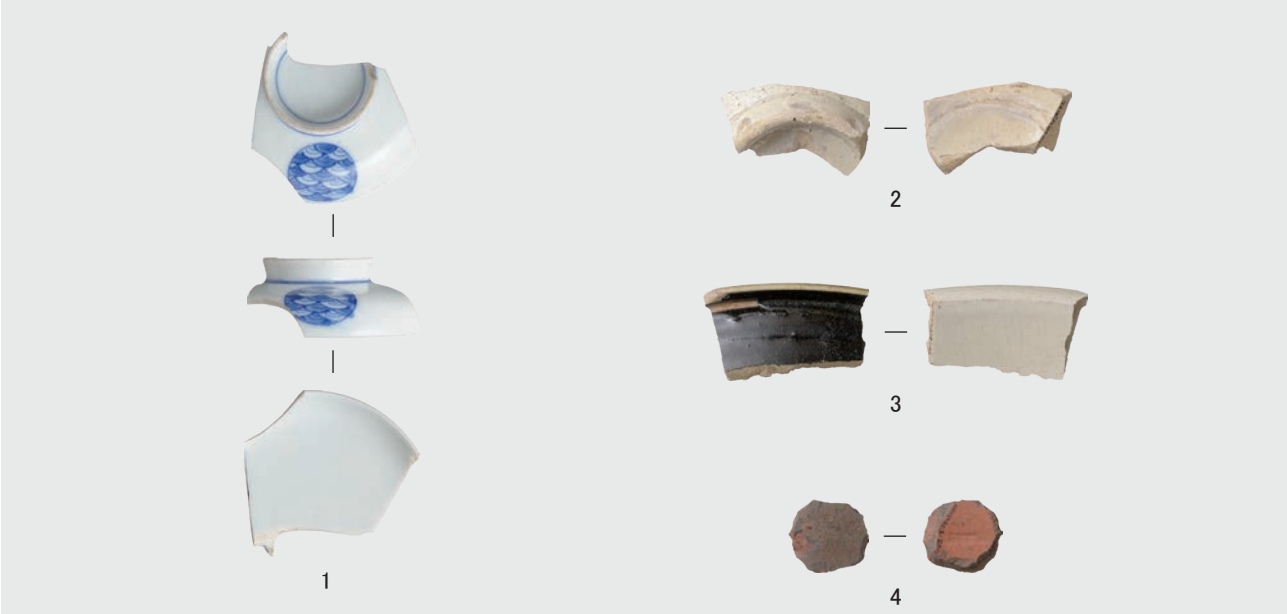


トレンチ2　溝1Ⅲ層



トレンチ2　石組み1Ⅲ層

図 20　トレンチ２　溝１Ⅲ層、石組み１Ⅲ層　出土遺物



トレンチ2　溝1　Ⅲ層

トレンチ2　石組み1　Ⅲ層

写真 44　トレンチ２　溝１Ⅲ層、石組み１Ⅲ層　出土遺物

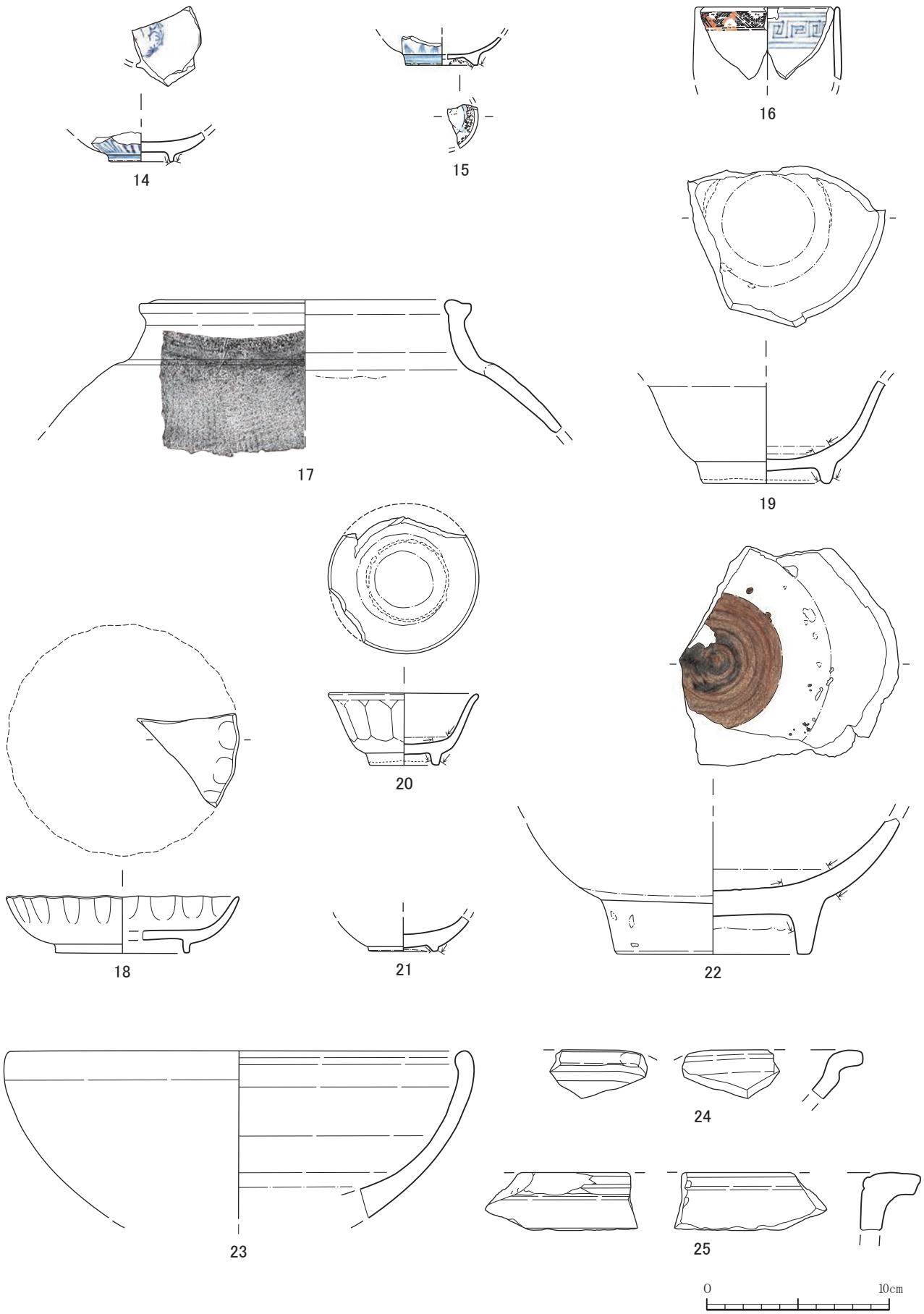


図 21　トレンチ２　石組み２Ⅲ層　　出土遺物１

写真 45　トレンチ２　石組み２Ⅲ層　出土遺物１

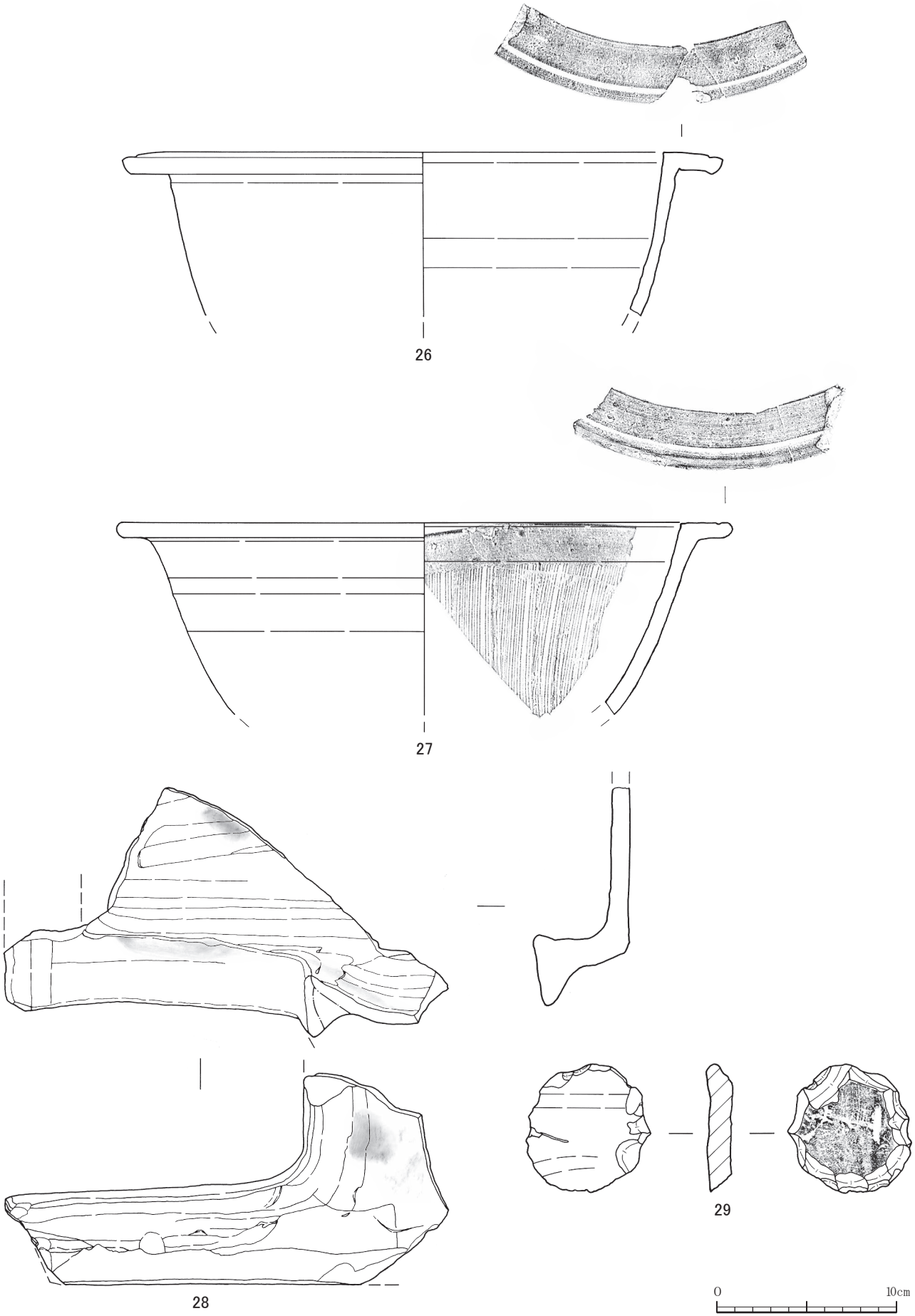


図 22　トレンチ２　石組み２Ⅲ層　出土遺物２

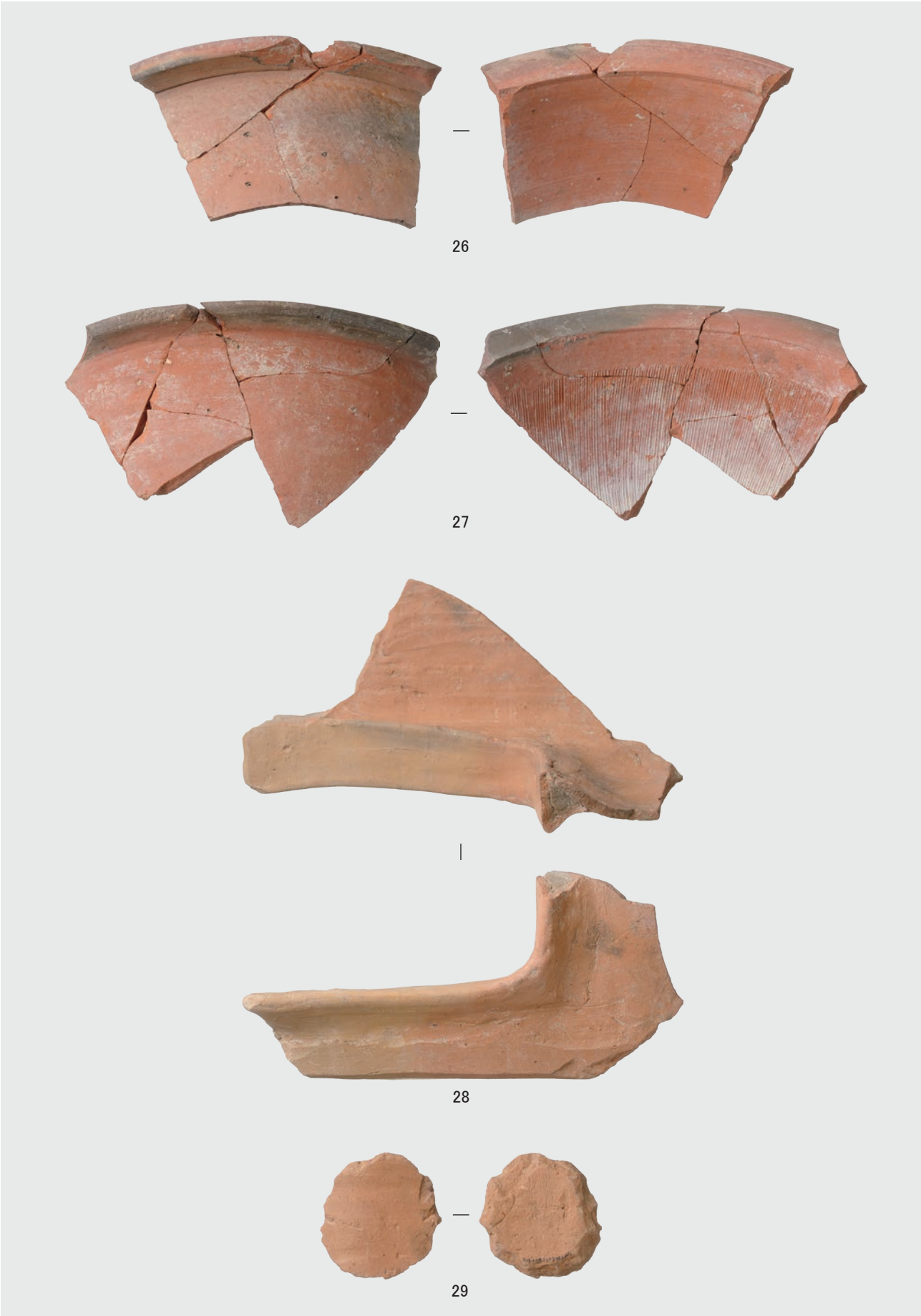


写真 46　トレンチ２　石組み２Ⅲ層　出土遺物２

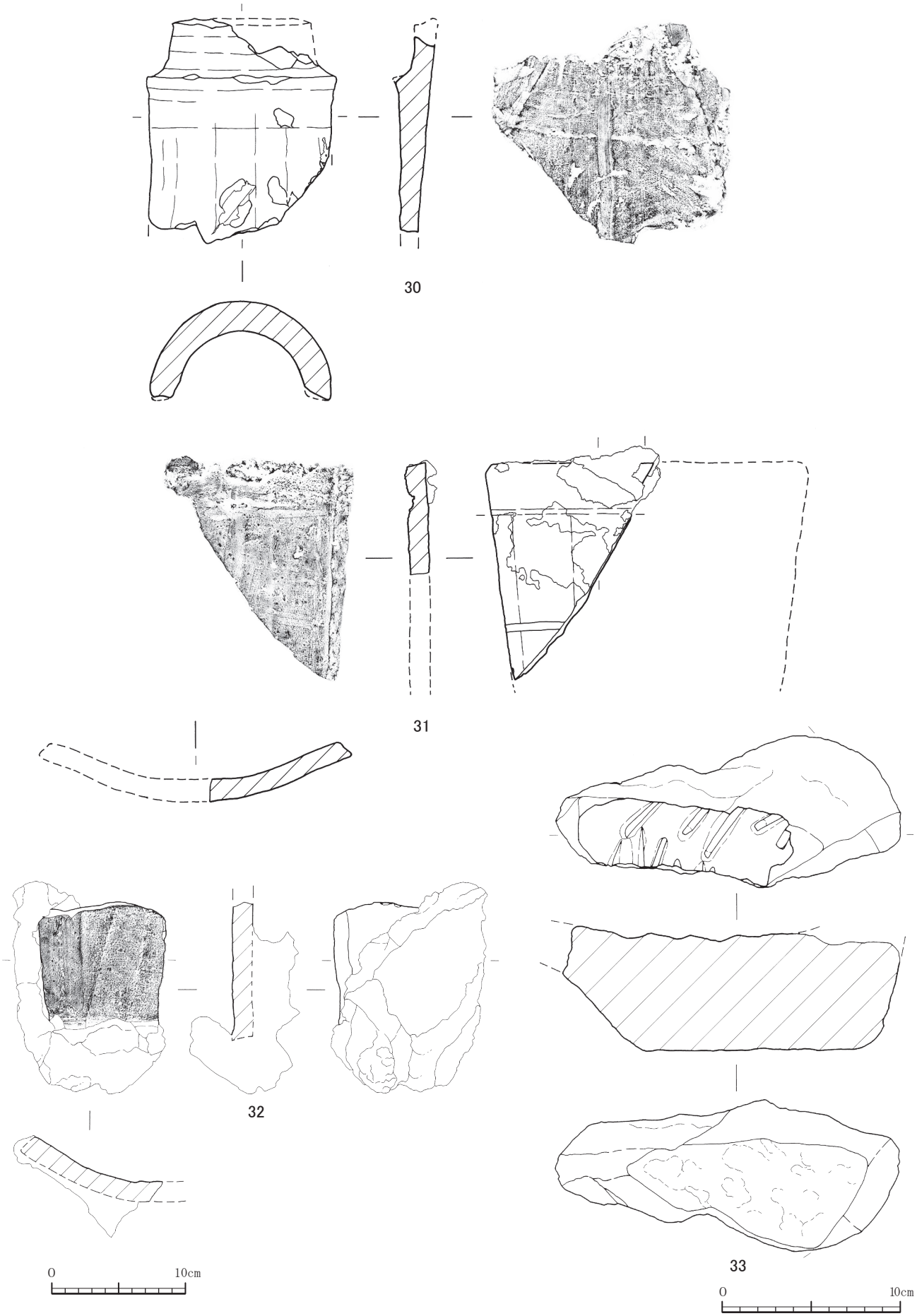
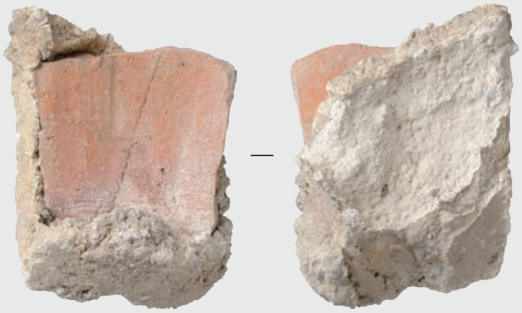


図 23　トレンチ２　石組み２Ⅲ層　出土遺物３

30

31



32

33

写真 47　トレンチ２　石組み２Ⅲ層　出土遺物３

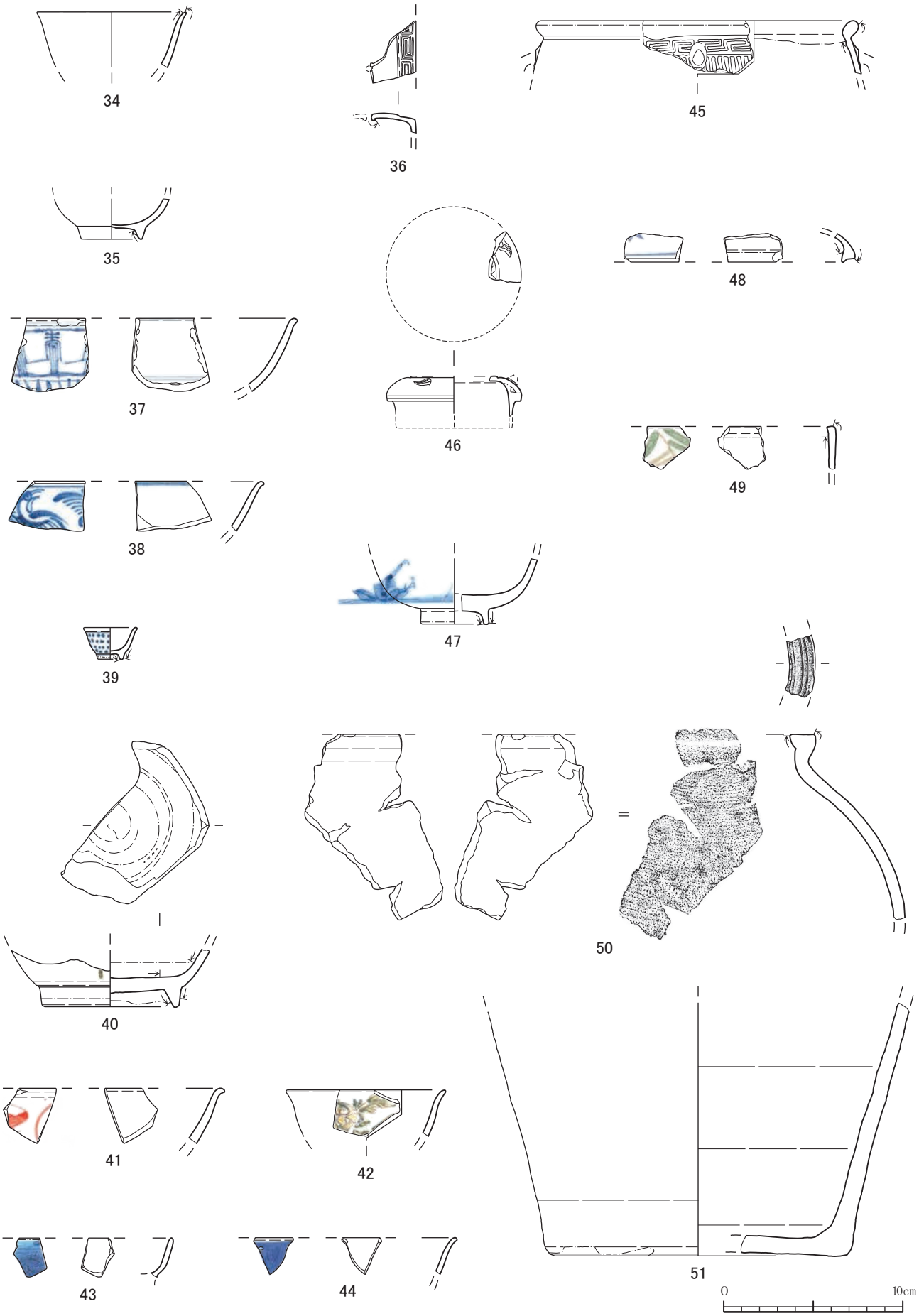


図 24　トレンチ２　Ⅲ層　出土遺物１

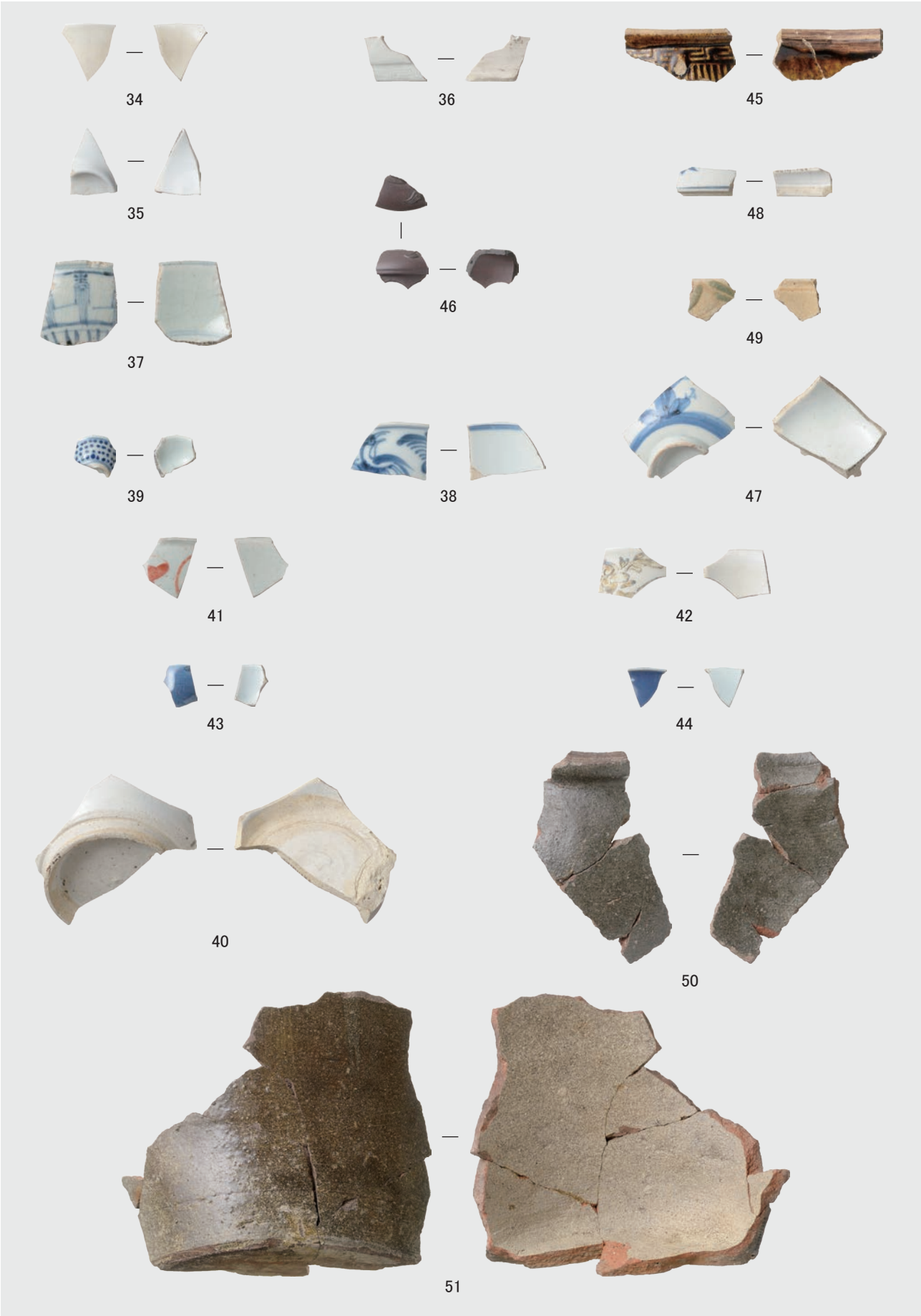


写真 48　トレンチ２　Ⅲ層　出土遺物１

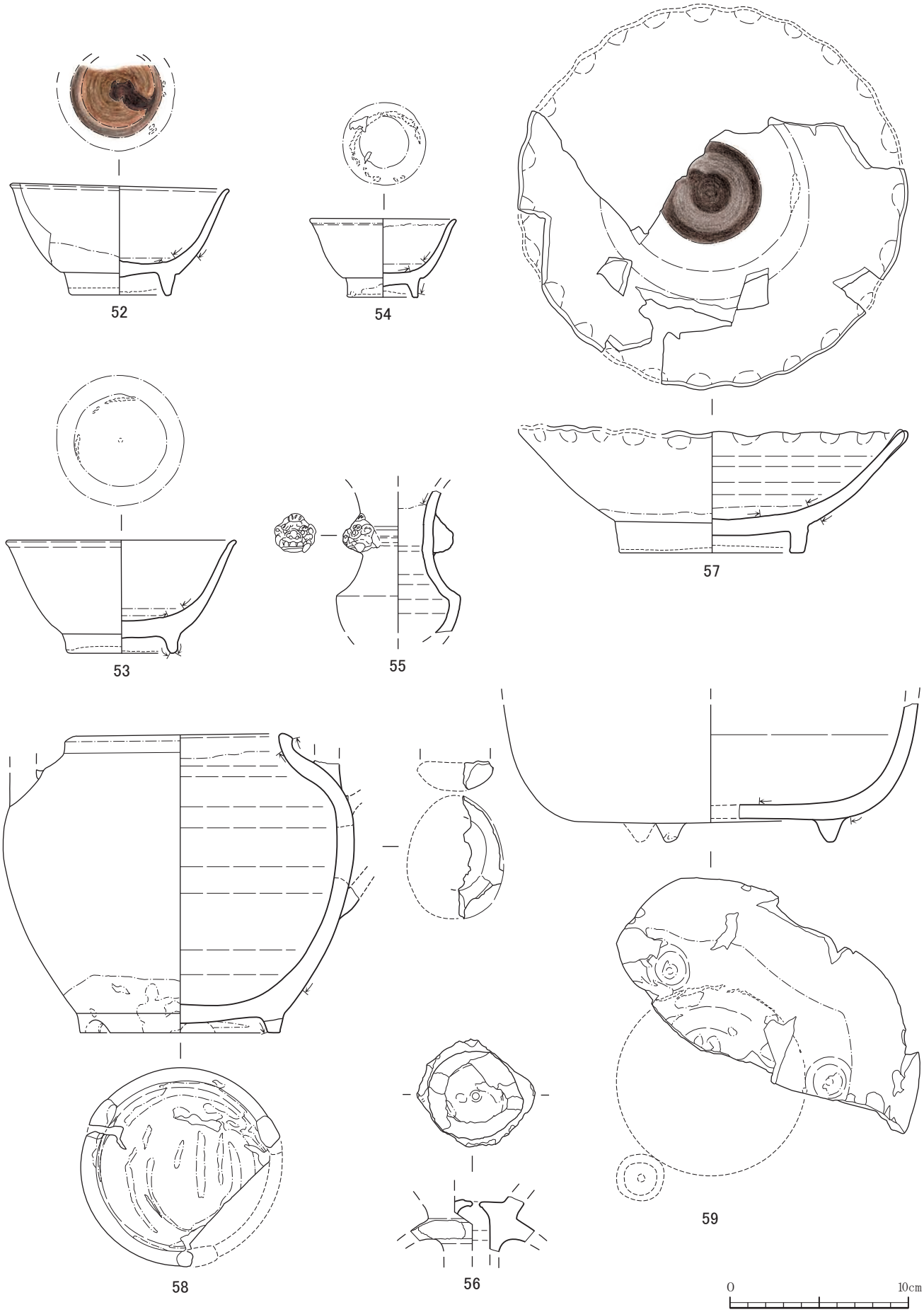


図 25　トレンチ２　Ⅲ層　出土遺物２

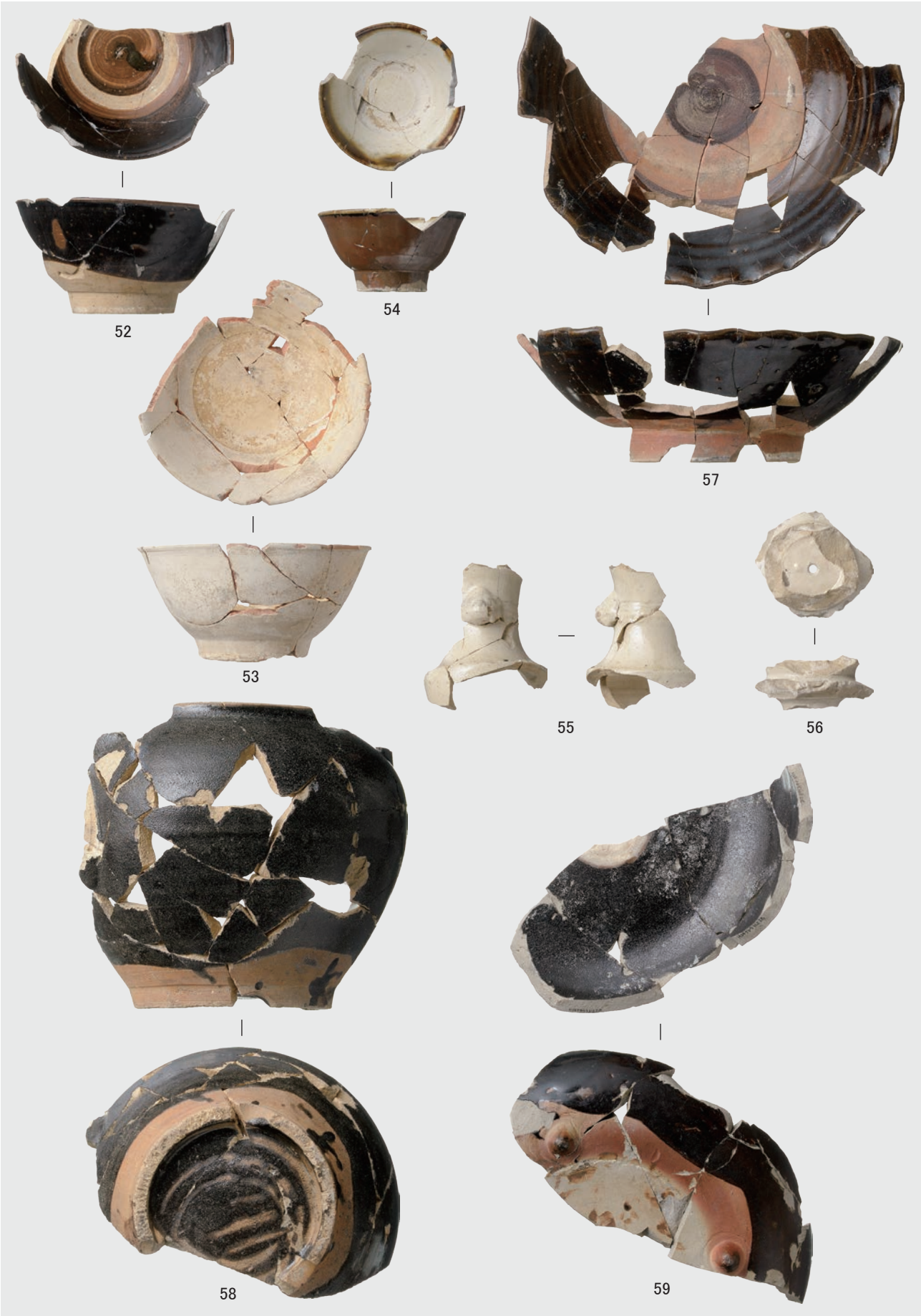


写真 49　トレンチ２　Ⅲ層　出土遺物２

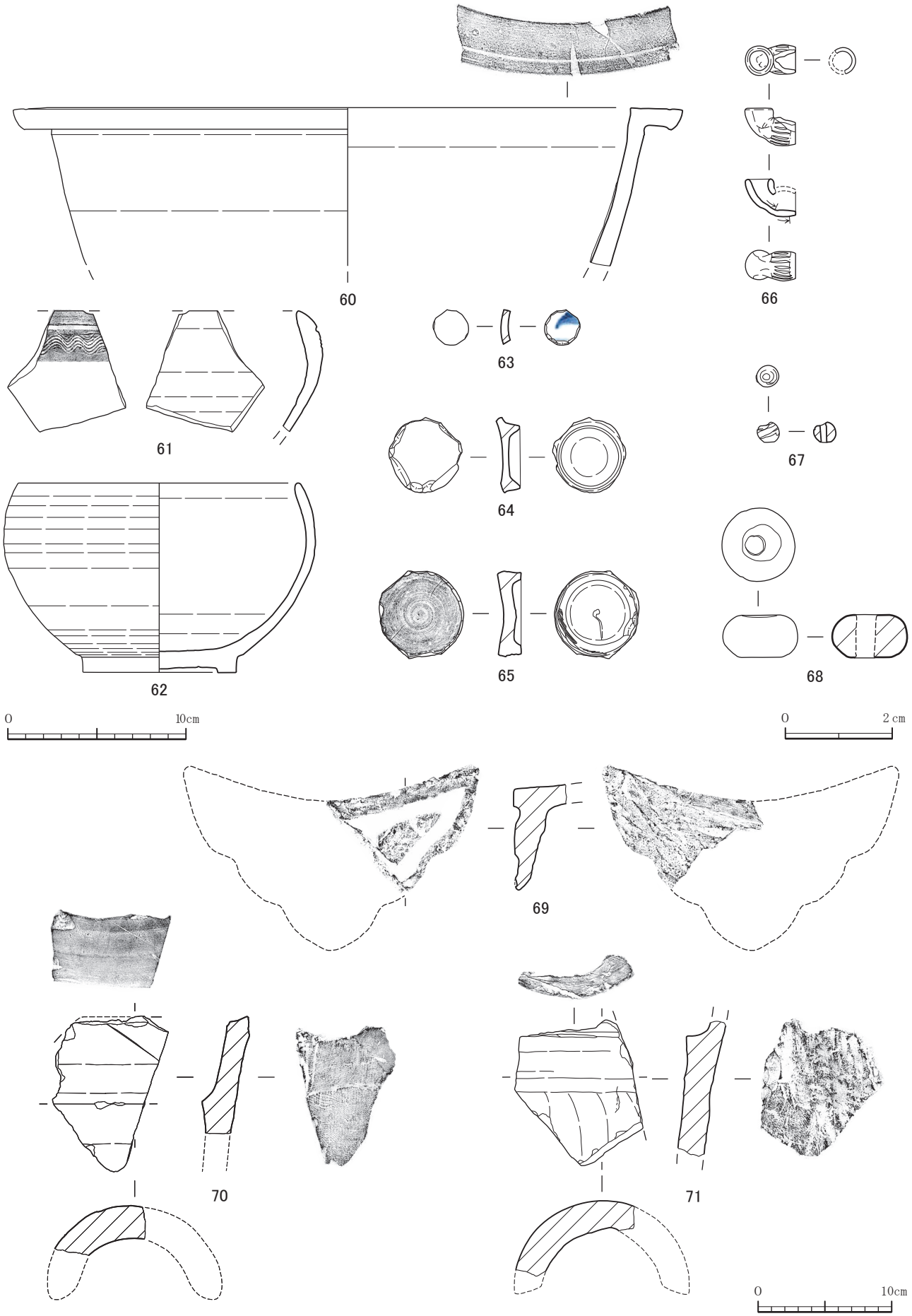


図 26　トレンチ２　Ⅲ層　出土遺物３

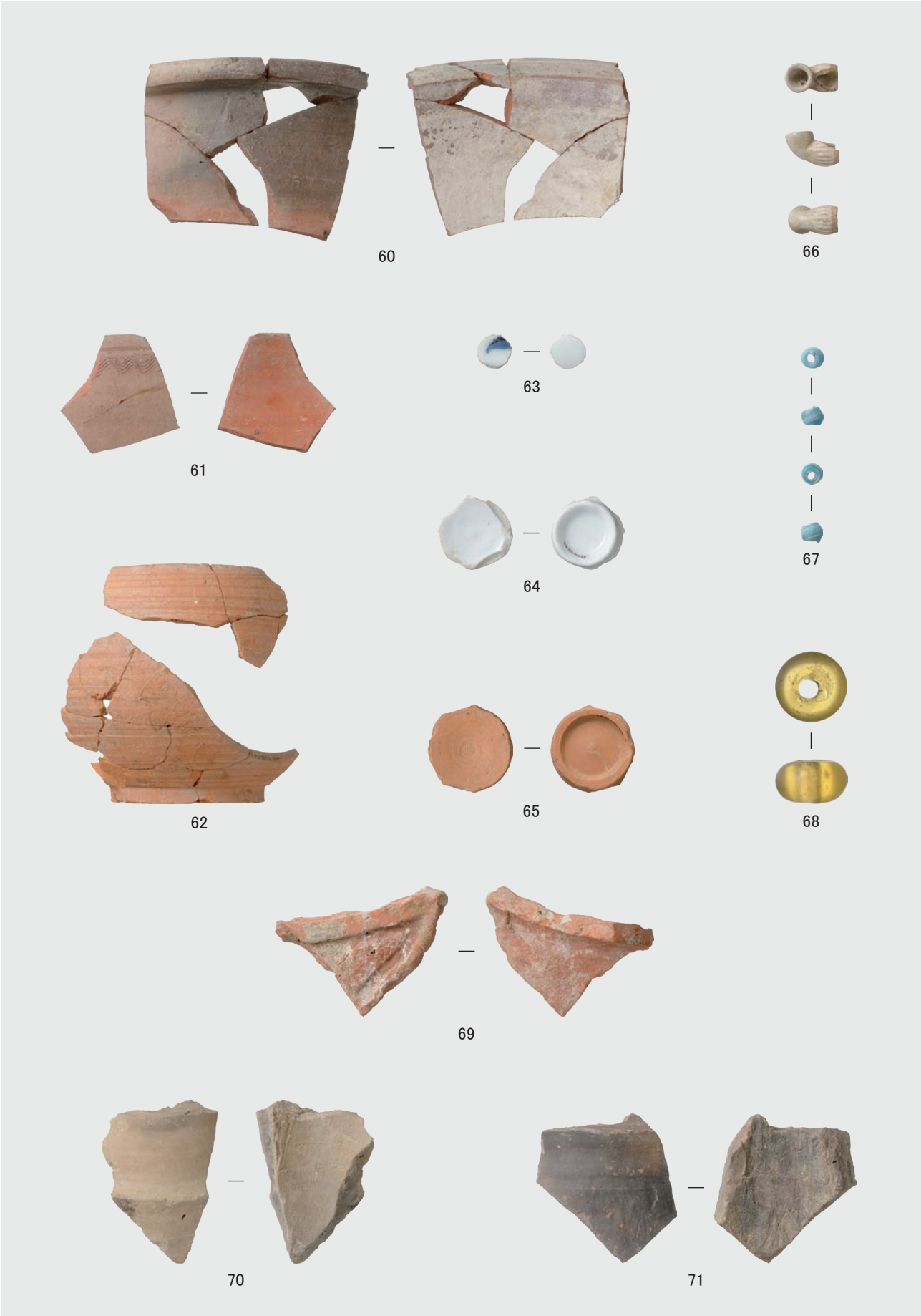


写真 50　トレンチ２　Ⅲ層　出土遺物３

第４節　トレンチ３の遺構と遺物

１　はじめに

トレンチ３は、石牆（石積み８）の移設先となる場所である。地面から約30cm掘り下げたところで、基盤層が現れた。

２　土坑２

トレンチ中央付近の北辺で検出した。平面形ははっきりとしないが、地山のクチャを掘り込んだ遺構である。遺構内には、缶、塼、石灰岩礫、コンクリートなどがあった。

３　土坑３

土坑２の南側にある。南側はトレンチ外に延びている。遺構内には、褐色の砂質土（Ⅰ層）とクチャ交じりの粘質土（Ⅰ層か）が堆積していた。遺物は特に出土していないが、現代の遺構と考えられる。

４　ピット２

直径20cm、深さ５cmほどのピットで、中央には角材と考えられる木製品が残っていた。遺物は出土していない。

５　基盤層

細粒砂岩（クチャ）で、青灰色と褐色の部分がある。

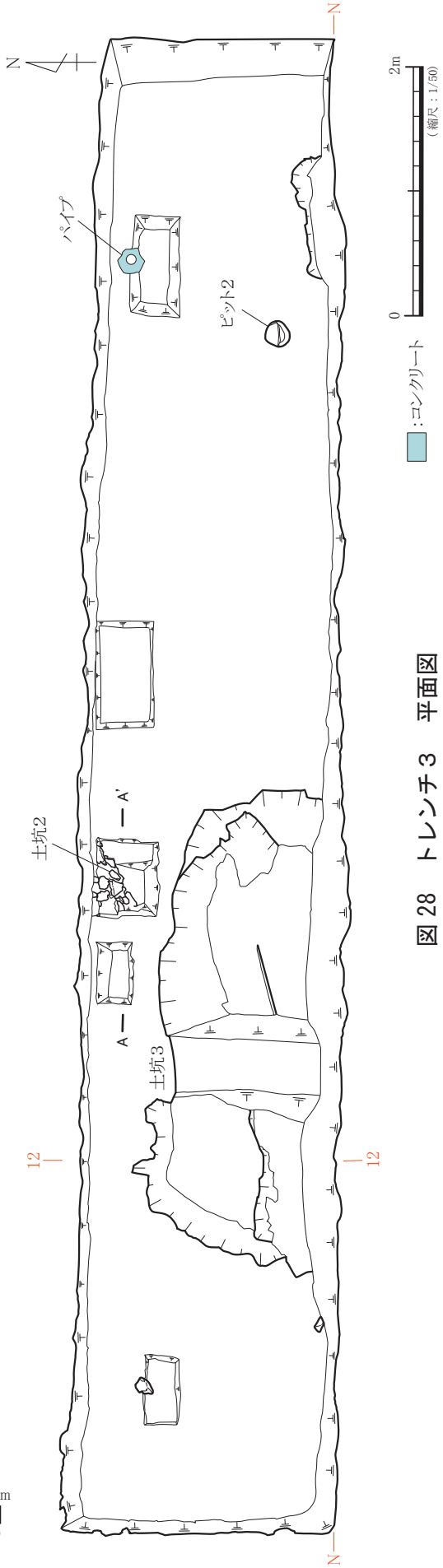


図 28　トレンチ３　平面図

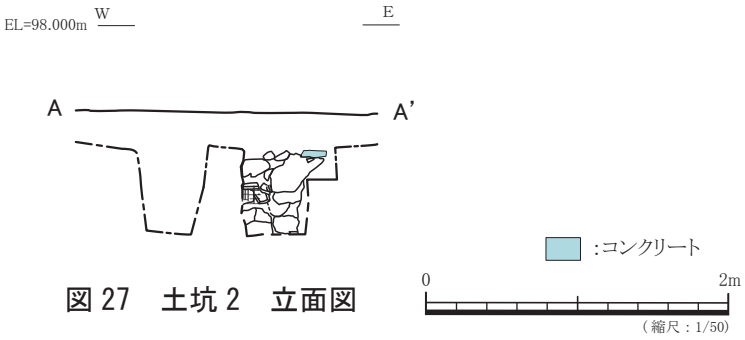


図 27　土坑２　立面図

写真51　重機掘削終了直後の様子（南西から）

写真52　トレンチ３　検出状況（北東から）

写真53　トレンチ３　検出状況（南西から）

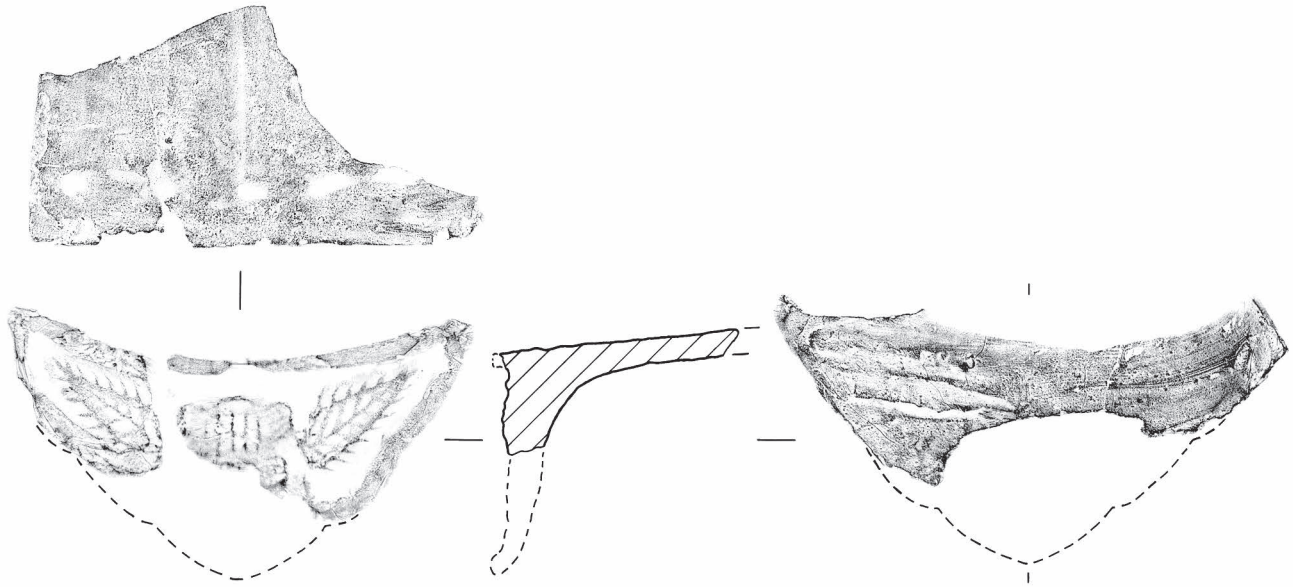
写真54　ピット２（南から）

写真55　土坑３　土層堆積状況（北東から）

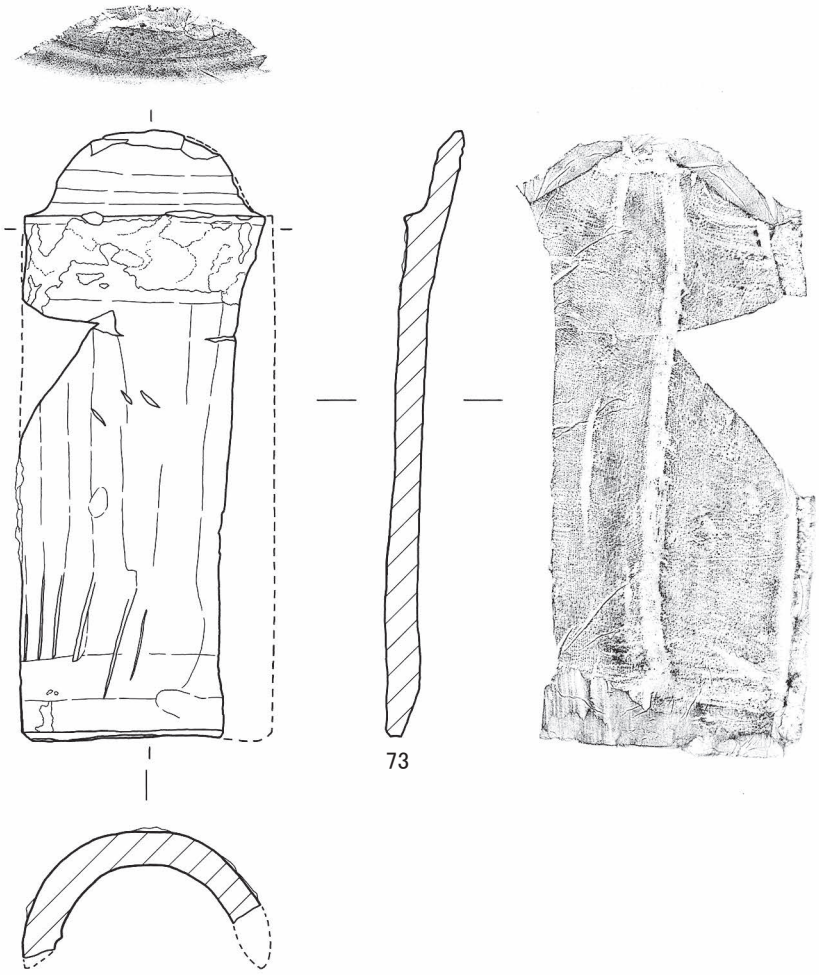
写真56　土坑３　作業風景（南西から）

写真57　土坑２　検出状況（南から）

写真58　土坑２　検出状況（上が南）



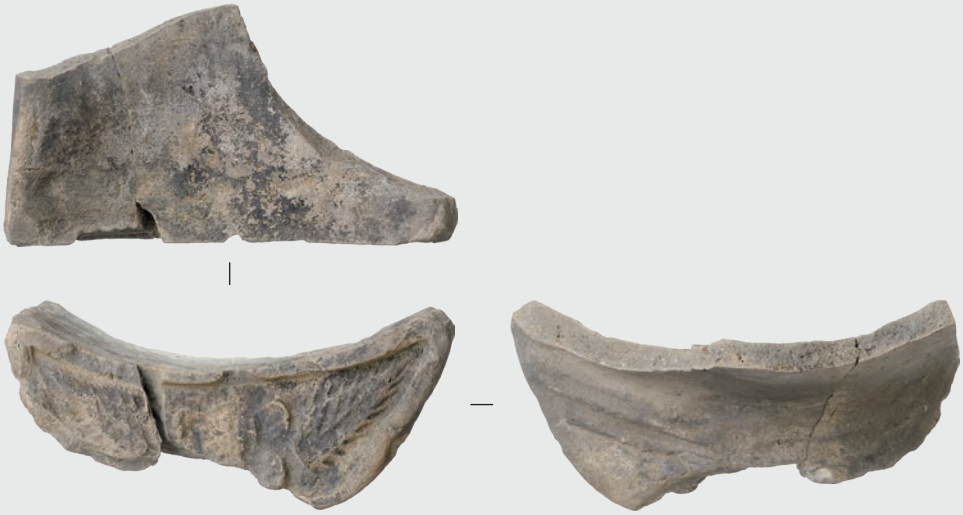
72



73

図 29　トレンチ３　土坑２　Ⅰ層　出土遺物

図番号 写真番号		種類	器種	部位	口径・長さ(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚さ(cm)	所　見	出土地
図 29 写真 59	72	瓦	明朝系 軒平瓦 灰色	－	－	－	－	素地は灰色。凹面は布目、ナデ。凸面はナデ。弦幅 24.0cm。	トレンチ３ 土坑２ Ⅰ層
	73	瓦	明朝系 丸瓦 赤色	－	－	－	－	素地は橙色で、白色粒、赤色粒を少し含む。凹面は布目、ケズリ。凸面はナデ。凸面に漆喰が付着。筒端部には圧痕。長さ 32.1cm、玉縁部 4.5cm。	



72

73

写真 59　トレンチ３　土坑２　Ⅰ層　出土遺物

第５節　トレンチ４の遺構と遺物

１　はじめに

地表面から約20㎝掘り下げたところで、クチャの面を検出した。クチャはトレンチ東側では青灰色、トレンチ西側では褐色である。

南西隅で現代の土坑１基､南東でピット２基を検出した｡また基盤層の堆積状況を調べるために、トレンチ北辺と西辺に沿ってサブトレンチを設定して掘り下げた。

２　基盤層

サブトレンチを掘り下げた結果、上からクチャ（青灰色）、クチャ（褐色）、ニービ（しまりが弱い）、ニービ（固くしまる）の順で堆積していることがわかった。

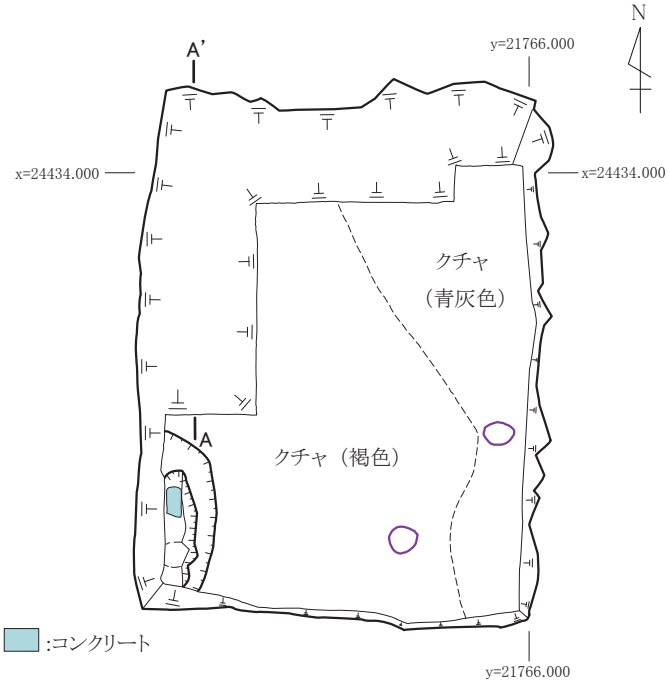


図 30　トレンチ４　平面図

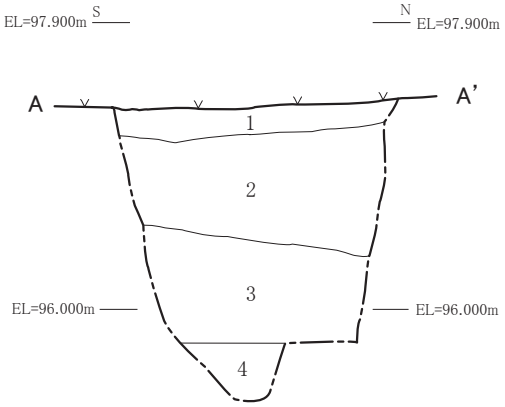


図 31　トレンチ４　西壁土層図

表７　トレンチ４　土層一覧

層序	色調		特徴
1	にぶい黄褐色	10YR5/4	やや砂質。しまりは弱い。Ⅰ層。
2	明黄褐色	2.5Y7/6	粘質。固くしまる。クチャ。Ⅴ層。
3	明黄褐色	2.5Y6/6	砂質。しまりは弱い。ニービ。Ⅴ層。
4	明黄褐色	2.5Y6/6	砂質。固くしまる。ニービ。Ⅴ層。

写真60　トレンチ４　検出状況（南東から）

写真61　トレンチ４　検出状況（南から）

写真62　トレンチ４　検出状況（東から）

写真63　トレンチ４　検出状況（北西から）

第６節　トレンチ５の遺構と遺物

１　はじめに

調査開始当初、トレンチ５には歩道や旧県立博物館の正門などがあったため、地表面はアスファルトやコンクリートで覆われていた。

正門の門柱には、沖縄県立博物館の看板が埋め込まれていたため、事前に取り外して沖縄県立博物館・美術館の職員に引き取ってもらった。

歩道部分は、地表下約1.7ｍの深さまで撹乱されていた。石牆（石積み８）に接して設置されていた排水溝は、地下約１ｍまで及んでいて、排水溝を取り除いた時点で石牆の根石が露出していた。

根石を確認した後は、所々にサブトレンチを設定して下層遺構を確認した。

２　石積み６

サブトレンチ９で検出した遺構である。南東側に面を持つ野面積みの石積みで、斜めに傾斜して積まれている。天端は不明で、根石は確認していない。石積み９は赤褐色粘質土（石積み８直下の造成土）の中から検出されていることから、石積み８よりも古い遺構となる。

３　石積み８

中城御殿の正門から東に延びる石牆に相当する石積みである。平成４年度の調査では「１号石垣」と呼ばれている。正門付近は主に長方形の切石を布積みしていて、それ以外は主に長方形もしくは扇形のカーブを持つ多角形の石をあいかた積みしている。天端と根石を確認しているが、後世に積み直された場所が所々にある。石積み８は範囲が広いため、枝番号を振り７カ所に分けて説明する。

石積み８－１は平成４年度に調査済みで、根石が確認されている。図面は既刊の報告書に掲載されている。

石積み８－２は平成４年度に調査済みであるが、既刊の報告書には図面が掲載されていないため、今回の報告書に掲載した。布積みとあいかた積みを併用しており、目地の所々にはモルタルが塗られている。

石積み８－３は平成４年度に調査済みであるが、既刊の報告書には図面が掲載されていないため、今回の報告書に掲載した。石の積み方は、布積みとあいかた積みを併用しており、目地の所々にはモルタルが塗られている。根石とその周囲の石は表面加工が粗く、石同士の隙間が目立つ。地上の石の表面加工は丁寧である。

石積み８－４は布積みで、目地の所々にはモルタルが塗られている。表面加工は石積み８－３と同様である。

石積み８－５は布積みで、目地の所々にはモルタルが塗られている。根石の表面加工は粗く、２段目から上は丁寧である。

石積み８－６は布積みで、根石は確認していない。南隅には高さ約3.4ｍの柱状の石（柱石と仮称する）を使っている。柱石の上端は三角錐状となっている。柱石の表面は丁寧に加工されていて、上端から地表下約20㎝までは、カドが丸く仕上げられているが、それより下はカドを残したままとなっている。

柱石を載せている根石は、柱石に合わせて３㎝ほどの深さでくぼんでいて、ソケット状となっている。ただし柱石との隙間がある部分には、石などを詰めている。

石積み８－７は、地上に出ている部分については既刊の報告書に図面が掲載されているので、地下の部分を新規に実測して、地上部分と合成した。ただし地上部分の実測は平成4年度に行われて、その後に積み直しが行われているので、うまく合成出来ない部分もあった。

石積み８－７の大部分があいかた積みで、根石の一部が布積みである。根石付近に注目すると、サブトレンチ８付近までは、表面加工が粗い長方形の切石を布積みしていて、横目地が通っている。

サブトレンチ８～11付近は、地上と同様な石をあいかた積みしている。サブトレンチ11より東は、表面加工が粗い多角形の石を使用している。また根石は、上に積まれている石よりも数センチ前にせり出している場所が多く、石積み８全体に共通する。

地上部分に注目すると、サブトレンチ８付近を境に東はやや小ぶりな石が使われている。また東側には長さ約17ｍ、幅約90cm、高さ35cmの段があり、天端は石畳となっている。

４　石列１

サブトレンチ６で検出した遺構で、３個の石灰岩から成り、東側に面を持つ。

５　階段１

正門の東脇にあった階段の、蹴上に使われた石が残っていた。戦前の古写真によると、階段は２段あることがわかるが、１段目は残っていなかった。

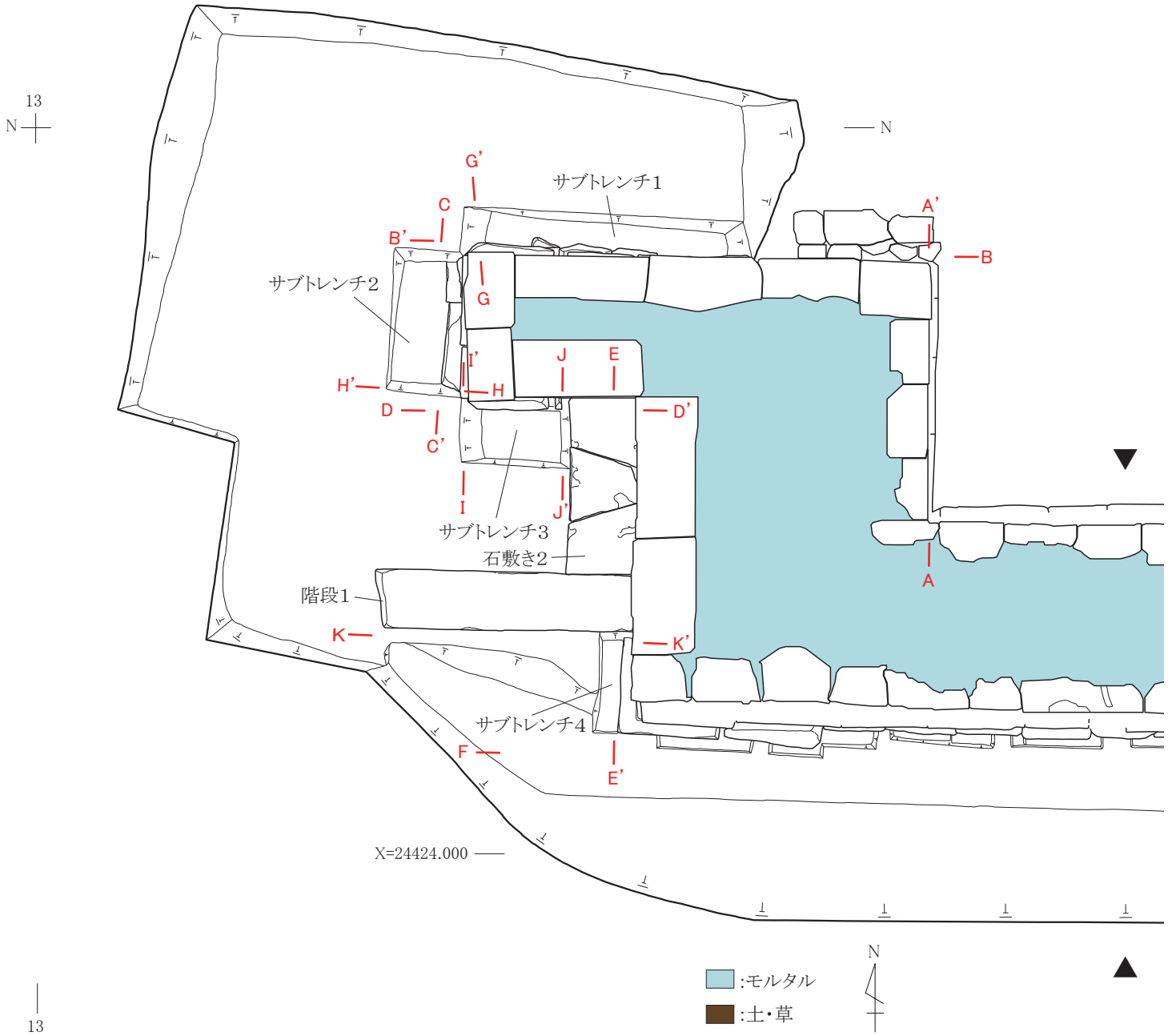
６　石敷き１

正門の東脇に敷かれた石敷きである。平面形が台形の石を３枚組み合わせて並べている。

７　層序

サブトレンチ等の層序観察によると、グリッドライン11付近から西側には基盤層のニービ（18層）がある。グリッドライン11から東に２ｍの範囲には、基盤層のクチャ（17層）がある。そこから石積み６までの範囲には、赤褐色の造成土（16層）があり、石積み６の東側には暗褐色の造成土（15層）がある。またサブトレンチ６と7の間には、炭が大量に混じる黒褐色土（14層）が薄く堆積している。

15層から出土した炭を年代測定したところ、17世紀後半～18世紀頃という結果が出た。



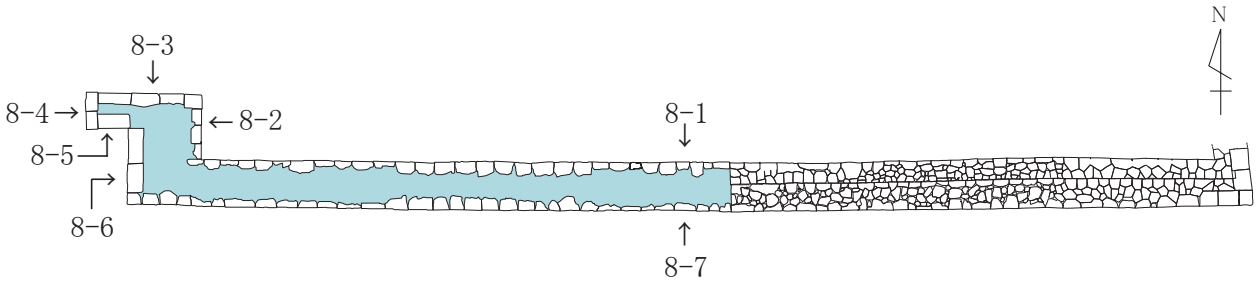


図 32　トレンチ５　石積み８　部分名称見取図

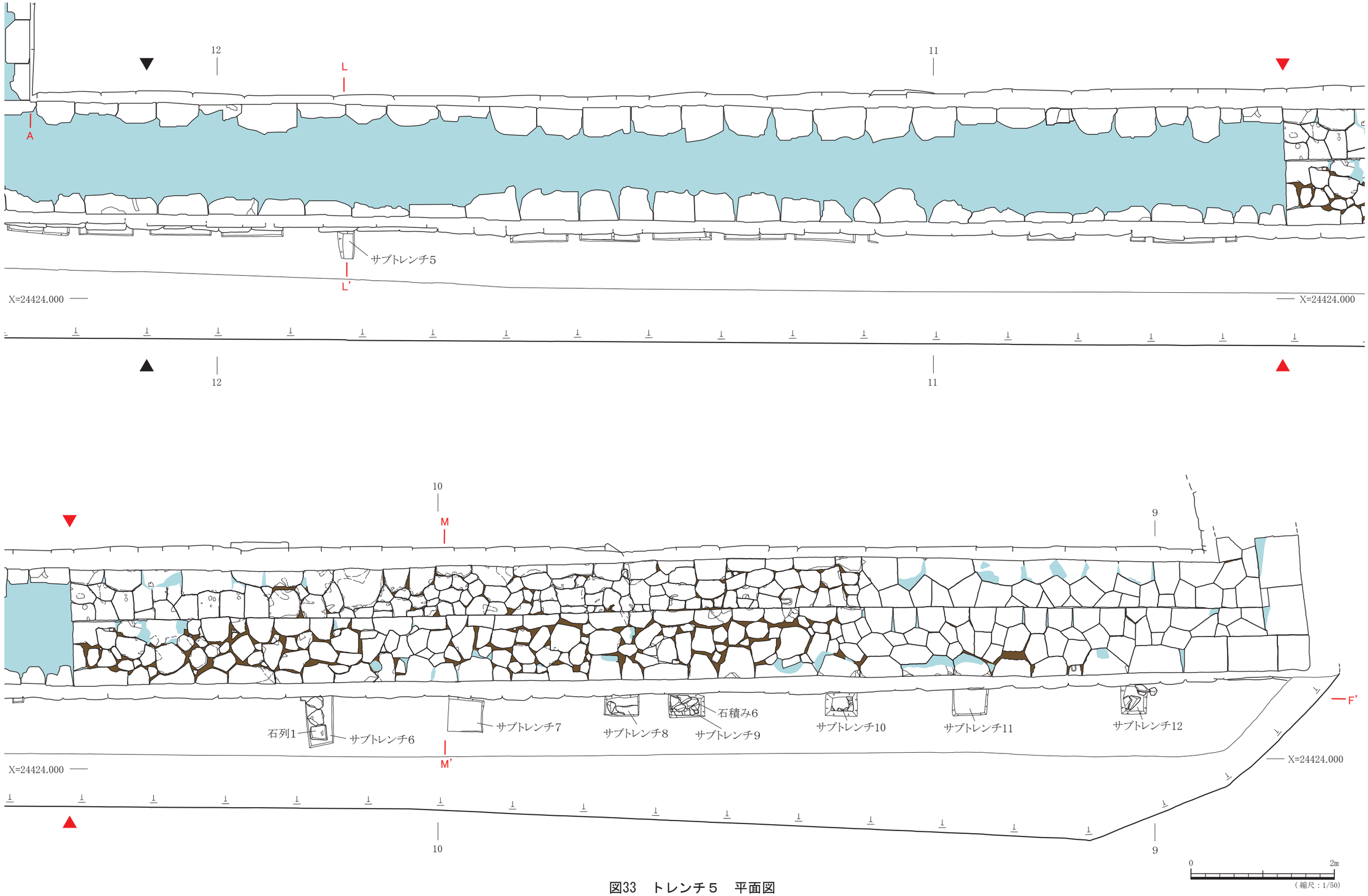


図33　トレンチ５　平面図

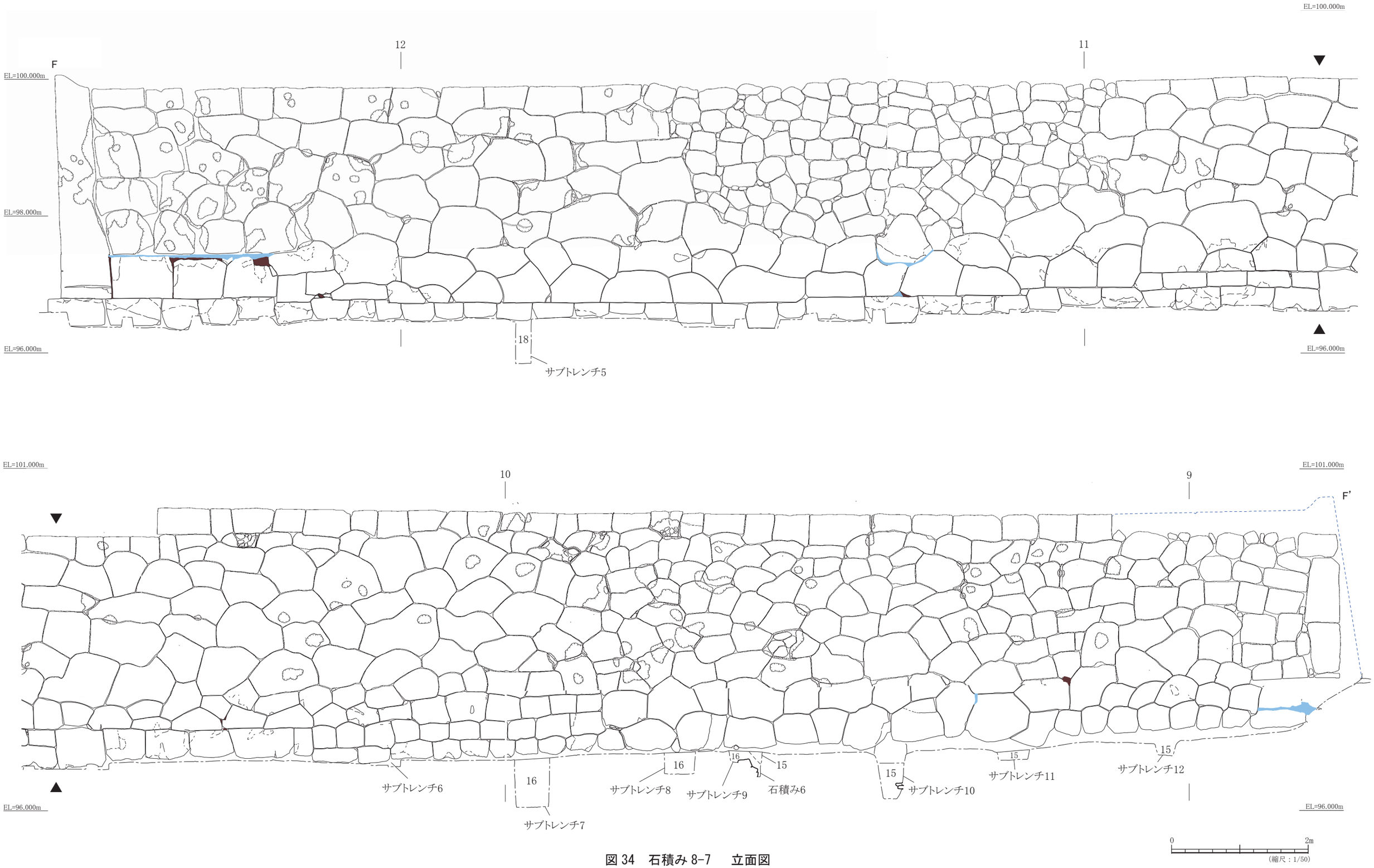


図 34　石積み 8-7　立面図

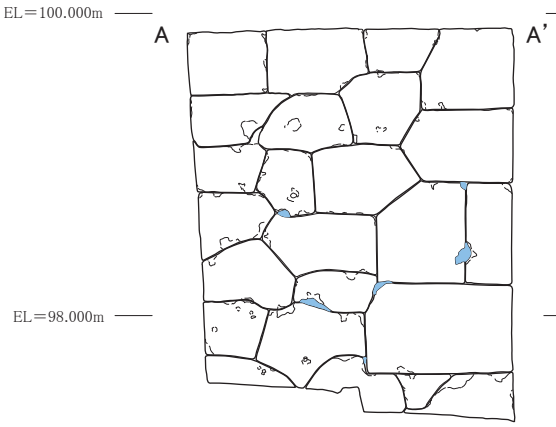


図35　石積み8-2　立面図

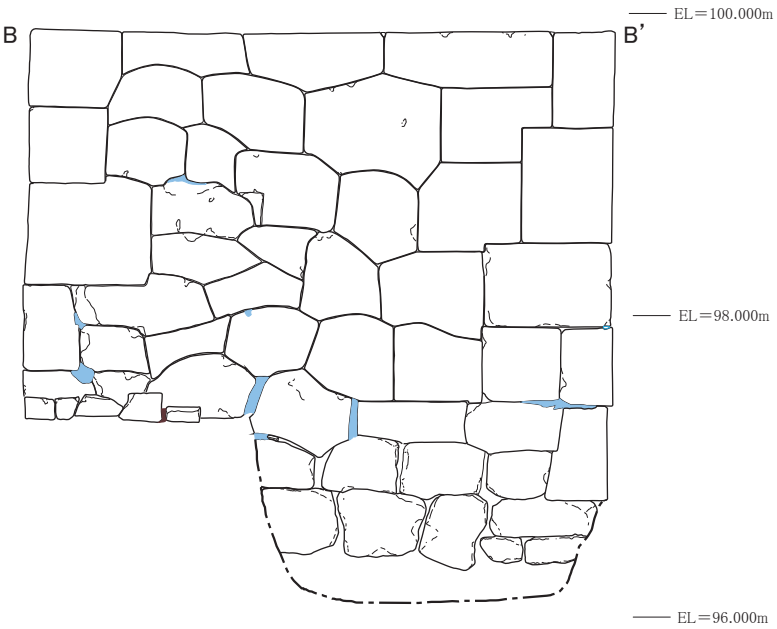


図36　石積み8-3　立面図

図37　石積み8-4
立面図

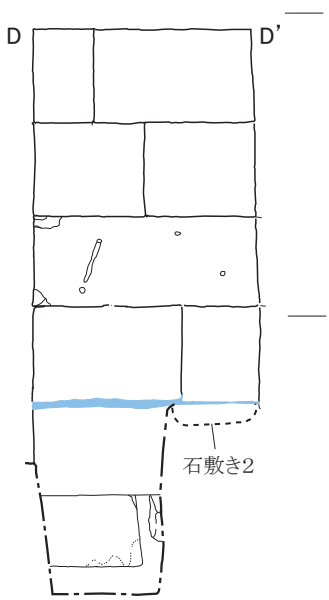


図38　石積み8-5
立面図

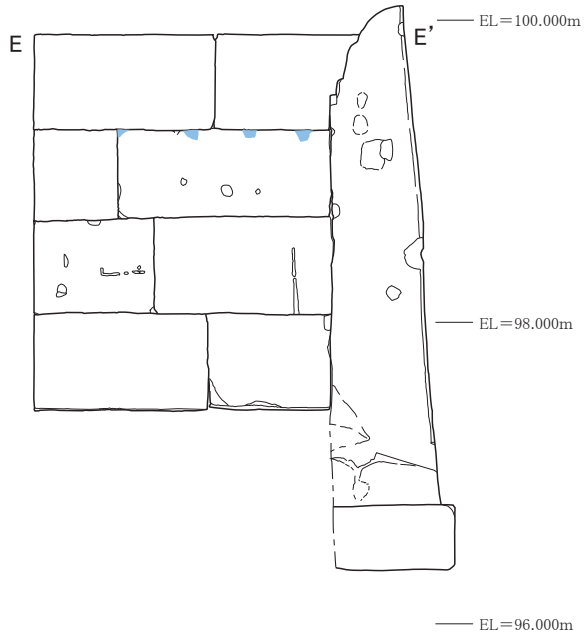


図39　石積み8-6
立面図

0　2m
（縮尺：1/50）

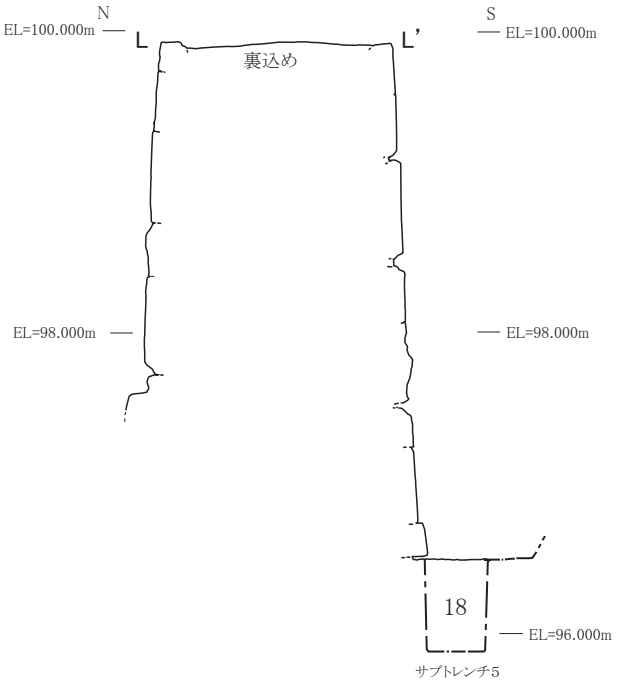


図 40　石積み８
断面図①

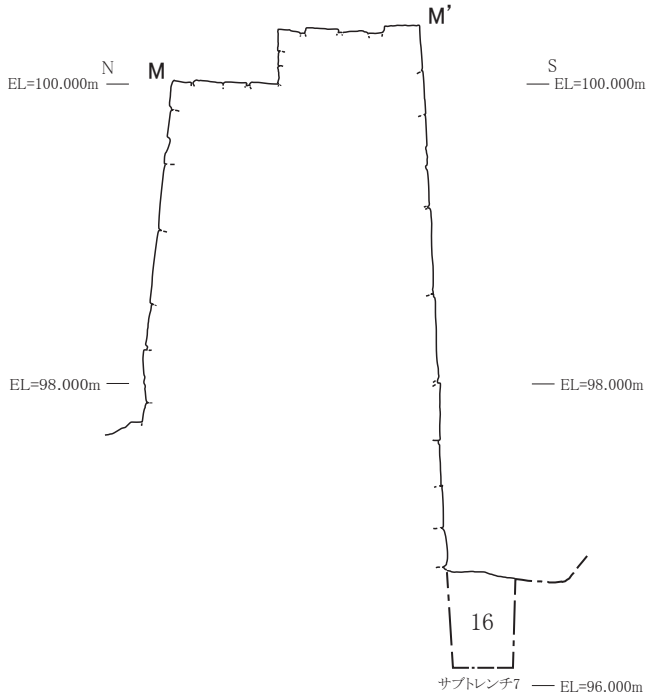


図 41　石積み８
断面図②

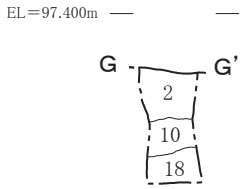


図 42　サブトレンチ１
西壁　土層図

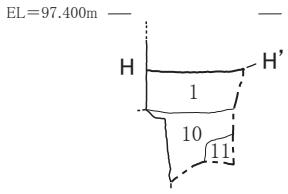


図 43　サブトレンチ２
南壁　土層図

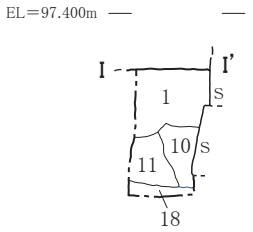


図 44　サブトレンチ３
西壁　土層図

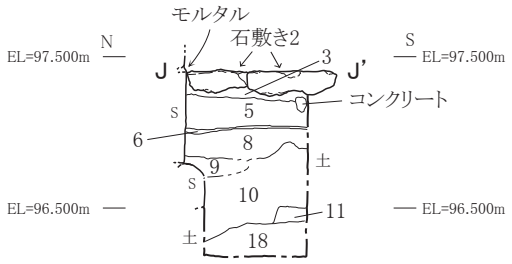


図 45 サブトレンチ３
東壁　土層図

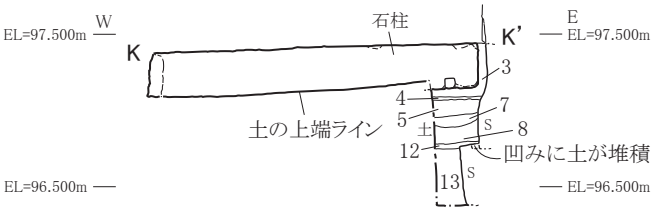


図 46　サブトレンチ４
北壁　土層図

0　2m
（縮尺：1/50）

表８　トレンチ５　土層一覧

層序	色調		特徴
1	淡黄色	2.5Y8/3	砂質。しまりやや弱い。礫・ガラス・コンクリート。Ⅰ層。
2	黄褐色	2.5Y5/4	やや砂質。大形コンクリート・礫を多量に含む。Ⅰ層。
3	黒褐色	2.5Y3/2	やや砂質。しまり強い。礫含む。Ⅲ層。
4	灰白色	5Y8/2	砂質。石灰岩礫から成る。
5	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質。固くしまる。黄褐色ブロック土、炭、赤褐色ブロック土、黒瓦を含む。
6	淡黄色	5Y8/4	砂質。しまり弱い。石粉。石灰岩礫から成る。4層に似る。
7	褐色	10YR4/4	やや砂質。しまり強い。石灰岩小礫を多量に含む。
8	明褐色	7.5YR5/6	粘質。固くしまる。青灰色粘土(クチャ)を含む。
9	黄灰色	2.5Y4/1	やや砂質。しまり弱い。ビニール・礫・クチャを含む。
10	明黄褐色	10YR6/6	やや粘質。しまり強い。大形クチャブロック、ニービを含む。Ⅲ層かⅣ層。
11	黄色	5Y7/6	やや砂質。固くしまる。ニービとクチャの中間。地山か。
12	にぶい黄褐色	10YR5/4	砂質。しまり強い。石灰岩小礫を多量に含む。砂岩片を含む。
13	明黄褐色	10YR6/6	砂質。石灰岩礫を含む。
14	黒褐色	2.5Y3/1	やや砂質。しまり弱い。木炭・赤褐色土(焼土？)を含む。
15	灰黄褐色	10YR4/2	やや粘質。しまりは弱い。瓦を主体に遺物を多く含む。炭を多く含む。「Ⅲ層暗褐色土」で遺物取り上げ。
16	明赤褐色	5YR5/6	粘質。固くしまる。青灰色粘土(クチャ)をブロック状に含む。Ⅳ層。
17	青灰色	5B6/1	固くしまる。クチャ。Ⅴ層。
18	明黄褐色	2.5Y6/8	砂質。しまり弱い。ニービ(地山)。Ⅴ層。

写真64　門柱の撤去作業（南西から）

写真65　門柱の撤去作業（南西から）

写真66　歩道の撤去作業（西から）

写真67　撹乱層の掘り下げ状況（北東から）

写真68　撹乱層の掘り下げ状況（西から）

写真69　歩道、排水溝、撹乱層の撤去状況（東から）

写真70　排水溝の断面（西から）

写真71　トレンチ５　全景（東から）

写真72　石積み６（上が北）

写真73　石積み６（東から）

写真74　石積み８（北西から）

写真75　石積み８（西から）

写真76　石積み８　連続写真１（北から）

写真77　石積み８　連続写真２（北から）

写真78　石積み８　連続写真３（北から）

写真79　石積み８　連続写真４（北から）

写真80　石積み８－１連続写真１（北から）

写真81　石積み８－１連続写真２（北から）

写真82　石積み８－１連続写真３（北から）

写真83　石積み８－１連続写真４（北から）

写真84　石積み８－１連続写真５（北から）

写真85　石積み８－１連続写真６（北から）

写真86　石積み８－２（東から）

写真87　石積み８－３（北から）

写真88　石積み８－４（西から）

写真89　石積み８－５（南から）

写真90　石積み８－６（西から）

写真91　石積み８－７連続写真１（南から）

写真92　石積み８－７連続写真２（南から）

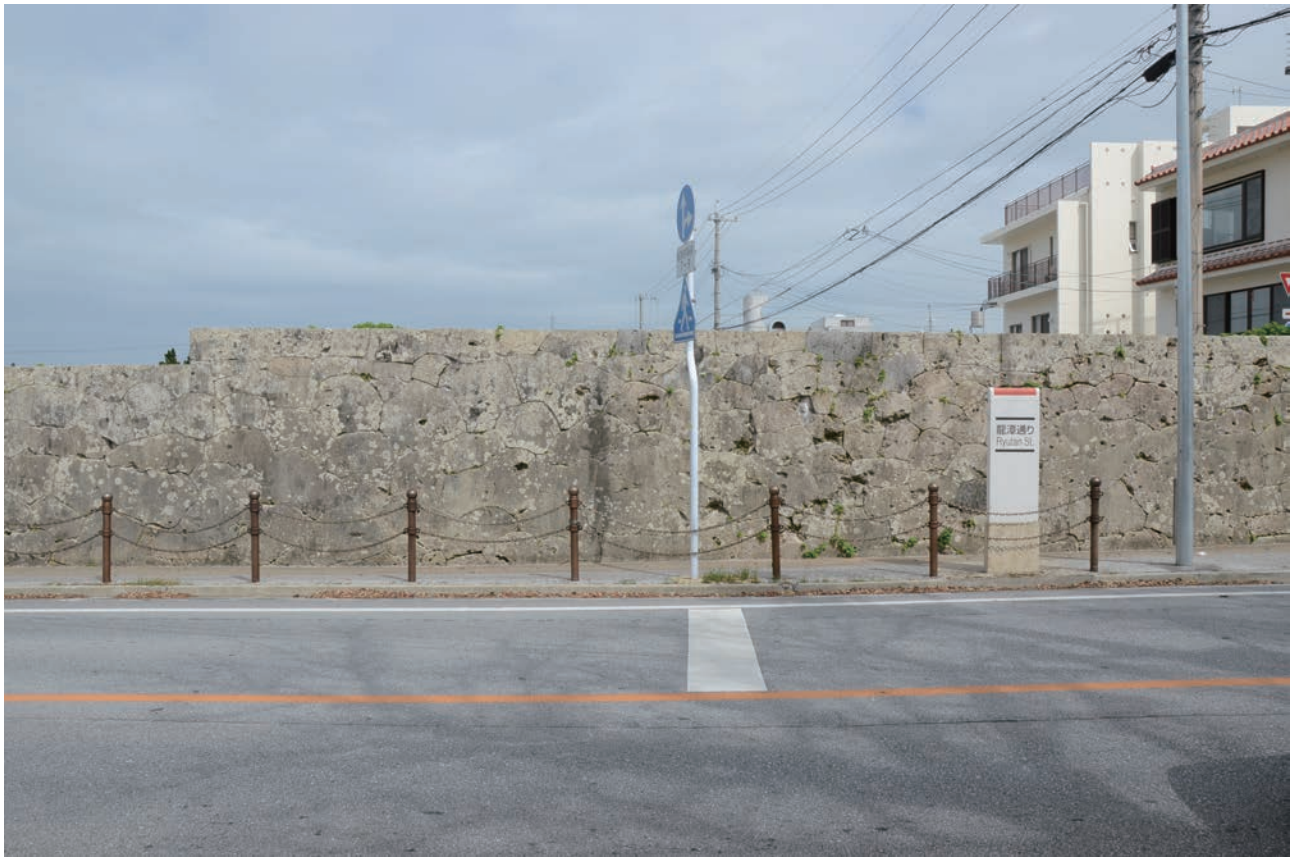


写真93　石積み８－７連続写真３（南から）

写真94　石積み８－７連続写真４（南から）

写真95　石積み８－７（南西から）

写真96　石積み８－７根石付近連続写真１（南から）

写真97　石積み８－７根石付近連続写真２（南から）

写真98　石積み８－７根石付近連続写真３（南から）

写真99　石積み８－７根石付近連続写真４（南から）

写真100　石積み８－７根石付近連続写真５（南から）

写真101　石積み８－７根石付近連続写真６（南から）

写真102　石積み８－７根石付近連続写真７（南から）

写真103　石積み８－７根石付近連続写真８（南から）

写真104　石積み８－７根石付近連続写真９（南から）

写真105　石積み８－７根石付近連続写真10（南から）

写真106　石積み８－７根石付近連続写真11（南から）

写真107　石積み８－７根石付近連続写真12（南から）

写真108　石積み８－７根石付近連続写真13（南から）

写真109　石積み８－７根石付近連続写真14（南から）

写真110　石積み８－７根石付近連続写真15（南から）

写真111　石積み８－７根石付近連続写真16（南から）

写真112　石積み８－７根石付近連続写真17（南から）

写真113　石積み８（南西から）

写真114　石積み８（南東から）

写真115　石積み８　柱石上端から真下を見た様子（上が南西）

写真116　石列１　検出状況（西から）

写真117　石列１（南東から）

写真118　石列１（東から）

写真119　石積み８正門付近（上が北）

写真120　石積み８正門付近（西から）

写真121　サブトレンチ１（北東から）

写真122　サブトレンチ１、２　遺構検出状況（北西から）

写真123　サブトレンチ２（上が南）

写真124　サブトレンチ２南壁（北から）

写真125　サブトレンチ３（上が北）

写真126　サブトレンチ４　遺物出土状況（上が東）

写真127　サブトレンチ４　遺物出土状況（南東から）

写真128　サブトレンチ４　検出状況（上が東）

写真129　サブトレンチ４（南東から）

写真130　サブトレンチ４　遺構検出状況（上が東）

写真131　サブトレンチ５（南から）

写真132　サブトレンチ７（南から）

写真133　サブトレンチ７（東から）

写真134　サブトレンチ８、９（南から）

写真135　サブトレンチ８、９（上が南）

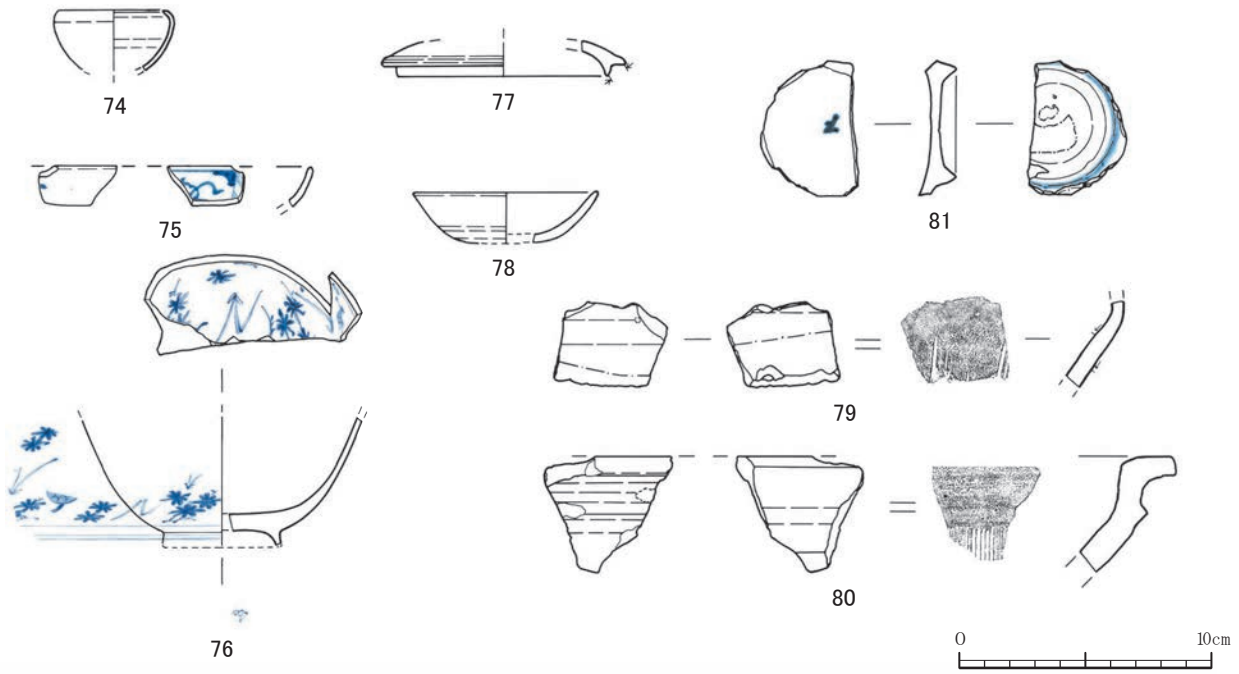
写真136　サブトレンチ10（南から）

写真137　サブトレンチ11（南東から）

写真138　サブトレンチ12（上が北）

表９　トレンチ５出土遺物観察表

図番号 写真番号		種類	器種	部位	口径・長さ(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚さ(cm)	所　見	出土地
図 47 写真139	74	中国産 白磁	器種不明	口縁部	4.5	―	―		トレンチ５ Ⅲ層
	75	中国産 染付	皿	口縁部	―	―	―	貫入が多い。	
	76	中国産 染付	碗	底部	―	(4.9)	―		
	77	本土産 陶器	蓋	口縁部	10.0	8.6	―	素地は灰白色で、白色粒、半透明粒を少し含む。	
	78	沖縄産 無釉陶器	皿	口縁部	7.6	―	―	素地は橙色で、黒色粒を多く、白色粒、半透明粒を少し含む。	
	79	本土産 陶器	擂り鉢	胴部	―	―	―	素地はにぶい黄橙色で砂質。胴部は露胎。	
	80	沖縄産 無釉陶器	擂り鉢	口縁部	―	―	―	素地は赤褐色で、橙色粒を多く含む。擂り目は６本／㎝で、上端はナデ消す。	
	81	円盤状 製品	染付	―	―	―	―	高台内中央は露胎。縦 5.5㎝、厚さ 1.5㎝。重量 25.38g。	
	82	瓦	明朝系 丸瓦 赤色	―	―	―	―	素地は橙色、灰黄色で、橙色粒を多く、赤色粒を少し含む。凸面はナデ。凹面は布目、ケズリ。	
	83	瓦	明朝系 平瓦 灰色	―	―	―	―	素地は灰色で、白色粒、黒色粒を少し含む。凹面は布目、凸面はナデ。漆喰が付着。	
図 48 写真140	84	瓦	明朝系 平瓦 灰色	―	―	―	―	素地は灰色で、黒色粒を少し含む。凹面は布目、凸面はナデ。長さ 25.1㎝。	
	85	瓦	明朝系 平瓦 赤色	―	―	―	―	素地は橙色、灰黄色で、橙色粒、赤色粒を少し含む。凸面はナデ。凹面は布目。形が少しゆがんでいる。	



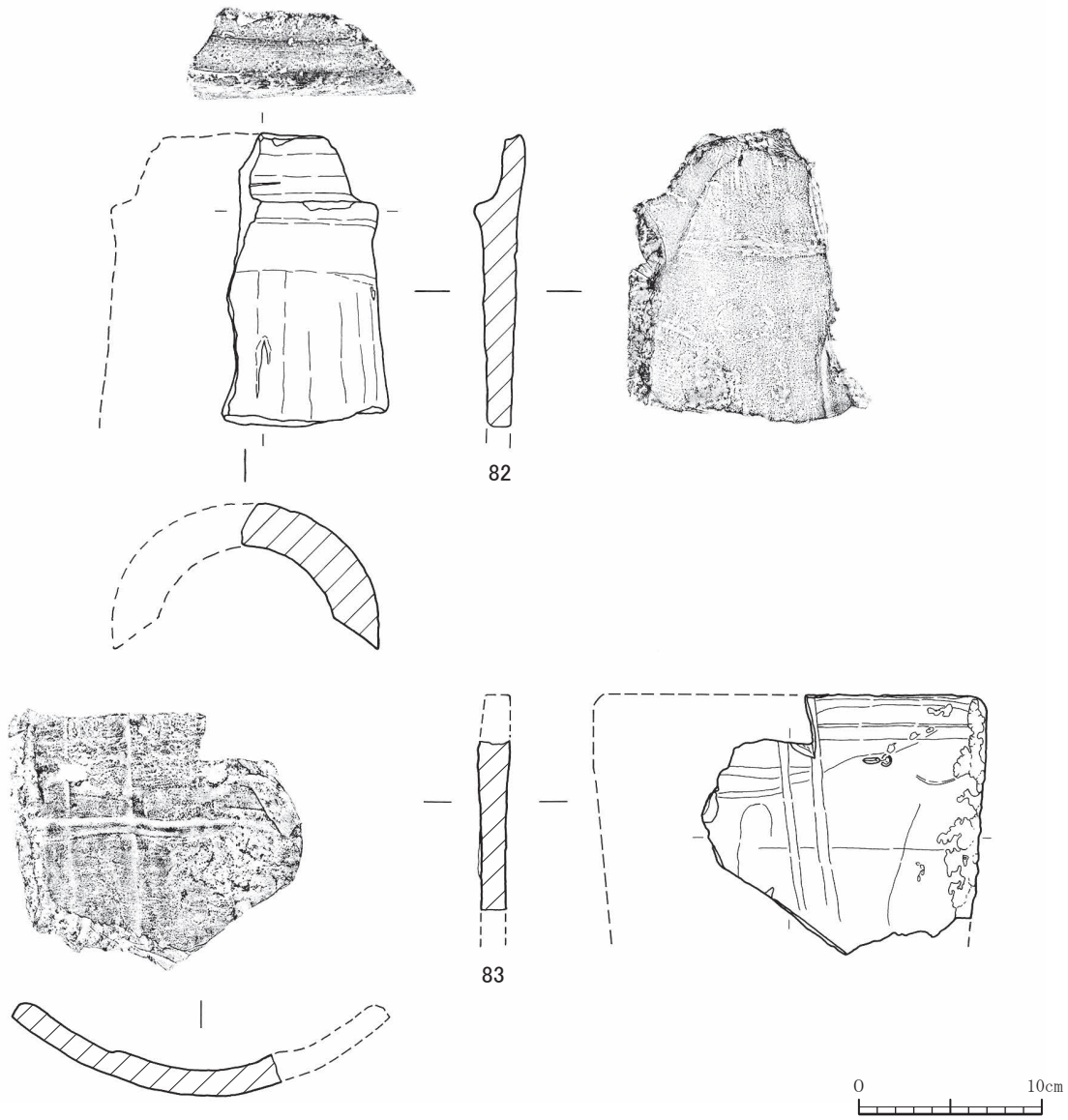
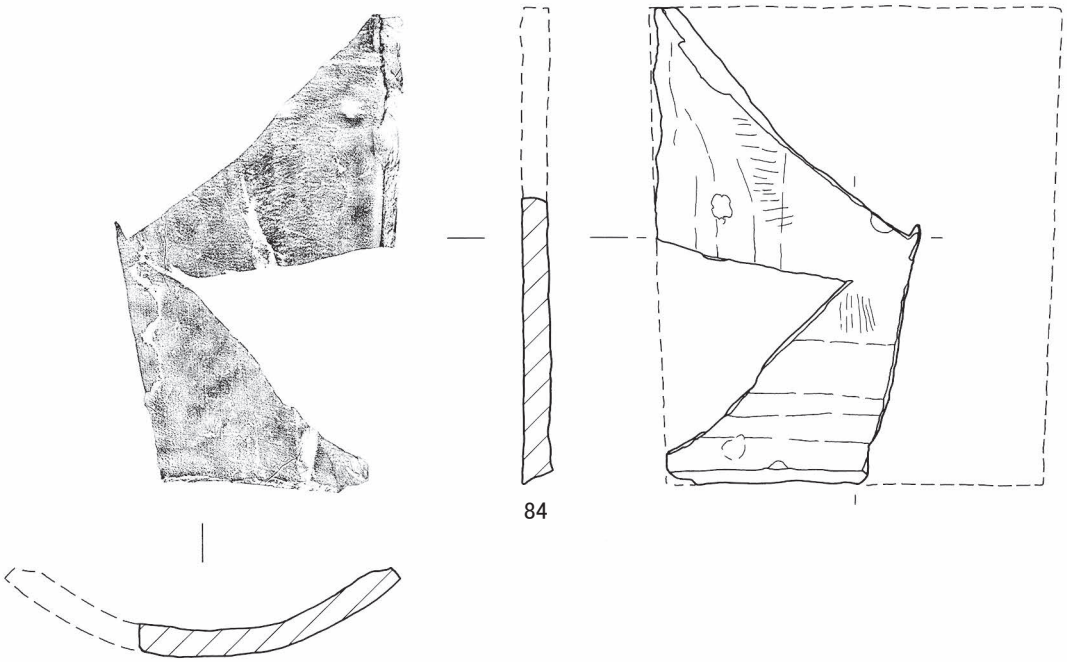


図 47　トレンチ５　Ⅲ層　出土遺物１

写真 139　トレンチ５　Ⅲ層　出土遺物１



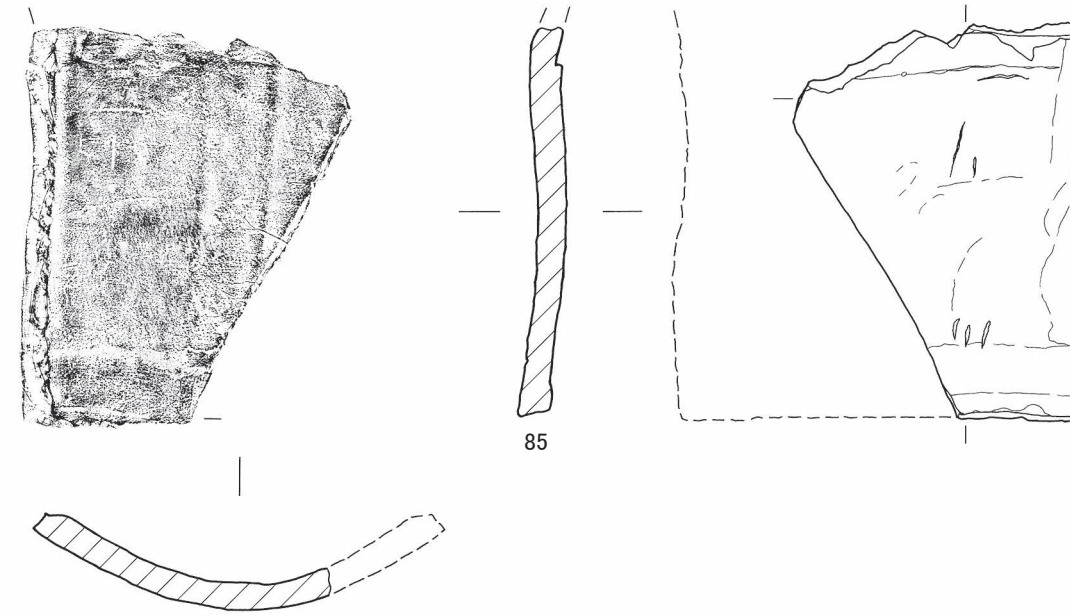


図 48　トレンチ５　Ⅲ層　出土遺物２

84

85

写真 140　トレンチ５　Ⅲ層　出土遺物２

第７節　トレンチ６の遺構と遺物

１　はじめに

トレンチ６は、門番詰所とそれに隣接する瓦石垣があった場所である。トレンチ南辺は、復元された石牆に接しており、基盤層まで撹乱が及んでいた（溝２）。トレンチ東側は、コンクリート埋設物や土坑により撹乱されている部分が多い。トレンチ西側は造成層が比較的良く残っていた。

２　石積み２

西側に面を持ち、南北に走る石積みである。野面積みのように見えるが、検出範囲が限られていてはっきりしない。土地を造成した際に積まれた、土留めの石積みと考えられる。

３　土坑１

直径３ｍ、深さ１ｍほどの土坑である。土坑内には、礫を多く含む土が厚く堆積しており、遺物も多く出土した。

４　溝２

戦後に行われた石牆の復元工事の際に、造成層（16層、17層）を掘り込んで造られた溝である。

５　サブトレンチ

平成23年度のトレンチ６で検出した石の延長部分や下層を調べるために、サブトレンチを設定した。その結果、石は南側には延びていないことがわかった。また造成層（16層、17層）が堆積している状況を確認できた。

６　層序

トレンチ６の基盤層は、トレンチ４、５でも確認できた黄褐色のニービ層である。ニービ層の上には、厚さ80cm以上の造成土（16層、17層）がある。

写真141　トレンチ６　完掘状況（東から）

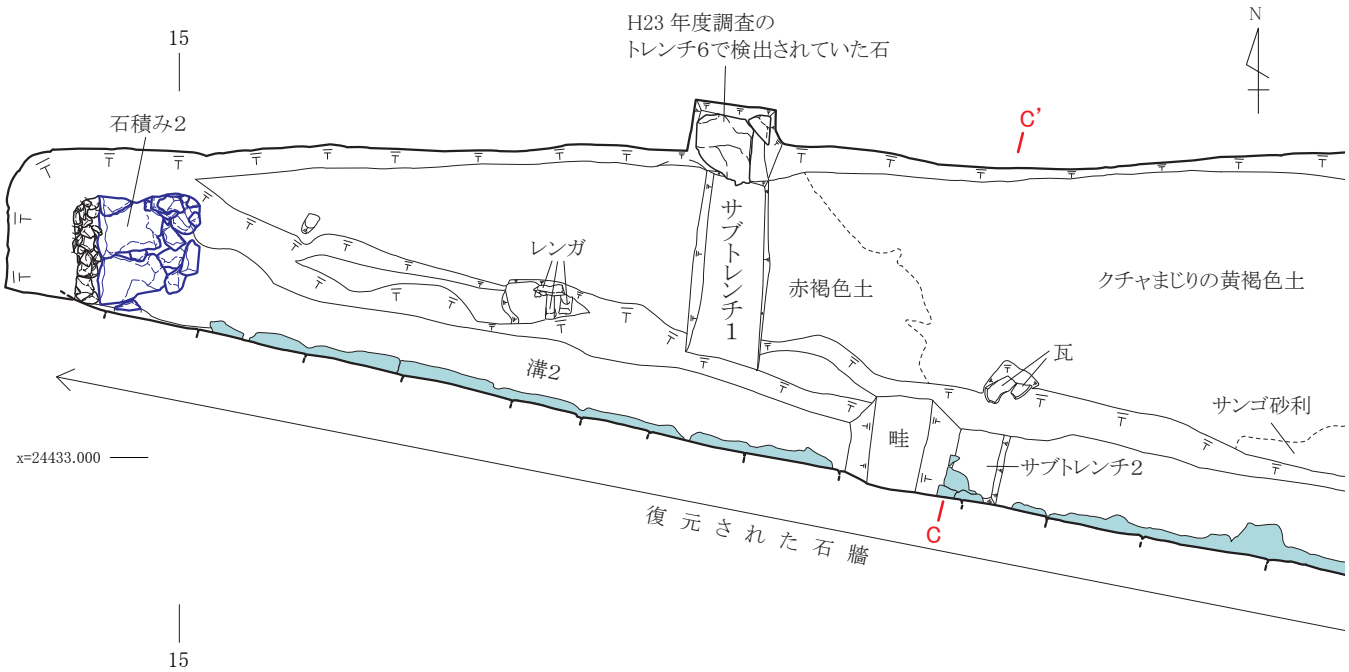


表 10　トレンチ６　土層一覧

番号	色調		特徴
1	淡黄色	2.5Y8/3	しまり無し。遺物なし。コーラル層。2～3cm大の石灰岩礫を密に含む。表土面にアスファルト補装がまばらに残っている。Ⅰ層。
2	褐色	10YR4/4	粘質。しまりあり。3cm～9cm大の石灰岩礫をまばらに含む。瓦・塼・陶器・炭を少し含む。Ⅰ層。
3	褐色	7.5YR4/4	やや砂質。しまりあり。瓦、石灰岩礫、明黄褐色土を含む。
4	オリーブ褐色	2.5Y4/6	やや砂質。しまりあり。石溜まり。主に10cm～30cmの石灰岩が30cm～70cmの厚さで堆積している。瓦の砕片がまばらに含まれる。Ⅰ層。
5	褐色	10YR4/4	粘質。しまりあり。石灰岩礫を含む。
6	オリーブ褐色	2.5Y4/6	粘質。しまりあり。瓦溜まり。主に瓦が集中して10cm～30cmの厚さで堆積している。瓦の他に、塼や陶器(擂り鉢など)を多く含む。Ⅲ層か。
7	オリーブ褐色	2.5Y4/6	粘質。しまりあり。層の上部には7cm～20cm大の礫が堆積しているが、層の下部に移るにつれて礫が目立たず、粘質土が主になる。瓦・貝・陶器・ガラス・炭を少し含む。Ⅲ層。
8	褐色	10YR4/4	やや粘質。しまり弱い。ニービの層。5cm大の礫をまばらに含む。炭を層状に含む。遺物は無し。
9	オリーブ褐色	2.5Y4/3	やや粘質。しまりあり。黄褐色土、青灰色土を含む。Ⅲ層かⅣ層。
10	黄褐色	10YR5/6	砂質。しまりがない。遺物はない。ニービ層。Ⅴ層。
11	オリーブ褐色	2.5Y4/3	粘質。しまりあり。砂利と3cm～5cm大の礫を多く含む。瓦を少し含むⅠ層。
12	にぶい黄褐色	10YR5/4	大小の礫が混じり、しまりはややある。Ⅰ層。
13	浅黄色	2.5Y7/4	砂を多く含み、礫も混じる。Ⅰ層。
14	黄褐色	10YR5/6	粘質。しまりはややある。Ⅰ層。
15	黄褐色	10YR5/6	礫を含み砂利がまじる。Ⅰ層。
16	明褐色	7.5YR5/6	粘質。しまりが強い。Ⅳ層。平成23年度トレンチ6の11層に対応か。
17	褐色	10YR4/4	砂質。ややしまりがある。明黄褐色土、黒褐色土を多く含む。Ⅳ層。
18	黄褐色	10YR5/6	砂質。礫、暗褐色土、明黄褐色土を少し含む。

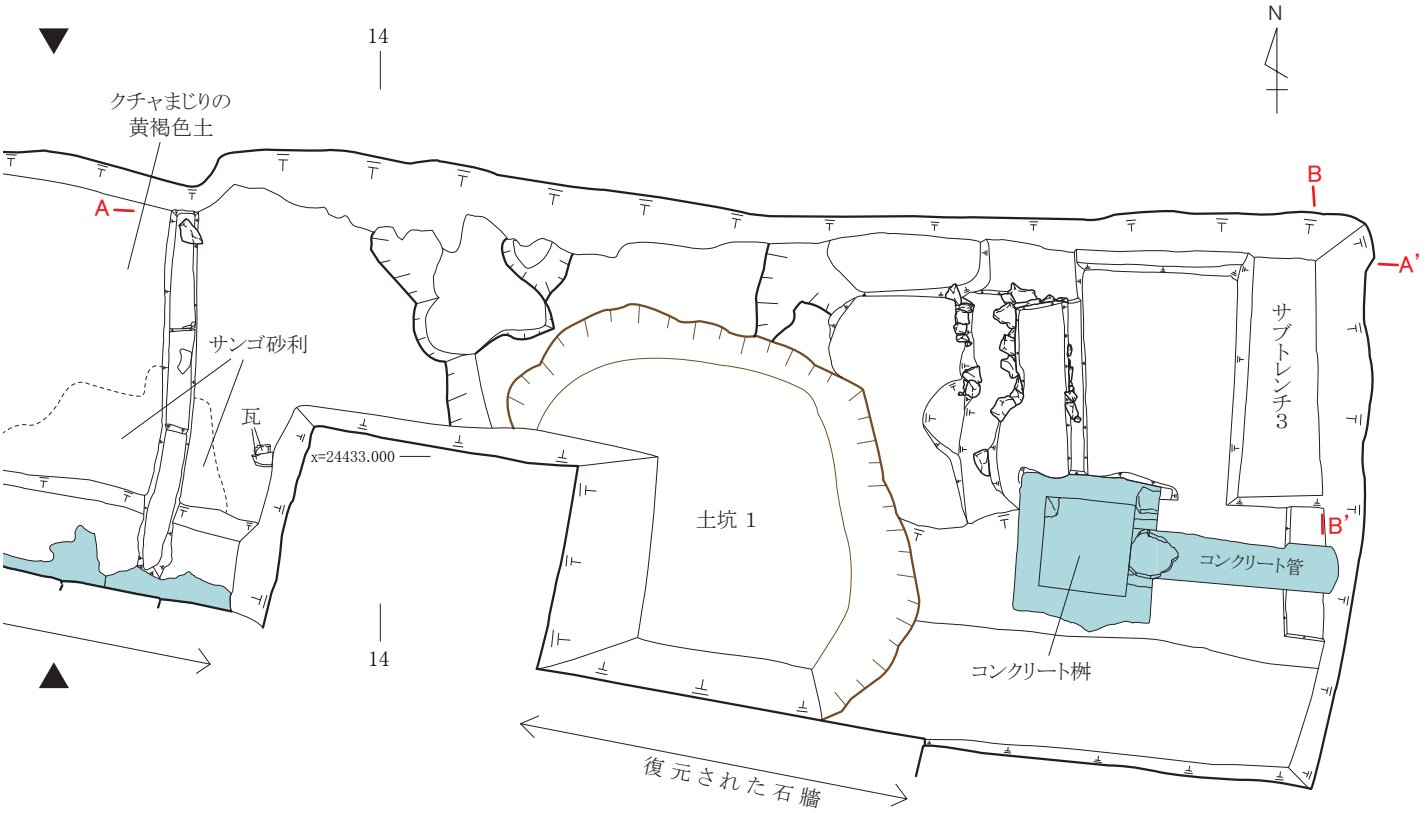


図 49　トレンチ 6　平面図

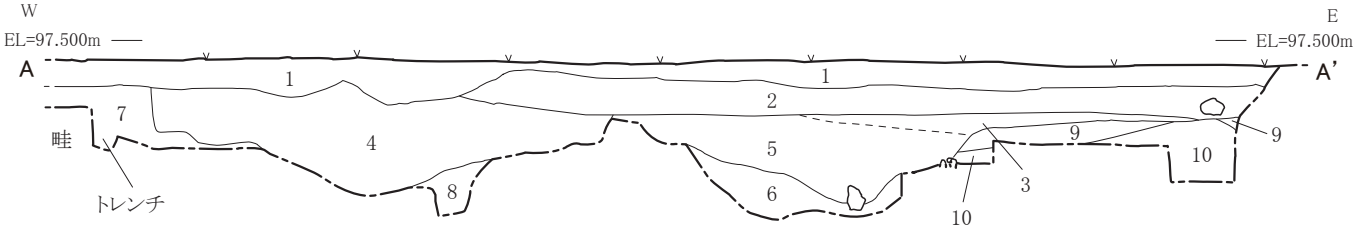


図 50　北壁（東側）土層図

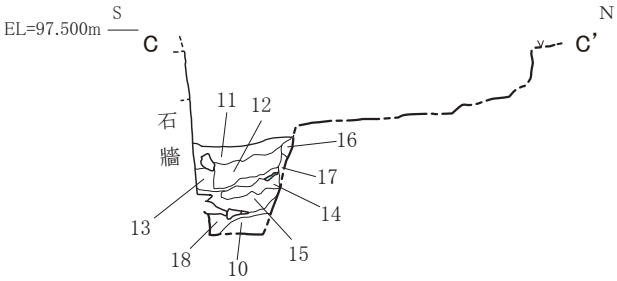


図 51 サブトレンチ 2　土層図

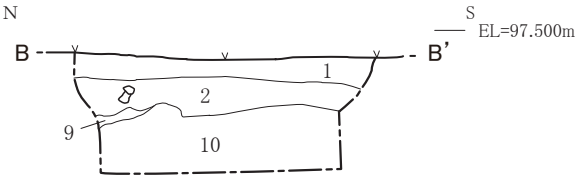


図 52　サブトレンチ 3　土層図

写真142　作業風景（南から）

写真143　作業風景（南から）

写真144　トレンチ７　作業風景（西から）

写真145　トレンチ６　完掘状況（西から）

写真146　石積み２（上が東）

写真147　石積み２（南東から）

写真148　土坑１内の土層（北から）

写真149　溝２　土層（東から）

写真150　石積み２東側　土層（南西から）

写真151　溝２　作業風景（北東から）

写真152　サブトレンチ１（南東から）

写真153　トレンチ６北壁　土層（南西から）

写真154　トレンチ６北壁　土層（南東から）

写真155　トレンチ６北壁　土層（南西から）

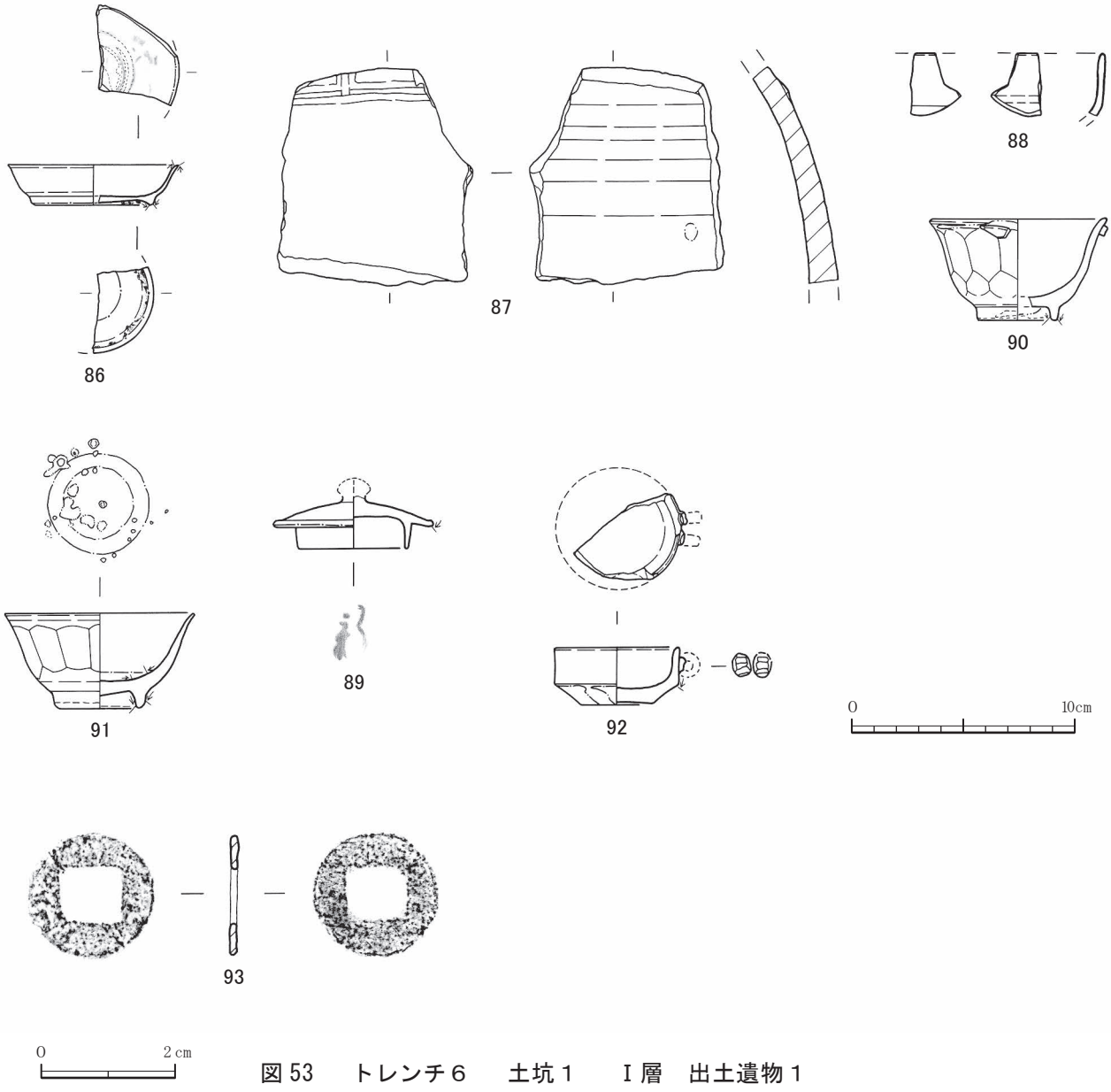


図 53　トレンチ６　土坑１　Ⅰ層　出土遺物１

表 11　トレンチ６ 出土遺物観察表

図番号 写真番号		種類	器種	部位	口径・ 長さ (cm)	底径・ 幅(cm)	器高・ 厚さ (cm)	所　見	出土地
図 53 写真156	86	中国産 色絵	皿	口縁～ 底部	7.6	5.4	1.8	口唇部内面、畳付、高台内中心は露胎。赤絵がかすかに残る。畳付の所々に目跡。	トレンチ６ 土坑１ Ⅰ層
	87	ミャンマー産 褐釉陶器	壺	胴部	－	－	－	素地はにぶい赤褐色で、黒色粒、赤色粒を少し含む。内面は露胎。貫入が多い。	
	88	本土産 青磁	碗	口縁部	－	－	－		
	89	本土産 陶器	蓋	撮み～ 口縁部	7.2	5.0	－	素地は白色。内面は露胎で、墨書がある。	

写真 156　トレンチ６　土坑１　Ⅰ層　出土遺物１

図番号 写真番号		種類	器種	部位	口径・長さ(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚さ(cm)	所　見	出土地
図 53 写真156	90	沖縄産 施釉陶器	小碗	口縁～ 底部	8.0	3.6	4.6	素地は灰白色。内外面とも白化粧で、畳付は露胎。口縁部外面に、別の小碗の口縁部片が付着。貫入、ピンホールが多い。	トレンチ６ 土坑１ Ⅰ層
	91	沖縄産 施釉陶器	小碗	口縁～ 底部	8.6	4.0	4.35	素地は浅黄色。畳付は露胎でアルミナが付着。見込みは蛇の目釉剝ぎ。貫入が多く、ピンホールが少しある。	
	92	沖縄産 施釉陶器	餌入れ	口縁～ 底部	5.6	3.2	2.55	底部外面は露胎。貫入が多い。	
	93	銭貨	無文銭	－	－	－	－	縦 1.8cm、横 1.8cm、厚さ 0.1cm。重量 0.93g。	
図 54 写真157	94	瓦	明朝系 平瓦 灰色	－	－	－	－	素地は灰色、灰黄色で橙色粒を少し含む。凹面は布目、凸面はナデ。長辺両側はナデ。凹面、割れ面に漆喰が付着。狭端部 17.9cm、長さ 23.6cm。	
	95	瓦	明朝系 丸瓦 赤色	－	－	－	－	素地は橙色で、赤色粒を少し含む。凹面は布目、ケズリ。凸面はナデ、ケズリ。長さ 30.2cm。	

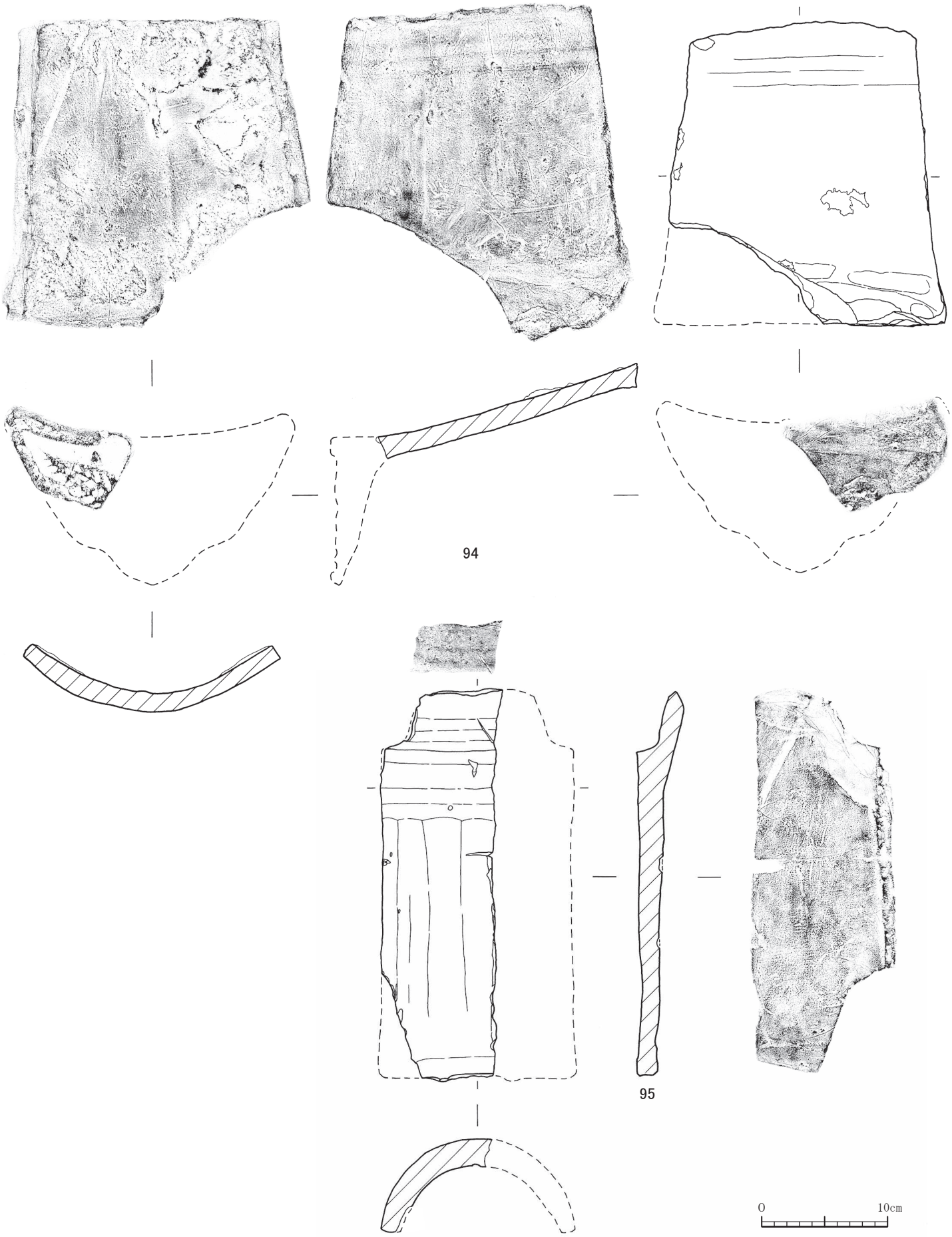
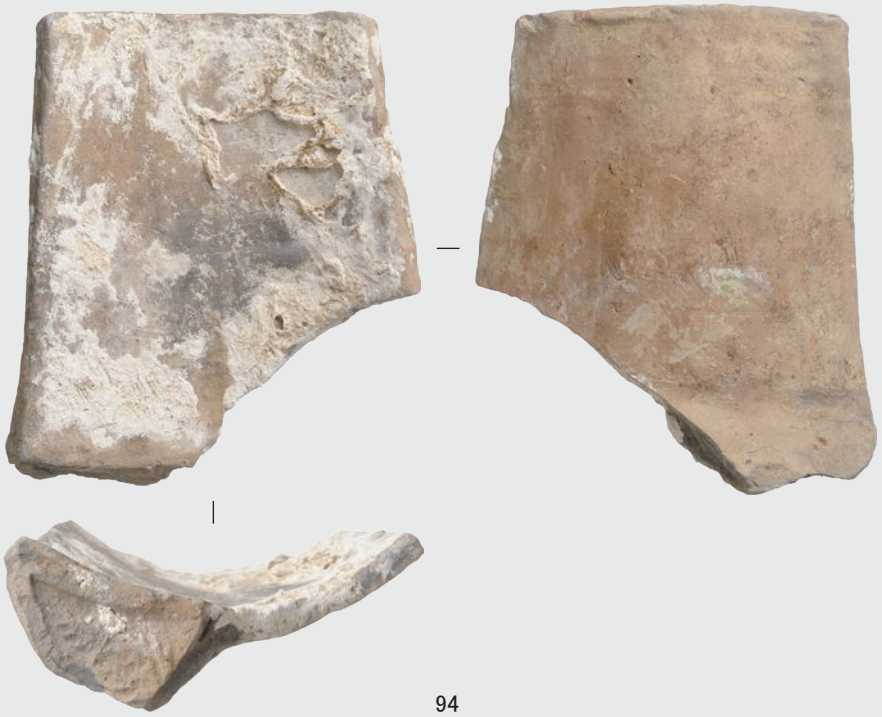


図 54　トレンチ６　土坑１　Ⅰ層　出土遺物２



94

95

写真 157　トレンチ６　土坑１　Ⅰ層　出土遺物２

第８節　トレンチ７の遺構と遺物

１　はじめに

トレンチ７は、中城大親の建物と瓦石垣にはさまれていた場所である。

２　石積み１

平成４年度の調査で「４号石垣」、平成23年度の調査で「石積み１」と名づけられた石積みである。平成４年度の調査によって、根石付近は野面積みで、その上はあいかた積みであることが確認されている。その後石積みの大部分は取り壊されたようで、現在は根石付近だけが残っていることがわかった。

南北に面を持ち、東西に走る石積みである。中城大親の南側にあった、瓦石垣である。

３　石積み７

平成４年度の調査で「６号石垣」、平成23年度の調査で「石積み９」と名づけられた石積みである。東西と南側に面を持ち、根石のみが残っている。「板図」では、石積み７と一連の瓦石垣として描かれている。

４　瓦溜まり１

瓦と石灰岩礫を帯状に集めた遺構である。東側はトレンチの外に伸びている。

５　ピット１

直径25cmほどの穴の周りを、赤褐色の土で土手状に固めた遺構である。

６　層序

サブトレンチ１において、造成土を約60cm掘り下げたところから、人頭大の石灰岩からなる造成層を確認した。トレンチ２においても同様な層を確認した。

サブトレンチ３において、南側に傾斜しながら造成土が堆積している状況を確認した。６層から出土した炭を年代測定したところ、17世紀前半～19世紀前半という結果が出た。

７　その他

サブトレンチ２の東壁において、12層から寛永通宝が４枚まとまって出土した。

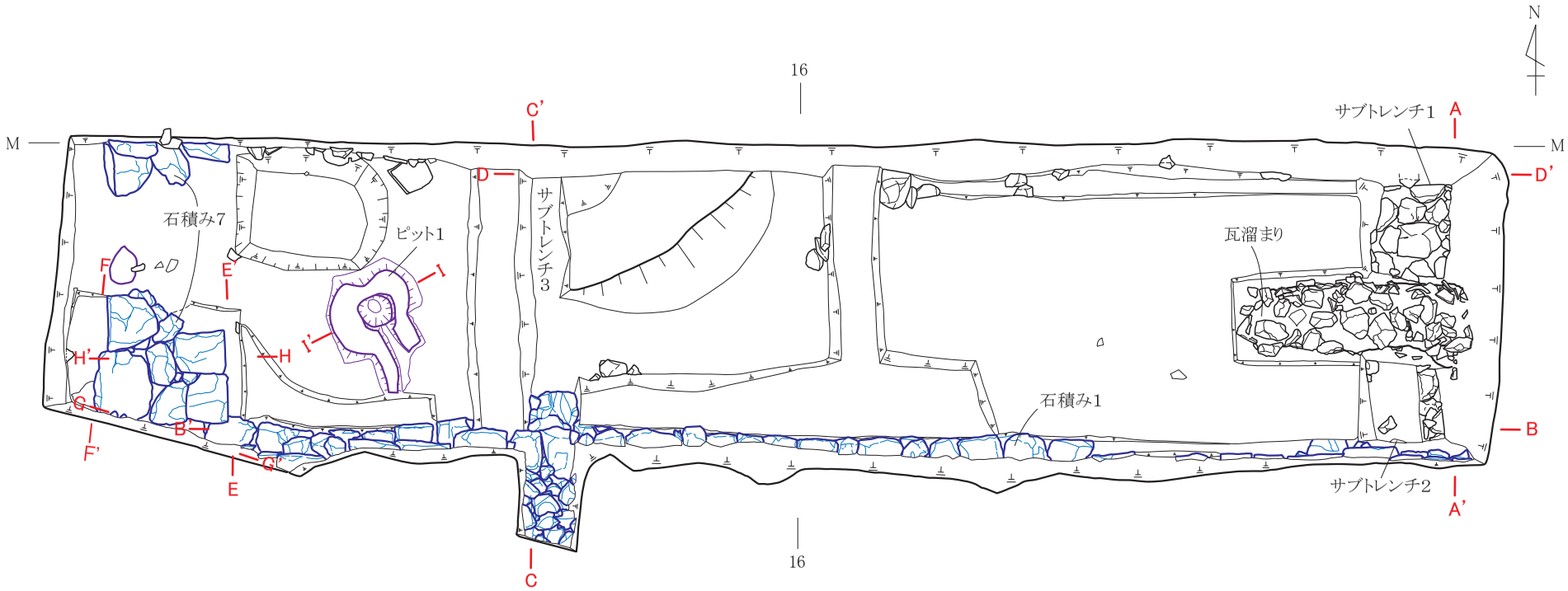


図55　トレンチ７　平面図

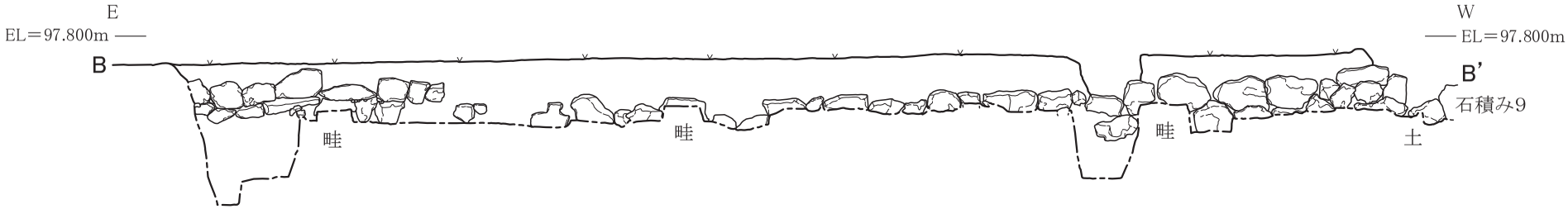


図56　南壁　石積み１　立面図

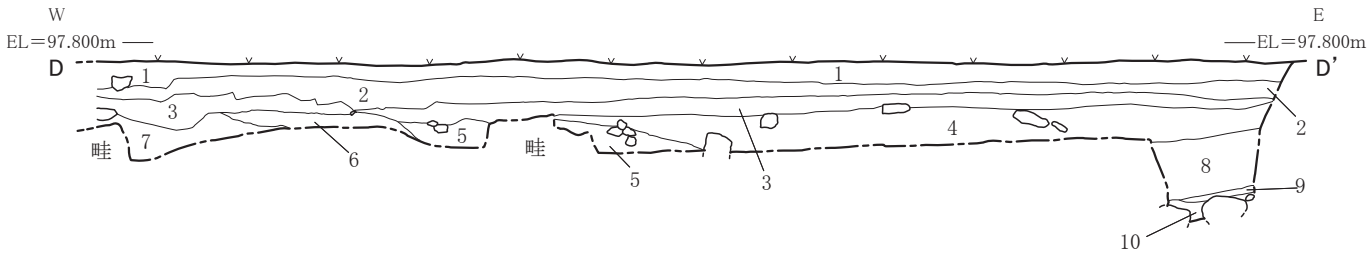


図57　北壁　土層図

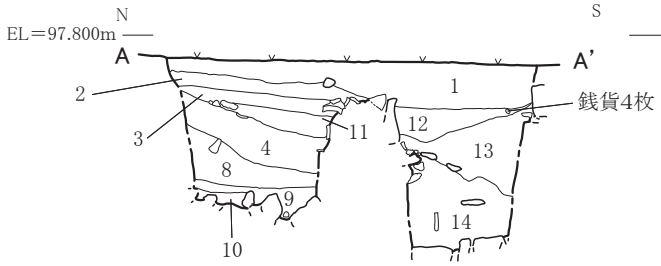


図58　東壁　土層図

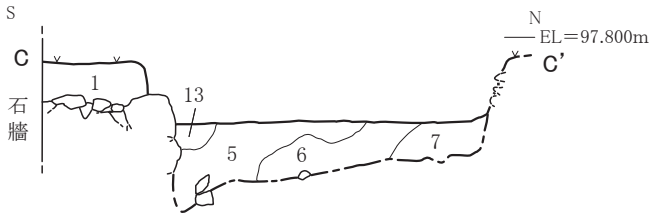


図59　西側アゼ　土層図

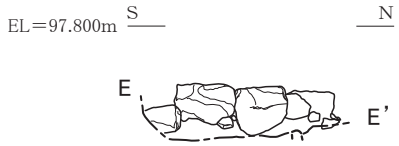


図60　石積み7東壁　立面図

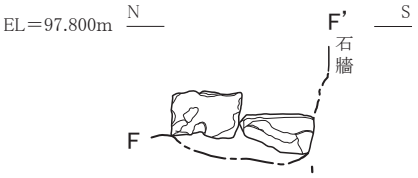


図61　石積み7西壁　立面図

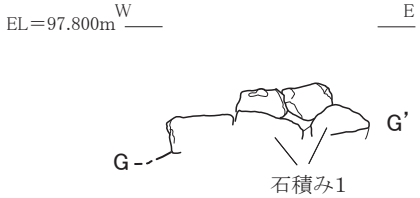


図62　石積み7南壁　立面図

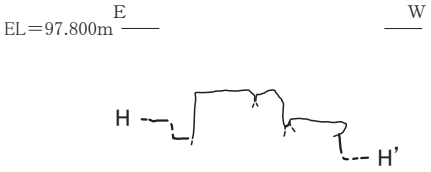


図63　石積み7　断面図

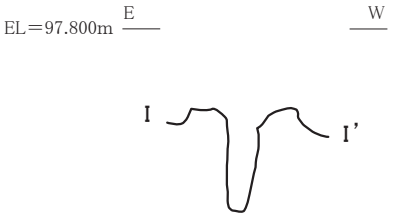


図64　ピット1　断面図

表12　トレンチ７　土層一覧

番号	色　調		特　徴
1	浅黄色	2.5Y7/3	砂質。しまり無し。1cm～7cm大の石灰岩礫を密に含む。コーラル層。アスファルト補装がまばらに残る。Ⅰ層。
2	褐色	10YR4/4	やや砂質。しまりあり。3cm～10cm大の明褐色(7.5YR5/6)土をブロック状に含む。瓦・貝・陶器・コンクリートの砕片を含む。3cm～5cm大の石灰炭礫をまばらに含む。平成23年度トレンチ7の2層と同一。Ⅰ層。
3	灰黄褐色	10YR5/2	やや砂質。しまりはやや弱い。瓦・石灰岩礫を含む。4層との境は不明瞭。
4	にぶい黄褐色	10YR5/4	粘質。しまりあり。6cm～10cm大の石灰岩礫をまばらに含む。瓦・貝・陶器の砕片をまばらに含む。「褐色土」で遺物を取り上げる。5層との境は不明瞭。Ⅲ層かⅣ層。
5	灰黄褐色	10YR4/2	砂質。しまり弱い。1cm～4cm大の礫をまばらに含む。瓦や炭粒が少量含まれる。「褐色土」で遺物を取り上げる。Ⅲ層かⅣ層。
6	黄褐色	2.5Y5/4	砂質。しまり無し。1cm～7cm大の礫をまばらに含む。瓦・陶器片を少量含む。平成23年度トレンチ7の7層と同一。「黄褐色土」で遺物を取り上げる。Ⅳ層。
7	褐色	10YR4/4	粘質。しまり弱い。3cm～10cm大の礫を密に含む。瓦・陶器片・炭粒が少量含まれる。Ⅳ層。
8	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質。しまりあり。1cm～5cm大の石灰岩礫をまばらに含み、1mm大の砂粒がまばらに含まれる。1mm程度の炭粒がまばらに含まれている。遺物はみられない。Ⅳ層。
9	黄褐色	2.5Y5/4	砂質。しまりなし。石灰岩礫や砂粒は見られないが、2mm～2cm大の炭粒がまばらに含まれ、瓦の砕片をわずかに含む。Ⅳ層。
10	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質。しまりあり。石灰岩礫や砂粒は見られない。9層とははっきり分層できた。瓦をわずかに含み、2mm～1cm大の炭粒がまばらに含まれる。Ⅳ層。
11	にぶい黄褐色	10YR4/3	粘質。クチャ・赤褐色土を少し含む。
12	黄灰色	2.5Y4/1	やや砂質。しまりあり。1cm～5cm大の石灰岩礫をまばらに含む。2mm～2cm大の炭粒をまばらに含む。瓦・古銭などを含む。「暗褐色土」で遺物を取り上げる。
13	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘質。しまりあり。2cm～15cm大の赤褐色土(5YR4/6)をブロック状に含む。1cm～2cm大の炭粒をまばらに含む。10cm～30cmクチャブロックをまばらに含む。「灰褐色土」で遺物を取り上げる。Ⅲ層かⅣ層。
14	にぶい黄褐色	10YR5/4	砂質。しまりなし。下部へ向かうにつれて粘度が少しずつ強くなる。10cm～20cm大のクチャブロックをわずかに含む。5mm～4cm大の炭粒をまばらに含む。瓦の砕片がまばらに含まれる。Ⅲ層かⅣ層。

写真158　トレンチ７　作業風景

写真159　トレンチ７　作業風景

写真160　トレンチ７　作業風景（西から）

写真161　トレンチ７　遺構検出状況（東から）

写真162　トレンチ７　遺構検出状況（北から）

写真163　石積み７（北から）

写真164　石積み７（西から）

写真165　瓦溜まり（南東から）

写真166　瓦溜まり（北から）

写真167　ピット１（南から）

写真168　サブトレンチ１（上が西）

写真169　サブトレンチ１（南西から）

写真170　サブトレンチ２（西から）

写真171　サブトレンチ２東壁　銭貨出土状況（西から）

写真172　サブトレンチ３東壁と石積み１（北西から）

写真173　トレンチ７北壁　土層（南東から）

表13　トレンチ７出土遺物観察表

図番号 写真番号		種類	器種	部位	口径・長さ(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚さ(cm)	所　見	出土地
図65 写真174	96	中国産 白磁	合子 (身)	口縁部	7.4	―	―	内径6.8cm。	トレンチ７ 瓦溜まり　Ⅲ層
	97	沖縄産 施釉陶器	蓋	口縁部	―	―	―	素地は浅黄色で、砂質。庇～内面は露胎。青色、黄色の文様の上から透明釉。庇径6.6cm。	トレンチ７ 瓦溜まり　Ⅲ層
	98	円盤状 製品	沖縄産 施釉陶器	―	―	―	―	碗の胴部を転用か。縦2.1cm、横2.0cm、厚さ0.7cm。重量3.76g。	トレンチ７ 瓦溜まり　Ⅲ層
	99	瓦	明朝系 丸瓦 赤色	―	―	―	―	素地は橙色で赤色粒を多く含む。凸面はナデ。凹面は布目、ケズリ。	トレンチ７ 瓦溜まり　Ⅲ層
	100	沖縄産 無釉陶器	壺	口縁部	7.2	―	―	素地は赤褐色で、黒色粒を少し含む。外面に自然釉。	トレンチ７ Ⅲ層　黄褐色土
	101	沖縄産 無釉陶器	水鉢	口縁部	31.6	―	―	素地は赤褐色、暗灰色で、赤色粒を少し含む。	トレンチ７ Ⅲ層　黄褐色土
	102	中国産 染付	碗	口縁部	―	―	―		トレンチ７ Ⅲ層　褐色土
	103	本土産 磁器	小碗	底部	―	3.5	―	高台内は所々露胎。近代。	トレンチ７ Ⅲ層　褐色土
	104	沖縄産 施釉陶器	碗	口縁部	―	―	―	素地は灰白色。胴部、底部は露胎。	トレンチ７ Ⅲ層　褐色土
	105	沖縄産 無釉陶器	擂り鉢	口縁部	―	―	―	素地は橙色で、白色粒、黒色粒を少し含む。擂り目は４本／cmで、擂り目上端はナデ。	トレンチ７ Ⅲ層　褐色土
	106	円盤状 製品	染付	―	1.9	1.8	0.4	碗の胴部を転用。重量1.49g。	トレンチ７ Ⅲ層　褐色土
	107	瓦	明朝系 平瓦 赤色	―	―	―	―	素地は橙色で、白色粒を多く含む。凹面はナデ、凸面は布目。広端部は圧痕。広端部22.7cm。	トレンチ７ Ⅲ層　褐色土
図66 写真175	108	本土産 染付	蓋	撮み	―	―	―	外面に草花文。	トレンチ７ Ⅲ層　暗褐色土
	109	陶質土器	器種不明	口縁部	―	―	―	素地は橙色で、白色粒、雲母を含む。胴部外面にススが付着。	トレンチ７ Ⅲ層　暗褐色土
	110	沖縄産 施釉陶器	火入れ	口縁部	―	―	―	素地は浅黄色。灰黄色。白化粧で、内面は露胎。口縁部平坦面はオリーブ色。貫入が多い。	トレンチ７ Ⅲ層　暗褐色土
	111	瓦	明朝系 丸瓦 灰色	―	―	―	―	素地は黄灰色で、橙色粒、マンガンを少し含む。凹面はナデ、凸面は布目。布目が細かい。	トレンチ７ Ⅲ層　暗褐色土
	112	鉄製品	角釘	―	―	―	―	完形。縦7.2cm、横（径）0.67cm、厚さ（頭部）0.89cm。重量9.32g。	トレンチ７ Ⅲ層　暗褐色土
	113	銭貨	寛永通寶 (古)	―	―	―	―	直径2.45cm、厚さ0.1cm。重量2.96g。	トレンチ７ Ⅲ層　暗褐色土
	114	銭貨	寛永通寶 (古)	―	―	―	―	直径2.5cm、厚さ0.1cm。重量3.23g。	トレンチ７ Ⅲ層　暗褐色土
	115	銭貨	寛永通寶 (古)	―	―	―	―	直径2.4cm、厚さ0.1cm。重量3.3g。	トレンチ７ Ⅲ層　暗褐色土
	116	銭貨	寛永通寶 (古)	―	―	―	―	直径2.4cm、厚さ0.1cm。重量3.66g。	トレンチ７ Ⅲ層　暗褐色土

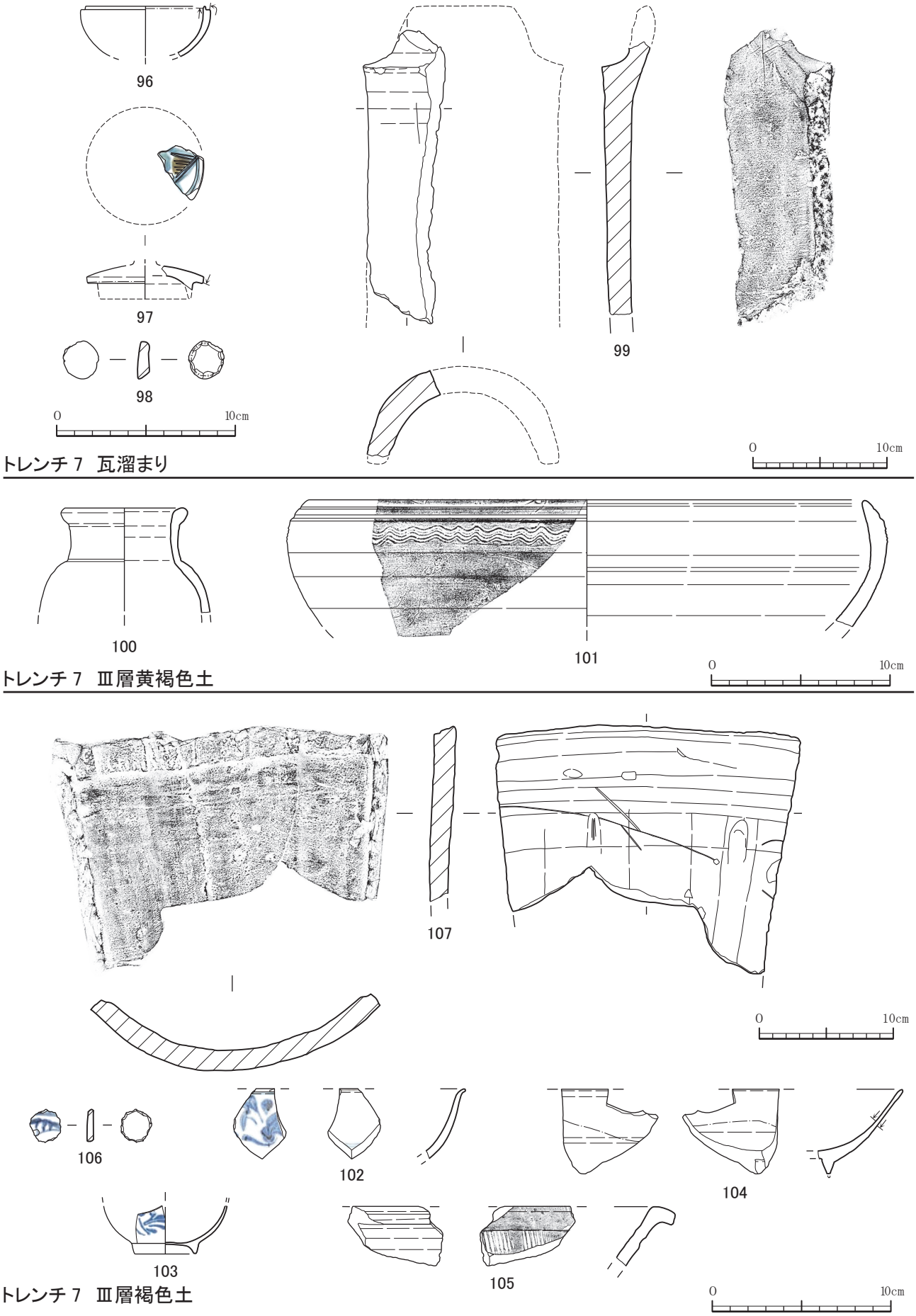


図 65　　トレンチ７　　瓦溜まり、Ⅲ層黄褐色土、Ⅲ層褐色土　　出土遺物

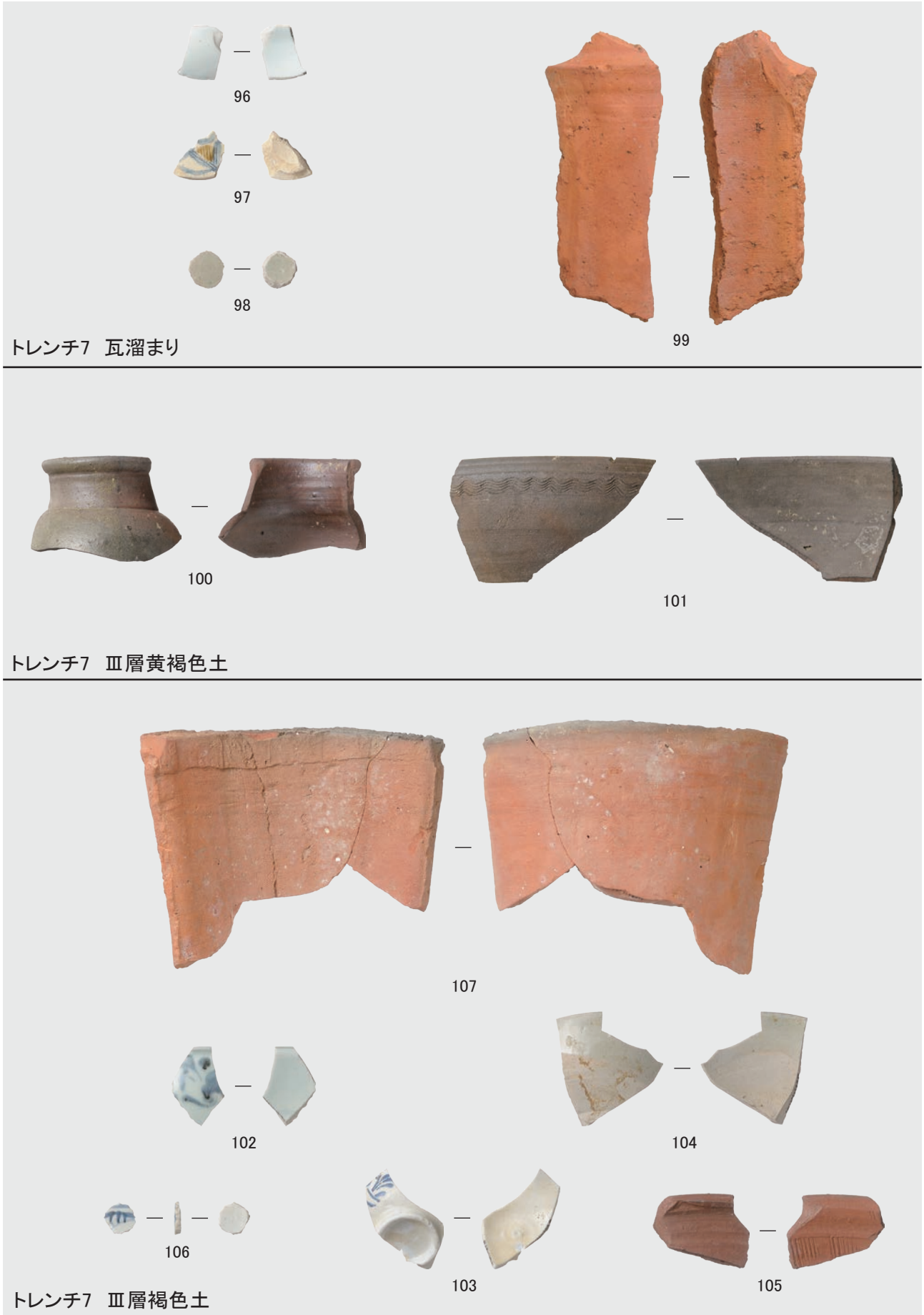


写真 174　　トレンチ７　　瓦溜まり、Ⅲ層黄褐色土、Ⅲ層褐色土　　出土遺物

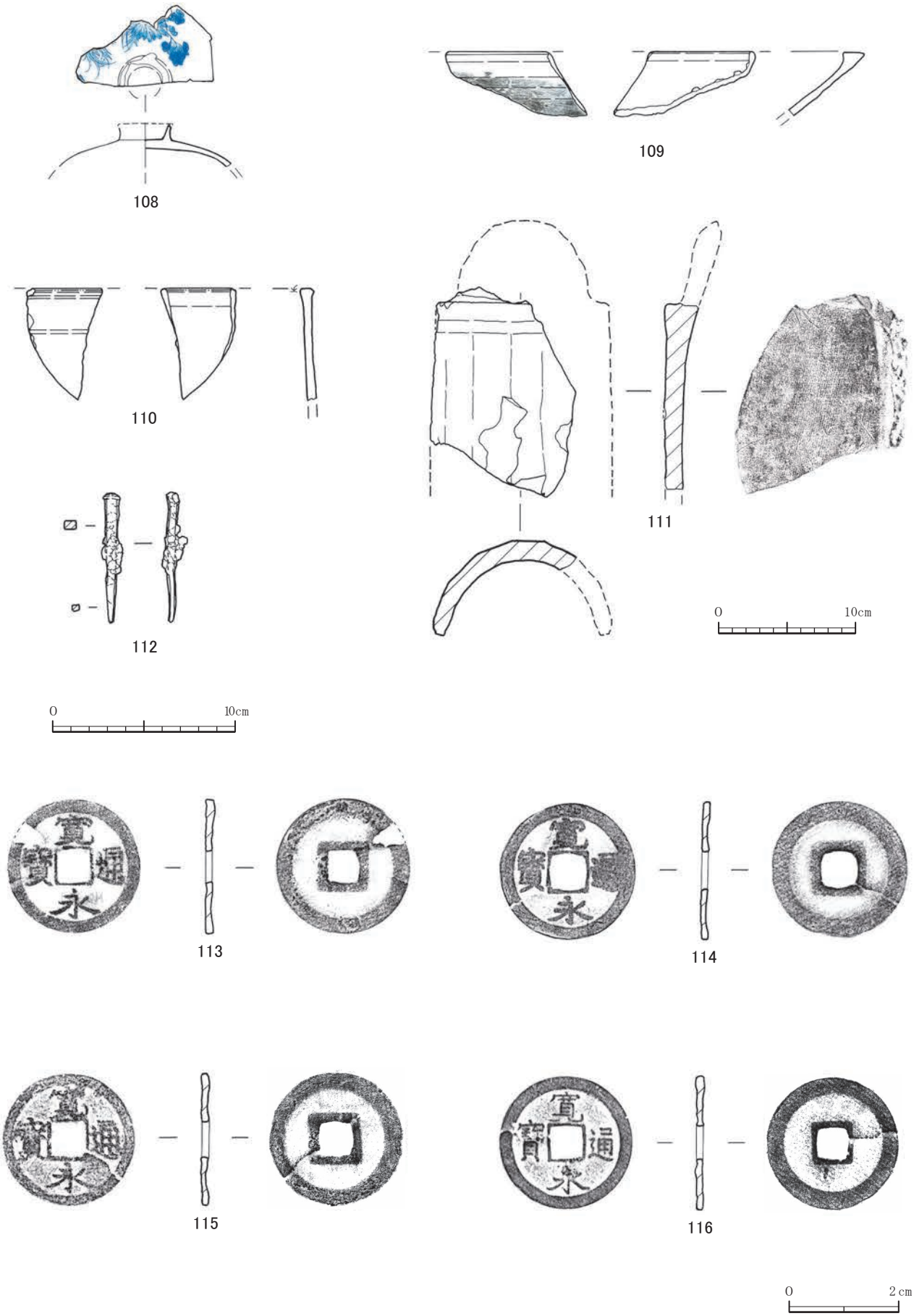


図 66　トレンチ７　Ⅲ層暗褐色土　出土遺物

108

109

110

111

112

113

114

115

116

写真 175　トレンチ７　Ⅲ層暗褐色土　出土遺物

第９節　遺構外から出土した遺物

表14　出土遺物観察表

図番号 写真番号		種類	器種	部位	口径・長さ(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚さ(cm)	所　見	出土地
図67 写真176	117	中国産 白磁	皿	口縁～ 底部	(8.6)	5.2	2.35	畳付は露胎。高台内は一部露胎。	トレンチ１ Ⅰ層
	118	中国産 白磁	皿	口縁～ 底部	16.0	9.0	3.4	畳付は露胎。貫入が多い。景徳鎮窯系。	トレンチ２ Ⅰ層
	119	中国産 白磁	蓮華	皿	－	－	－	底部外面は露胎か、薄い透明釉。	トレンチ１ Ⅰ層
	120	中国産 白磁	器種不明	－	－	－	－	内面は露胎。足をそろえて立っている、人形の足の部分か。	トレンチ１ Ⅰ層
	121	中国産 染付	小杯	口縁～ 底部	5.3	2.6	3.35	畳付は露胎。高台内に「玉」の文字。	トレンチ３ Ⅰ層
	122	中国産 染付	碗	口縁～ 底部	11.4	5.2	6.25	畳付の釉は削り取られて露胎。高台内に銘あり。	トレンチ６ Ⅰ層
	123	中国産 染付	碗	口縁部	－	－	－	4個分の碗の口縁部が溶着している。	トレンチ６ Ⅰ層
	124	中国産 染付	碗	底部	－	5.4	－	畳付の釉は削り取られて露胎。高台内に「元」の文字。	トレンチ２ Ⅰ層
	125	中国産 染付	碗	底部	－	8.0	－	底部内外面は露胎。見込みに重ね焼きの跡。高台内に墨書。	トレンチ６ Ⅰ層
	126	中国産 染付	杯	口縁～ 底部	6.4	2.6	2.9	畳付は露胎。	トレンチ２ Ⅰ層
	127	沖縄産 施釉陶器	小杯	口縁～ 底部	3.2	1.55	1.82	底部外面～高台内は露胎。	トレンチ２ Ⅰ層
	128	中国産 白磁	皿	口縁～ 底部	8.2	5.2	2.0	畳付～高台内は露胎。口唇部は釉剥ぎ。	トレンチ１ Ⅰ層
	129	中国産 色絵	小杯	口縁～ 底部	4.3	1.95	2.35	畳付は露胎で、目跡あり。	トレンチ１ Ⅰ層
	130	中国産 瑠璃釉	小杯	口縁～ 底部	4.0	2.2	1.7	畳付は露胎か。	トレンチ１ Ⅰ層
	131	本土産 染付	鉢	口縁部	－	－	－		トレンチ１ Ⅰ層
	132	本土産 染付	碗	胴部	－	－	－	筒形。	トレンチ１ Ⅰ層
	133	本土産 染付	碗	口縁～ 底部	13.2	5.4	7.5	畳付は露胎。透明釉のムラがある。	トレンチ１ Ⅰ層
	134	本土産 染付	角皿	口縁～ 底部	－	－	1.9	畳付は露胎。	トレンチ１ Ⅰ層
	135	本土産 陶器	皿	口縁～ 底部	12.2	4.4	2.9	見込は蛇の目釉剥ぎで、重ね焼きの跡あり。底部外面は露胎。ロクロは左回り。	トレンチ７ Ⅰ層
	136	本土産 青磁	香炉	底部	－	7.4	－	内面は露胎。蛇の目凹型高台。高台内はにぶい赤褐色。	トレンチ１ Ⅰ層

図番号 写真番号		種類	器種	部位	口径・長さ(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚さ(cm)	所　見	出土地
図67 写真176	137	沖縄産 施釉陶器	袋物	底部	－	2.7	－	素地は灰白色で、黒色粒を少し含む。胴部内面、底部外面は露胎。	トレンチ1 Ⅰ層
	138	沖縄産 施釉陶器	壺	底部	－	5.2	－	素地は浅黄橙色で、赤色粒を少し含む胴部内面は露胎。	トレンチ1 Ⅰ層
	139	沖縄産 施釉陶器	灯明具	底部	－	3.9	－	素地は灰黄色。畳付は露胎。脚の一部に砂混じりの粘土が付着。	トレンチ6 Ⅰ層
図68 写真177	140	沖縄産 施釉陶器	火入れ	底部	－	11.0	－	素地は浅黄橙色。内面と底部外面は露胎。高台脇には飛び鉋状の工具痕。高台内に墨書。畳付に釉が付着。	トレンチ1 Ⅰ層
	141	沖縄産 無釉陶器	皿	口縁～ 底部	11.0	5.4	2.3	素地は赤褐色で、白色粒を少し含む。ロクロは左回転。底部外面はケズリが及ばず、未調整の部分がある。	トレンチ6 Ⅰ層
	142	沖縄産 無釉陶器	皿	口縁～ 底部	10.0	4.7	2.55	素地は赤褐色で、白色粒を少し含む。底部外面はヘラケズリ。	トレンチ1 Ⅰ層
	143	沖縄産 無釉陶器	瓶	底部	－	6.7	－	素地はにぶい赤褐色で、白色粒を少し含む。底部外面に圧痕。	トレンチ1 Ⅰ層
	144	沖縄産 無釉陶器	酒器	底部	－	6.0	－	素地はにぶい赤褐色で、白色粒、黒色粒を少し含む。底部外面に圧痕。	トレンチ2 Ⅰ層
	145	沖縄産 無釉陶器	甕	口縁部	34.5	－	－	口縁部上面は左→右に向かって鋸歯文。内面は上→下に向かって鋸歯文。	トレンチ1 Ⅰ層
	146	沖縄産 無釉陶器	擂り鉢	口縁～ 底部	25.0	10.6	12.1	素地はにぶい赤褐色で、白色粒、黒色粒、赤色粒を少し含む。口縁部平坦面に圏線が1本。擂り目は18本/3.9㎝。	トレンチ1 Ⅰ層
	147	陶質土器	火炉	胴部	－	－	－	素地は明赤褐色で砂質。外面に墨書と白色の圏線。	トレンチ2 Ⅰ層
	148	煙管	沖縄産 施釉陶器	雁首	－	－	－	透明釉。貫入が多い。火皿内径1.2cm、火皿外径1.5cm、羅宇接続部内径1.05cm、羅宇接続部外径1.6cm、雁首長3.3cm。重量10.10g。	トレンチ1 Ⅰ層
	149	煙管	沖縄産 施釉陶器	雁首	－	－	－	透明釉。火皿内径0.95cm、火皿外径1.3cm、羅宇接続部内径1.15cm、羅宇接続部外径1.6cm、雁首長1.4cm。重量7.81g。	トレンチ1 Ⅰ層
	150	煙管	沖縄産 施釉陶器	吸口	－	－	－	透明釉。羅宇接続部内径0.9cm、羅宇接続部外径1.4cm、口付内径0.5cm、口付外径0.8cm、雁首長2.8cm。重量4.58g。	トレンチ7 Ⅰ層
	151	坩堝	－	口縁部	2.6	－	－	表面はアバタが多い。重量2.10g。	トレンチ1 Ⅰ層
	152	土製品	土錘	－	－	－	－	素地はにぶい赤褐色で、白色粒、黒色粒、赤色粒、橙色粒を少し含む。縦6.9cm、横（最大幅）5.1cm、孔径1.9cm。重量87.84g。	トレンチ2 Ⅰ層

図番号 写真番号		種類	器種	部位	口径・長さ(cm)	底径・幅(cm)	器高・厚さ(cm)	所　見	出土地
図69 写真178	153	青銅製品	簪 (側差)	―	―	―	―	完形。縦(全長)15.8cm、横(幅)0.4cm、厚さ0.35cm、カブ厚0.2cm、カブ長1.65cm、頸長4.5cm、竿長8.0cm。重量7.10g。	トレンチ1 Ⅰ層
	154	青銅製品	器種不明	―	―	―	―	長さ6.9cm、幅1.1cm。重量5.45g。	トレンチ6 Ⅰ層
	155	青銅製品	器種不明	―	―	―	―	外径1.85～2.0cm、内径1.5～1.8cm、厚さ0.1cm、幅0.6cm。重量1.56g。	トレンチ1 Ⅰ層
	156	青銅製品	丸釘	―	―	―	―	頭部上面は不正円形。完形。縦1.65cm、横(径)0.24cm、厚さ(頭部)0.32cm。重量0.29g。	トレンチ6 Ⅰ層
	157	鉄製品	角釘	―	―	―	―	頭部上面は正方形。完形。縦11.45cm、横(径)0.8cm、厚さ(頭部)1.05cm。重量45.43g。	トレンチ1 Ⅰ層
	158	鉄製品	角釘	―	―	―	―	少し曲がる。頭部上面は長方形。完形。縦11.3cm、横(径)0.83cm、厚さ(頭部)1.24cm。重量27.66g。	トレンチ1 Ⅰ層
	159	鉄製品	角釘	―	―	―	―	頭部上面は長方形。完形。縦7.25cm、横(径)0.52cm、厚さ(頭部)0.69cm。重量8.10g。	トレンチ1 Ⅰ層
	160	青銅製品	角釘	―	―	―	―	頭部上面は平坦ではなく、カーブしている。完形。縦8.4cm、横(径)0.67cm、厚さ(頭部)0.73cm。重量31.40g。	トレンチ1 Ⅰ層
	161	ガラス製品	瓶	口縁～底部	―	―	6.5	底部外面に「ABBOT」、「10」、「LAB」などのエンボス。完形。重量35.57ｇ。	トレンチ1 Ⅰ層
	162	ガラス製品	瓶	口縁～底部	0.8	1.8	5.6	完形。重量15.43ｇ。	トレンチ1 Ⅰ層
	163	鉄製品	鉄滓	―	―	―	―	砂粒が少し付着。木炭は付着していない。重量28.75g。	トレンチ2 Ⅰ層
	164	銭貨	寛永通寶	―	―	―	―	外径2.39cm、内径0.52cm、厚さ0.15cm。重量3.54g。	トレンチ6 Ⅰ層
	165	銭貨	寛永通寶	―	―	―	―	外径2.22cm、内径0.54cm、厚さ0.14cm。重量2.41g。	トレンチ2 Ⅰ層
	166	玉	―	―	―	―	―	水色で気泡が多い。風化が進む。最大径0.42cm、孔径0.2cm、高さ0.25cm。重量0.04g。	トレンチ1 Ⅰ層
	167	玉	―	―	―	―	―	黄緑色で、気泡が多い。最大径0.45cm、孔径0.2cm、高さ0.3cm。重量0.07g。	トレンチ1 Ⅰ層
	168	玉	―	―	―	―	―	紺色で気泡が多い。最大径0.4cm、孔径0.2cm、高さ0.3cm。重量0.08g。	トレンチ2 Ⅰ層
	169	瓦	明朝系 軒丸瓦 灰色	―	―	―	―	素地は灰色で、白色粒、黒色粒、橙色粒を少し含む。	トレンチ1 Ⅰ層
	170	瓦	明朝系 軒丸瓦 赤色	―	―	―	―	素地は明褐色で、白色粒、赤色粒を少し含む。泥釉がかけられる。長さ15.0cm。	不明

図番号 写真番号		種類	器種	部位	口径・ 長さ (cm)	底径・ 幅(cm)	器高・ 厚さ (cm)	所　見	出土地
図 70 写真179	171	瓦	明朝系 丸瓦 赤色	―	―	―	―	素地は橙色で、黒色粒、橙色粒を少し含む。凸面はナデ、凹面は布目、ケズリ。凸面に漆喰が付着。端部には圧痕。長さ 24.5cm。	トレンチ６ Ⅰ層
	172	瓦	明朝系 平瓦 灰色	―	―	―	―	素地は灰色。凹面は布目、凸面はナデ。凹面に漆喰が付着。広端面、狭端面は未調整。左右端面は分割時の割れ面。長さ推定 26.25cm。	トレンチ６ Ⅰ層
図 71 写真180	173	瓦	明朝系 平瓦 赤色	―	―	―	―	素地は橙色で、赤色粒を少し含む。凹面は布目、凸面はナデ。狭端部はナデ、広端部は圧痕。広端部 20.8 cm、長さ 25.1 cm。	トレンチ２ Ⅰ層
	174	瓦	明朝系 平瓦 赤色	―	―	―	―	素地は明褐色で、白色粒、橙色粒を少し含む。凹面は布目、凸面はナデ。広端部 25.6cm。	トレンチ６ Ⅰ層
図 72 写真181	175	石製品	石敢當	―	―	―	―	側面と裏面に敲打痕。文字の溝の深さは５mm前後。重量 29.9kg。	トレンチ１ Ⅰ層

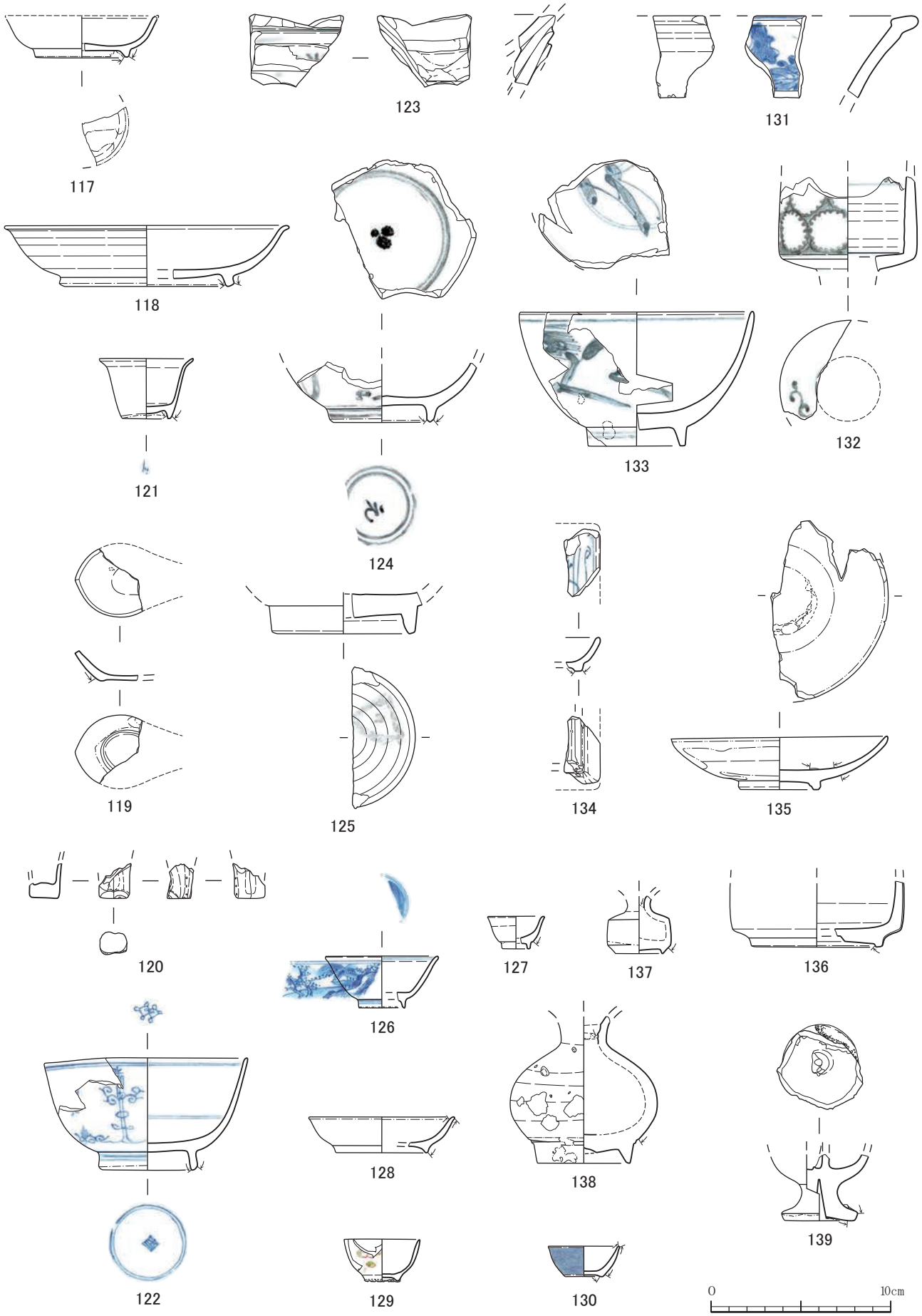


図 67　遺構外から出土した遺物１

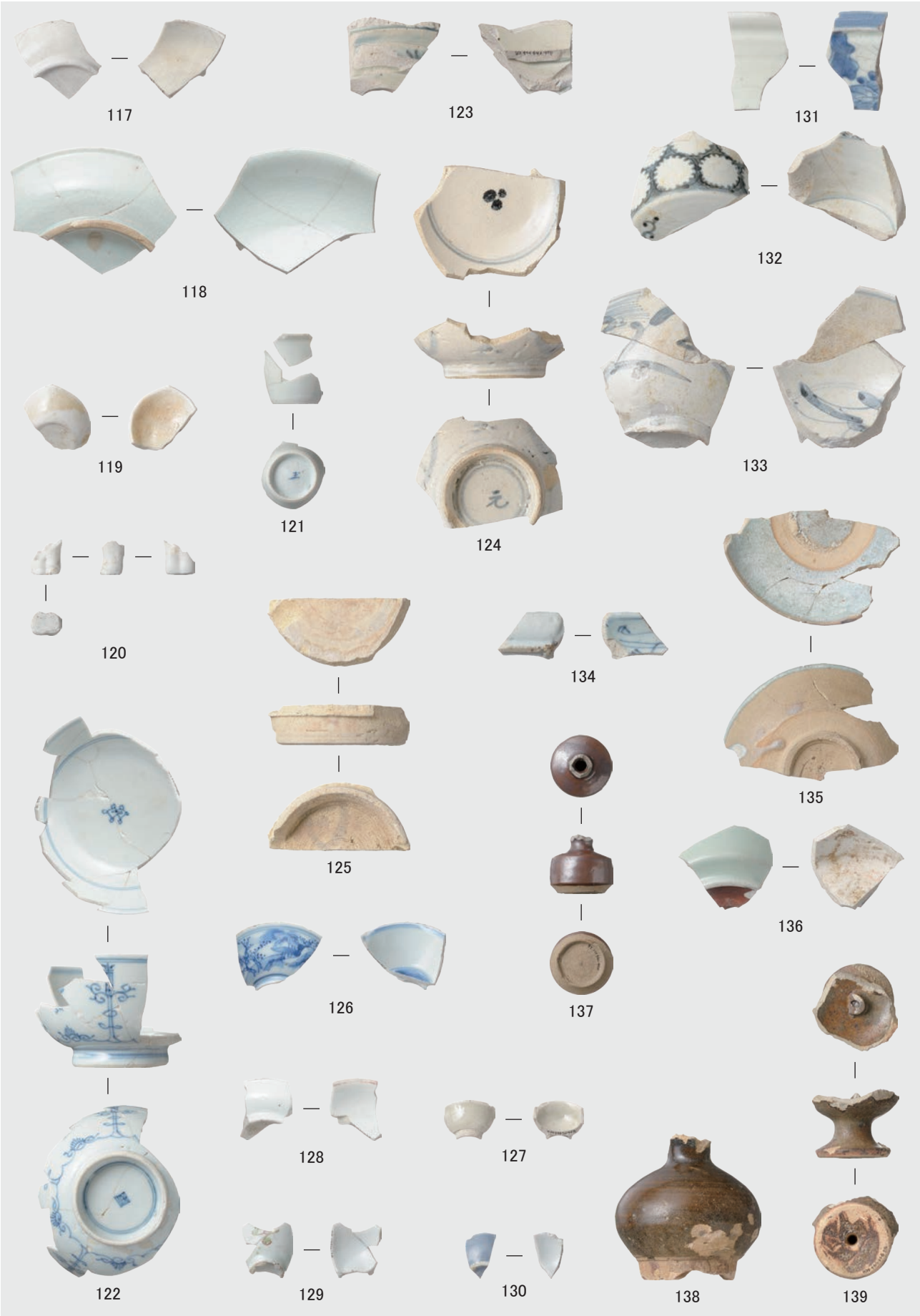


写真 176　遺構外から出土した遺物 1

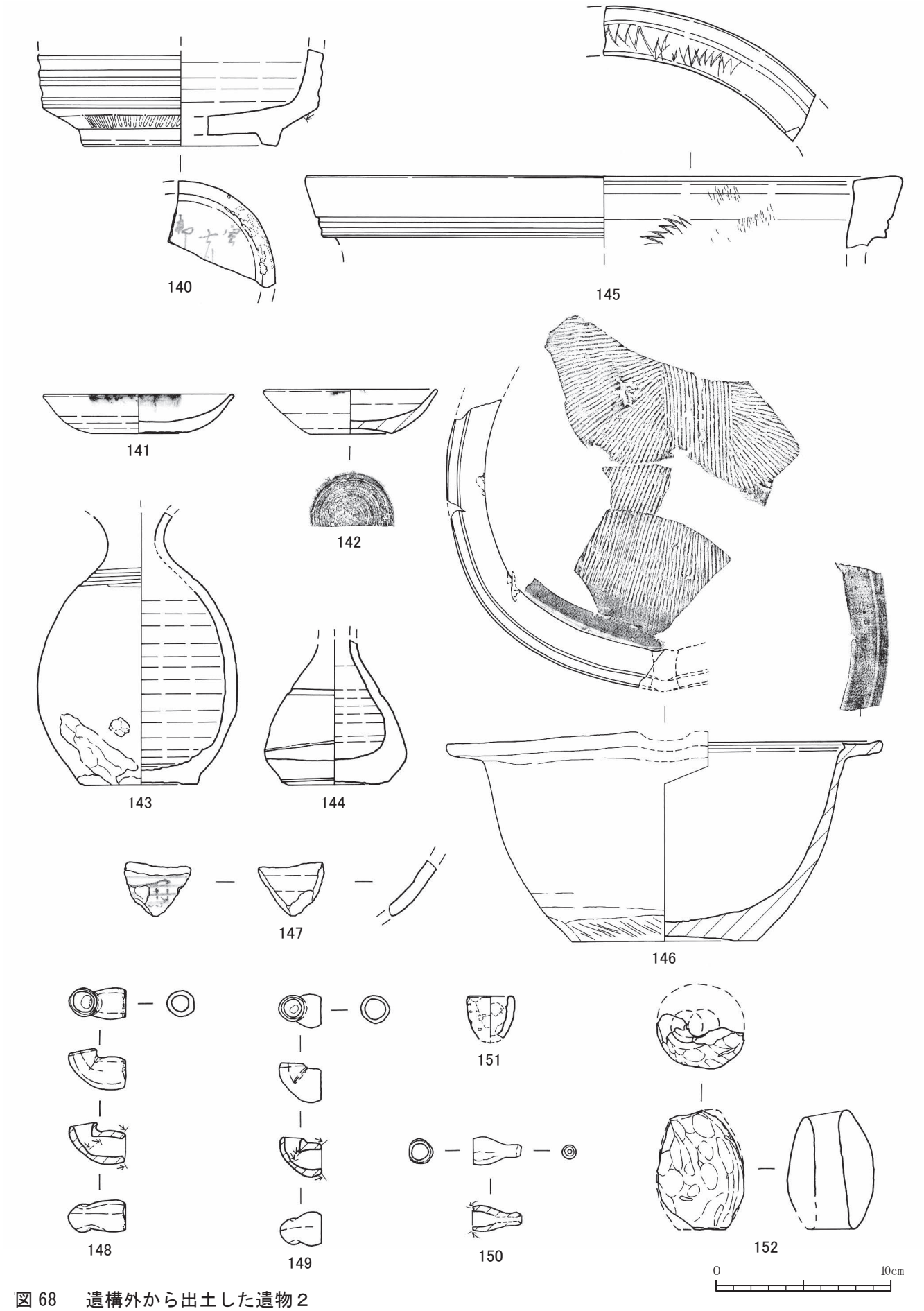


図 68　遺構外から出土した遺物２

写真 177　遺構外から出土した遺物２

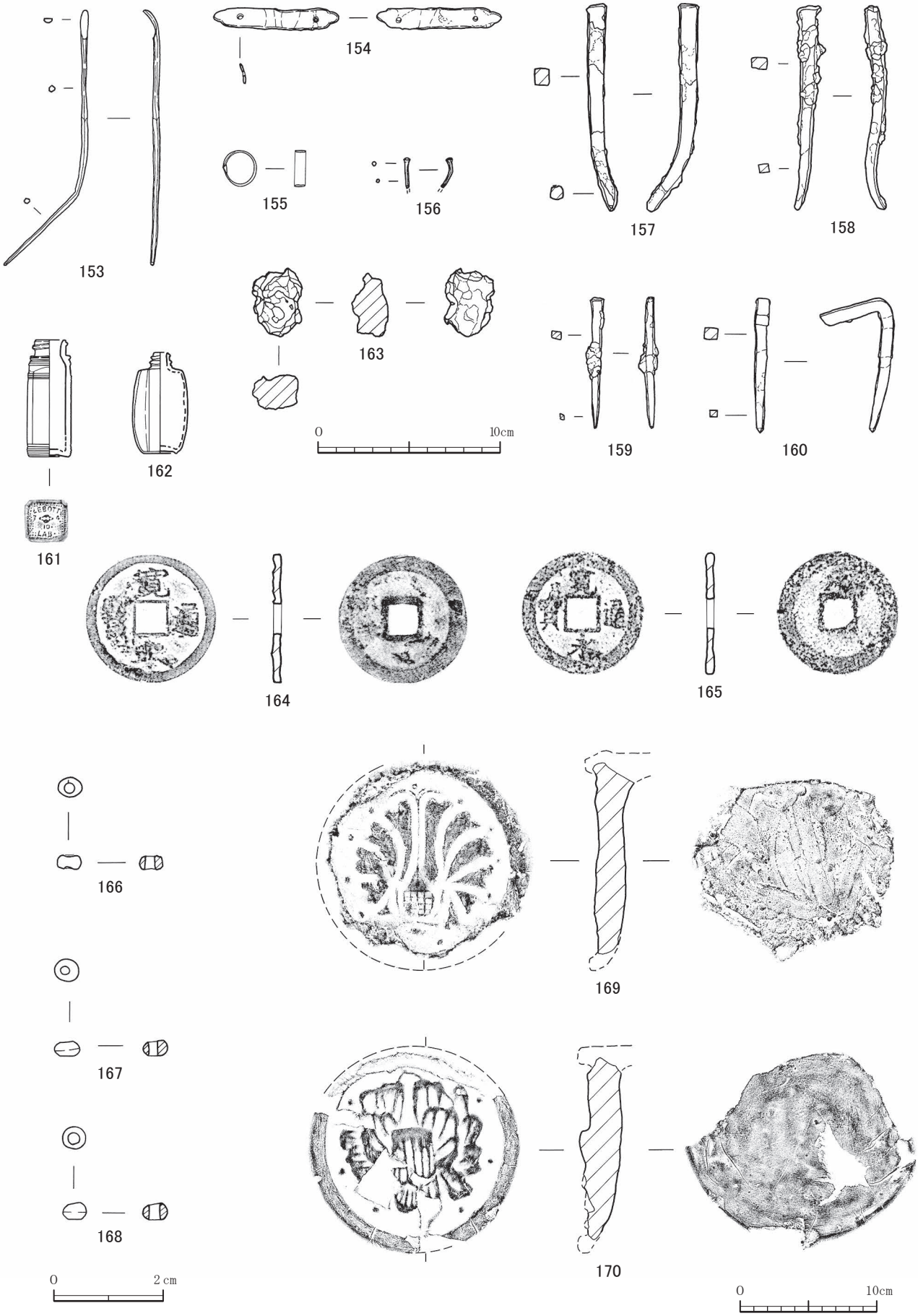


図 69　遺構外から出土した遺物３

写真 178　遺構外から出土した遺物３

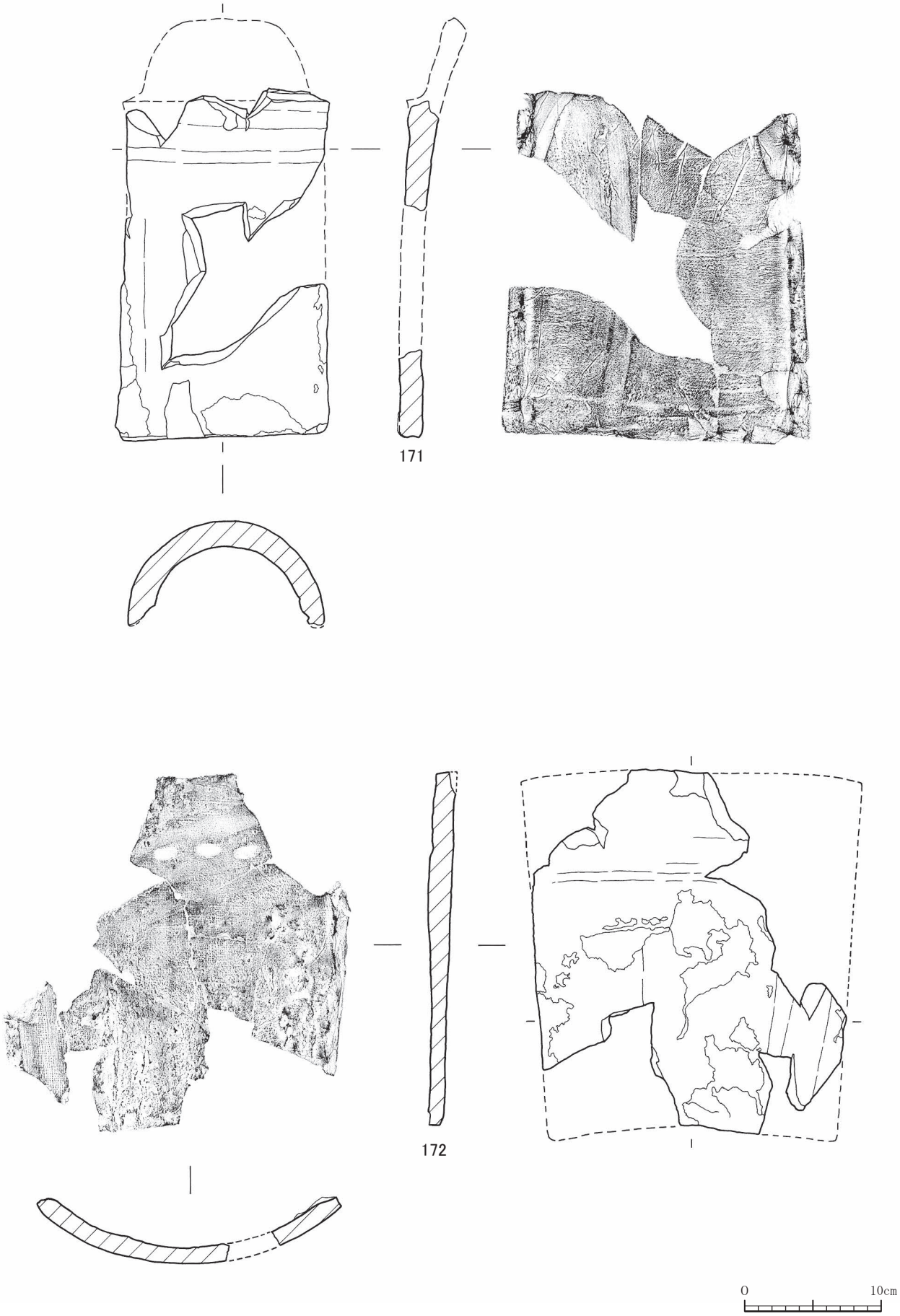
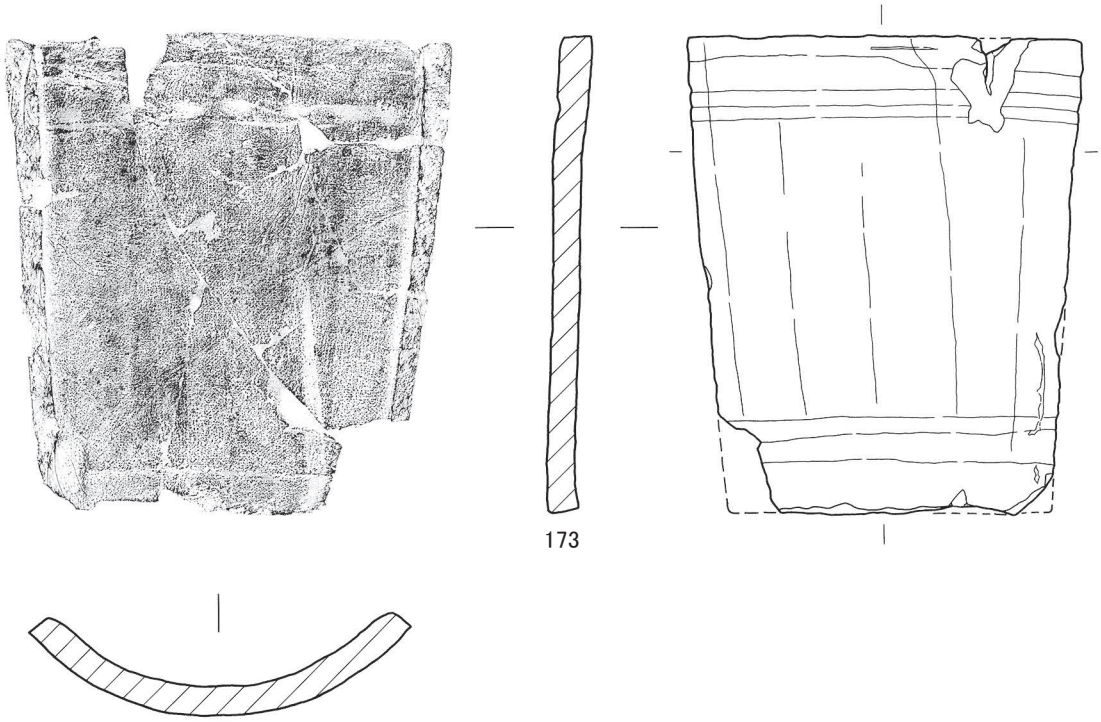


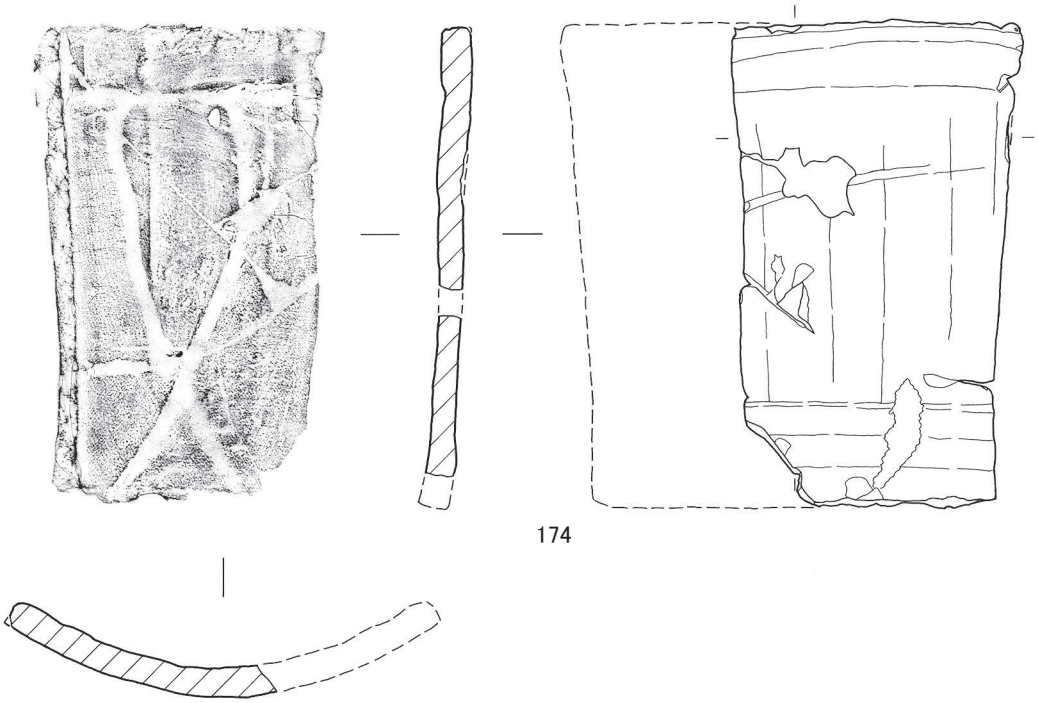
図 70　遺構外から出土した遺物４

171

172

写真 179　遺構外から出土した遺物４





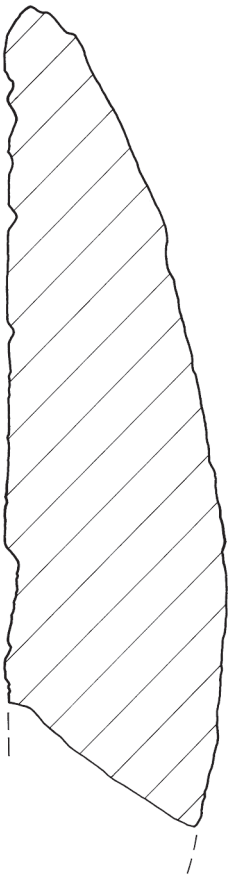
0　10cm

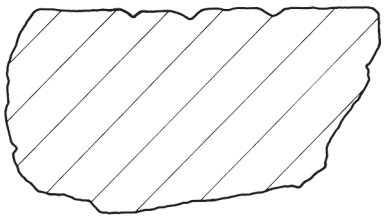
図 71　遺構外から出土した遺物５

173

174

写真 180　遺構外から出土した遺物５





175

0　20cm

図 72　遺構外から出土した遺物６

175

写真 181　遺構外から出土した遺物６

第10節　遺物の概観

１　はじめに

今回の調査では、総点数21,594点、総重量712.923kgの遺物が出土した。遺物が多く出土した地点はトレンチ１（全体の約45％）、トレンチ２（全体の約33％）であった。また遺物が多く出土した層はⅠ層（全体の約83％）であった。

２　陶磁器

陶磁器は14,249点出土した。沖縄産が最も多く、中国産、本土産、タイ産の順に多い。

３　建築部材

瓦はほとんどが明朝系で、大和系がわずかに出土している。瓦の色は赤色系が約65％、灰色系が約35％である。

４　その他の人工品

円盤状製品が351点と比較的多く出土しており、直径は３～６cm、重量は50ｇ以内のものが多い。

＜検出された動物遺体種名一覧＞

脊椎動物門　Phylum VERTEBRATA
- **軟骨魚綱**　Class Chondrichthyes
  - サメ類　Lamniformes
- **硬骨魚綱**　Class Osteichthyes
  - スズキ目　Order Perciformes
    - ハタ科　Family Serranidae
      - 属・種不明　Gen.et sp.indet
    - タカサゴ科　Family Caesionidae
      - 属・種不明　Gen.et sp.indet
    - フエフキダイ科　Family Lethrinidae
      - 属・種不明　Gen.et sp.indet
    - ベラ科　Family Labridae
      - 属・種不明　Gen.et sp.indet
    - ブダイ科　Family Scaridae
      - 属・種不明　Gen.et sp.indet
    - カマス科　Family Sphyraenidae
      - 属・種不明　Gen.et sp.indet
- **爬虫綱**　Class Reptilia
  - カメ目　Order Chelonia
    - ウミガメ科　Family Chelonidac
      - 属・種不明　Gen.et sp.indet
- **鳥綱**　Class Aves
  - キジ目　Order Galliformes
    - キジ科　Family Phasianidae
      - ニワトリ　*Gallus gallus var. domesticus*
- **哺乳綱**　Class Mammalia
  - 齧歯目　Order Rodentia
    - ネズミ科　Family Muridae
      - 属・種不明　Gen.et sp.indet
  - 食肉目　Order Carnivora
    - ネコ科　Family Felidae
      - ネコ　*Felis catus*
    - イヌ科　Family Canidae
      - イヌ　*Canis familiaris*
  - 奇蹄目　Order Perissodactyla
    - ウマ科　Family Eguidae
      - ウマ　*Eguus caballus*
  - 偶蹄目　Order Artiodactyla
    - イノシシ科　Family Suidae
      - 属・種不明　Gen.et sp.indet
    - ウシ科　Family Bovidae
      - ウシ　*Bos taurus*
      - ヤギ　*Capra hirucus*

＜貝の生息地の分類＞

外 洋 ～ 内 湾	水　深	底　質
Ⅰ　外洋・サンゴ礁域 Ⅱ　内湾・転石地域 Ⅲ　河口干潟・マングローブ域	0　潮間帯上部 （Ⅰではノッチ、Ⅲではマングローブ） 1　潮間帯中・下部 2　亜潮間帯上縁部（Ⅰではイノー） 3　干潮（Ⅰにのみ適用） 4　礁斜面およびその下部	a　岩盤 b　転石 c　岩礫底、砂泥底、砂底 d　マングローブ植物上 e　淡水の流入する礫底
Ⅳ　淡水域	5　止水 6　流水	
Ⅴ　陸行き	7　林内 8　林内・林縁部 9　林縁部 10　海浜域	
Ⅵ　その他	11　打ち上げ物 12　化石	

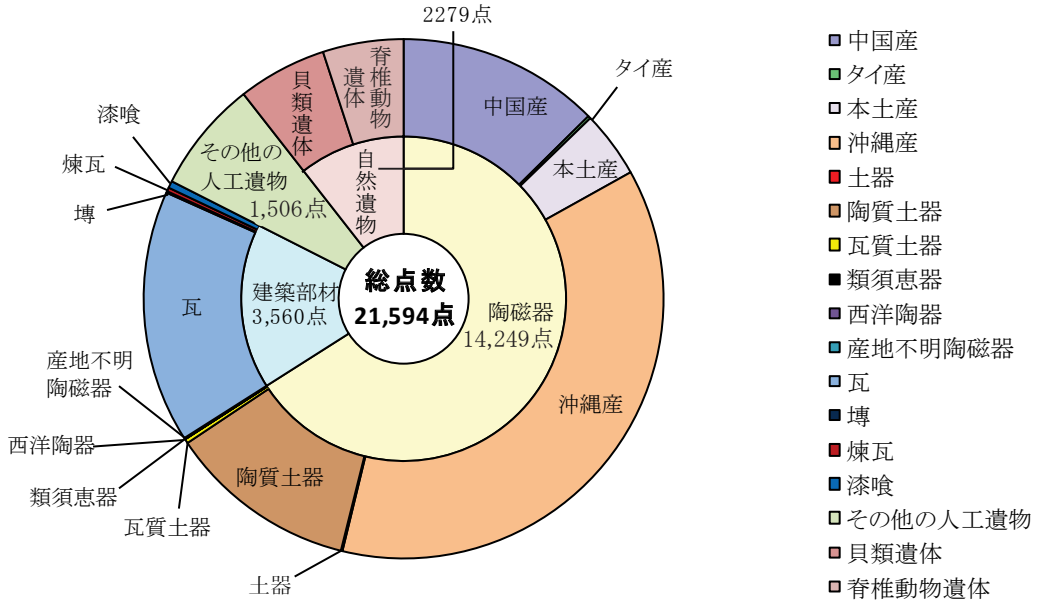


図73　出土遺物の総点数グラフ

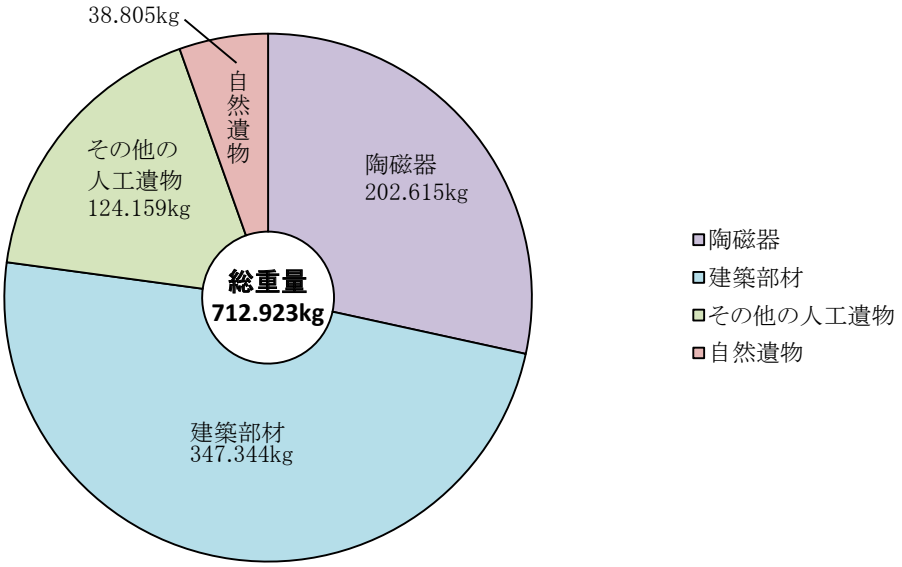


図74　出土遺物の総重量グラフ

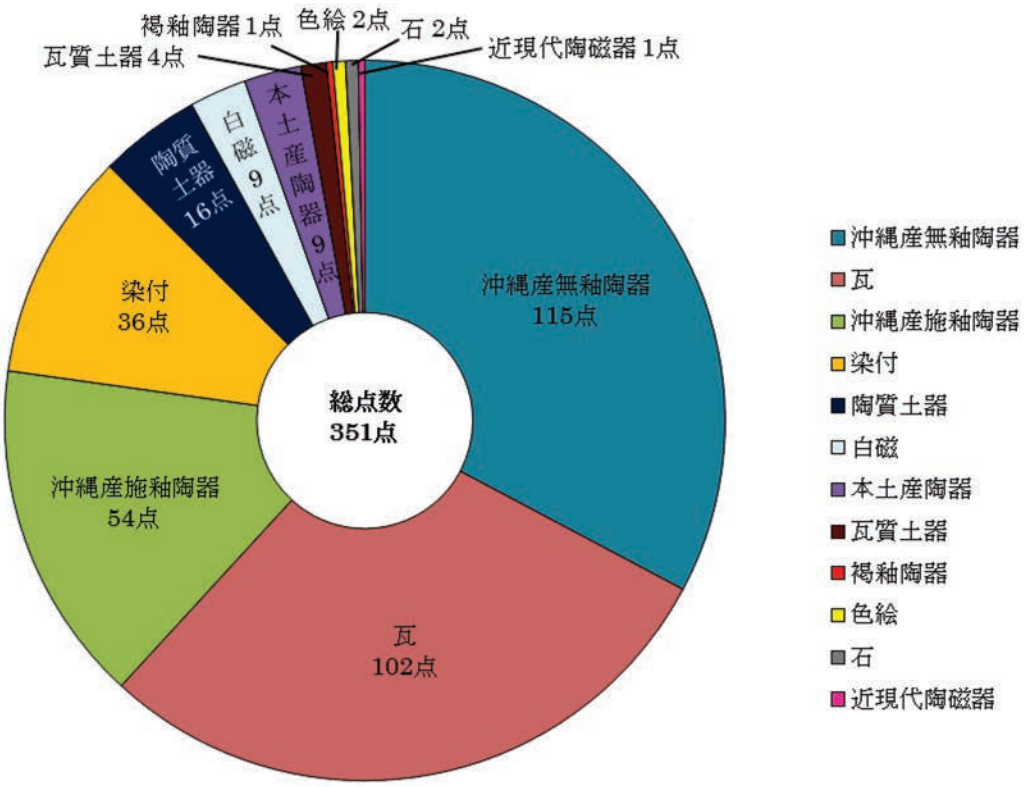


図75　円盤状製品の出土点数グラフ

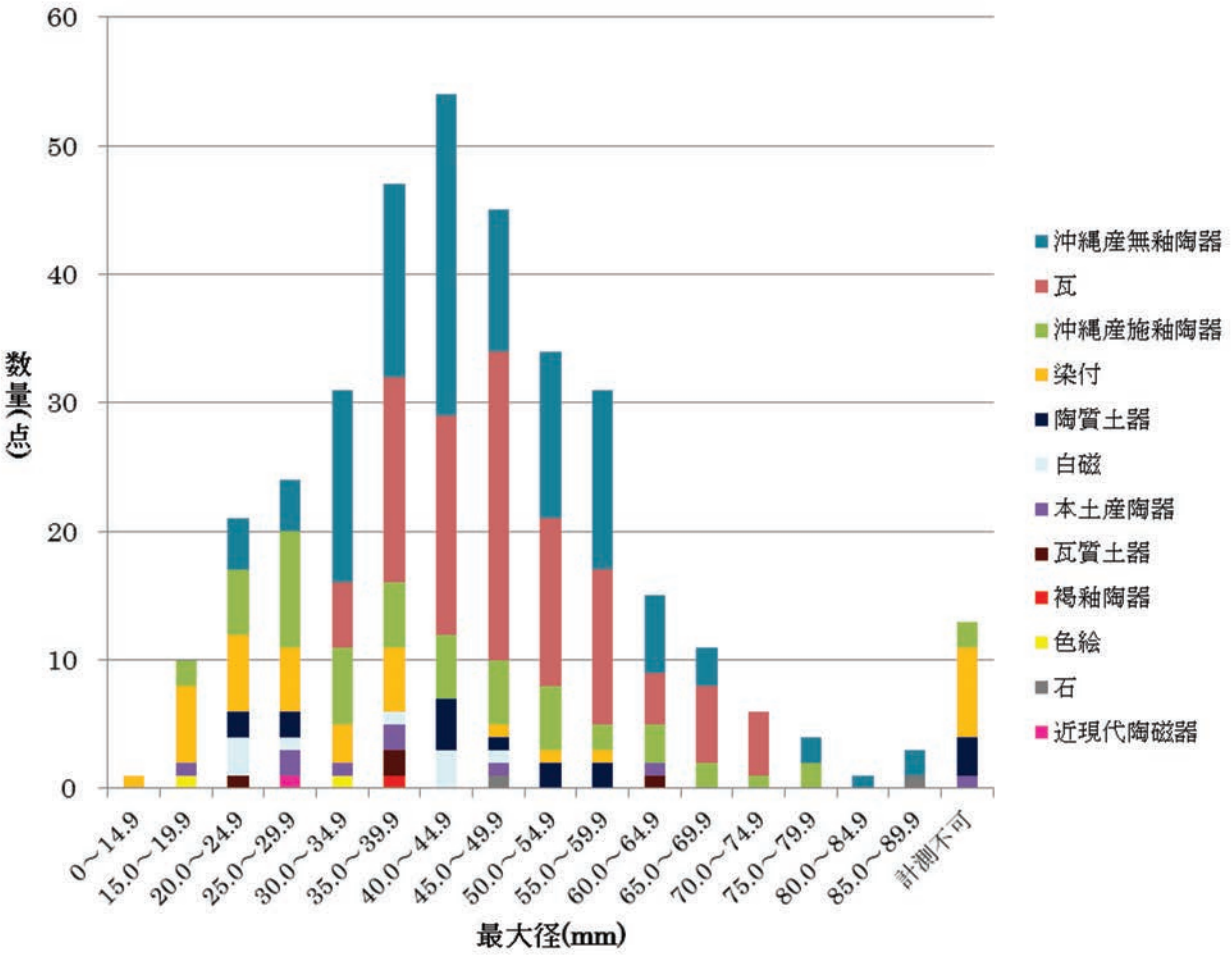


図76　円盤状製品の出土点数グラフ（最大径別）

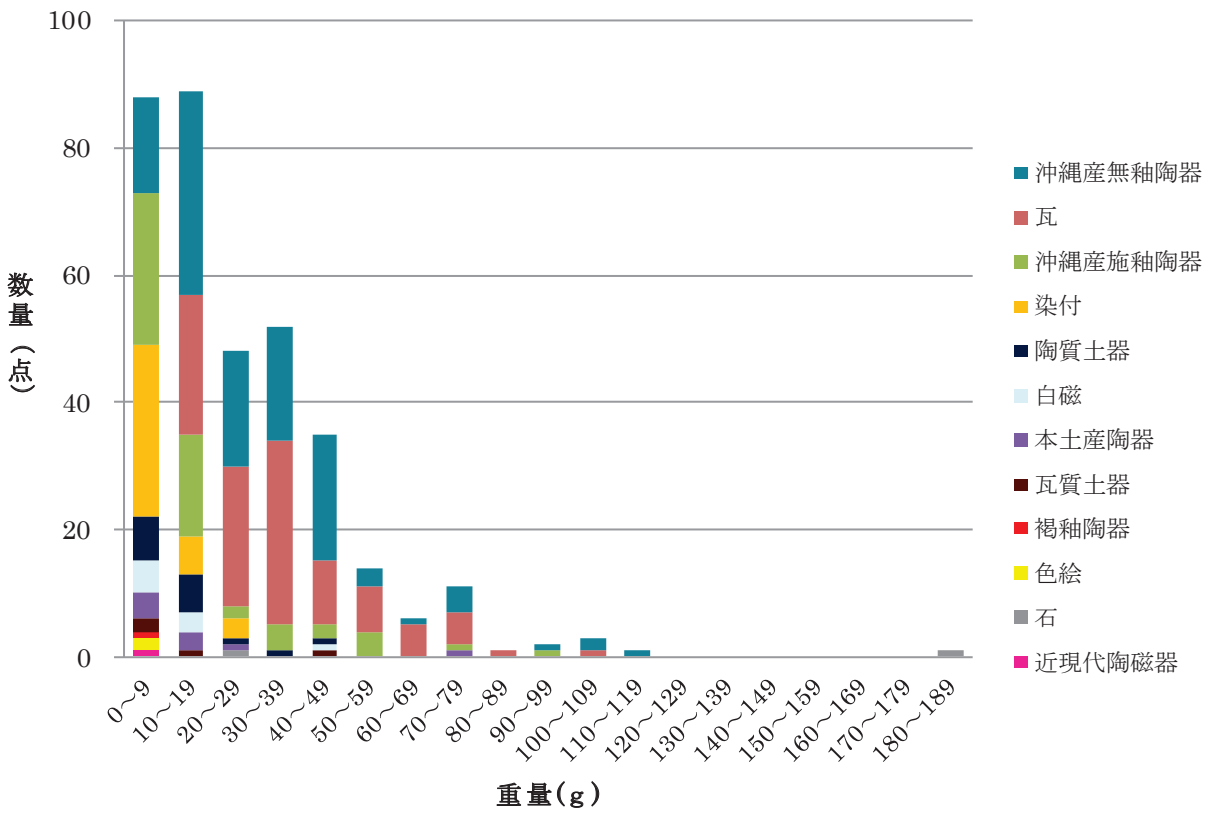


図77　円盤状製品の出土点数グラフ（重量別）

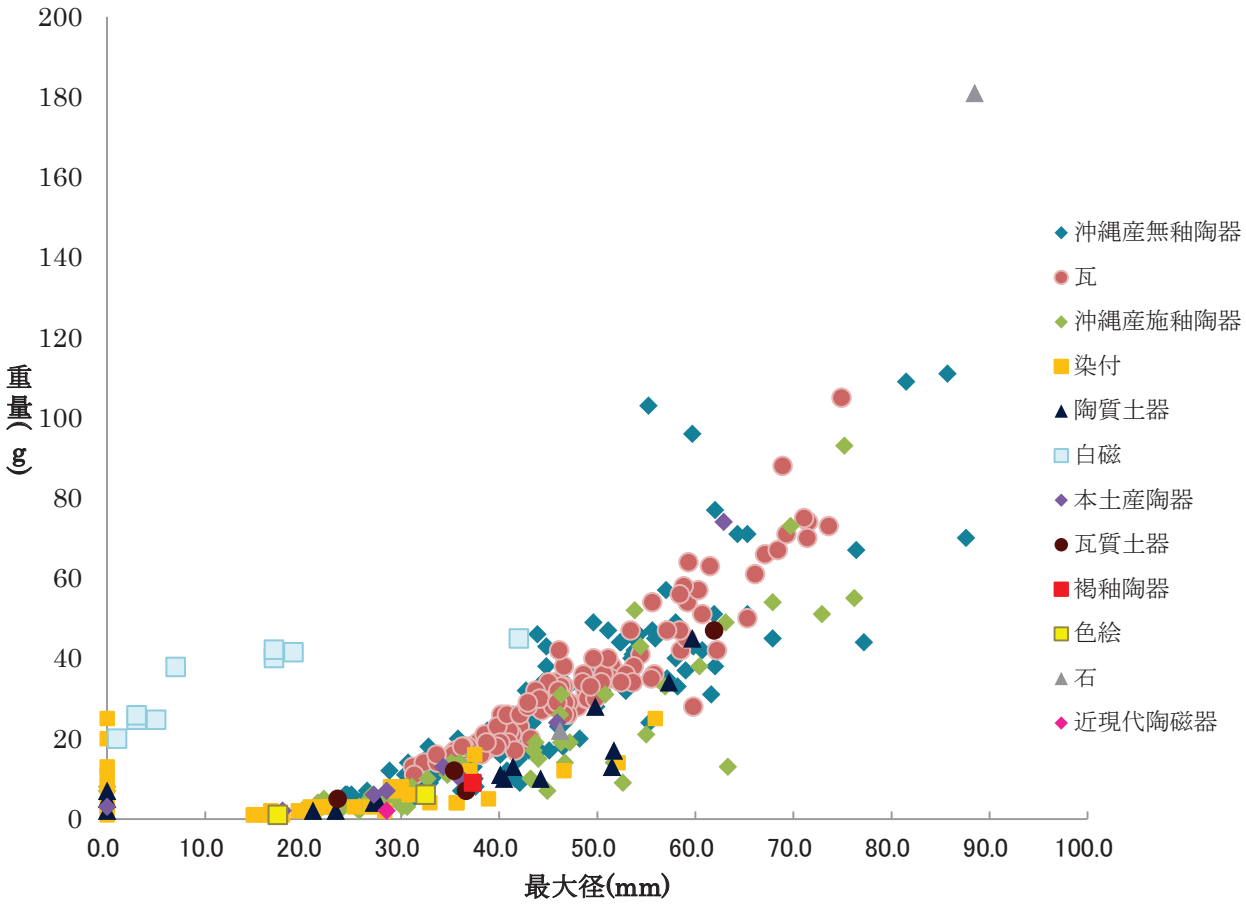


図78　円盤状製品の最大径と重量の相関関係グラフ

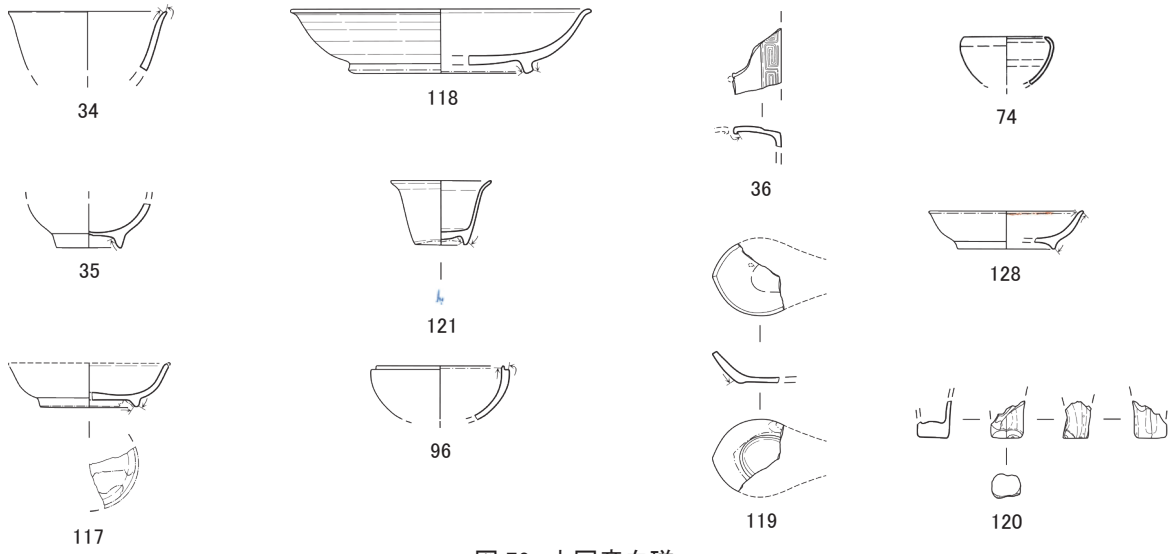


図 79　中国産白磁

図 80　中国産染付

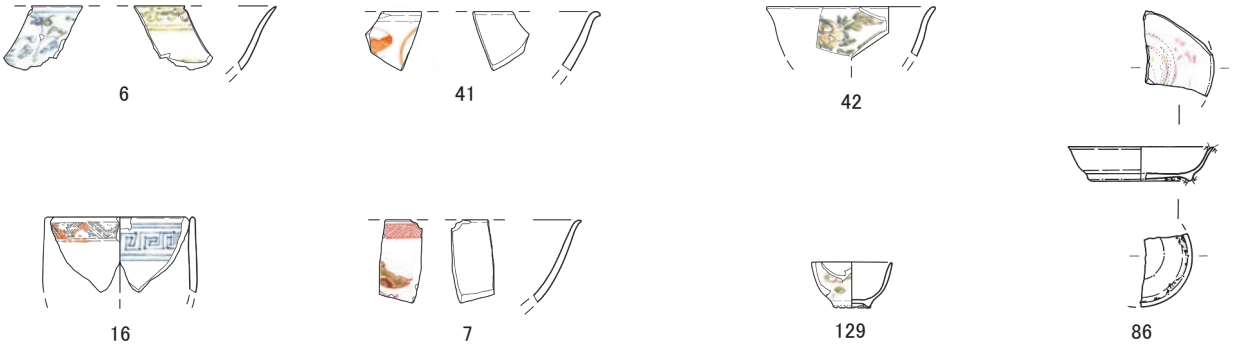


図 81　中国産色絵

図 82　中国産瑠璃釉

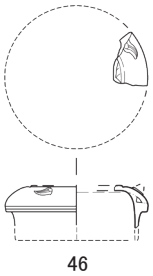


図 83　中国産無釉陶器

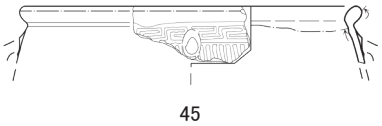


図 84　中国産褐釉陶器

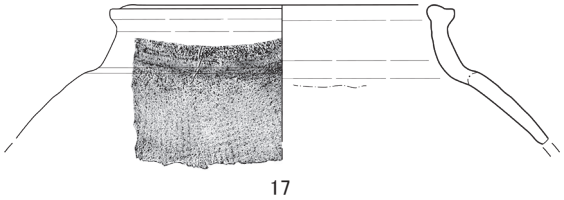


図 85　中国産陶器

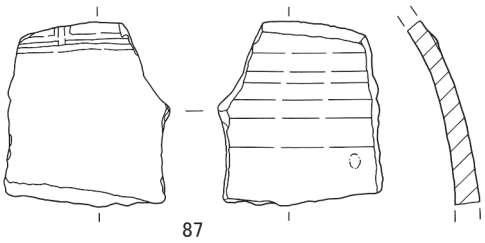


図 86　ミャンマー産褐釉陶器

図 87　本土産青磁

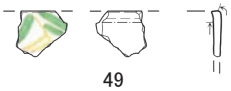


図 88　本土産色絵

図 89　本土産磁器

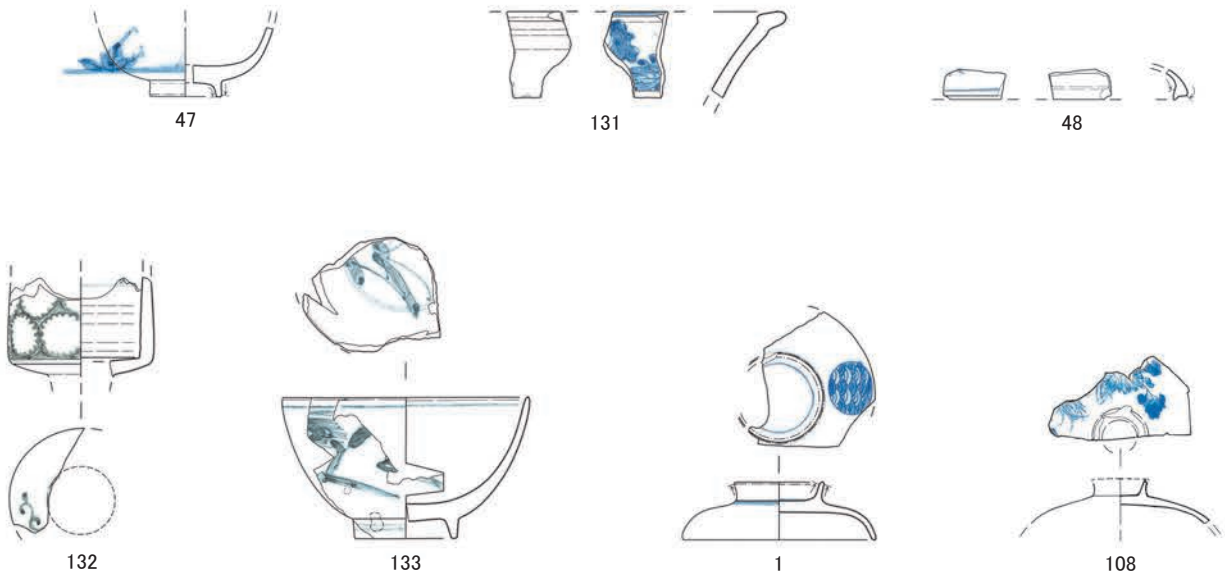


図 90 本土産染付

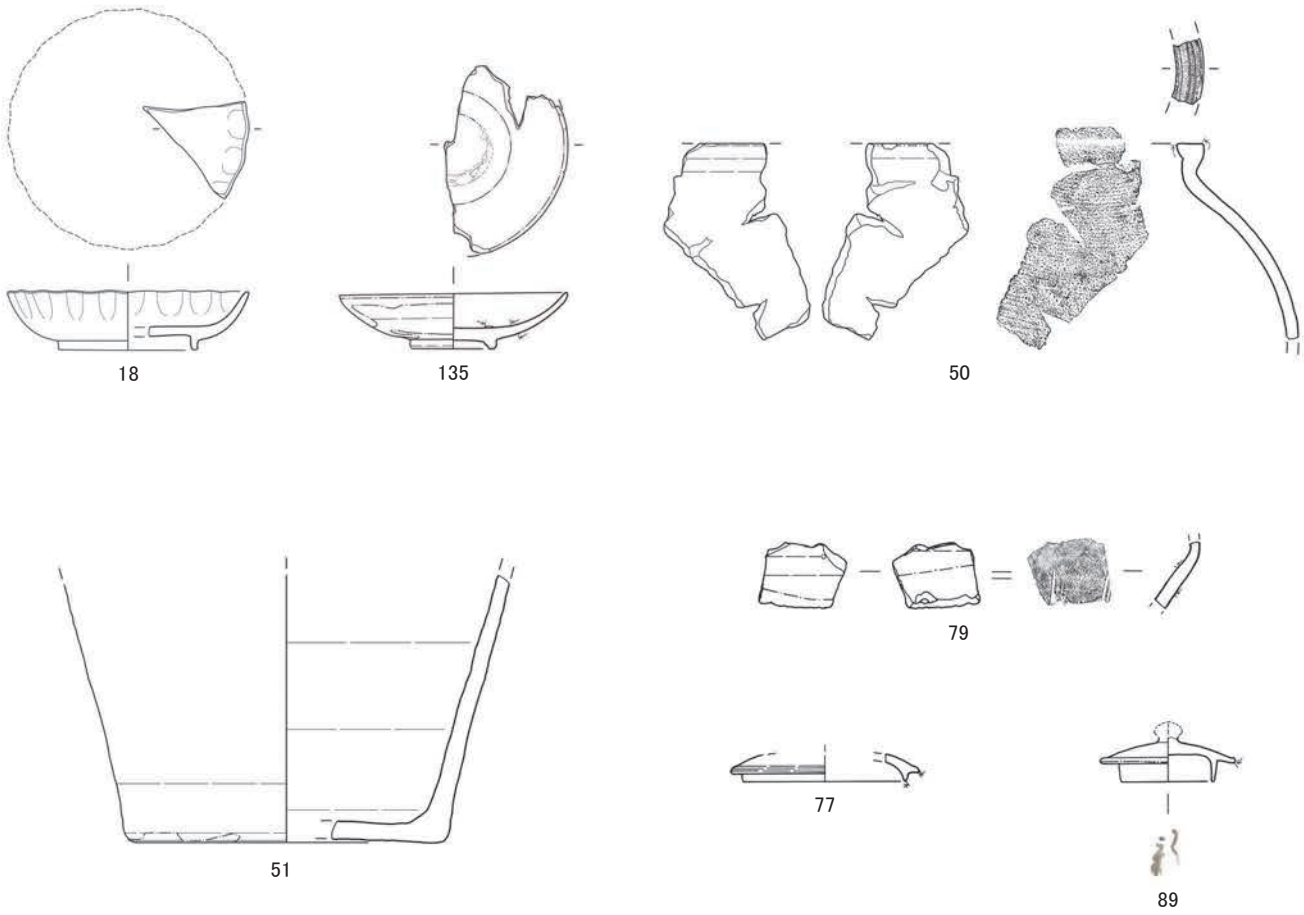


図 91 本土産陶器

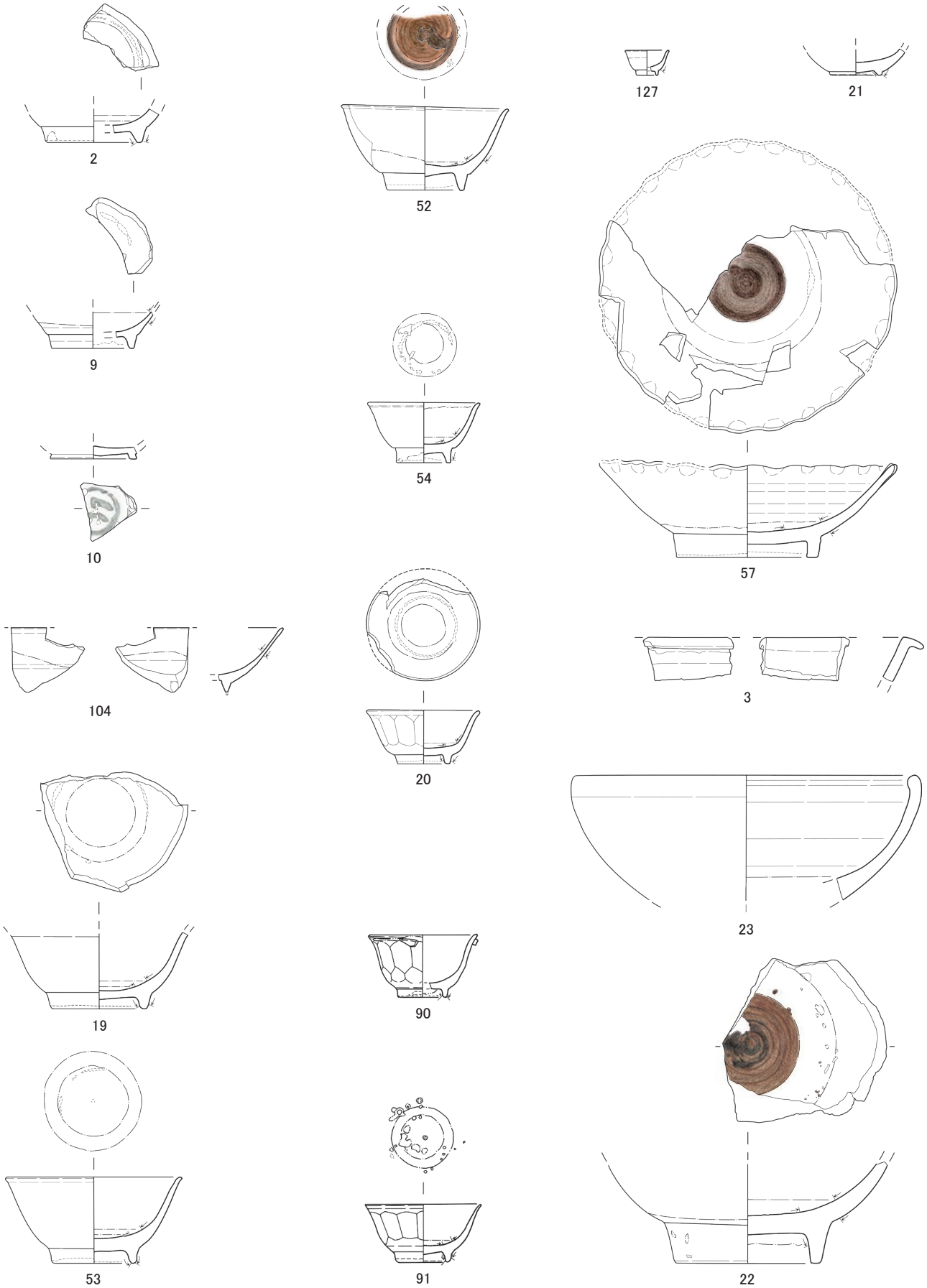


図 92 沖縄産施釉陶器1

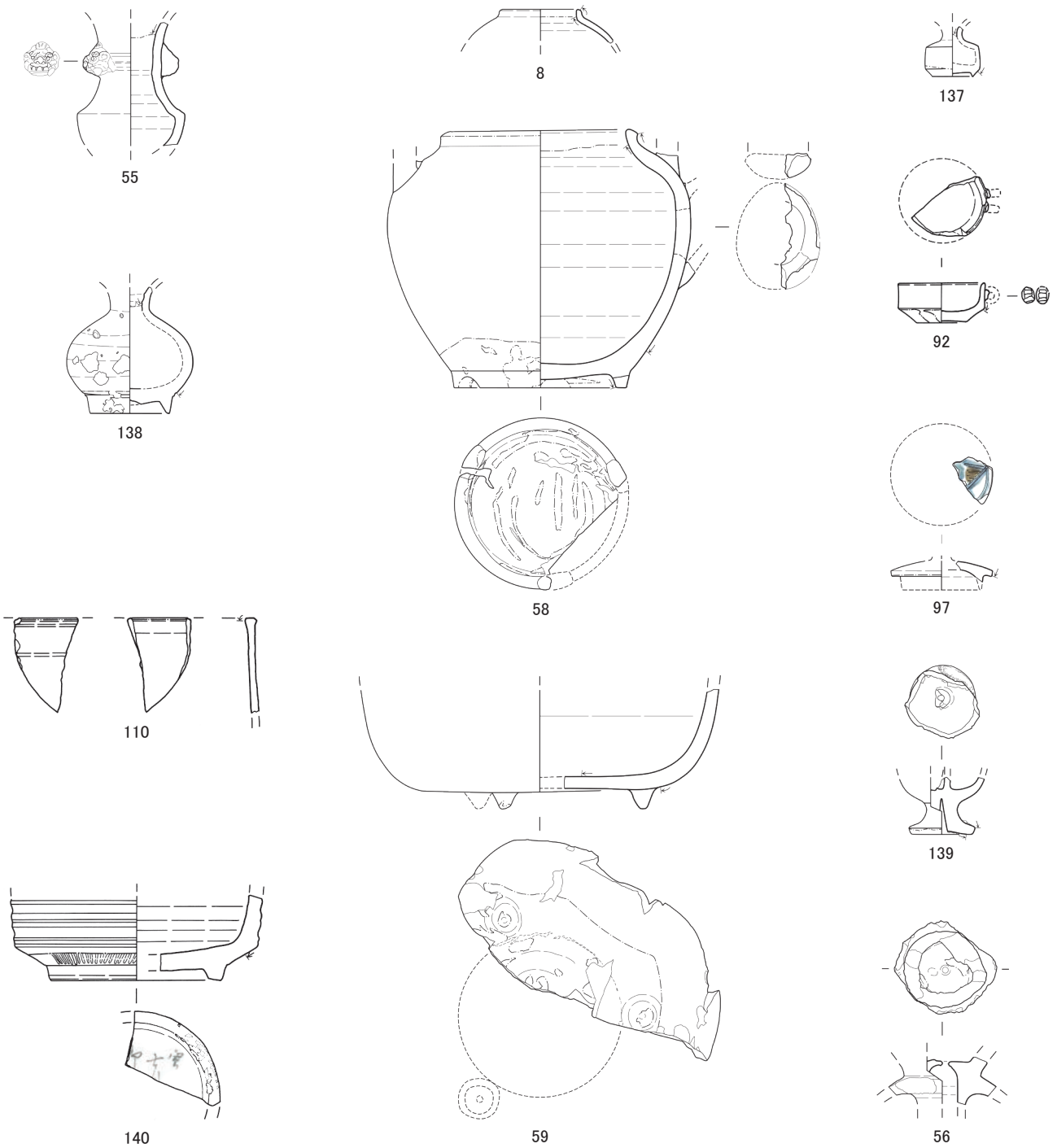


図 93　沖縄産施釉陶器2

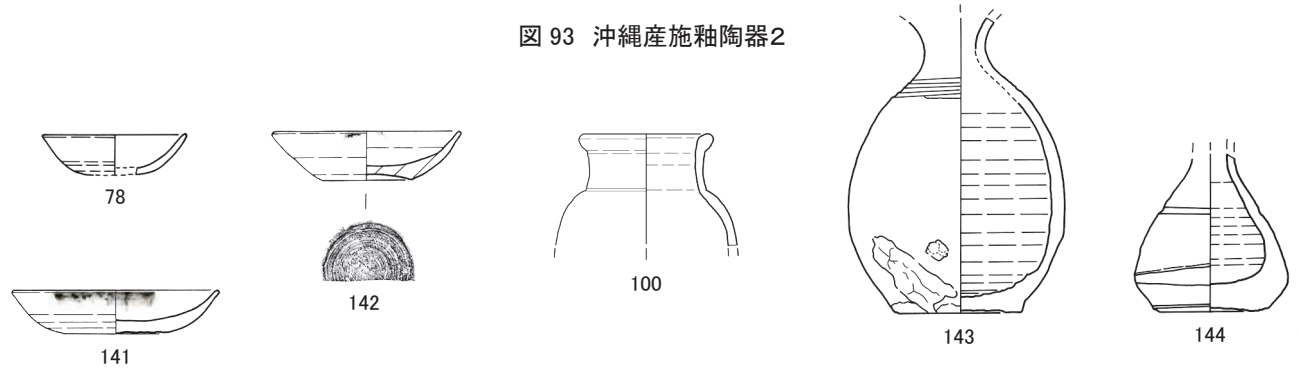


図 94　沖縄産無釉陶器1

0　10cm

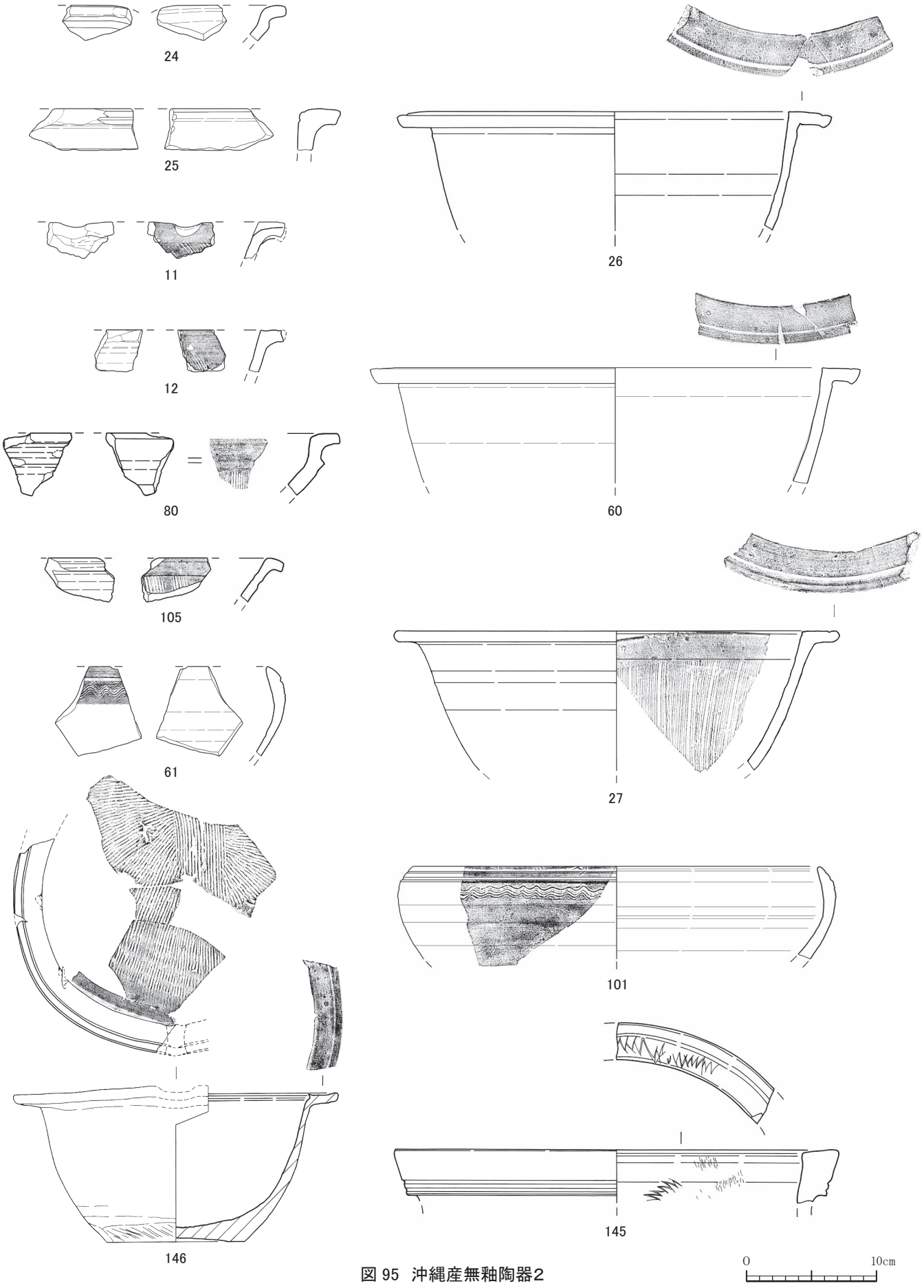
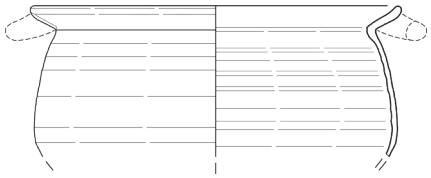
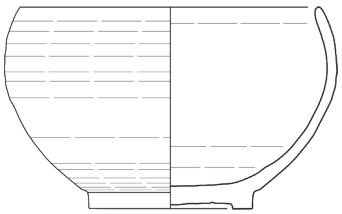


図 95 沖縄産無釉陶器2

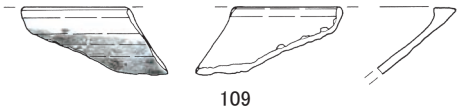


13

147

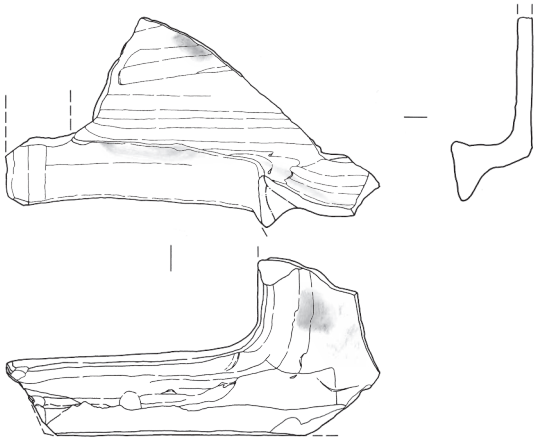


62



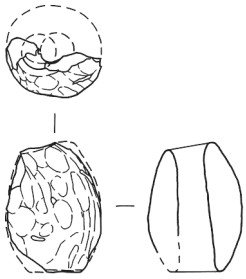
109

図 96 陶質土器



28

図 97 瓦質土器



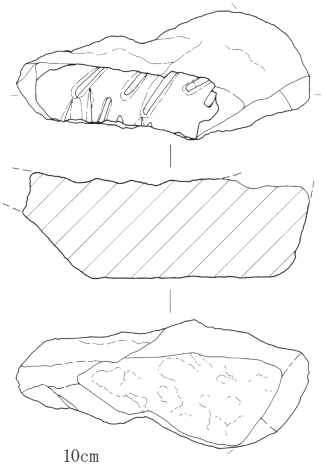
152

図 98 土製品

151

図 99 坩堝

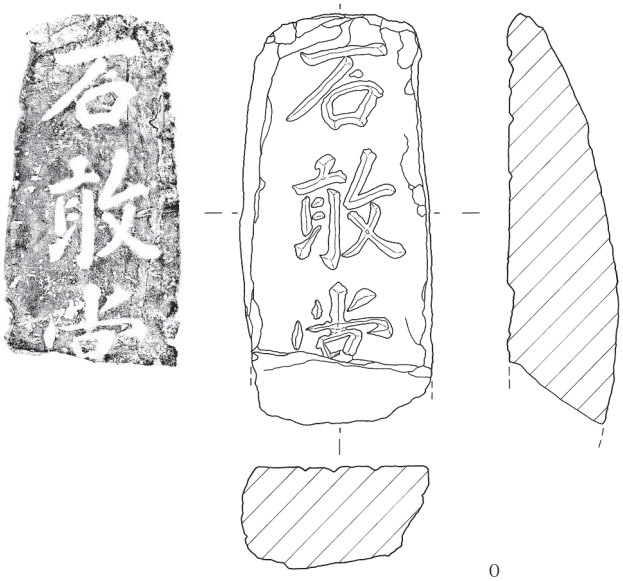
0 10cm



0 10cm

33

(28・33)



175

0 20cm

(175)

図 100 石製品

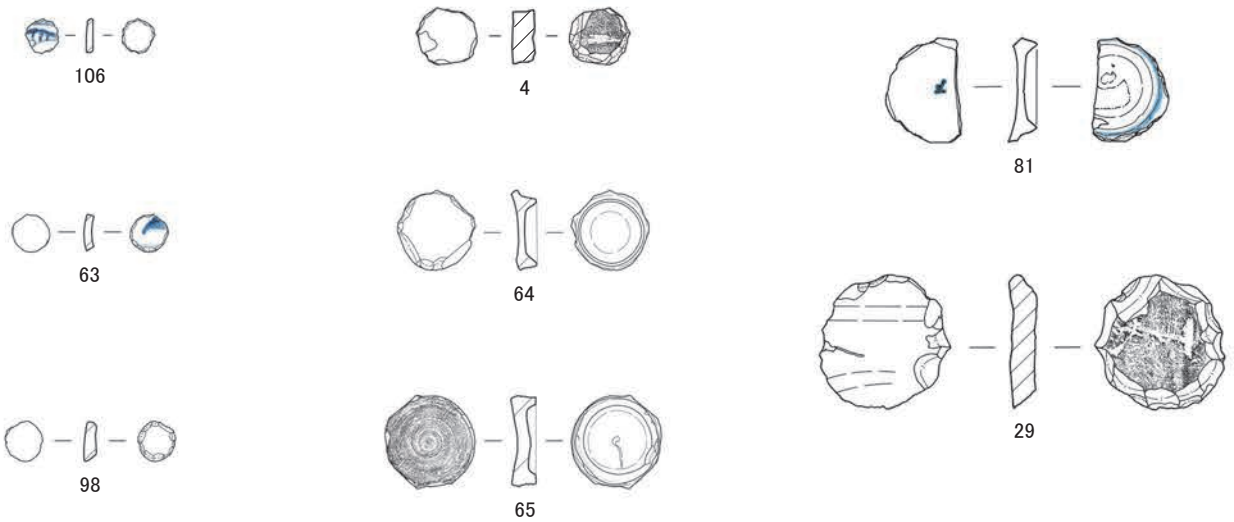


図 101　円盤状製品

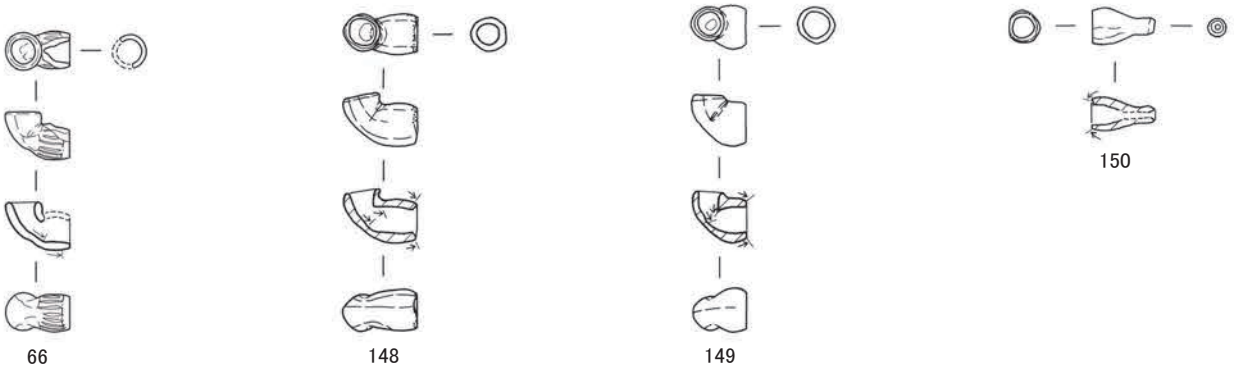


図 102　煙管

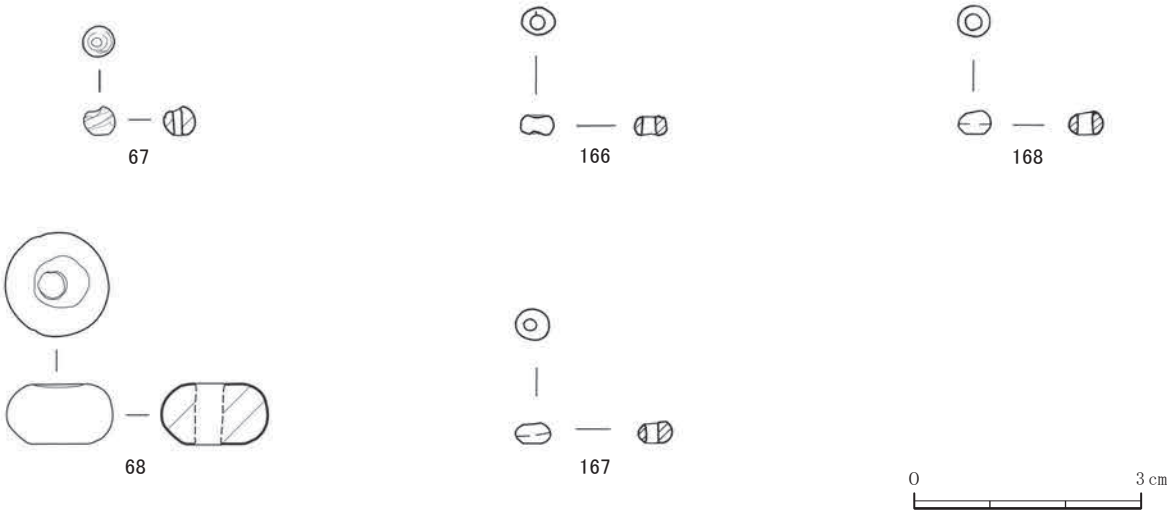
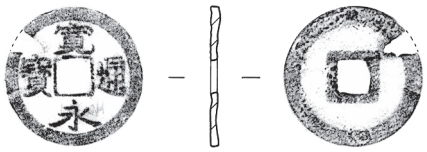
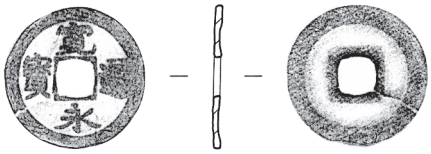
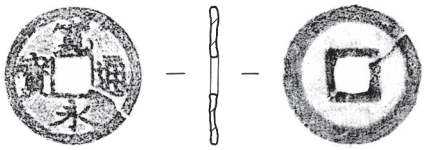
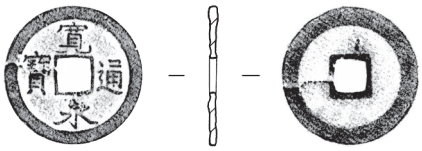


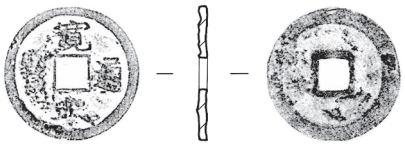
図 103　玉

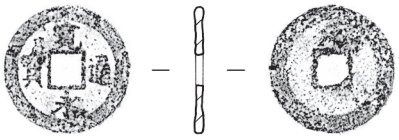












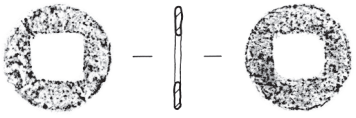
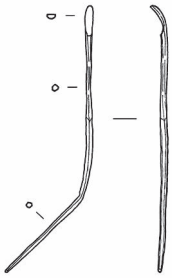


図 104　銭貨



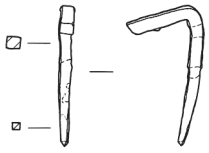


図 105　青銅製品

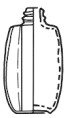
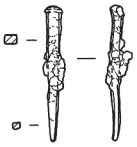
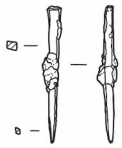
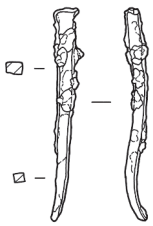


図 106　ガラス製品







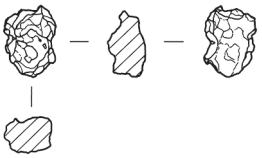
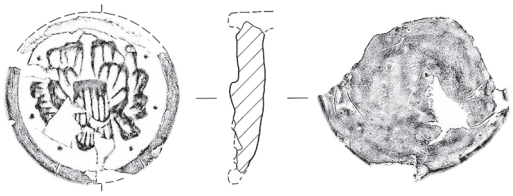
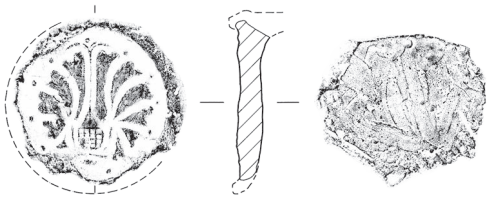


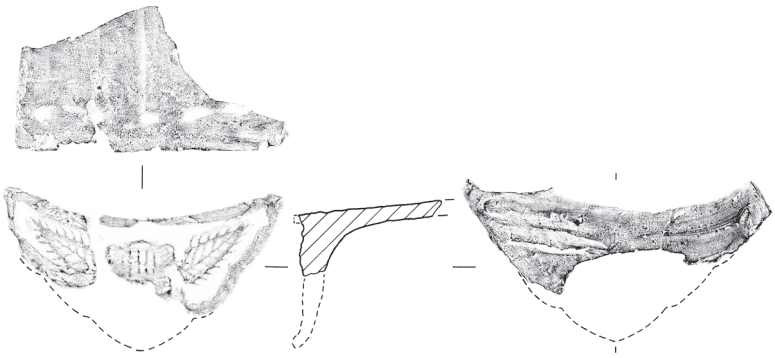
図 107　鉄製品



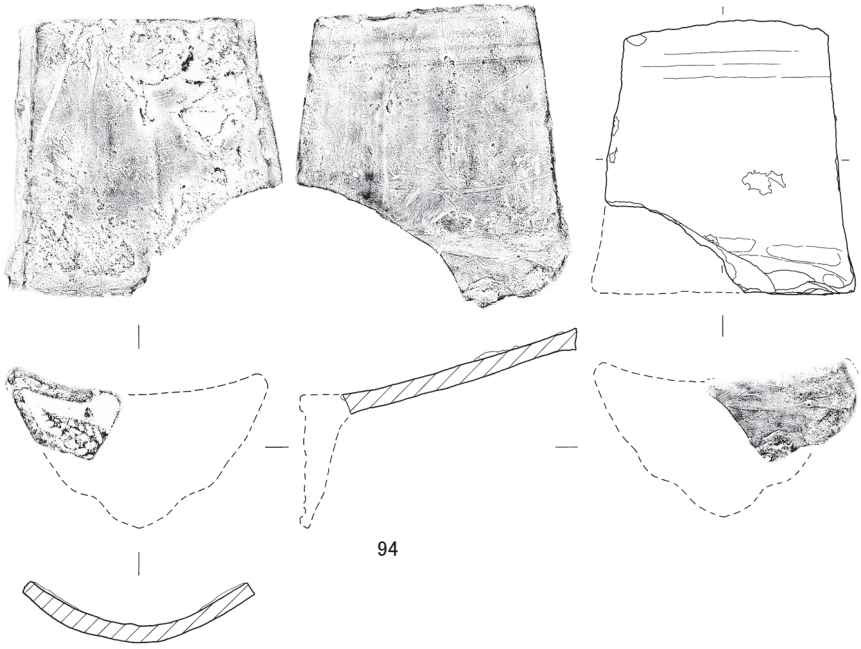
169



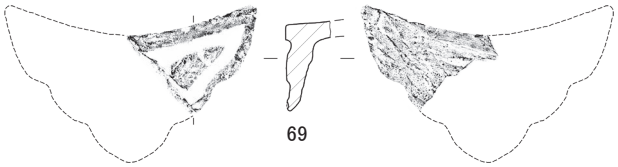
170



72



94



69

0 20cm

図 108 瓦1

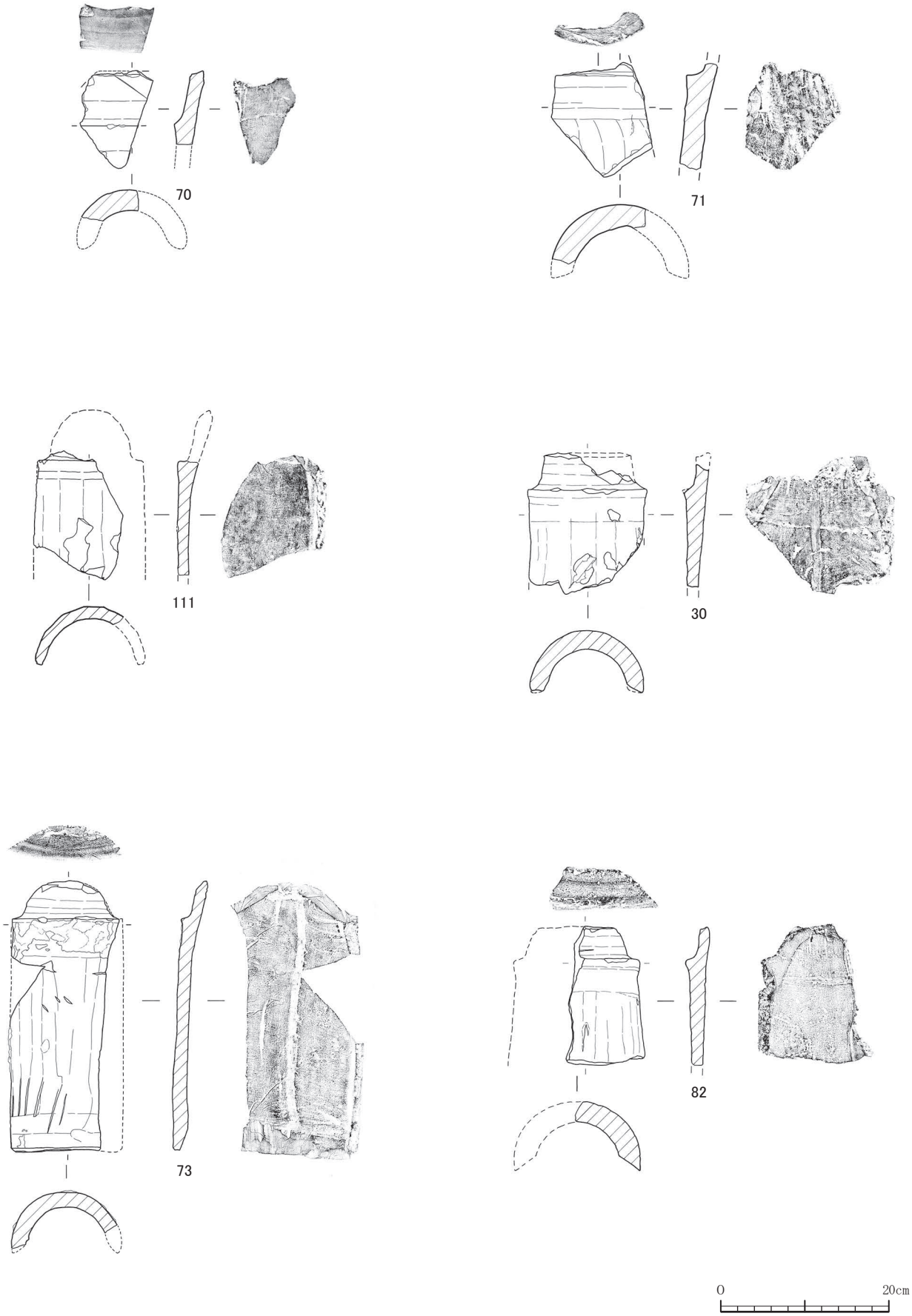


図 109 瓦2

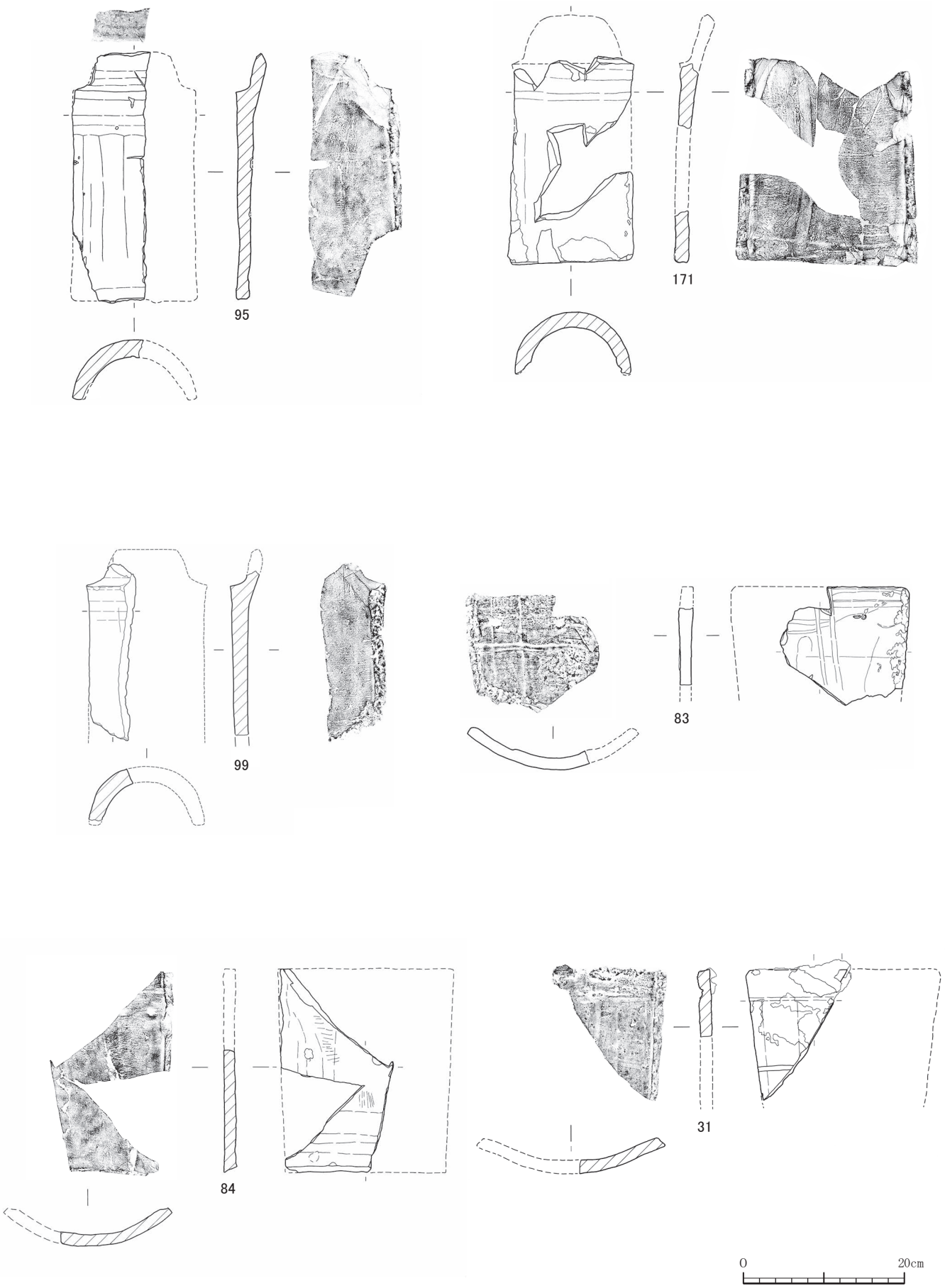


図 110 瓦3

図 111 瓦4

写真182　貝類遺体1(巻貝1)　※番号は表33と一致

写真183　貝類遺体2（巻貝2）　※番号は表33と一致

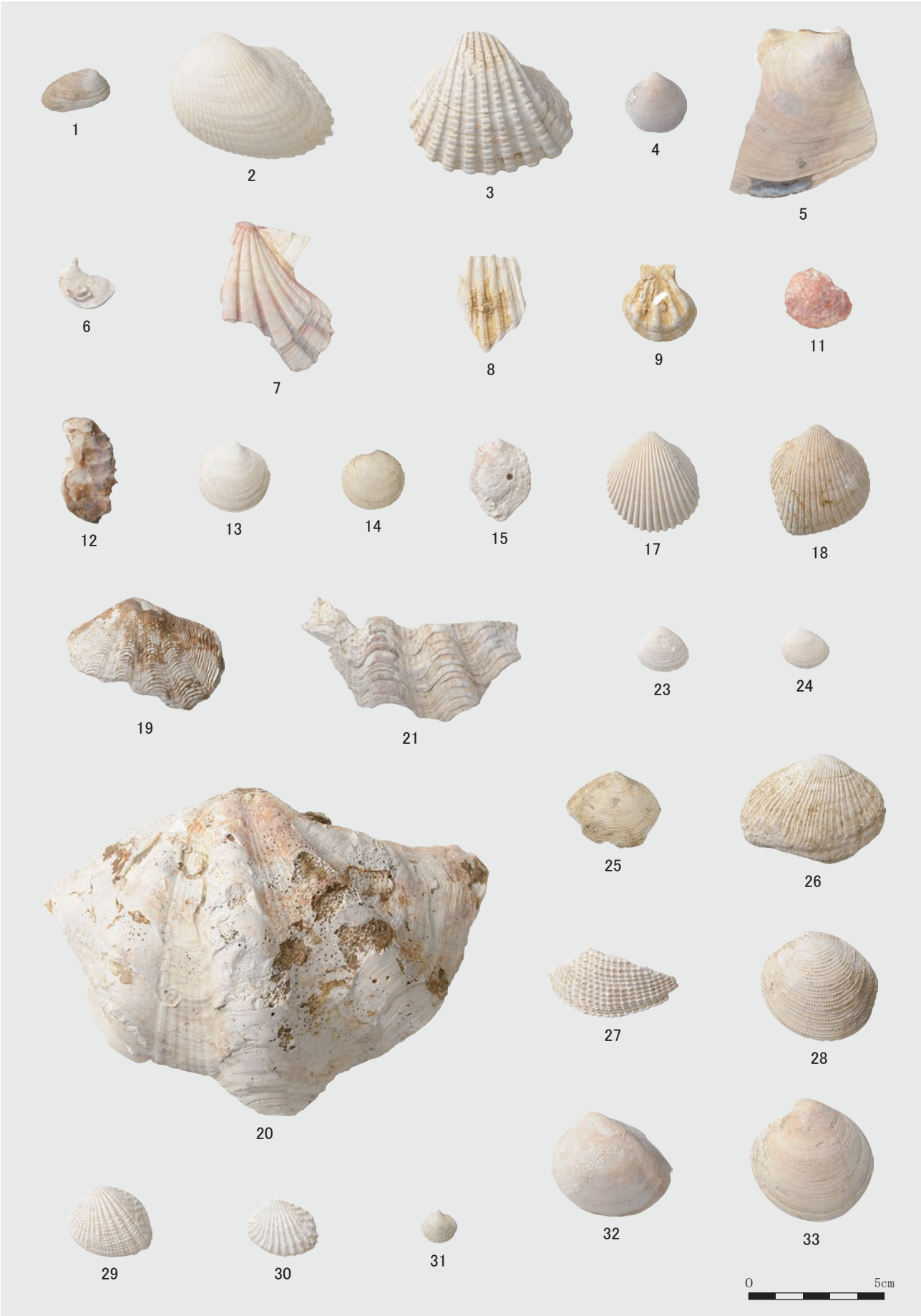


写真184　貝類遺体3（二枚貝）　　※番号は表34と一致

写真185　脊椎動物遺体1

サメ類　1.椎骨　**ハタ科**　2.右　主上顎骨　3.右　歯骨　4.右　角骨　5.方骨　6.右　舌顎骨　**タカサゴ科**　7.椎骨
フエフキダイ科　8.右　主上顎骨　9.右　前上顎骨　10.尾椎　**ベラ科**　11.左　上咽頭骨　12.尾椎
ブダイ科　13.右　上咽頭骨　14.尾椎

写真186　脊椎動物遺体2

ニワトリ　1.頸椎　2.左　肩甲骨　3.左　尺骨　4.左　中手骨　5.左　大腿骨　6.右　大腿骨　7.左　脛骨　8.左　脛骨(切断？)9.右　脛骨　10.左　中足骨　11.左　中足骨　12.左　鳥口骨　**ネズミ**　13.右　下顎骨　**ネコ**　14.右　下顎骨M1　15.左　踵骨　**イヌ**　16.左　肋骨　17.左　中手骨　18.左　大腿骨

写真187　脊椎動物遺体3

イノシシ　1.右　上顎　犬歯　2.左　上顎　M3　3.左　下顎　犬歯　4.頸椎　5.胸椎？(カットマーク)　6.腰椎　7.左　肩甲骨　8.左　上腕骨　9.右　橈骨　10.左　橈骨　11.左　尺骨　12.左　尺側手根骨　13.左　中間手根骨　14.右　中手骨　15.右　大腿骨　16.左　脛骨　17.左　脛骨(カットマーク)　18.左　距骨　19.右　踵骨　20.左　基節骨

写真188　脊椎動物遺体4

ヤギ　1.左　下顎　P3　2.左　下顎　P4　3.左　下顎　M1　4.左　下顎　M2　5.右　下顎　M3　6.右　肋骨　7.左　上腕骨　8.右　橈骨　9.右　中手骨　10.左　寛骨　11.右　大腿骨　12.左　大腿骨　13.左　脛骨　14.左　中節骨　**ウマ**　15.右　下顎　I1　16.右　下顎　I2　17.右　橈骨

写真189　脊椎動物遺体5

ウシ　1.環椎　2.右　尺側手根骨　3.右　第4手根骨　4.左　脛骨(カットマーク)　5.右　中足骨　6.右　中節骨

表 15 遺物出土状況

種類		出土地	トレンチ1	トレンチ2					トレンチ3		トレンチ4	トレンチ5			トレンチ6				
			Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み1 Ⅲ層	石組み2 Ⅲ層	溝1 Ⅲ層	Ⅰ層	土坑2 Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅲ層 青灰色土	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅲ層 赤褐色土	Ⅲ層 黄褐色ニービ	土坑1 Ⅰ層
陶磁器	中国産（2718 点）	青磁	93	35	7				1		1	2			5				
		白磁	186	143	31	1	2	3	5			2	2		12				1
		染付	794	351	109	4	14	4	2		1	6	10		78				9
		褐釉陶器	170	89	34	1	8	2	1		1	1	4		24				8
		色絵	71	43	8	2	1								4				1
		瑠璃釉	23	5	3			1				1							
		華南三彩		1															
		黒釉天目	1																
		無釉陶器	15	18	3										3				1
		褐釉染付	2	6															
		褐釉磁器			1														
	タイ産（37 点）	褐釉陶器	22	2			1		1						4				
		鉄絵		1															
	本土産（895 点）	青磁	1																1
		白磁	1																
		染付	49	14	2							1			3				1
		色絵	2	1	7		1								1				1
		磁器	4	1											1				
		陶器	283	130	40	1	14		3		1	2	3		19				6
		近代陶磁器	134	31	2			4	5			3			6				
	沖縄産（7964 点）	施釉陶器	3107	1180	460	19	71	13	11		38	9	3		124		1		37
		無釉陶器	1228	490	193	11	57	2	1		1	10	13		191	1			49
	土器（21 点）		12	7				1							1				
	陶質土器（2536 点）		1249	648	244	28	43	15			1	2	1		52				11
	瓦質土器（58 点）		15	11	3		7					1			9		1		2
	類須恵器（2 点）		1		1														
	西洋陶器（1 点）		1																
	産地不明陶磁器（17 点）		4	4	6		1								2				
土製品（24 点）			8	6	3								1		2				
坩堝（4 点）			2																
銭貨（28 点）			9	10								1		1	2				1
煙管（32 点）			11	17	1														1
円盤状製品（351 点）			230	64	15		2	2			1	1	1		11				
石製品（17 点）			2	2	1		1			1			2		5				3
玉（10 点）			3	4	2										1				
木製品（1 点）			1																
青銅製品（101 点）			64	22	1			2	1				1		7				
鉄製品（336 点）			132	96	5		1	8	4		1	7	3		24				4
アルミ製品（3 点）			3																
ガラス製品（98 点）			6	14				1	5			2	1		61				
プラスチック製品（21 点）			3	3	3				9			1			1				
タイル（26 点）			6	9	2				7						1				
石材（147 点）			28	10	3	2			2				2		70				15
炭（76 点）			17	6	6	3	5	5					8		3				
焼土（6 点）			1	1															
石（162 点）			82	22	22		3	3				3	3		11				4
コンクリート（46 点）			2	20				1	13	2		1			4	1			
ビー玉（6 点）			4	1															
おはじき？（1 点）			1																
木片（2 点）				1	1														
ゴム（2 点）					1										1				
種類不明（6 点）			2	4															
建築部材	瓦（3394 点）		981	376	131	20	10	5	46	18	11	40	124		993			2	178
	塼（21 点）		7	3	1	1									8				
	煉瓦（51 点）		6	33					1	1					8				
	漆喰（94 点）						2	65					16						
自然遺物（2279 点）	貝類	巻貝	362	240	64	2	10	7	1			4	6		30				14
		二枚貝	100	122	29	1	2	118	3			1	9		14				4
	脊椎動物遺体		177	609	81	5	22	119	1			1	11		15				6
合計			9718	4906	1526	101	278	381	123	22	57	102	224	1	1811	2	2	2	358

トレンチ７								不明	出土地不明	トレンチ１Ⅰ層＋トレンチ２Ⅰ層	トレンチ２Ⅰ層＋トレンチ２Ⅲ層	トレンチ２Ⅲ層＋トレンチ２石組み１Ⅲ層	トレンチ６Ⅰ層＋トレンチ７Ⅰ層	トレンチ７Ⅲ層暗褐色土＋トレンチ７瓦溜まりⅢ層	合計	重量（ｋｇ）		
Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅲ層					瓦溜まりⅢ層	Ⅰ層								集計分	未集計分	合計
		暗褐色土	灰褐色土	褐色土	黄褐色土	灰褐色ニービ												
18		1	1	1	2			1							168	0.114	0.017	0.131
14		6		8			1	3							420	1.047	0.017	1.064
67		7	3	21	1		3	36							1520	7.600	0.378	7.978
27		3	2	4	2		2		2						385	5.390		5.390
4				2											136	0.521		0.521
1				1											35	0.125		0.125
															1	0.006		0.006
															1	0.006		0.006
				2											42	0.191		0.191
															8	0.019		0.019
				1											2	0.005		0.005
4				1											35	0.680		0.680
				1											2	0.005		0.005
															2	0.027		0.027
															1	0.004		0.004
4	1	1						1							77	0.754		0.754
				3			1	1							18	0.205		0.205
		1				1									8	0.063	0.001	0.064
43	1	4		16	3	1	2	11							583	1.556	0.069	1.625
15		3		1				2							206	1.617	0.008	1.625
202	4	25	2	63	2		6	59		1	11		1	1	5450	50.163	2.300	52.463
155		16	1	68	6		3	18							2514	105.226	2.507	107.733
															21	0.177		0.177
116	4	16	2	58	5		7	32				2			2536	16.184	1.000	17.184
1				3				5							58	4.551		4.551
															2	0.010		0.010
															1	0.004		0.004
															17	0.068		0.068
							4								24	0.264		0.264
				2											4	0.019		0.019
		4													28	0.076		0.076
1			1												32	0.092		0.092
13	8						2	1							351	9.057		9.057
															17	65.536		65.536
															10	0.003		0.003
															1	0.027		0.027
3															101	0.758		0.758
31		10	3	5	1		1								336	7.954	0.075	8.029
															3	0.018		0.018
8															98	1.526		1.526
				1											21	0.046		0.046
1															26	0.371		0.371
6					8			1							147	16.240		16.240
5	1	10		6	1										76	0.164		0.164
4															6	0.183		0.183
3				5		1									162	18.340		18.340
2															46	3.340		3.340
1															6	0.038		0.038
															1	0.005		0.005
															2	0.016		0.016
															2	0.004		0.004
															6	0.007		0.007
236	14	49	4	89	23	7	26	10	1						3394	296.693	9.480	306.173
1															21	9.991		9.991
2															51	25.940		25.940
11															94	5.240		5.240
16	1			8	1		1								767	26.380		26.380
15		2		6	1		2								429	9.580		9.580
22	1	3		9					1						1083	2.845		2.845
1052	35	161	19	385	56	10	61	181	4	1	11	2	1	1	21594	697.071	15.852	712.923

表16 青磁出土状況

器種・部位 ＼ 出土地		トレンチ1	トレンチ2		トレンチ3	トレンチ4	トレンチ5	トレンチ6	トレンチ7					不明	合計
		Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層				Ⅰ層	
										暗褐色土	灰褐色土	褐色土	黄褐色土		
碗	口縁部	13	7	2	1				4			1			28
	胴部	34	10	5		1		2	11	1			1		65
	底部	4	4												8
小碗	口縁部	4	2						1						7
	胴部	12	3												15
	底部	4	2												6
皿	口縁部	6					1	2							9
	胴部	1									1				2
	底部		1					1	2						4
盤	口縁部	1	2											1	4
	胴部	5	1										1		7
	底部		1				1								2
瓶	胴部	1													1
香炉	口縁部	1	1												2
	胴部	1													1
	底部	1													1
袋物	胴部	1													1
	底部	2													2
器種不明	耳		1												1
	胴部	1													1
	不明	1													1
合計		93	35	7	1	1	2	5	18	1	1	1	2	1	168

表17 白磁出土状況

器種・部位 ＼ 出土地		トレンチ1	トレンチ2					トレンチ3	トレンチ5		トレンチ6		トレンチ7				不明	合計
		Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み1	石組み2	溝1	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅰ層	土坑1	Ⅰ層	Ⅲ層		瓦溜まり	Ⅰ層	
					Ⅲ層	Ⅲ層	Ⅲ層					Ⅰ層		暗褐色土	褐色土	Ⅲ層		
碗	口縁部	31	30	5				2	1		3		1		1		2	76
	胴部	72	72	14			2	2			4	1	7	4	5			183
	底部		1	3			1				1							6
小碗	口縁部	30	8	1							1		1					41
	胴部	7	6										1					14
	底部	25	10	5	1	1					1		1		1			45
皿	口縁～底部	1	1														1	3
	口縁部	3	2								1		1					7
	胴部												1					1
	底部	5	1								1							7
小杯	口縁～底部							1										1
	口縁部	3	3										1					7
	胴部		1															1
	底部	2	2	2										1				7
蓋	口縁部														1			1
袋物	口縁部	1	1															2
	耳		1															1
	胴部	2	1							1								4
灯明皿	口縁部		1															1
合子(身)	口縁部													1		1		2
水滴	口縁部			1														1
蓮華	皿	1																1
器種不明	口縁部	1				1			1	1								4
	胴部	1	2															3
	底部	1																1
合計		186	143	31	1	2	3	5	2	2	12	1	14	6	8	1	3	420

表18 染付出土状況

器種・部位	出土地	トレンチ1	トレンチ2					トレンチ3	トレンチ4	トレンチ5		トレンチ6		トレンチ7						不明	合計
		Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み1	石組み2	溝1	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅰ層	土坑1	Ⅰ層	Ⅲ層				瓦溜まり	Ⅰ層	
					Ⅲ層	Ⅲ層	Ⅲ層						Ⅰ層		暗褐色土	灰褐色土	褐色土	黄褐色土	Ⅲ層		
碗	口縁～底部											1									1
	口縁部	163	94	27	1	1	2			3	4	15	1	11	1	1	4	1		2	331
	胴部	338	145	56	2	2	2	1	1	1	5	35	5	37	3	1	12		2	21	669
	底部	144	34	13		2		1				14	1	4	3		1			5	222
小碗	口縁部	5	2		1	1						1	1								11
	胴部	7	5	1		2														1	16
	底部	19	12	2		2						4					1				40
皿	口縁～底部	1											1								2
	口縁部	9	7	2		1					1	1		2			1			1	25
	胴部	3	5	3								2									13
	底部	36	11	1		3						4		4		1	1		1	2	64
角皿	口縁～底部	1																			1
盤	口縁部	1																			1
	胴部	4	1																		5
杯	口縁～底部		1																		1
小杯	口縁～底部			1																	1
	口縁部	13	12	1								1		5			1			1	34
	胴部	16	6											1						1	24
	底部	6	4	1																1	12
小瓶	底部		1																		1
鉢	胴部	8												1						1	10
	底部	1																			1
香炉？	口縁部	2												1							3
蓋	口縁部	2	3							1											6
	胴部	1																			1
袋物	胴部	10	4	1						1				1							17
	底部	1	1																		2
合子(身)	口縁～底部	1																			1
合子？	口縁部	1																			1
蓮華	皿		2																		2
	柄	1	1																		2
合計		794	351	109	4	14	4	2	1	6	10	78	9	67	7	3	21	1	3	36	1520

表19 中国産褐釉出土状況

器種・部位 ＼ 出土地		トレンチ1	トレンチ2					トレンチ3	トレンチ4	トレンチ5	
		Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み1 Ⅲ層	石組み2 Ⅲ層	溝1 Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層
壺	口縁部	7	2								
	把手	1									
	胴部	154	75	31	1	8	2	1	1	1	4
	底部	7	2	3							
袋物	胴部	1	10								
合計		170	89	34	1	8	2	1	1	1	4

器種・部位 ＼ 出土地		トレンチ6		トレンチ7						不明	合計
		Ⅰ層	土坑1 Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層 暗褐色土	Ⅲ層 灰褐色土	Ⅲ層 褐色土	Ⅲ層 黄褐色土	瓦溜まり Ⅲ層		
壺	口縁部	1									10
	把手										1
	胴部	18	7	27	3	2	4	2	2	2	345
	底部	5	1								18
袋物	胴部										11
合計		24	8	27	3	2	4	2	2	2	385

表20 色絵出土状況

器種・部位 ＼ 出土地		トレンチ1	トレンチ2				トレンチ6		トレンチ7		合計
		Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み1 Ⅲ層	石組み2 Ⅲ層	Ⅰ層	土坑1 Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層 褐色土	
碗	口縁部	25	9	3	2	1				1	41
	胴部	31	24	3			1		4	1	64
	底部	4					1				5
小碗	口縁部			1							1
皿	口縁～底部	2						1			3
	口縁部	4	2								6
	底部	4	6				2				12
小杯	口縁～底部	1									1
	口縁部		1								1
器種不明	胴部		1								1
	底部			1							1
合計		71	43	8	2	1	4	1	4	2	136

表21 その他中国産陶磁器出土状況

種類・器種・部位 ＼ 出土地			トレンチ1	トレンチ2			トレンチ5	トレンチ6		トレンチ7		合計
			Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	溝1 Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅰ層	土坑1 Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層 褐色土	
瑠璃釉	碗	口縁部	9			1					1	11
		胴部	6	3	1							10
		底部	3							1		4
	小碗	口縁部			1							1
	小杯	口縁～底部	2									2
		口縁部	1		1							2
		胴部		2								2
		底部	1									1
	袋物	口縁～底部	1									1
		胴部					1					1
	合計		23	5	3	1	1	0	0	1	1	35
華南三彩 (1点)	袋物	胴部		1								1
黒釉天目 (1点)	碗	口縁部	1									1
褐釉染付 (8点)	小杯	口縁部		1								1
		胴部	2	5								7
褐釉磁器 (2点)	小碗	胴部			1						1	2
無釉陶器 (亘興窯)	急須	口縁部	1	3				1				5
		取手	1									1
		胴部	8	11	2						1	22
		底部	4	2				1				7
	急須(蓋)	口縁部	1									1
		胴部						1	1		1	3
	蓋	胴部			1							1
	器種不明	取手		1								1
		不明		1								1
	合計		15	18	3	0	0	3	1	0	2	42

表22 その他陶磁器出土状況

種類・器種・部位 ＼ 出土地			トレンチ1	トレンチ2			トレンチ3	トレンチ6	トレンチ7		合計
			Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み2 Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層 褐色土	
タイ産褐釉	壺	口縁部	1	1		1					3
		胴部	19	1			1	4	4	1	30
		底部	2								2
	合計		22	2	0	1	1	4	4	1	35
タイ産鉄絵 (2点)	蓋	胴部								1	1
	合子？	胴部		1							1
西洋陶器 (1点)	器種不明	胴部	1								1
産地不明陶磁器 (17点)	壺	口縁部			1	1					2
	器種不明	不明	4	4	5			2			15

表23 本土産陶磁器出土状況

種類・器種・部位		出土地	トレンチ1	トレンチ2				トレンチ3	トレンチ4	トレンチ5	
			Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み1 Ⅲ層	石組み2 Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層
青磁（2点）	碗	口縁部									
	香炉	底部	1								
白磁（1点）	袋物	胴部	1								
染付	碗	口縁～底部	1								
		口縁部	9	2							
		胴部	15	4						1	
		底部	5	3	1						
	小碗	口縁部	1								
	皿	口縁部	11	1							
		底部	6	3							
	瓶	胴部		1							
	鉢	口縁部	1								
	蓋	撮み									
		口縁部			1						
	合子	胴部									
	合計		49	14	2	0	0	0	0	1	0
色絵	碗	口縁部			1						
		底部									
	皿	底部			1						
	皿か盤	口縁部	1								
	蓋	口縁部	1								
	袋物	口縁部		1							
	筒物	口縁部			1						
	器種不明	胴部			4		1				
	合計		2	1	7	0	1	0	0	0	0
磁器	鉢	胴部	1								
	水注？	不明	1								
	器種不明	胴部									
		底部	2	1							
	合計		4	1	0	0	0	0	0	0	0
陶器	碗	口縁部	4	4							
		胴部	8	7	1						
		底部	5	1							
	小碗	底部	2								
	皿	口縁～底部					1				
		口縁部	2	2						1	
		胴部									
		底部	2								
	壺	口縁部			2						
		底部			3		1				
	壺(信楽)	胴部		1							
	壺か甕	口縁部	6	2					1		
		把手	1								
		胴部	206	101				2		1	
		底部	8	2							
	鉢	口縁部	6	2	1						
	擂鉢	口縁部		1							
		胴部	1		1						1
	植木鉢	口縁部	1								
	急須	底部	3								
	蓋	口縁部									1
		胴部	1	1							
	袋物	口縁部	2	2							
		胴部	13	2							
		底部	7								
	窯道具	底部		1							
	器種不明	口縁部									
		胴部	4		32	1	12				1
		底部		1				1			
	本土産？鉢？	胴部	1								
	合計		283	130	40	1	14	3	1	2	3

トレンチ6		トレンチ7							不明	合計
Ⅰ層	土坑1	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅲ層				瓦溜まり	Ⅰ層	
	Ⅰ層			暗褐色土	褐色土	黄褐色土	灰褐色ニービ	Ⅲ層		
	1									1
										1
										1
										1
									1	12
1		1	1							23
1										10
										1
		1								13
1		1								11
		1								2
										1
				1						1
										1
	1									1
3	1	4	1	1	0	0	0	0	1	77
					1					2
1	1							1		3
										1
										1
									1	2
										1
										1
					2					7
1	1	0	0	0	3	0	0	1	1	18
										1
										1
				1			1			2
1										4
1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	8
1		4								13
1		5		1	1				2	26
	1				1					8
										2
		1								2
										5
		1								1
		1								3
										2
					1					5
									1	2
1		1								11
										1
14		23							7	354
		2							1	13
		2								11
										1
					1					4
										1
										3
	1							1		3
										2
										4
1		2								18
										7
										1
1										1
	4	1	1	3	11	3	1	1		75
					1					3
										1
19	6	43	1	4	16	3	1	2	11	583

表24 本土産近代陶磁器出土状況

種類・器種・部位		出土地	トレンチ1	トレンチ2			トレンチ3	トレンチ5	トレンチ6	トレンチ7			不明	合計
			Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	溝1 Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層 暗褐色土	Ⅲ層 褐色土	Ⅰ層	
近代陶磁器	碗	口縁部	26	4	1	2	2		1	3				39
		胴部	44	7	1		1	2	3	3			1	62
		底部	4	3										7
	小碗	口縁～底部	1											1
		口縁部	1								1			2
		胴部									2			2
		底部	3	1					1	2		1		8
	皿	口縁～底部	3											3
		口縁部	10	5			2	1		2				20
		胴部	3							1				4
		底部	6	1					1	2				10
	角皿	口縁～底部	2											2
		底部	2										1	3
	小杯	口縁部		1										1
		胴部		1										1
		底部	1											1
	瓶	口縁部	1											1
	鉢	口縁部		1										1
	急須	口縁部	3											3
		胴部	2											2
	蓋	撮み～口縁部				1								1
		口縁部	2			1								3
	袋物	胴部	1											1
	湯呑	口縁～底部								1				1
		口縁部	3											3
		底部	1											1
	便器	胴部	6											6
	器種不明	口縁部		1										1
		不明	9	6						1				16
	合計		134	31	2	4	5	3	6	15	3	1	2	206

表25 沖縄産無釉陶器出土状況

器種・部位	出土地	トレンチ1	トレンチ2					トレンチ3	トレンチ4	トレンチ5		トレンチ6			トレンチ7						不明	合計
		Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み1 Ⅲ層	石組み2 Ⅲ層	溝1 Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅲ層	土坑1 Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層 暗褐色土	灰褐色土	褐色土	黄褐色土	瓦溜まり Ⅲ層	Ⅰ層	
碗	口縁部											1										1
	底部											1										1
皿	口縁～底部	3	1									1										5
	口縁部	6	10	4							2	1						1				24
	胴部	2	3												2							7
	底部	13	3	2										1								19
瓶	口縁部	6	10	5						1	1											23
	底部	2																				2
土瓶	胴部	1																				1
壺	口縁部	17	5	1								7		2	3	1		1	1			38
	耳	3	2												2							7
	胴部	11	3	1	1	4						10		4	1	1					1	37
	底部			3										1				1				5
壺(小型)	口縁部	9	6									1			4						1	21
壺か甕	耳			1																		1
	胴部	593	247	103	7	26	2			4	7	67	1	17	76	4		42		3	4	1203
	底部	38	25	4		2				1	1	20		3	3	2		5			3	107
鉢	口縁部	128	34	22	1	11			1			11		6	12	2	1	9	2		2	242
	胴部	10	2	1		3						3		2					2		1	24
	底部	17	5	2		4						7		1	1							37
鉢か甕	胴部	6	2																			8
擂鉢	口縁～底部	1																				1
	口縁部	54	12	4	2	3				1	1	8		4	5			1				95
	胴部	110	46	17		2				1	1	12		3	10	3		4				209
	底部	23	6	3								7		2	2	1		2			1	47
水鉢	口縁部	24	10	8								3			2				1			48
	胴部	3	6																			9
甕	口縁部	17	4	1				1				5									1	29
	胴部	25	3	3								4			2						1	38
酒器	底部		1																			1
火炉	口縁部	8	8			1						1				1		1				20
	胴部	3	1	2																	1	7
	底部														1							1
火取	口縁部			1																		1
火入？	口縁部											1										1
急須	注口	2																				2
	底部											1										1
蓋	口縁部	3	2	1								1			1							8
	胴部	1	1																			2
袋物	胴部	54	25	4						2		11		2	22			1			1	122
	底部	21	5									4			4						1	35
納骨器	口縁部	1																				1
器種不明	口縁部	2										1			1							4
	胴部	8	1									1			1							11
	底部					1								1		1						3
	不明	3	1									1										5
合計		1228	490	193	11	57	2	1	1	10	13	191	1	49	155	16	1	68	6	3	18	2514

表26 沖縄産施釉陶器出土状況1

器種・部位	出土地	トレンチ1	トレンチ2					トレンチ3	トレンチ4	トレンチ5		トレンチ6	
		Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み1 Ⅲ層	石組み2 Ⅲ層	溝1 Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅲ層 赤褐色土
碗	口縁～底部		4	2								1	
	口縁部	445	264	89	3	7	6	1	3		1	17	
	胴部	591	266	95	1	10	2	3	14	2		16	
	底部	358	86	52	3	6	1		1			15	
碗？	胴部		1										
小碗	口縁～底部	2	3	1		1						1	
	口縁部	55	21	9	1	7	1					6	
	胴部	44	14	2		1			2			2	
	底部	114	20	7		1			1	1		7	
皿	口縁部	42	21	10	1							2	
	胴部	17	4	1					1			1	
	底部	14	11							1		1	
大皿	口縁～底部												
	口縁部			3									
	胴部	5	1										
小杯	口縁～底部		1										
	胴部		2										
	底部	2											
瓶	口縁部	15	8			1							
	胴部	17	1									2	
	底部	4										4	
壺	口縁部	6	4										
	耳			1									
	胴部	15	10					1	2	1		2	
	底部	11		1					1				
壺か鉢	底部	2											
鉢	口縁部	88	29	17		4	1	1				4	
	胴部	114	26	13		4		1				5	
	底部	45	11	2		1			1			5	1
鍋	口縁部	72	23	5	1		2		2				
	耳	18	5										
	胴部			9									
	底部	106	21	6		2			1	1		3	
鍋(蓋)	撮み	3	1										
	口縁部	19	12										
鍋？	耳	2	1										
鍋か急須	胴部	179	60	17				1	1			8	
酒器	口縁部		2										
	胴部	22	6										
	底部	4	1									1	

トレンチ6	トレンチ7							不明	トレンチ2＋トレンチ1	トレンチ2＋トレンチ2	トレンチ7＋トレンチ6	瓦溜まり＋トレンチ7	トレンチ7	合計
土坑1	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅲ層				瓦溜まり	Ⅰ層					Ⅲ層	
Ⅰ層			暗褐色土	灰褐色土	褐色土	黄褐色土	Ⅲ層		Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅲ層	暗褐色土	
														8
										1				
3	25		5		8	1	2	13						893
5	43	2	6		15			15						1086
4	14				9			9						558
														1
2														10
4	7	1	3				1							116
	4		2					1						72
3	5		1		1			1						162
1	5				1			1						84
														24
	2							1						30
										2				2
										1				4
														6
														1
														2
														2
	4	1												29
	1									1				22
														8
														10
														1
	2													33
	1													14
														2
1	5		1		2					1				154
1	2				1									167
	2				2			1						71
	6				2									113
	1							1						25
					1									10
1	7				2			3						153
														4
	2													33
														3
3	14		2		3			2						290
														2
	1													29
														6

表27 沖縄産施釉陶器出土状況2

器種・部位	出土地	トレンチ1	トレンチ2					トレンチ3	トレンチ4	トレンチ5		トレンチ6	
		Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み1 Ⅲ層	石組み2 Ⅲ層	溝1 Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅲ層 赤褐色土
火炉	口縁部	7							1				
	胴部	2											
	底部	3	2										
火入	口縁部	35	13	5					1			2	
	胴部	22	8	9					1			1	
	底部	23	8	1								1	
火炉か火入	口縁部	4											
灯明具	口縁部	1											
	胴部	1											
	底部	1										1	
急須	口縁～底部												
	口縁部	36	15	3	1	3						1	
	注口	17	9	3									
	耳	14	5	1		1			2				
	胴部	139	56	8	2	2				1		3	
	底部	50	16	5								2	
急須(蓋)	撮み～口縁部	2											
	口縁部	32	8										
	胴部	17	6										
蓋	撮み			1									
	口縁部			8	1								
	胴部			3		1							
按瓶	把手	11	3									1	
	胴部	64	16	2		1		1	1	1		2	
	底部	4	4									1	
袋物	口縁部	1											
	胴部	72	23	40		8			2			4	
	底部	27	9	3	1								
水注	胴部	1											
合子(中子)	口縁部		1										
花生？	胴部	1											
筒物	胴部	2											
餌入れ	口縁～底部												
器種不明	口縁部	3	2										
	胴部	83	35	24	4	10		2		1	2	2	
	底部		1	2									
	不明	1											
合計		3107	1180	460	19	71	13	11	38	9	3	124	1

トレンチ6	トレンチ7							不明	トレンチ2Ⅰ層＋トレンチ1Ⅰ層	トレンチ2Ⅲ層＋トレンチ2Ⅰ層	トレンチ7Ⅰ層＋トレンチ6Ⅰ層	瓦溜まりⅢ層＋トレンチ7暗褐色土Ⅲ層	合計
土坑1	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅲ層				瓦溜まり	Ⅰ層					
Ⅰ層			暗褐色土	灰褐色土	褐色土	黄褐色土	Ⅲ層						
	1												9
													2
													5
	2		1										59
	2				2								45
													33
													4
													1
													1
1													3
										1			1
	3									1			63
1	4						1						35
													23
	14			1				4	1		1	1	233
1	5		2		2			1		2			86
													2
													40
													23
													1
							1						10
					1								5
	1												16
	1									1			90
			1					1					11
													1
4	5		1		9		1	1					170
1	3				2								46
													1
								1					2
													1
													2
1													1
	2												7
	6			1		1		2					173
								1					4
													1
37	202	4	25	2	63	2	6	59	1	11	1	1	5450

表28 土器・陶質土器・瓦質土器・類須恵器出土状況

種類・器種・部位		出土地	トレンチ1	トレンチ2					トレンチ4	トレンチ5	
			Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み1 Ⅲ層	石組み2 Ⅲ層	溝1 Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層
土器	グスク土器	胴部	6	3							
		底部		1							
	宮古式土器	胴部	4	1							
	パナリ焼	胴部	2	1							
	器種不明	胴部		1				1			
	合計		12	7	0	0	0	1	0	0	0
陶質土器	皿	底部	7	4							
	鉢	口縁部	24	4	1		3				
		胴部	15	4	2	1	1				
		底部	8	2	5		1			1	
	鍋	口縁部	142	78	26	1	3				
		耳	19	4							
		把手			2		1				
		胴部			52	7	8				
		底部			20		1				
	鍋(蓋)	撮み	24	9							
	鍋か急須	口縁部			1	1					
		胴部	449	188	50	11	12	1			
		底部	109	130			1				
	火炉	口縁～底部			1						
		口縁部	42	16	7	1	2	1			
		耳			1		2				
		把手	10	2							
		胴部	111	41	26		5				
		底部	37	17	2					1	
	火入	口縁部			1						
	急須	口縁部	11	6	3						
		注口	13	13	2		1				1
		耳	8	8	1						
		把手	2								
		胴部	82	44	9	3	1	1			
		底部	2	1	6	1					
	蓋	口縁部	20	4	18	1					
		撮み	3	5	4			1			
		胴部	6	6	3	1	1	2			
	蓋？	胴部	1								
	皿か蓋	口縁部	54	27							
	器種不明	口縁部	4	3	1						
		胴部	43	32				9			
		底部	3								
		不明							1		
	合計		1249	648	244	28	43	15	1	2	1
瓦質土器	鉢	口縁部	1								
	鉢？	胴部									
	内蓋	胴部		1							
	竈	口縁～底部	1	1							
		口縁部	5	2			1				
		胴部	3	2						1	
		底部	2	1	1						
	器種不明	底部		1							
		不明	3	3	2		6				
	合計		15	11	3	0	7	0	0	1	0
類須恵器（カムィヤキ）（2点）	器種不明	胴部	1		1						

トレンチ6			トレンチ7							不明	石組みトレンチ1Ⅲ層＋トレンチ2Ⅲ層	合計
Ⅰ層	Ⅲ層	土坑1	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅲ層				瓦溜まり	Ⅰ層		
	赤褐色土	Ⅰ層			暗褐色土	灰褐色土	褐色土	黄褐色土	Ⅲ層			
												9
												1
												5
												3
1												3
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
1			4							1		17
2		1	4				5			1		45
7			1				3			1		35
5			2				2					26
4			10		1		5			2	1	273
			2									25
												3
							4					71
							1				1	23
2			2									37
												2
7		1	53	1	3		21	3		7		807
3		2	11				1			4		261
												1
		1	3				2			2		77
		1										4
			2									14
6		2	2		1		3			2		199
6			3		1		1	1				69
												1
			2				1			1		24
		1	2				1			1		35
			1		1							19
												2
1				1			1					143
							3					13
		1		1	2		3			3		53
							1					14
2						1				3		25
												1
1			1							3		86
1			2		1				1			13
4		1	8	1	4	1		1	5	1		110
			1		2				1			7
												1
52	0	11	116	4	16	2	58	5	7	32	2	2536
1												2
							1					1
												1
1										1		4
3		1								2		14
1			1									8
3		1								1		9
												1
	1						2			1		18
9	1	2	1	0	0	0	3	0	0	5	0	58
												2

表29 土製品・坩堝・銭貨・煙管・円盤状製品・石製品・玉・木製品出土状況

種類・器種・部位 ＼ 出土地			トレンチ1	トレンチ2				トレンチ3	トレンチ4	トレンチ5			トレンチ6		トレンチ7						不明	合計
			Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み2	溝1	土坑2	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅲ層	Ⅰ層	土坑1	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅲ層			瓦溜まり	Ⅰ層	
						Ⅲ層	Ⅲ層	Ⅰ層				青灰色土		Ⅰ層			暗褐色土	灰褐色土	褐色土	Ⅲ層		
土製品	土錘			1																		1
	土管（陶管）	筒部片											1									1
	人形？	不明	1	1	1																	3
	器種不明	不明	3	4	2						1		1									11
	器種不明（土製品？）	不明	4																	4		8
	合計		8	6	3	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4	0	24
坩堝（4点）	口縁部		1																			1
	底部		1																2			3
銭貨	寛永通寶		6	5									1				4					16
	無文銭		1									1		1								3
	米1セント												1									1
	米5セント		1							1												2
	銭種不明	完形		4																		4
		破片	1	1																		2
	合計		9	10	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	0	0	4	0	0	0	0	28
煙管	沖施	火皿	1															1				2
		雁首 完形	3	1	1																	5
		雁首 破片		4																		4
		吸口 完形		1										1	1							3
		吸口 破片	2	4																		6
	沖無	火皿	1																			1
		雁首 完形	1	1																		2
		雁首 破片	3	6																		9
	合計		11	17	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	32
円盤状製品	白磁		8		1																	9
	染付		25	4	3	1	1				1					1						36
	色絵		2																			2
	褐釉												1									1
	本土産陶器		6	1	1										1							9
	近現			1																		1
	沖縄産施釉陶器		39	5	2								1			2				1		50
	沖縄産無釉陶器		77	22	4		1						3		5	4				1	1	118
	陶質土器		10	5	1																	16
	瓦質土器		1		2								1									4
	瓦		61	25	1	1			1	1			4		7							101
	石		1										1			1						3
	合計		230	63	15	2	2	0	1	1	1	0	11	0	13	8		0	0	2	1	350
石製品	硯													1								1
	球形												5									5
	石敢當		1																			1
	器種不明		1	2	1	1		1			2			2								10
	合計		2	2	1	1	0	1	0	0	2	0	5	3	0	0		0	0	0	0	17
玉（10点）			3	4	2								1									10
木製品（1点）	器種不明(鉄釘あり)		1																			1

表30 青銅製品・鉄製品・アルミ製品・ガラス製品出土状況

種類・器種・部位		出土地	トレンチ1	トレンチ2				トレンチ3	トレンチ4	トレンチ5		トレンチ6		トレンチ7						合計
			Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み2 Ⅲ層	溝1 Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅰ層	土坑1 Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層 暗褐色土	Ⅲ層 灰褐色土	Ⅲ層 褐色土	Ⅲ層 黄褐色土	瓦溜まり Ⅲ層	
青銅製品	簪	完形	3																	3
		破片	2	2								1								5
	角釘	完形	4	1																5
		破片	2	1	1							1								5
	丸釘	完形	3									1								4
		破片																		0
	針			2																2
	鍵		1																	1
	弾丸		3																	3
	薬莢		2											1						3
	砲弾		4																	4
	針金			7										2						9
	金具		27									3								30
	飾り金具		1	1																2
	取手		1																	1
	容器？		2																	2
	器種不明		9	8			2	1			1	1								22
	合計		64	22	1	0	2	1	0	0	1	7	0	3	0	0	0	0	0	101
鉄製品	角釘	完形	11	5				1				1		1	1		1			21
		破片	19	19	1	1	1		1			6	3	6	9					66
	丸釘	完形	18	32	1			2		1	1	1								56
		破片	14	12	3					1	1	3	1	1		3	1			40
	砲弾		1																	1
	金具		22																	22
	鎌		1																	1
	鉄滓		1	1																2
	器種不明		45	27			7	1		5	1	13		23			3	1	1	127
	合計		132	96	5	1	8	4	1	7	3	24	4	31	10	3	5	1	1	336
アルミ製品（3点）	洗濯ばさみ		1																	1
	容器		2																	2
ガラス製品	ガラス瓶	完形	3									3								6
		破片		1				1		2		6		1						11
	窓ガラス											4								4
	器種不明		3	13			1	4			1	48		7						77
	合計		6	14	0	0	1	5	0	2	1	61	0	8	0	0	0	0	0	98

表31 その他遺物出土状況

種類・器種 ＼ 出土地		トレンチ1	トレンチ2					トレンチ3		トレンチ5	
		Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み1 Ⅲ層	石組み2 Ⅲ層	溝1 Ⅲ層	Ⅰ層	土坑2 Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層
プラスチック製品	ボタン	1	3								
	歯ブラシ	1									
	くし									1	
	器種不明	1		3				9			
	合計	3	3	3	0	0	0	9	0	1	0
タイル（26点）		6	9	2				7			
石材（147点）		28	10	3	2			2			2
炭（76点）		17	6	6	3	5	5				8
焼土（6点）		1	1								
石（162点）		82	22	22		3	3			3	3
コンクリート（46点）		2	20				1	13	2	1	
ビー玉（6点）		4	1								
おはじき？（1点）		1									
木片（2点）			1	1							
ゴム（2点）				1							
不明（6点）		2	4								

種類・器種 ＼ 出土地		トレンチ6			トレンチ7						不明	合計
		Ⅰ層	Ⅲ層	土坑1 Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅲ層 暗褐色土	Ⅲ層 褐色土	Ⅲ層 黄褐色土	Ⅲ層 灰褐色ニービ	Ⅰ層	
プラスチック製品	ボタン	1										5
	歯ブラシ											1
	くし											1
	器種不明							1				14
	合計	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	21
タイル（26点）		1			1							26
石材（147点）		70		15	6				8		1	147
炭（76点）		3			5	1	10	6	1			76
焼土（6点）					4							6
石（162点）		11		4	3			5		1		162
コンクリート（46点）		4	1		2							46
ビー玉（6点）					1							6
おはじき？（1点）												1
木片（2点）												2
ゴム（2点）		1										2
不明（6点）												6

表32 瓦・塼・煉瓦・漆喰出土状況

種類・色調 ＼ 出土地				トレンチ1	トレンチ2					トレンチ3		トレンチ4	トレンチ5	
				Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み1 Ⅲ層	石組み2 Ⅲ層	溝1 Ⅲ層	Ⅰ層	土坑2 Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層
瓦	明朝系	軒丸	灰色	9	2	1								
			赤色	13	2	2							2	1
		軒平	灰色	4							1			1
			赤色	11	3	2					1			
		丸	灰色	128	40	11			2		5	1	11	21
			赤色	195	77	17	4	2		14	3	2	7	34
		平	灰色	218	65	36	3	2		15	5	4	5	38
			赤色	376	169	26	13	3		13	3	4	15	20
		不明	灰色	8	3	19		2	1					9
			赤色	17	15	17		1	2	3				
	大和系	丸	灰色											
			赤色											
		平	灰色	1										
			赤色											
	瓦不明		灰色											
			赤色	1						1				
	合 計			981	376	131	20	10	5	46	18	11	40	124
塼	灰色			5	1									
	赤色			2	2	1	1							
	合計			7	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0
煉瓦（51点）				6	33					1	1			
漆喰（94点）								2	65					16

種類・色調 ＼ 出土地				トレンチ6			トレンチ7								不明	不明	合計
				Ⅰ層	Ⅲ層 黄褐ニービ	土坑1 Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅲ層 暗褐色土	Ⅲ層 灰褐色土	Ⅲ層 褐色土	Ⅲ層 黄褐色土	Ⅲ層 灰褐色ニービ	瓦溜まり Ⅲ層 瓦	Ⅰ層		
瓦	明朝系	軒丸	灰色	2			1										15
			赤色	12												1	33
		軒平	灰色	3		3	1				1						14
			赤色	6			3										26
		丸	灰色	93	1	22	17	1	5		19	2			2		381
			赤色	262		48	56		7		5	6		8	2		749
		平	灰色	170		41	50	2	15	2	32	12	5	3	2		725
			赤色	423	1	64	91	11	16	2	29	3	2	15	4		1303
		不明	灰色	4			2				3						51
			赤色	13			15		6								89
	大和系	丸	灰色														0
			赤色														0
		平	灰色	3													4
			赤色														0
	瓦不明		灰色														0
			赤色	2													4
	合 計			993	2	178	236	14	49	4	89	23	7	26	10	1	3394
塼	灰色			2													8
	赤色			6			1										13
	合計			8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
煉瓦（51点）				8			2										51
漆喰（94点）							11										94

表33 貝類(巻貝等)出土状況一覧

番号	網名	科名	種名	生息地	トレンチ1			トレンチ2															トレンチ3		
				出土地	Ⅰ層			Ⅰ層			Ⅲ層			石組み1 Ⅲ層			石組み2 Ⅲ層			溝1 Ⅲ層			Ⅰ層		
					完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片	完形	殻頂	破片
1		ニシキウズガイ科	ニシキウズ	Ⅰ-2-a							1														
2			ギンタカハマ	Ⅰ-4-a													1								
3			サラサバテイ	Ⅰ-4-a	1	2	1		1	2															
4			オキナワイシダタミ	Ⅱ-1-b						1															
5		サザエ科	ヤコウガイ	Ⅰ-4-a		15	120		1	77		1	26					1							
6			ヤコウガイの蓋	Ⅰ-4-a	7	10	34	2		16	1		4												
7			チョウセンサザエ	Ⅰ-3-a	26	22	12	2	2	2	1	1	2	1								1	1		
8			チョウセンサザエの蓋	Ⅰ-3-a	16	2		15	5		1						1			4					
9			カンギク	Ⅱ-1-b	7			4	6			1				1									
10		アマオブネガイ科	マルアマオブネ	Ⅱ-1	1																				
11		オニノツノガイ科	オニノツノガイ	Ⅰ-2-c		3		1	1																
12			カヤノミカニモリ	Ⅰ-0-a	2				3																
13			クワノミカニモリ	Ⅰ-1						1															
14		ウミニナ科	リュウキュウウミニナ	Ⅱ-1-c				1																	
15		カワニナ科	カワニナ	Ⅳ-5・6						1															
16		フトヘナタリ科	フトヘナタリ	Ⅲ-0				1																	
17			ヘナタリ	Ⅲ-1				1												1					
18			カワアイ	Ⅲ-1-c			2		9	5															
19			センニンガイ	Ⅲ-0-c																					
20		ソデボラ科	オハグロガイ	Ⅱ-2-c	16	3	1	13	9	3	5		3				2			1					
21			マガキガイ	Ⅰ-2-c	7	17	2	4	6	1	5						3	1	1						
22			クモガイ	Ⅰ-2-c		1																			
23		トンボガイ科	トンボガイ	Ⅱ-2-c						1															
24		タカラガイ科	ヤクシマダカラ	Ⅰ-2-a						1															
25			ヒメホシダカラ	Ⅰ-2-a	1																				
26			ホシキヌタ	Ⅰ-2-a	1																				
27			コモンダカラ	Ⅰ-1-a				1																	
28			ハナビラダカラ	Ⅰ-1-a	4			7	1		3	2	1												
29	腹足網		キイロダカラ(ﾌｼﾀﾞｶｷｲﾛﾀﾞｶﾗ)	Ⅰ-1-a				2																	
30			ハナマルユキ	Ⅰ-3-a		2	1		3																
31			イボダカラ	Ⅰ-2-a				1																	
32			タカラガイ科不明				1																		
33		フジツガイ科	シオボラ	Ⅰ-2-a			1																		
34			ホラガイ	Ⅰ-4-a			1			2			1												
35		オニコブシガイ科	オニコブシガイ	Ⅰ-2-a	1	1																			
36			コオニコブシ	Ⅰ-2-a	1																				
37		エゾバイ科	シマベッコウバイ	Ⅱ-1				2			1														
38		セコバイ科	ヒモカケセコバイ	Ⅰ-2-a				1																	
39		イトマキボラ科	イトマキボラ	Ⅰ-2-a	3		3			2															
40			ナガイトマキボラ	Ⅰ-2-a			1																		
41			チトセボラ	Ⅰ-2-c			1																		
42		イモガイ科	ナンヨウクロミナシ	Ⅱ-2-c				1	1	2															
43			クロフモドキ	Ⅰ-2-c			1																		
44			マダライモ	Ⅰ-1-a							1														
45			コマダライモ	Ⅰ-1-a				1																	
46			サヤガタイモ	Ⅰ-1-a				3	1		1														
47			アカシマミナシ	Ⅰ-2-c					1																
48			ヤキイモ	Ⅰ-2-c	1																				
49			サラサミナシ	Ⅰ-2-a					1																
50			ヤナギシボリイモ	Ⅰ-2-a		1	1	1																	
51			オトメイモ	Ⅰ-2-c						1															
52			ソウジョウイモ	Ⅰ-1-c						1															
53			イモガイ科不明		1																				
54		ヤマタニシ科	オキナワヤマタニシ	Ⅴ-8	1																				
55		アフリカマイマイ科	アフリカマイマイ	Ⅴ-9			1																		
56		オナジマイマイ科	オキナワウスカワマイマイ	Ⅴ-9				1		2															
57			パンダナマイマイ	Ⅴ				1																	
58	ウニ網	ウニ科	ウニ				1			1															
59	巻貝不明						1			1		1	1												
合計					97	79	186	66	51	123	20	6	38	1	0	1	7	2	1	6	0	1	1	0	0

トレンチ５						トレンチ６						トレンチ７												合計			最小個体数
Ⅰ層			Ⅲ層			Ⅰ層			土坑１ Ⅰ層			Ⅰ層			Ⅲ層			Ⅲ層　褐色土			Ⅲ層 黄褐色土			瓦溜まり Ⅲ層						
完形	穀頂	破片	完形	穀頂	破片	完形	穀頂	破片	完形	穀頂	破片	完形	穀頂	破片	完形	穀頂	破片	完形	穀頂	破片	完形	穀頂	破片	完形	穀頂	破片	
																								1	0	0	1
																								1	0	0	1
		1	1					2						1										2	3	7	5
																								0	0	1	1
	1				1		4	12		1	1			7						6			1	0	24	251	24
	1							3		1	1			2			1							10	12	61	22
						2	1		4		2	1						1	1					39	27	19	66
												1	1										1	39	8	0	47
																								11	7	1	18
																								1	0	0	1
																								1	4	0	5
																								2	3	0	5
																								0	0	1	1
																								1	0	0	1
																								0	0	1	1
																								1	0	0	1
																								2	0	0	2
			1							1														1	10	7	11
							2			3														0	5	0	5
							1						1											37	14	7	51
							1																	19	25	4	44
														1										0	1	1	1
																								0	0	1	1
																								0	0	1	1
																								1	0	0	1
																								1	0	0	1
							1						1											1	0	0	1
																								14	5	1	19
																								2	0	0	2
																								0	5	1	5
																								1	0	0	1
																								0	0	1	1
																								0	0	1	1
																								0	0	4	1
																								1	1	0	2
																								1	0	0	1
																								3	0	0	3
																								1	0	0	1
					2																			3	0	7	3
																								0	0	1	1
																								0	0	1	1
																								1	1	2	2
																								0	0	1	1
																								1	0	0	1
																								1	0	0	1
				1																				4	2	0	6
																								0	1	0	1
																								1	0	0	1
																								0	1	0	1
																								1	1	1	2
																								0	0	1	1
																								0	0	1	1
							1																	1	1	0	2
																								1	0	0	1
		1																						0	0	2	1
																								1	0	2	1
																								1	0	0	1
																								0	0	2	1
																								0	1	3	1
0	2	2	2	1	3	2	11	17	4	6	4	2	3	11	0	0	1	1	1	6	0	0	1	1	0	0	210	162	395	387

表34 貝類（二枚貝等）出土状況一覧

番号	網名	科名	貝種名	生息地	出土地	トレンチ１					トレンチ２																				トレンチ３					トレンチ５							
						Ⅰ層					Ⅰ層					Ⅲ層					石組み１ Ⅲ層					石組み２ Ⅲ層					溝１ Ⅲ層					Ⅰ層					Ⅰ層					Ⅲ層				
						完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片
1	二枚貝綱	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a																																						
2			リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-c						1						1																			1								
3			ハイガイ																																							
4		タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c			1																													1							
5		ウグイスガイ科	アコヤガイ	Ⅱ-a								1		1																												
6		マクガイ科	カイシアオリの一種					1																																		
7		イタヤガイ科	リュウキュウオウギ	Ⅰ-2-c																																					1	1
8			チサラガイ	Ⅰ-a						1																																
9			ヒナキンチャク	Ⅵ-12		1																																				
10			イタヤガイ科不明					1	1					1	1																											
11		ウミギク科	メンガイ類																																		1					
12		イタボガキ科	オハグロガキ	Ⅰ-1-a						1					1		1																									
13		ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c		8	7	3	5	2	20	25	13	5	10	4	3		2	1	1									32	25	5	4	8								1	1	2		
14			ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c												1																										
15		キクザルガイ科	シシガシラキクザル	Ⅱ-1-a													1																									
16			キクザルガイ科不明																	1																							
17		ザルガイ科	リュウキュウザル	Ⅱ-2-c							2	1																														
18			カワラガイ	Ⅱ-2-c			1							1																												
19		シャコガイ科	ヒメシャコガイ	Ⅰ-2-a				1							1																											
20			ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c					2	24					5			1		2																							
21			オオシラナミ	Ⅰ-2-a																																						
22			シャコガイ科不明							6																																
23		チドリマスオ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c		1	1					1																														
24			ナミノコマスオ	Ⅰ-1-c								2																														
25		ニッコウガイ科	リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c										1	1																											
26		シオサザナミ科	リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c						1		1			2																											
27		マルスダレガイ科	アラヌノメガイ	Ⅰ-2-b						1																																
28			ヌノメガイ	Ⅱ-1-c				2		1				1	1	2				1											7	4	26										
29			アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c		8	3	3	7	1	5	3	1	2	3																									1	1		
30			ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c		1					1	1		1																												
31			オイノカガミ	Ⅱ-2-c								1																														
32			ハマグリの一種	Ⅱ-1-c					1	1			1		1			1	1	1												1				1							1
33			ダテオキシジミ	c		1										2	1		1							2				2		1	2								1			
34		二枚貝不明													4					1																							
合計						20	13	11	16	40	28	35	16	12	31	10	6	2	4	7	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	34	25	12	10	37	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	2	4	1	0	2

表34 貝類（二枚貝等）出土状況一覧

番号	網名	科名	貝種名	生息地	出土地	トレンチ６								トレンチ７																				合計					最小個体数
						Ⅰ層					土坑１ Ⅰ層			Ⅰ層				Ⅲ層　褐色土				Ⅲ層　暗褐色土				Ⅲ層　黄褐色土				瓦溜まり Ⅲ層									
						完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	完形L	完形R	殻頂L	殻頂R	破片	
1	二枚貝綱	フネガイ科	エガイ	Ⅰ-1-a														1																0	1	0	0	0	1
2			リュウキュウサルボウ	Ⅱ-2-c		1				1																								2	0	0	0	3	2
3			ハイガイ								1																							1	0	0	0	0	1
4		タマキガイ科	ソメワケグリ	Ⅱ-2-c																														0	2	0	0	0	2
5		ウグイスガイ科	アコヤガイ	Ⅱ-a																														0	0	1	0	1	1
6		マクガイ科	カイシアオリの一種																															0	0	1	0	0	1
7		イタヤガイ科	リュウキュウオウギ	Ⅰ-2-c																														0	0	1	0	1	1
8			チサラガイ	Ⅰ-a																														0	0	0	0	1	1
9			ヒナキンチャク	Ⅵ-12																														1	0	0	0	0	1
10			イタヤガイ科不明																	1														0	0	1	2	2	2
11		ウミギク科	メンガイ類												1																			0	0	1	0	1	1
12		イタボガキ科	オハグロガキ	Ⅰ-1-a		1								1																				1	1	0	1	2	2
13		ツキガイ科	ウラキツキガイ	Ⅱ-2-c		1	3	1	1		1					2	3		1	1	1						1				1			69	69	26	17	23	95
14			ヒメツキガイ	Ⅰ-2-c																														1	0	0	0	0	1
15		キクザルガイ科	シシガシラキクザル	Ⅱ-1-a																														0	1	0	0	0	1
16			キクザルガイ科不明																															0	0	0	0	1	1
17		ザルガイ科	リュウキュウザル	Ⅱ-2-c																														2	1	0	0	0	2
18			カワラガイ	Ⅱ-2-c																														0	1	0	1	0	2
19		シャコガイ科	ヒメシャコガイ	Ⅰ-2-a																														0	0	1	0	1	1
20			ヒレシャコガイ	Ⅰ-2-c						2				2				1																0	0	1	2	36	2
21			オオシラナミ	Ⅰ-2-a														1																0	0	0	0	1	1
22			シャコガイ科不明																															0	0	0	0	6	1
23		チドリマスオ科	イソハマグリ	Ⅰ-1-c												1																		2	2	0	0	0	2
24			ナミノコマスオ	Ⅰ-1-c																														0	2	0	0	0	2
25		ニッコウガイ科	リュウキュウシラトリ	Ⅱ-1-c																														0	0	0	1	1	1
26		シオサザナミ科	リュウキュウマスオ	Ⅱ-1-c																														0	1	0	0	3	1
27		マルスダレガイ科	アラヌノメガイ	Ⅰ-2-b																					1									0	0	0	0	2	1
28			ヌノメガイ	Ⅱ-1-c																													1	2	0	9	5	30	11
29			アラスジケマンガイ	Ⅲ-1-c		1	1	1								1	1		1					1										16	9	5	10	5	21
30			ホソスジイナミガイ	Ⅱ-1-c													1																	2	2	0	1	0	3
31			オイノカガミ	Ⅱ-2-c																														0	1	0	0	0	1
32			ハマグリの一種	Ⅱ-1-c																2														0	0	2	4	6	4
33			ダテオキシジミ	c																														5	4	0	2	2	6
34		二枚貝不明																																0	0	0	0	5	1
合計						4	4	2	1	3	2	0	0	0	2	2	4	3	1	5	1	2	0	0	3	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	104	97	49	46	133	177

表35　魚類出土状況

目・科・種名			出土地	トレンチ1	トレンチ2				トレンチ5	トレンチ6	トレンチ7	合計
				Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み2 Ⅲ層	溝1 Ⅲ層	Ⅲ層	土坑1 Ⅰ層	Ⅲ層 褐色土	
サメ類			椎骨	1	5					1		7
スズキ目	ハタ科		主上顎骨　L　R			1						1
			歯骨　L　R		1							1
			歯骨		1							1
			角骨　L　R			1						1
			方骨　L　R		1							1
			舌顎骨　L　R				1					1
			舌顎骨		3							3
			擬鎖骨　L　R		2							2
	ハタ科？		主上顎骨　L　R		1							1
	タカサゴ科		椎骨					1				1
	フエフキダイ科		主上顎骨　L　R				1					1
		フエフキダイ属	前上顎骨　L　R	1								1
			前上顎骨　L　R		2　1		1					2　2
			歯骨					1				1
		アマミフエフキダイ	尾椎					1				1
		ハマフエフキ	前鰓蓋骨		1							1
		アマミフエフキダイ	臀鰭棘？					1				1
	フエフキダイ科？		主上顎骨　L　R		2　1							2　1
			口蓋骨　L　R		2							2
	ベラ科		上咽頭骨　L　R			1						1
		シロクラベラ	下咽頭骨					2				2
			下咽頭骨	2								2
			歯		1							1
			尾椎	1								1
	ベラ科？		歯		1							1
	ブダイ科		前上顎骨					1				1
			上咽頭骨　L　R		1							1
			尾椎	1	3							4
	カマス科？		尾椎		1							1
科・種不明			主上顎骨		1							1
			歯骨　L　R		1							1
			歯	1			1					2
			角骨		1							1
			舌顎骨		1	2						3
			腹椎	2	8							10
			尾椎		11	1		1				13
			椎骨	3		2						5
			主鰓蓋骨					2				2
			背鰭棘			1						1
			第2臀鰭棘	1								1
			棘		13			7				20
			部位不明	2	42	1	3	30	1		2	81
合　計				15	108	10	7	47	1	1	2	191

表36 トリ出土状況

種/部位/残存部位 ＼ 出土地			トレンチ1						トレンチ2									トレンチ6			トレンチ7			合計		
			Ⅰ層			Ⅰ層			Ⅲ層			石組み2 Ⅲ層						Ⅰ層			Ⅲ層 暗褐色土					
			L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明
ニワトリ	椎骨	頸椎						1																		1
		腰椎						5																		5
	肩甲骨	近位端				1																		1		
	尺骨	遠位端							1															1		
	中手骨	骨体～遠位端				1																		1		
	大腿骨	近位端～骨体				1																		1		
		骨体				1	1																	1	1	
		骨体～遠位端					1																		1	
	脛骨	近位部～骨体				1																		1		
		遠位部				※1																1		1	1	
		遠位端								1															1	
	中足骨	近位端				2	1																	2	1	
		骨体					2																		2	
		骨体～遠位端										1												1		
		遠位端				2	3																	2	3	
	鳥口骨	近位端～骨体				2	2											2						4	2	
		近位部				1																		1		
		骨体～遠位端					1																		1	
鳥類	橈骨	近位端						1																		1
	大腿骨	近位端				1	1																	1	1	
		近位端～骨体					1																		1	
		骨体～遠位部	1																					1		
		遠位端					2																		2	
合計			1	0	0	14	15	7	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	19	17	7			

※：切断？

表37 ヤギ出土状況

部位/残存部位 ＼ 出土地		トレンチ1			トレンチ2									トレンチ6			トレンチ7			合計		
		Ⅰ層			Ⅰ層			Ⅲ層			溝1 Ⅲ層			Ⅰ層			Ⅰ層					
		L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明
下顎骨	P_3（歯のみ）										1									1		
	P_4（歯のみ）										1									1		
	M_1（歯のみ）	1									1									2		
	M_2（歯のみ）										1									1		
	M_3（歯のみ）	2				1														2	1	
椎骨	胸椎						1															1
肋骨	近位端								1												1	
上腕骨	骨体														1						1	
	骨体～遠位端				1															1		
橈骨	骨体								1												1	
中手骨	近位端はずれ～骨体								1												1	
	遠位骨端のみ						1															1
寛骨	寛骨臼周辺				1															1		
大腿骨	近位骨端のみ					1															1	
	近位部～骨体				1															1		
脛骨	近位骨端はずれ																1			1		
中節骨	完存					1															1	
合計		3	0	0	3	3	2	0	3	0	4	0	0	0	1	0	1	0	0	11	7	2

表38 イノシシ出土状況

部位/残存部位 ＼ 出土地		トレンチ1			トレンチ2									トレンチ5			トレンチ6						トレンチ7						合計		
		Ⅰ層			Ⅰ層			Ⅲ層			石組み2 Ⅲ層			溝1 Ⅲ層			Ⅲ層	Ⅰ層			土坑1 Ⅰ層		Ⅰ層			Ⅲ層			Ⅲ層 暗褐色土					
		L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明
上顎骨	切歯			1			3																								4		
	犬歯								1																					1			
	P_1						1																								1		
	P_3 ?	1				1																							1		1		
	M_2			1																													1
	M_3								1																				1				
下顎骨	切歯			6			5																										11
	犬歯							2		1																			2		1		
	破片	3	4																										3		4		
椎骨	頸椎						1																										1
	胸椎															①																	1
	腰椎			1												2																	3
肋骨	破片						3												1						1								5
	破片						③			①			①																				5
肩甲骨	破片	2	2		4	4								2	3									1				1			9	10	
上腕骨	骨体～遠位部		2			1		1														1		1							2	4	
橈骨	近位端～骨体																	1														1	
	骨体～遠位骨端はずれ							1																					1				
尺骨	近位端はずれ～骨体				1																								1				
	近位部		1																													1	
手根骨	中間手根骨													1															1				
	尺側手根骨							1																					1				
中手骨	近位端はずれ～骨体												1																				1
	近位端はずれ～遠位端					1			1																							2	
寛骨	破片				1																								1				
大腿骨	近位骨端のみ					1																										1	
	破片						2																										2
脛骨	骨体																					1							1				
	骨体																							①					1				
距骨	完存							1																					1				
踵骨	骨体～遠位端				1																			1					1		1		
基節骨	近位骨端はずれ																									1			1				
歯	M_2			2																													2
部位不明	破片			6			1									1																	8
合計		6	9	17	7	8	19	7	3	1	0	0	2	3	3	4	0	0	1	0	1	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	1	0	0	28	27	45

注 ○:カットマーク

表 39　ウシ出土状況

部位／残存部位 ＼ 出土地		トレンチ 1			トレンチ 2						合 計		
		Ⅰ層			Ⅱ層			Ⅲ層					
		L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明
頭蓋骨	破片									1			1
上顎骨	P_4						2						2
椎骨	環椎			1									1
上腕骨	遠位骨端（破片）			1									1
手根骨	尺側手根骨		1									1	
	第 4 手根骨		1									1	
脛骨	骨体	①									1		
中足骨	骨体		1									1	
中節骨									1			1	
歯				2			3						5
部位不明				3									3
合 計		1	3	7	0	0	5	0	1	1	1	4	13

注　○：カットマーク

表 40　イヌ出土状況

部位／残存部位 ＼ 出土地		トレンチ 2						トレンチ 5						合 計		
		Ⅰ層			石組み 2 Ⅲ層			Ⅰ層			Ⅲ層					
		L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明
頭蓋骨	破片												1			1
肋骨	近位端	1	2											1	2	
中手骨	第 4 中手骨　完存							1						1		
大腿骨	遠位端	1												1		
基節骨	完存			6			2									8
	近位端～骨体			2												2
合 計		2	2	8	0	0	2	1	0	0	0	0	1	3	2	11

表 41　ネコ出土状況

部位／残存部位 ＼ 出土地		トレンチ 2						合 計		
		Ⅰ層			溝 1 Ⅲ層					
		L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明
下顎骨	M_1		1						1	
椎骨	腰椎			1						1
中手骨	完存			1						1
	近位端～遠位部			1						1
	骨体			1						1
踵骨	完存		1		1			1	1	
合 計		0	2	4	1	0	0	1	2	4

表 42　ウマ出土状況

部位／残存部位 ＼ 出土地		トレンチ 1			合 計		
		Ⅰ層					
		L	R	不明	L	R	不明
上顎骨	（歯のみ）	1			1		
下顎骨	I_1		1			1	
	I_2		1			1	
橈骨	近位端（半存）		1			1	
合 計		1	3	0	1	3	0

表 43　ウマかウシ出土状況

部位／残存部位 ＼ 出土地		トレンチ 1			トレンチ 6			合 計		
		Ⅰ層			土坑 1 Ⅰ層					
		L	R	不明	L	R	不明	L	R	不明
橈骨	骨体（破片）				1			1		
四肢骨?	骨体（破片）			1						1
合 計		0	0	1	1	0	0	1	0	1

表 44　イヌ？出土状況

部位／残存部位 ＼ 出土地		トレンチ 2			合 計		
		石組み 2 Ⅲ層					
		L	R	不明	L	R	不明
胸椎	破片			1			1
橈骨	骨体		1			1	
合 計		0	1	1	0	1	1

表 45　ネズミ出土状況

部位／残存部位 ＼ 出土地		トレンチ 2			合 計		
		Ⅰ層					
		L	R	不明	L	R	不明
下顎骨			1			1	
合 計		0	1	0	0	1	0

表 46　ウミガメ？出土状況

部位／残存部位 ＼ 出土地		トレンチ 2			合 計		
		Ⅲ層					
		L	R	不明	L	R	不明
背甲板	破片			1			1
合 計		0	0	1	0	0	1

表 47　種不明出土状況

部位／残存部位 ＼ 出土地		トレンチ1	トレンチ2					トレンチ3	トレンチ5	トレンチ6		トレンチ7			出土地不明	合 計
		Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層	石組み1 Ⅲ層	石組み2 Ⅲ層	溝1 Ⅲ層	Ⅰ層	Ⅲ層	Ⅰ層	土坑1 Ⅰ層	Ⅰ層	Ⅲ層 暗褐色土	Ⅲ層 褐色土		
		L R 不明	L R 不明	L R 不明	L R 不明	L R 不明	L R 不明	L R 不明	L R 不明	L R 不明	L R 不明	L R 不明	L R 不明	L R 不明	L R 不明	L R 不明
頭蓋骨	破片						1									1
頭頂骨	破片						1									1
側頭骨	破片	2		1												3
下顎骨	破片		1	1			1									1 2
椎骨	破片		16	1			1									18
肋骨	破片	16	56	17		6	17	1	1	2		3		1		120
	破片		②													2
肩甲骨	破片		2				2									4
上腕骨	遠位部		1													1
	破片											1				1
橈骨	破片	1														1
橈側手根骨	破片		1													1
尺骨	骨体		1											1		1 1
	破片	1														1
寛骨	破片			1			1									2
四肢骨	近位端		1													1
	近位骨端はずれ		1													1
	骨体		16									1				17
	破片	15	7	6					1	2		2				33
脛骨	骨体		1													1
	破片	1 4														1 4
足根骨	破片			1												1
中手・中足骨	骨体	2	2													4
	遠位骨端のみ		1													1
指骨	近位端		1													1
中節骨	遠位端はずれ		1													1
歯															1	1
ツメ？			1													1
部位不明	骨端のみ	3	5	1												9
	骨体	8	20	2			1			1	1					33
	骨端はずれ			1												1
	破片	57	260	20	5	2	32		6	6		10	1	5		404
	破片（焼けあと）		2													2
合 計		0 2 108	2 1 396	1 0 51	0 0 5	0 0 8	1 1 55	0 0 1	0 0 8	0 0 11	0 0 1	0 1 16	0 0 1	0 1 6	0 0 1	4 6 668

注　○：カットマーク

第５章　自然科学分析

１　はじめに

中城御殿は、沖縄県那覇市首里、旧沖縄県立博物館跡に所在し、台地上に位置する。台地は第四紀更新世の琉球層群の那覇層を構成する砕屑性石灰岩(氏家･兼子,2006)いわゆる琉球石灰岩からなる。発掘調査では、琉球国王の世子の邸宅とされる中城御殿に関わる多数の遺構や遺物が確認されている。

本報告では、調査区のトレンチ断面より採取された土壌試料、および炭化材を対象に、堆積年代や古植生に関する情報を得ることを目的として、放射性炭素年代測定、花粉分析、植物珪酸体分析、微細物分析を実施する。

２　試料

土壌試料は、トレンチ２ 溝１のⅢ層(黒褐色土)、およびトレンチ５のⅢ層(炭混じり暗褐色土)の、計２点である。

炭化材試料は、トレンチ２ 石組み２のⅢ層、トレンチ７のⅢ層より採取された２点と、前述のトレンチ５のⅢ層より抽出された炭化材１点の、計３点である。

これらの炭化材３点について放射性炭素年代測定を、土壌２点について花粉分析、植物珪酸体分析、微細物分析を実施する。

表 48　分析試料一覧

No.	出土地点	試料の種類	試料分量	分析方法			
				C14年代測定(AMS法)	微細物分析	花粉分析	植物珪酸体分析
1	トレンチ２　溝１ Ⅲ層　黒褐色土	土	土嚢　1袋		●	●	●
2	トレンチ５ Ⅲ層　暗褐色土	土	ユニパック大　１袋	●	●	●	●
3	トレンチ２　石組み２ Ⅲ層	炭	ユニパック小　1袋	●			
4	トレンチ７ Ⅲ層　黄褐色土	炭	ユニパック小　1袋	●			

３　分析方法

(1)放射性炭素年代測定

分析試料はAMS法で実施する。試料表面の汚れをピンセット、超音波洗浄等により物理的に除去する。塩酸や水酸化ナトリウムを用いて、試料内部の汚染物質を化学的に除去する(酸―アルカリ―酸処理：AAA)。

試料を燃焼させたあと、真空ラインで不純物(水など)を取り除き、CO_2を精製する。これを鉄で還元してグラファイトを生成する。処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径1mmの孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、小型タンデム加速器にて測定する。AMS 測定時に、標準試料である米国国立標準局（NIST）から提供されるシュウ酸(HOX-Ⅱ)とバックグラウンド試料の測定も行う。また、測定中同時に$^{13}C/^{12}C$の測定も行うため、この値を用いてδ^{13}Cを算出する。

放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5,568年を使用する。また、測定年代は1950年を基点とした年代(BP)であり、誤差は標準偏差(One Sigma;68%)に相当する年代である。なお、暦年較正は、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV 7.1.0(Copyright 1986-2015 M Stuiver and PJ Reimer)を用い、誤差として標準偏差(One Sigma)を用いる。

(2)花粉分析

試料約 10g について、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液(臭化亜鉛，比重 2.3)による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス(無水酢酸 9：濃硫酸 1 の混合液)処理による植物遺体中のセルロースの分解を行い、物理・化学的処理を施して花粉を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、400 倍の光学顕微鏡下でプレパラート全面を走査し、出現する全ての種類について同定･計数する。同定は、当社保有の現生標本や島倉(1973)、中村(1980)、三好ほか(2011)等を参考にする。

結果は同定・計数結果の一覧表として表示する。

(3)植物珪酸体分析

各試料について過酸化水素水・塩酸処理、沈定法、重液分離法(ポリタングステン酸ナトリウム，比重 2.5)の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これをカバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリュウラックスで封入してプレパラートを作製する。400 倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部(葉身と葉鞘)の葉部短細胞に由来した植物珪酸体(以下、短細胞珪酸体と呼ぶ)および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体(以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ)を、近藤(2010)の分類を参考に同定し、計数する。

分析の際には、分析試料の乾燥重量、プレパラート作成に用いた分析残渣量を正確に計量し、乾土 1g あたりの植物珪酸体含量(同定した数を乾土 1g あたりの個数に換算)を求める。

結果は、植物珪酸体含量の一覧表で示す。その際、100 個/g 未満は「<100」で表示する。各分類群の含量は 10 の位で丸め(100 単位にする)、合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。また、各分類群の植物珪酸体含量を図示する。

(4)微細物分析

土壌試料から炭化物を可能な限り壊さずに回収するために、以下の方法を実施する。

1)水洗前抽出

試料 500g を常温乾燥後、肉眼観察で確認された炭化種実や炭化材、動物遺存体等の遺物を抽出する。

2)水洗

乾燥後の試料を、水を満たした容器に投入し、容器を傾けて浮いた炭化物を粒径 0.5mm の篩に回収する。容器内の残土に水を入れて軽く攪拌し、容器を傾けて炭化物を回収する作業を炭化物が浮かなくなるまで繰り返す（20 回程度）。残土を粒径 0.5mm の篩を通して水洗する。篩に回収された炭化物主体の試料と、0.5mm 篩水洗後の残土(砂礫主体)を、それぞれ粒径 4mm、2mm、1mm の篩を通し、粒径別に常温乾燥させる。

3)抽出

水洗乾燥後、粒径の大きな試料から順に双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、同定が可能な炭化種実、炭化材(主に径 2mm 以上)、動物遺存体、人工遺物等を抽出する。抽出物は、個数または重量、一部は最大径を計測し、結果を一覧表で示す。分析残渣は、炭化物主体と砂礫主体、植物片主体に大まかに分け、粒径別の重量を計測し、結果を一覧表に併記する。分析後は、抽出物と分析残渣を容器に入れて保管する。

4)種実同定

炭化種実の同定は、現生標本および中山ほか(2010)、鈴木ほか(2012)等を参考に実施する。分析後は、炭化種実を容器に入れて保管する。

4　結果

(1)放射性炭素年代測定

同位体効果による補正を行った測定結果を表 49 に、暦年較正結果を表 50 に示す。試料の測定年代(補正年代)は、トレンチ 2 石組み 2 のⅢ層出土炭化材が 90±20BP、トレンチ 7 のⅢ層出土炭化材

が 170±20BP、トレンチ 5 のⅢ層出土炭化材が 160±20BP の値を示す。なお、対象の炭化材について、実体鏡による木材組織の観察を行い樹種同定を実施した。その結果、トレンチ 2 石組み 2 のⅢ層とトレンチ 5 のⅢ層がいずれもサカキに、トレンチ 7 のⅢ層がシイ属に同定された。

暦年較正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が 5,568 年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、及び半減期の違い（^{14}C の半減期 5,730±40 年）を較正することである。暦年較正は、CALIB7.1.0 のマニュアルにしたがい、1 年単

表 49　放射性炭素年代測定結果

地点	層位	種類	処理	補正年代 BP	$\delta^{13}C$ (‰)	測定年代 BP	Code No.
トレンチ2 石組み2	Ⅲ層	炭化材(サカキ)	AAA	90±20	-23.88±0.57	80±20	IAAA-150893
トレンチ7	Ⅲ層	炭化材(シイ属)	AAA	170±20	-23.76±0.62	150±20	IAAA-150894
トレンチ5	Ⅲ層	炭化材(サカキ)	AAA	160±20	-25.45±0.53	170±20	IAAA-150895

1)年代値の算出には、Libby の半減期 5,568 年を使用。
2)BP 年代値は、1950 年を基点として何年前であるかを示す。
3)付記した誤差は、測定誤差σ(測定値の 68%が入る範囲)を年代値に換算した値。

表 50　暦年較正結果

試料名	補正年代 (BP)	暦年較正年代(cal)				相対比	Code No.
トレンチ2 石組み2 Ⅲ層	94±24	σ	cal AD 1,696 - cal AD 1,725	cal BP 254 - 225	0.320	IAAA-150893
			cal AD 1,814 - cal AD 1,836	cal BP 136 - 114	0.229	
			cal AD 1,845 - cal AD 1,849	cal BP 105 - 101	0.043	
			cal AD 1,877 - cal AD 1,898	cal BP 73 - 52	0.235	
			cal AD 1,901 - cal AD 1,917	cal BP 49 - 33	0.173	
		2σ	cal AD 1,690 - cal AD 1,729	cal BP 260 - 221	0.269	
			cal AD 1,810 - cal AD 1,925	cal BP 140 - 25	0.731	
トレンチ7 Ⅲ層 黄褐色土	166±24	σ	cal AD 1,669 - cal AD 1,684	cal BP 281 - 266	0.163	IAAA-150894
			cal AD 1,733 - cal AD 1,780	cal BP 217 - 170	0.563	
			cal AD 1,798 - cal AD 1,807	cal BP 152 - 143	0.094	
			cal AD 1,929 - cal AD 1,944	cal BP 21 - 6	0.181	
		2σ	cal AD 1,664 - cal AD 1,696	cal BP 286 - 254	0.180	
			cal AD 1,725 - cal AD 1,788	cal BP 225 - 162	0.458	
			cal AD 1,791 - cal AD 1,814	cal BP 159 - 136	0.116	
			cal AD 1,836 - cal AD 1,845	cal BP 114 - 105	0.013	
			cal AD 1,850 - cal AD 1,876	cal BP 100 - 74	0.037	
			cal AD 1,917 - cal AD 1,950	cal BP 33 - 0	0.196	
トレンチ5 Ⅲ層 暗褐色土	158±23	σ	cal AD 1,672 - cal AD 1,688	cal BP 278 - 262	0.163	IAAA-150895
			cal AD 1,730 - cal AD 1,778	cal BP 220 - 172	0.551	
			cal AD 1,799 - cal AD 1,809	cal BP 151 - 141	0.108	
			cal AD 1,926 - cal AD 1,942	cal BP 24 - 8	0.178	
		2σ	cal AD 1,666 - cal AD 1,698	cal BP 284 - 252	0.171	
			cal AD 1,723 - cal AD 1,784	cal BP 227 - 166	0.426	
			cal AD 1,796 - cal AD 1,816	cal BP 154 - 134	0.110	
			cal AD 1,834 - cal AD 1,878	cal BP 116 - 72	0.097	
			cal AD 1,916 - cal AD 1,950	cal BP 34 - 0	0.195	

1)計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.1.0(Copyright 1986-2015 M Stuiver and PJ Reimer)を使用。
2)計算には表に示した丸める前の値を使用している。
3)1 桁目を丸めるのが慣例だが、暦年較正曲線や暦年較正プログラムが改正された場合の再計算や比較が行いやすいように、1 桁目を丸めていない。
4)統計的に真の値が入る確率はσは 68%、2σは 95%である。
5)相対比は、σ、2σのそれぞれを 1 とした場合、確率的に真の値が存在する比率を相対的に示したものである。

位まで表された同位体効果の補正を行った年代値を用いて行う。暦年較正は北半球の大気中炭素に由来する較正曲線を用い、測定誤差σ、2σ双方の値を計算する。σは統計的に真の値が68%の確率で存在する範囲、2σは真の値が 95%の確率で存在する範囲である。また、表中の相対比とは、σ、2σの範囲をそれぞれ1とした場合､その範囲内で真の値が存在する確率を相対的に示したものである。較正された暦年代は、将来的に暦年較正曲線等の改正があった場合の再計算、再検討に対応するため、1年単位で表された値を記す。

測定誤差をσとして計算させた結果、トレンチ2 石組み2のⅢ層はcalAD 1,696-1,917、トレンチ7のⅢ層はcalAD 1,669-1,944、トレンチ5のⅢ層はcalAD 1,672-1,942である。

(2)花粉分析

結果を表51、写真190に示す。トレンチ2 溝1のⅢ層、およびトレンチ5のⅢ層のいずれも、花粉化石の産出状況が悪く、定量解析を行えるだけの個体数を得ることができなかった。僅かに検出された花粉化石の保存状態は、普通～やや悪い程度であった。

確認された花粉化石の種類は、木本花粉のマツ属、草本花粉のイネ科、タンポポ亜科である。

(3)植物珪酸体分析

結果を表52、写真191に示す。各試料からは植物珪酸体が検出されるものの、保存状態が悪く、表面に多数の小孔(溶食痕)が認められる。

表51　花粉分析結果

種　　類	トレンチ2 溝1 Ⅲ層	トレンチ5 Ⅲ層
木本花粉		
マツ属複維管束亜属	-	1
マツ属（不明）	6	9
草本花粉		
イネ科	6	2
タンポポ亜科	1	-
不明花粉		
不明花粉	1	-
シダ類胞子		
イノモトソウ属	21	1
他のシダ類胞子	76	5
合　計		
木本花粉	6	10
草本花粉	7	2
不明花粉	1	0
シダ類胞子	97	6
合計(不明を除く)	110	18

表52　植物珪酸体含量　(個/g)

分　類　群	トレンチ2 溝1 Ⅲ層	トレンチ5 Ⅲ層
イネ科葉部短細胞珪酸体		
イネ属	100	1,000
タケ亜科	<100	100
ススキ属	<100	300
コムギ連	-	<100
イチゴツナギ亜科	-	<100
不明	700	2,000
イネ科葉身機動細胞珪酸体		
イネ属	<100	200
タケ亜科	<100	100
ススキ属	-	<100
不明	200	800
合　計		
イネ科葉部短細胞珪酸体	900	3,500
イネ科葉身機動細胞珪酸体	300	1,200
植物珪酸体含量	1,200	4,700
珪化組織片		
イネ属穎珪酸体	*	**
イネ属短細胞列	*	**

表52の凡例

1)含量は、10の位で丸めている(100単位にする)。

2)合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。

3)合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。

4)合計は各分類群の丸めない数字を合計した後に丸めている。

トレンチ2 溝1のⅢ層では、植物珪酸体含量が少なく、約1,200個/gである。栽培植物のイネ属、タケ亜科、ススキ属などがわずかに認められる。イネ属では、珪化組織片として籾(穎)に形成される穎珪酸体や葉部の短細胞列も検出される。

トレンチ5のⅢ層は、植物珪酸体含量がトレンチ2 溝1試料よりも多く、約4,700個/gである。溝1試料と同様にイネ属やタケ亜科、ススキ属が認められ、特にイネ属の短細胞珪酸体含量が多い。また穎珪酸体や短細胞列も多く検出される。さらに、栽培種を含む分類群であるコムギ連の短細胞珪酸体も見られる。

(4)微細物分析

結果を表53に示す。トレンチ2 溝1のⅢ層、およびトレンチ5のⅢ層の2試料より、炭化種実1個、炭化材22.2g、植物片0.1g、動物遺存体(獣骨?、骨片、歯、魚類の鱗、巻貝類、二枚貝類、貝類、ウニ類の棘)698個、ガラス製品1個、陶磁器類1個、土製品9個が確認された。以下に、試料別検出状況を述べる

・トレンチ2 溝1

Ⅲ層より、炭化材が15.8g(最大3.1cm)と、獣骨?が4個1.6g(最大3.2cm)、骨片(椎骨・鰭棘等含む)が120個2.7g(最大2.4cm)、歯が3個0.1g(最大4.4mm)、魚類の鱗が365個2.0g(最大1.8cm)、巻貝類が23個1.6g(最大2.0cm)、貝類が9個1.8g(最大1.9cm)、ウニ類の棘が9個0.1g未満(最大3.6mm)、ガラス製品が1個0.1g未満(4.9mm)、陶磁器類が1個0.6g(1.7cm)検出された。分析残渣は、炭化材主体(2-0.5mm;動物・砂礫含む)が5.8g、植物片が0.1g、砂礫主体(動物遺存体・炭化物含む)が115.2gを量る。

・トレンチ5

Ⅲ層より、炭化した栽培種のコムギの胚乳の破片が1個0.1g未満(残存径2.1mm)、炭化材が6.3g(最大2.5cm)と、獣骨?が3個0.6g(最大2.5cm)、骨片(椎骨・鰭棘等含む)が42個0.5g(最大1.9cm)、歯が2個0.1g未満(最大1.9mm)、魚類の鱗が8個0.1g(最大1.2cm)、巻貝類が61個1.3g(最大1.5cm)、二枚貝類が1個0.1g未満(径8.4mm)、貝類が20個1.8g(最大2.1cm)、ウニ類の棘が28個0.1g(最大8.3mm)、土製品が9個125.9g(6.5cm)検出された。分析残渣は、炭化材主体(2-0.5mm;動物・砂礫含む)が2.1g、砂礫主体(動物遺存体・炭化物含む)が132.0gを量る。

5　考察

(1)堆積層の年代観

トレンチ2 石組み2のⅢ層、トレンチ7のⅢ層、およびトレンチ5のⅢ層より出土した炭化材について、放射性炭素年代測定を実施した結果、補正年代で90±20BP～170±20BP、暦年代でcalAD 1,669～calAD 1,944の値が得られた。

中城御殿は、1621年～1640年ごろに、現在の首里高等学校敷地内に造られ、その後、1875年（明治8年）に本調査地である旧県立博物館跡地に移転したことがわかっている。これらのことから、いずれの地点のⅢ層も、近世頃から近代の堆積物と推測され、中城御殿が機能していた頃の堆積層である可能性が高い。

(2)古植生

トレンチ2 溝1のⅢ層、トレンチ5のⅢ層の2試料について分析を実施した結果、いずれの試料からも花粉化石はほとんど検出されず、植物珪酸体も産出が良好とはいえない。花粉化石の産出状況が悪い場合、元々取り込まれる花粉量が少なかった、あるいは、取り込まれた花粉が消失した、という2つの可能性があげられる。今回検出された花粉化石には、保存状態が悪いものも含まれるほか、分解に強い種類、あるい程度分解の影響を受けても同定可能な種類が検出されている。一般的に花粉やシダ類胞子の堆積した場所が、常に酸化状態にあるような場合、花粉は酸化や土壌微生物によって分解・消失するとされている(中村,1967;徳永・山内,1971;三宅・中越,1998 など)ことから、堆積後の経年変化により花粉が分解・消失した可能性がある。一方、植物珪酸体の産出が悪か

表 53　微細物分析結果

種類・状態		トレンチ2 溝1 Ⅲ層			トレンチ5 Ⅲ層			備考
炭化種実								
コムギ 胚乳	破片	-	-	-	1	0.0	2.1	基部
炭化材								
	>4mm	-	11.8	30.5	-	4.5	25.0	
	4-2mm	-	4.0	-	-	1.9	-	
炭化材主体								
	2-1mm	-	3.6	-	-	1.4	-	動物・砂礫含む
	1-0.5mm	-	2.2	-	-	0.7	-	動物・砂礫含む
植物片		-	0.1	-	-	-	-	
動物遺存体								
獣骨?		4	1.6	31.7	3	0.6	24.7	
骨片		120	2.7	23.8	42	0.5	18.7	椎骨・鰭棘等含む
歯		3	0.1	4.4	2	0.0	1.9	
魚類の鱗		365	2.0	18.4	8	0.1	11.6	
巻貝類		23	1.6	20.4	61	1.3	15.4	
二枚貝類		-	-	-	1	0.0	8.4	
貝類		9	1.8	19.4	20	1.8	20.6	
ウニ類の棘		9	0.0	3.6	28	0.1	8.3	
人工遺物								
ガラス製品		1	0.0	4.9	-	-	-	
陶磁器類		1	0.6	16.5	-	-	-	
土製品		-	-	-	9	125.9	65.1	
動物・砂礫主体								
	>4mm	-	62.5	-	-	85.6	-	
	4-2mm	-	22.9	-	-	21.3	-	
	2-1mm	-	14.6	-	-	13.6	-	炭化物含む
	1-0.5mm	-	15.2	-	-	11.5	-	炭化物含む
分析量		-	500	-	-	500	-	
単位		(個)	(g)	(mm)	(個)	(g)	(mm)	

った点は、調査地点の気候が関連すると思われる。亜熱帯湿潤気候下では、堆積物中で珪酸分を含む無機成分の溶脱作用が起こるとされており(松井,1988)、また、湿潤な土壌や土壌温度が高い堆積物で植物珪酸体の風化の度合いが高いともされている(近藤,1988)。よって、植物珪酸体も溶解や消失が進んで、土層中に保存されにくかった可能性がある。

わずかに認められた植物化石についてみると、木本類ではマツ属複維管束亜属を含むマツ属の花粉、シイ属、サカキの炭化材が確認された。日本に生育する複維管束亜属には、アカマツ、クロマツ、リュウキュウマツの 3 種類がある。このうち、アカマツとクロマツは、沖縄には自生していない。一方、リュウキュウマツは沖縄特産で、広く生育している。これらのことから、今回の試料もリュウキュウマツの可能性が高い。リュウキュウマツやシイ属(たとえばオキナワジイなど)は、低地から山地にかけて広く分布する常緑高木であり、サカキは山地のやや陰湿な部分に生える常緑低木～小高木である。いずれも現在の沖縄県内に普通に分布することから、調査地周辺の森林などに由来すると考えられる。

一方、草本類についてみると、タケ亜科、ススキ属、イチゴツナギ亜科などを含むイネ科、タンポポ亜科などの花粉、植物珪酸体が検出された。これらは、いずれも開けた場所に生育する種類であることから、調査地周辺の草地や林縁林床などに由来する可能性がある。

(3)植物資源利用

栽培植物についてみると、トレンチ2 溝1のⅢ層、トレンチ5のⅢ層の両方からイネ属の植物珪酸体、穎珪酸体、短細胞列が確認された。トレンチ2溝1やトレンチ5におけるⅢ層の埋積過程や堆積状態を確認する必要があるが、Ⅲ層堆積時の調査地点やその周辺、溝1の上流側などで、稲作が行われていた可能性、あるいは稲籾殻や稲藁が利用された可能性が考えられる。また、トレンチ5のⅢ層でイネ属の含量が多い点や珪化組織片が多く検出された点は、溝1のⅢ層よりもイネ属の混入量が多かったことや保存されやすかったことなどが想定される。

また、トレンチ5のⅢ層からは、コムギ連の短細胞珪酸体、コムギの胚乳(炭化)が確認された。穀類のコムギは、調査地近辺で栽培されていたか、持ち込まれたかは不明であるが、当時利用された植物質食糧と示唆され、火を受けたとみなされる。

炭化材で確認されたシイ属やサカキは、前述のように周囲の森林に生育していたと考えられ、容易に入手が可能であったと思われる。よって、周辺の森林から採取され、薪などとして利用された可能性がある。

なお、微細物分析の結果、トレンチ2 溝1のⅢ層とトレンチ5のⅢ層からは、炭化種実のほかに炭化材、植物片、獣骨?、骨片、歯、魚類の鱗、巻貝類、二枚貝類、貝類、ウニ類の棘、ガラス製品、陶磁器類、土製品などの遺物が検出された。炭化材や魚類の鱗、骨片等は、トレンチ2 溝1のⅢ層で多産する傾向が得られた。いずれの遺物も、当時利用された生活残滓と推測される。

引用文献

近藤錬三,1988,植物珪酸体(Opal Phytolith)からみた土壌と年代.ペドロジスト,32,189-203.

近藤錬三,2010,プラント・オパール図譜.北海道大学出版会,387p.

松井　健,1988,土壌地理学序説,築地書館株式会社,316p.

三宅　尚・中越信和,1998,森林土壌に堆積した花粉・胞子の保存状態.植生史研究,6,15-30.

三好教夫・藤木利之・木村裕子,2011,日本産花粉図鑑.北海道大学出版会,824p.

中村　純,1967,花粉分析.古今書院,232p.

中村　純,1980,日本産花粉の標徴　Ⅰ　Ⅱ(図版).大阪市立自然史博物館収蔵資料目録　第 12,13 集,91p.

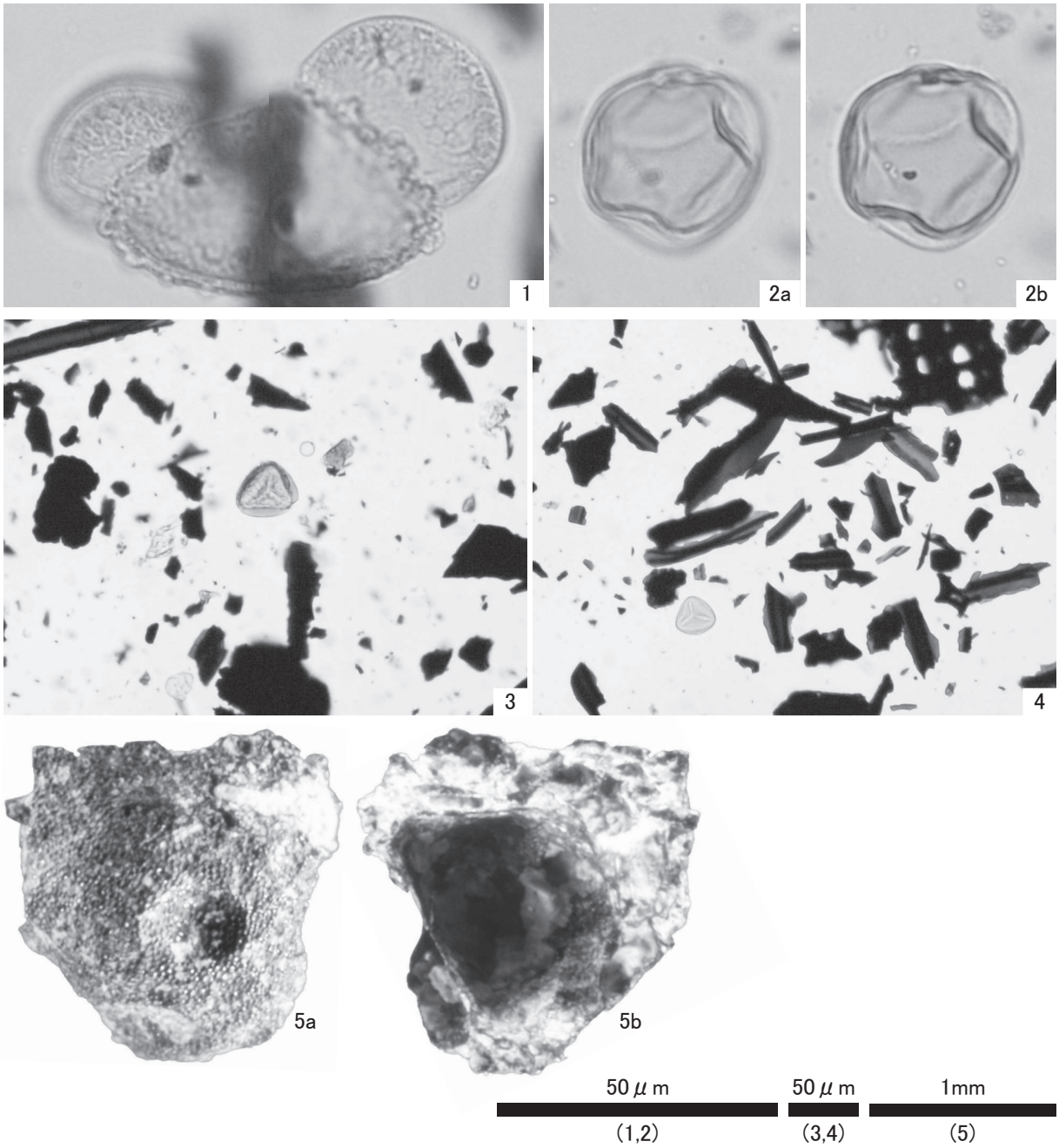
中山至大・井之口希秀・南谷忠志,2010,日本植物種子図鑑(改訂版).東北大学出版会,678p.

島倉巳三郎,1973,日本植物の花粉形態.大阪市立自然科学博物館収蔵目録　第5集,60p.

鈴木庸夫・高橋　冬・安延尚文,2012,ネイチャーウォッチングガイドブック 草木の種子と果実－形態や大きさが一目でわかる植物の種子と果実 632 種－.誠文堂新光社,272p.

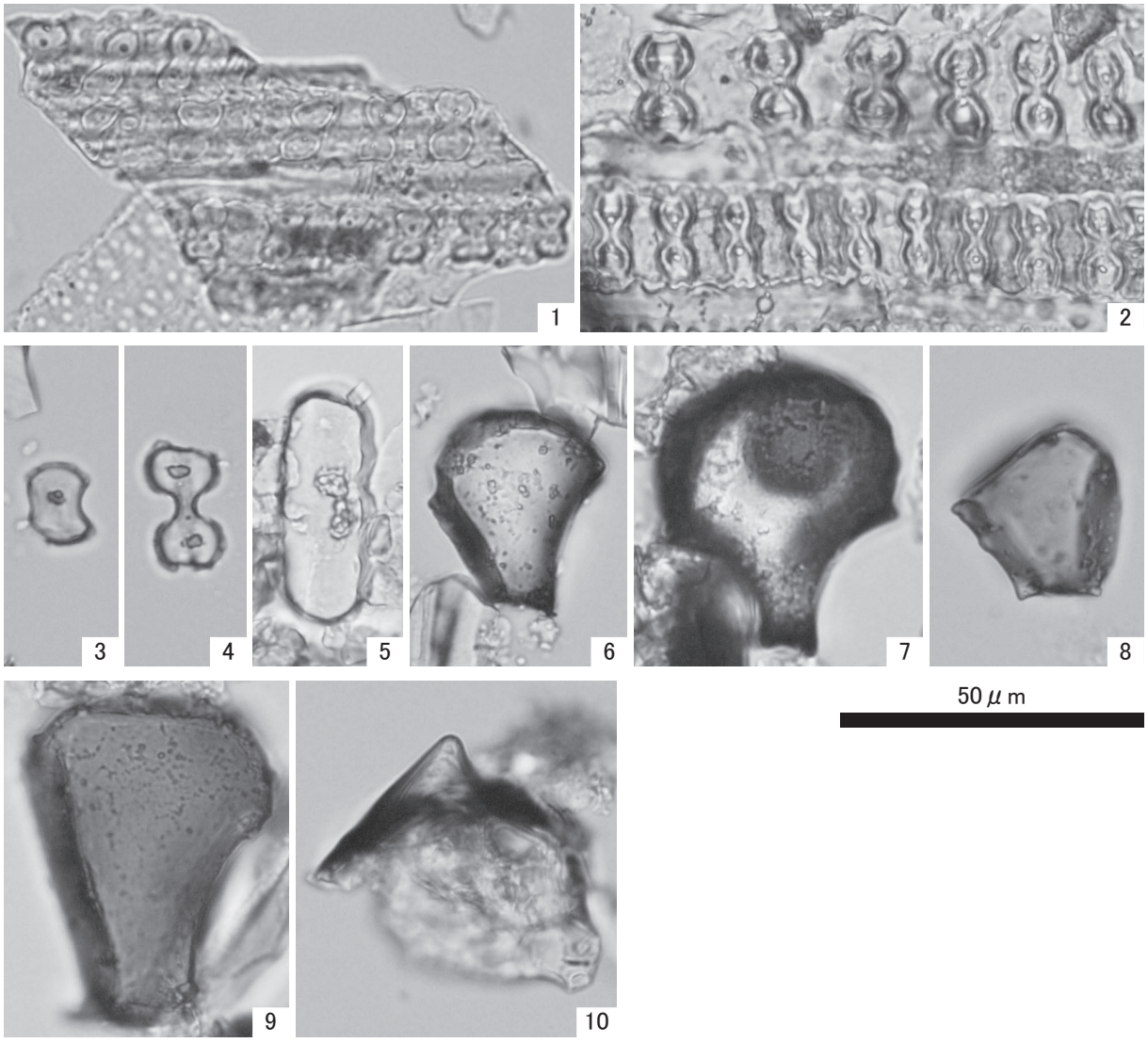
徳永重元・山内輝子,1971,花粉・胞子.化石の研究法,共立出版株式会社,50-73.

氏家　宏・兼子尚知,2006,地域地質研究報告(5 万分の 1 地質図幅)　那覇及び沖縄市南部地域の地質,独立行政法人産業技術総合研究所　地質調査総合センター,48P.



1．マツ属(トレンチ5;Ⅲ層)
2．イネ科(トレンチ5;Ⅲ層)
3．花粉分析プレパラート内の状況(トレンチ2 溝1;Ⅲ層)
4．花粉分析プレパラート内の状況(トレンチ5;Ⅲ層)
5．コムギ 胚乳(トレンチ5;Ⅲ層)

写真 190　花粉化石、炭化種実



1　イネ属単短細胞列（トレンチ２　溝１　Ⅲ層）
2　イネ属短細胞列（トレンチ５　Ⅲ層）
3　タケ亜科短細胞珪酸体（トレンチ２　溝１　Ⅲ層）
4　ススキ属短細胞珪酸体（トレンチ２　溝１　Ⅲ層）
5　コムギ連短細胞珪酸体（トレンチ５　Ⅲ層）
6　イネ属機動細胞珪酸体（トレンチ２　溝１　Ⅲ層）
7　イネ属機動細胞珪酸体（トレンチ５　Ⅲ層）
8　タケ亜科機動細胞珪酸体（トレンチ２　溝１　Ⅲ層）
9　ススキ属機動細胞珪酸体（トレンチ５　Ⅲ層）
10　イネ属穎珪酸体（トレンチ５　Ⅲ層）

写真 191　植物珪酸体

第６章　結語

１　はじめに

平成 24 年度の調査では、中城御殿の北側に２か所、南側に５か所のトレンチを設定した。その結果、地表下 30ｃｍ前後の高さから各種の遺構が検出された。これらの遺構の多くは明治３（1870）年に着工し、明治７（1874）年に完成した中城御殿の遺構であるが、それ以前の遺構や昭和 20（1945）年に終結した沖縄戦後の遺構も存在する。

ここではこれらの遺構を、時代ごとに分けながら概説する。

２　近世以前

中城御殿の基盤層は、琉球石灰岩、泥岩（クチャ）、砂岩（ニービ）、赤土（マージ）であることが今回の調査でも確認できた。

敷地北側のトレンチ１では、琉球石灰岩と一部にマージを確認した。

敷地南側のトレンチ３～６では、青灰色や黄褐色のクチャと、その下に黄褐色のニービを確認した。

今回の調査では、近世以前の遺物は少量出土したが、遺構は確認できなかった。

３　近世～明治３年

18 世紀初頭の様子を描いた「首里古地図」によると、中城御殿が造営される以前は北谷御殿、本部按司、福地親雲上、侍易、阿嘉嶺筑登之の敷地であったことがわかる。トレンチ１は福地親雲上、トレンチ２は侍易の敷地に相当する。トレンチ３～５は北谷御殿、トレンチ６、７は本部按司の敷地に相当する。

また明治１（1868）年には、大村按司、摩文仁按司、川平親方、小禄親雲上らの宅地を合わせた土地に中城御殿を移すことが決まったと「球陽」に書かれている。大村按司は北谷御殿と同じ系譜なので、北谷御殿の敷地を引き継いだと考えられる。摩文仁按司、川平親方、小禄親雲上の敷地は、本部按司、福地親雲上、侍易、阿嘉嶺筑登之の敷地を引き継いだと考えられる。

以上のような時期の遺構には、トレンチ２の石組み１と石組み２、トレンチ５の石積み６と石列１、トレンチ６の石積み２がある。

４　明治３年～昭和 20 年（中城御殿当時）

トレンチ１の場所に建っていた新御殿については、全く残っていないことがわかった。

トレンチ２の場所に建っていた女中部屋の遺構については、石積み３～５、溝１が該当する。

トレンチ５では、正門に伴う階段１と石敷き１、石牆に該当する石積み８が残っていた。

トレンチ７の場所にあった瓦石垣については、石積み１と石積み７が該当する。

ここでトレンチ５の石積み８について検討する。まず石積み８を含む、正門の東西にのびる石牆について確認する。昭和 20 年に撮影された航空写真（写真２）を見ると、正門東側の石牆（石積み８）は東西方向に一直線に伸びていることがわかる。正門西側の石牆は、途中までは東西方向だが西側半分はやや北に方向を変えて伸びている。方向を変えた理由は、龍潭との間にある道路の方向に合わせたためである。

図 112 は、戦前の写真の上に、「首里古地図」に描かれた屋敷などの線を重ねた図である。これによると正門東側の石牆は、北谷御殿の南辺に重なることがわかる。ただし北谷御殿の南辺は、道路に合わせてカーブして描かれているので、東に行くにつれてラインがずれる。

正門西側についても、北谷御殿と本部按司の石牆に重なる。ただし北谷御殿と本部按司の境は、少しずれて接続している。

石積み８は、場所によって石の積み方・大きさ・加工度合いが異なり、根石付近には横一直線に目地が走ることから、一度に造られたのではなく、時期差があった可能性がある。既存の石積みを利用したとすると、北谷御殿・本部按司の南辺にあった石積みになるだろう。正門東側の石牆はほぼ真東に伸びているが、道路はやや南にカーブしていたるため、道幅が広くなっている。戦前の写真をよく見ると、その部分には東西方向に影が写っているが、詳細は不明である。

正門西側の石牆のラインについて見ると、正門付近は東西に走っているが、北谷御殿と本部按司との境目あたりから、やや北にラインを変えている。このラインを変えている部分にも正門東側と似たような影が写っている。

５　昭和 20 年～現在（沖縄戦後）

トレンチ１では、沖縄県立博物館の地下収蔵庫に伴うコンクリート基礎が残っていた。

トレンチ２では、パイプやコンクリート敷きが見つかった。

トレンチ５では、沖縄戦時の銃弾の跡を石積み８で確認できる。

トレンチ６では、石牆を復元する際に掘られた溝２が見つかった。

図 112　戦前の航空写真と「首里古地図」の重ね図

引用・参考文献（第５章を除く）

氏家宏・兼子尚和　2006年『那覇及び沖縄市南部地域の地質』地域地質研究報告（5万分の1地質図編）　独立行政法人　産業技術総合研究所　地質調査総合センター

沖縄県都市計画・モノレール課　2010 年「中城御殿跡地整備検討委員会資料」

沖縄県立博物館　1993 年『旧中城御殿跡―石牆工事地域にかかる第一次発掘調査―』

沖縄県立博物館　1994 年『旧中城御殿跡―旧中城御殿跡石垣工事にかかる第２次発掘調査―』

沖縄県立博物館　1995 年『旧中城御殿跡―旧中城御殿跡石垣工事にかかる第３次発掘調査―』

沖縄県立博物館　1996 年『沖縄県立博物館 50 年史』

沖縄県立博物館　1992 年『旧中城御殿関係資料集』

沖縄県立埋蔵文化財センター　2010 年『中城御殿跡―県営首里城公園　中城御殿跡発掘調査報告書（Ｉ）―』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第 53 集

沖縄県立埋蔵文化財センター　2011 年『中城御殿跡―県営首里城公園　中城御殿跡発掘調査報告書（２）―』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第 58 集

沖縄県立埋蔵文化財センター　2012 年『中城御殿跡―県営首里城公園　中城御殿跡発掘調査報告書（３）―』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第 63 集

沖縄県立埋蔵文化財センター　2013 年『中城御殿跡―県営首里城公園　中城御殿跡発掘調査報告書（４）―』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第 67 集

沖縄県立埋蔵文化財センター　2015年『二つの中城御殿跡』

鎌倉芳太郎　1982 年『沖縄文化の遺宝』

球陽研究会　1974 年『球陽読み下し編』沖縄文化史料集成５

高橋誠一　2003 年『琉球の都市と村落』

都築昌子　2005 年「龍のひそむ島―近世琉球の風水―」『沖縄県史　各論編第４巻　近世』沖縄県教育委員会

渡嘉敷義浩　2015年「第3章　地誌　第6節　土壌　」『沖縄県史　各論編　第1巻　自然環境』　沖縄県教育委員会

古川博恭・高里良政　1986年「三、地形」『那覇市歴史地図―文化遺産悉皆調査報告書―』那覇市教育委員会

平凡社地方資料センター　2002 年「中城御殿跡」『沖縄県の地名』日本歴史地名体系第 48 巻　平凡社

宮城勉　2015年「第3章　地誌　第4節　地質　(8)島尻層群　(9)琉球層群」『沖縄県史　各論編　第1巻　自然環境』　沖縄県教育委員会

報 告 書 抄 録

ふりがな	なかぐすくうどぅんあと
書　　名	中城御殿跡
副 書 名	県営首里城公園　中城御殿跡発掘調査報告書(5)
巻　　次	―
シリーズ名	沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第84集
編 著 者 名	羽方誠、株式会社パリノ・サーヴェイ
編 集 機 関	沖縄県立埋蔵文化財センター
所 在 地	〒903-0125　沖縄県中頭郡西原町字上原193-7　　TEL　098-835-8752
発行年月日	平成28(2016)年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積	調査原因
なかぐすくうどぅんあと 中城御殿跡	おきなわけんなはし 沖縄県那覇市 しゅりおおなかちょう 首里大中町	472018	―	26° 13′ 15″	127° 43′ 05″	2012.09.01～ 2012.02.28	350㎡	県営首里城公園 整備事業

所収遺跡名	種　別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中城御殿跡	屋敷跡	近世～現代	溝 石積み 石組み 石敷き 造成層	中国産青磁、白磁、染付 その他輸入陶磁器 中国・タイ産褐釉陶器 本土産陶磁器 沖縄産施釉陶器 沖縄産無釉陶器 陶質土器、瓦質土器 土器、坩堝 円盤状製品、煙管 金属製品、銭貨 貝製品、骨製品 ガラス玉、ガラス製品 石器、石製品 瓦、塼 貝類・脊椎動物遺体	

要 約	中城御殿は国王の世子が暮らした邸宅跡で、1870年から1945年まで存在していた。戦後は県立博物館が建てられるが、老朽化により撤去される。調査は遺構の残存状況を確認する目的で7本のトレンチを設けて行い、石組みや石積み、造成層などの遺構が良好な状態で検出された。

沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書　第84集

中　城　御　殿　跡

― 県営首里城公園 中城御殿跡発掘調査報告書（5）―

発　行　日　平成 28（2016）年 3月 31 日

発行・編集　沖縄県立埋蔵文化財センター
〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原193番地の7
TEL：098-835-8751･8752

印　　刷　印刷センターテル
〒901-0211 沖縄県豊見城市字饒波 500-1

「首里古地図」 沖縄県立図書館　所蔵